ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

ヘルプガイドのおすすめページ

基本操作手順

カメラの基本的な撮影手順です。

推奨メモリーカードについて

本機で使用できるメモリーカードの情報です。

サポート情報

サポート情報

カメラ本体の基本情報やアクセサリーの情報、困ったときのQ&Aなどを説明しています。

Monitor & Control ヘルプガイド

Monitor & Control は、1台のカメラと接続して、カメラのリモートコントロール、およびカメラのクリップの表示・操作を行うアプリケーションです。

はじめにお読みください

ヘルプガイドの使いかた

使用上のご注意

各部の名称

システム構成例

左側面/前面部

右側面部

背面部/端子部/カードスロット部

上面部/ハンドル部

底面部

タッチパネルの使いかた

画面表示

ステータス画面

準備する

電源の準備

バッテリーパックを使う

USB充電器を使う

電源を入れる/切る

基本的な設定をする

- 日付/時刻
- アクセシビリティ機能の概要
- 基本動作の設定
- 撮影モード
- 記録フォーマット

機器を取り付ける

- マイク（別売）を取り付ける
- LCDフード（付属）を取り付ける
- レンズフード（付属）を取り付ける

LCDモニターを調節する

- LCDモニターの角度と位置を調節する
- LCDモニターの明るさを調節する
- LCDモニターの画面表示を拡大する

メモリーカードを使う

- メモリーカードについて
- 推奨メモリーカードについて
- メモリーカードを入れる
- メモリーカードを取り出す
- メモリーカードを初期化する
- 残りの記録可能時間を確認する

撮影する

基本操作手順

ズームを調節する

- ズームレバーでズームする
- デジタルエクステンダーを使う
- ハンドルズームレバーでズームする
- ズームリングでズームする

フォーカスを調節する

- フォーカスを手動調節する
- タッチ操作でフォーカスを合わせる
- 一時的に自動でフォーカスを合わせる
- 拡大表示をしてフォーカスを合わせる
- フォーカスを自動調節する
- オートフォーカスの対象領域/位置を設定する
- フォーカスエリアをすばやく変更する
- フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する
- 一時的に手動でフォーカスを合わせる
- 人物を検出して追尾する
- 被写体を指定して追尾する
- リアルタイムトラッキングAFを開始する
- リアルタイムトラッキングAFを終了する
- 撮影時のご注意
- フランジバックの調整

明るさを調節する

- アイリスを調節する
- ゲインを調節する
- シャッターを調節する
- 光量を調節する

ホワイトバランスを調節する

- ホワイトバランスを自動で調節する
- ホワイトバランスを手動で調節する

手ブレ補正を設定する

- 手ブレ補正を使う

音声を設定する

- 収録する音声を設定する
- 音声入力機器を選ぶ
- 録音レベルを自動調節する
- 録音レベルを手動調節する

撮影機能を活用する

- ダイレクトメニュー
- アサイナブルボタン

- アサイナブルダイヤル
- マルチファンクションダイヤル
- スロー＆クイックモーション
- 間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）
- 数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュレック機能）
- 連続する記録を一つのクリップに収録する（クリップコンティニュアスレック）
- メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する
- 4K映像とHD映像を同時に記録する
- オートフレーミング
- マニュアルフレーミング
- 映像信号モニター
- ガンマ表示アシスト機能
- クリップフラグ
- 自動的に時計を合わせる
- 位置情報を記録する

プロキシ記録をする

- プロキシ記録
- プロキシクリップを分割記録し、転送する

好みのルックで撮影する

- ルックを選ぶ
- 好みの基本ルックをインポートする
- 基本ルックを削除する
- ルックをカスタマイズする
- ルックをSceneファイルとして保存する
- Sceneファイルの名称を編集する
- ルックをほかのカメラと共有する
- 内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する
- メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む

ネットワークにつなぐ

ネットワーク機能でできること

Monitor & Controlを使う

- 「Monitor & Control」と接続する

インターネットに接続する

- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する
- ネットワークの接続状態を確認する

Creators' App for Enterpriseを使う

- 「C3 Portal」や「Ci Media Cloud」へファイルを転送する

ファイルを転送する

- ファイルを転送するための準備をする
- クリップを選んで転送する
- クリップを自動転送する
- セキュアなFTP転送を行うには
- ストリーミングする

再生する

- サムネイル画面の構成
- クリップを再生する
- クリップを操作する

設定を変更する

- メニュー一覧
- フルメニューの操作方法
- 文字列を入力する
- メニューをロックする
- メニューのロックを解除する
- 画面を拡大表示する

フルメニューから設定する

- ［User］メニュー
- ［Edit User Menu］メニュー
- ［Shooting］メニュー
- ［Project］メニュー
- ［Paint/Look］メニュー
- ［TC/Media］メニュー
- ［Monitoring］メニュー
- ［Audio］メニュー

- ［Thumbnail］メニュー
- ［Technical］メニュー
- ［Network］メニュー
- ［Maintenance］メニュー
- ［Video Format］/［Quality］/［Bit Rate］の設定値
- 撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について
- 設定内容をファイルに保存する

外部機器を使う

モニターや記録装置を使う

- 外部モニター/レコーダーを接続するための準備をする
- SDI出力の外部機器と接続する
- HDMI出力の外部機器と接続する
- 映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）

リモートコントローラーを使う

- モバイル機器やLANCリモコンを使う
- グリップリモコンを使う
- Bluetoothリモコンを使う

コンピューターを使う

- コンピューターにUSBでカメラの映像を送る
- コンピューターでクリップを管理/編集する

出力フォーマット

SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット

付録

トラブル時の対処

エラー/警告表示

ファイルに保存される項目

ブロックダイヤグラム

ライセンスについて

保証書とアフターサービス

仕様

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

ヘルプガイドの使いかた

このヘルプガイドは、PXW-Z300/PXW-Z380の機能や使いかたなどを説明している「Web取扱説明書」です。
ヘルプガイドで知りたい情報を探して、本機をご活用ください。

TP1002063815

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

使用上のご注意

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

LCDパネルについて

本機のLCD（液晶）パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、LCD（液晶）パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。
本機のLCDパネルが故障してしまった場合に、緊急対応として強制的にHDMIまたはMonitor & Controlに映像出力できる状態に設定を変更することが可能です。詳しくは「トラブル時の対処」をご覧ください。

タッチパネル利用上のご注意

本製品のLCDモニターはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作を行えます。
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪/ボールペン/ピンなど）を押し付けたりしないでください。
次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

本機搭載のCMOSイメージセンサーの現象

ご注意

- 撮影画面に出る下記の現象は、イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

イメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。
これはイメージセンサーの原理に起因するもので故障ではありません。
また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン（感度）を上げたとき

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯、LEDによる照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したように見えることがあります。

有寿命部品について

- ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。
  常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店 にご相談ください。

- 機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックやUSB充電器との接点部分）は消耗品です。
  振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。
  長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。内蔵の充電式電池は、本機の電源の入/切に関わらず、USB充電器でコンセントにつながっているか、充電されたバッテリーを本機に装着した状態で24時間経過すれば充電されます。USB充電器で電源につながない、またはバッテリーを入れないままで2か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、使用時の日時を記録する必要がなければ本機を使えます。

使用場所・保管場所について

水平な場所、空調のある場所に保管してください。
次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は0 ℃～40 ℃）。真夏、窓を閉め切った自動車内は50 ℃を越えることがあります。

- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨があたる所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発生するものの近く
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。特に医療用などの強力なレーザー光の場合は、反射光や散乱光でも損傷を与えることがあります。

医療機器に近づけない

本製品（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

インターネット接続時のご注意

- 本機は無線LANを用いて、脆弱性が懸念されるセキュリティ方式であるWEPまたはWPAのみを使用するアクセスポイントとは接続できません。
- 本機はネットワーク機器（例えばルーター、スイッチング・ハブ）ではありません。DoS攻撃（サービス妨害攻撃）などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。
- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合（例えばFree Wi-Fiなど）、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。

セキュリティに関するご注意

- 本機の無線LANの設定で［Security］を［None］にしてアクセスポイントと接続すると、カメラとアクセスポイント間の無線通信が暗号化されないため、電波の届く範囲にいる第三者に内容を盗み取られる可能性があります。より安全なセキュリティ方式であるWPA2またはWPA3を使用してください。
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- 本製品のネットワークへの接続には、ルーターやファイアウォールなどの保護機能を通して接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。
- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア 内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、フルメニューの［TC/Media］－［Format Media］で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

記録機能についてのご注意

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

関連項目

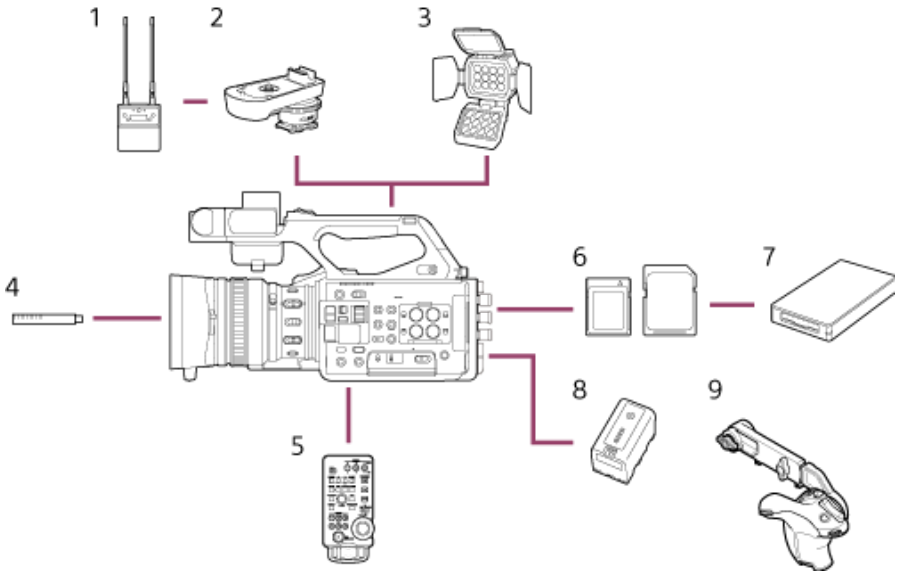
- トラブル時の対処

TP1002063816

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

システム構成例



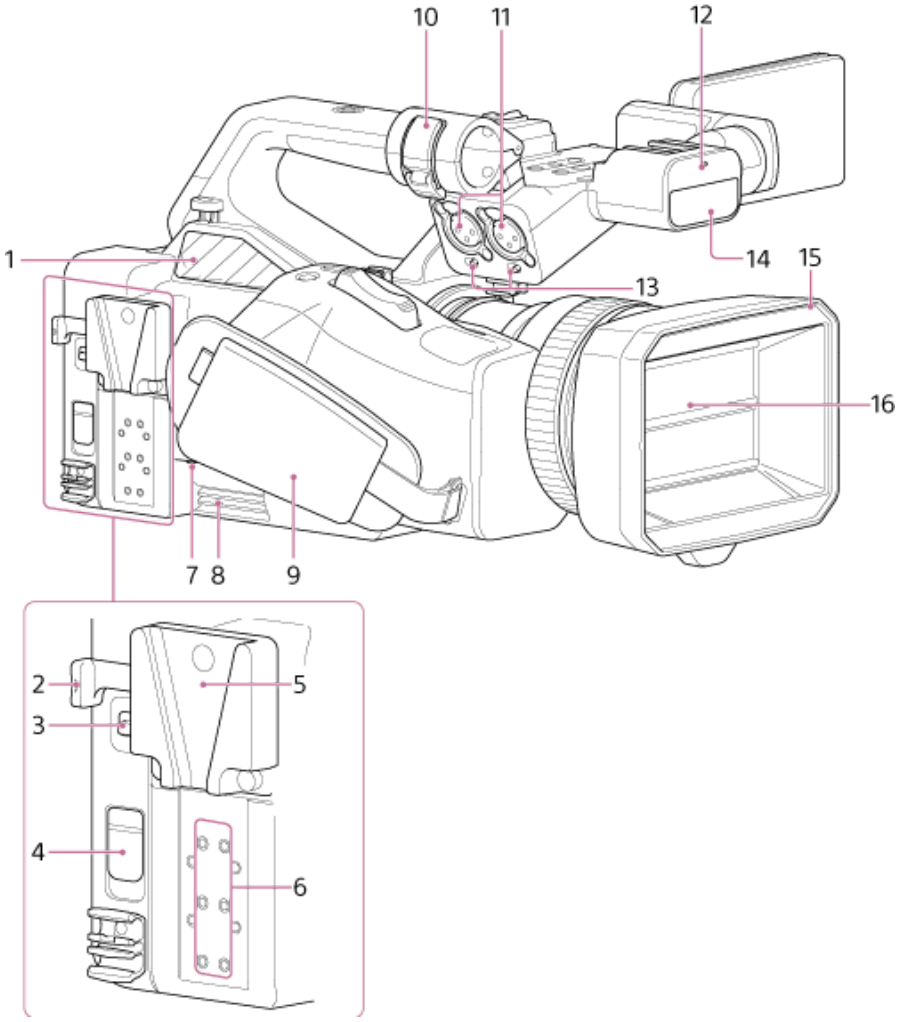
1. **ワイヤレスマイクロホンパッケージ UWP-D21/UWP-D22**
2. **マルチインターフェースシューアダプター SMAD-P5**
3. **ビデオライト HVL-LBPC**
4. **マイクロホン ECM-VG1/ECM-MS2/ECM-678**
5. **リモートコントロールユニット RM-30BP/RM-1BP**
6. **CFexpress Type Aメモリーカード/SDXCメモリーカード**
7. **CFexpress Type Aカードリーダー/SDカードリーダー**
8. **バッテリーパック BP-U35/BP-U70/BP-U100**
9. **グリップリモコン GP-VR100**

TP1002063817

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

左側面/前面部



1. **排気口**

ご注意

- 排気口をふさがないでください。
- 排気口付近は高温になるためご注意ください。

2. **Vシューマウント取り外しレバー**
3. **REF/TC IN/OUTスイッチ**
   GENLOCK IN/REF OUT端子とTC IN/OUT端子の入力/出力を切り替えるスイッチです。

4. **REMOTE端子**
   汎用のLANC端子アクセサリーを接続する端子です。

5. **Vシューマウント**
   付属のVシューアタッチメントを介して、ネットワーク接続用機材（モバイルWi-Fiなど）やワイヤレスマイクレシーバー、モバイルバッテリーなどのアクセサリー（750 g以下）を取り付けます。

6. **コールドシュー取付用ねじ穴**
   Vシューマウントを使用しない場合、ねじ穴６つのうち上下いずれか４つを利用して、コールドシューを取り付けることができます。

7. **GRIP端子**

別売のグリップリモコン GP-VR100を接続する端子です。

8. **吸気口**

> **ご注意**
>
> - 吸気口をふさがないでください。

9. **グリップベルト**
10. **マイクホルダー**
11. **INPUT 1/INPUT 2（オーディオ入力）端子**
    オーディオ入力用端子です。INPUT 1/INPUT 2端子に接続する機器に合わせて、INPUT 1/INPUT 2スイッチを設定します。

12. **記録/タリーランプ（フロント）**
    記録が始まると点灯します。メモリーカードやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

13. **INPUT 1/INPUT 2スイッチ（LINE/MIC/MIC+48V）**
    INPUT 1/INPUT 2端子に接続した音声機器に応じて切り替えます。
    LINE：外部音声機器（ミキサーなど）
    MIC：ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク
    MIC+48V: +48V電源（ファンタム電源）対応のマイク

14. **ハンドル内蔵マイク**
15. **レンズフード**
16. **レンズフードシャッター**

関連項目

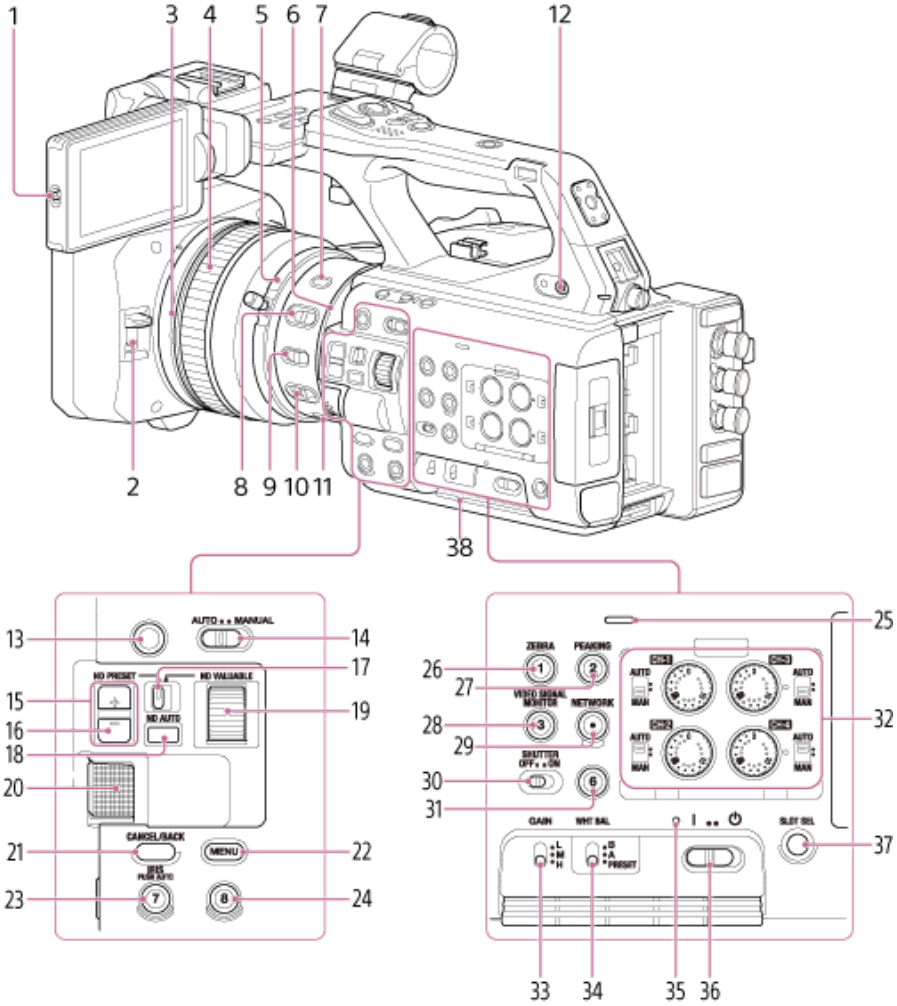
- モバイル機器やLANCリモコンを使う
- 収録する音声を設定する
- 基本操作手順
- レンズフード（付属）を取り付ける

TP1002063818

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

右側面部



1. **L/R / ROTATEスイッチ**
   LCDモニターの表示を設定します。

2. **レンズフードシャッター開閉スイッチ**

3. **Full MFスイッチ**
   フォーカスリングを前後に動かすことで、ON/OFFが切り替わります。
   詳しくは「フォーカスを手動調節する」をご覧ください。

4. **フォーカスリング**

5. **ズームリング**
   SERVO/MANUAL切り替えは底面部のズームサーボスイッチで行います。

   ご注意

   - 電源スイッチをオンにしてからレンズの初期動作が完了するまで動かさないでください。フォーカスが合わなくなります。

6. **IRISリング**
   IRISマニュアルモード時にアイリス値を調節します。

7. **STEADY SHOTボタン**

8. **IRISスイッチ**

アイリス調節モードを切り替えます。

ご注意

- リモートコントローラーを使用するときは、AUTOにしてください。

9. **MACROスイッチ**
   近接撮影モードを切り替えます。

10. **FOCUSスイッチ**
    オートフォーカスモードとマニュアルフォーカスモードを切り替えるスイッチです。

11. **FOCUS PUSH AUTOボタン**
    マニュアルフォーカスモード時：ボタンを押している間だけオートフォーカスモードになります。
    オートフォーカスモード時：ボタンを押している間だけマニュアルフォーカスモードになります。

12. **ヘッドホン端子**

13. **ASSIGN（アサイナブル）11ボタン**
    画面拡大機能を有効にすると、このボタンに画面拡大機能が割り当てられます。詳しくは「LCDモニターの画面表示を拡大する」をご覧ください。

14. **AUTO/MANUALスイッチ**
    FULL AUTOモードとMANUAL撮影モードを切り替えます。

15. **ND FILTER POSITION上下ボタン**

16. **ND CLEARランプ**
    NDフィルターポジションがCLEARのときに点灯します。

17. **NDスイッチ**
    NDフィルターの調節モードを切り替えます。左側がプリセットモード、右側がバリアブルモードです。

18. **ND AUTOボタン/ランプ**
    NDオートモードを設定します。NDバリアブルモード時のみ設定できます。

19. **ND VARIABLEダイヤル**
    NDバリアブルモード時にNDフィルターの濃度を調節します。

20. **マルチファンクションダイヤル**
    LCDモニターに映像が表示されているときに押すと、ダイレクトメニューが表示されます。
    また、LCDモニターに各種メニューが表示されているときに回すと、カーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。押すと選択している項目を確定します。
    メニューを表示していないときは、アサイナブルダイヤルとして機能します。

21. **CANCEL/BACKボタン**
    押すと一つ前の階層に戻ります。設定を変更している場合は、確定前の設定値がキャンセルされます。

22. **MENUボタン**
    短く押すと、ステータス画面が表示されます。長押しすると、フルメニュー画面が表示されます。

23. **IRIS PUSH AUTO/ASSIGN（アサイナブル）7ボタン**

24. **ASSIGN（アサイナブル）8ボタン**

25. **本体内蔵スピーカー**

26. **ZEBRA/ASSIGN（アサイナブル）1ボタン**

27. **PEAKING/ASSIGN（アサイナブル）2ボタン**

28. **VIDEO SIGNAL MONITOR/ASSIGN（アサイナブル）3ボタン**

29. **NETWORKボタン/ランプ**
    ネットワーク接続が正常に動作しているときにランプが点灯します。ランプが点滅している場合は、NETWORKボタンを押して［Network］ステータス画面で状態をご確認ください。
    詳しくは「ネットワークの接続状態を確認する」をご覧ください。

30. **SHUTTERスイッチ**
電子シャッターのオン/オフを切り替えます。

31. **ASSIGN（アサイナブル）6ボタン**

32. **オーディオ調節スイッチ**

- AUTO/MANスイッチ
CH-1/CH-2/CH-3/CH-4の録音レベルをオートモードまたはマニュアルモードに切り替えます。
- AUDIO LEVEL（CH-1/CH-2/CH-3/CH-4）ダイヤル
マニュアルモード時にCH-1/CH-2/CH-3/CH-4の録音レベルを手動調節します。

33. **GAINスイッチ**
映像アンプのゲイン値を切り替えます。スイッチの各ポジションに対応するゲイン値は、［Camera］ステータス、またはフルメニューで設定します。

34. **WHT BAL （ホワイトバランスメモリー切り替え）スイッチ**
ホワイトバランスの調節モードを切り替えます。

35. **電源ランプ**

36. **電源スイッチ**

37. **SLOT SELECTボタン**
メモリーカードが2枚装着されているときに、SLOT SELECTボタンを押してメモリーカードを切り替えます。

38. **吸気口**

ご注意

- 吸気口をふさがないでください。

関連項目

- アサイナブルボタン
- レンズフード（付属）を取り付ける
- 一時的に自動でフォーカスを合わせる
- フォーカスを手動調節する
- フォーカスを自動調節する
- ズームリングでズームする
- 基本操作手順
- アイリスを調節する
- 光量を調節する
- ゲインを調節する
- ホワイトバランスを手動で調節する
- シャッターを調節する
- メモリーカードを入れる
- スロー＆クイックモーション
- ネットワーク機能でできること
- 無線LANでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する
- ネットワークの接続状態を確認する
- 収録する音声を設定する
- 画面表示
- 録音レベルを手動調節する
- ステータス画面
- メニュー一覧
- ダイレクトメニュー

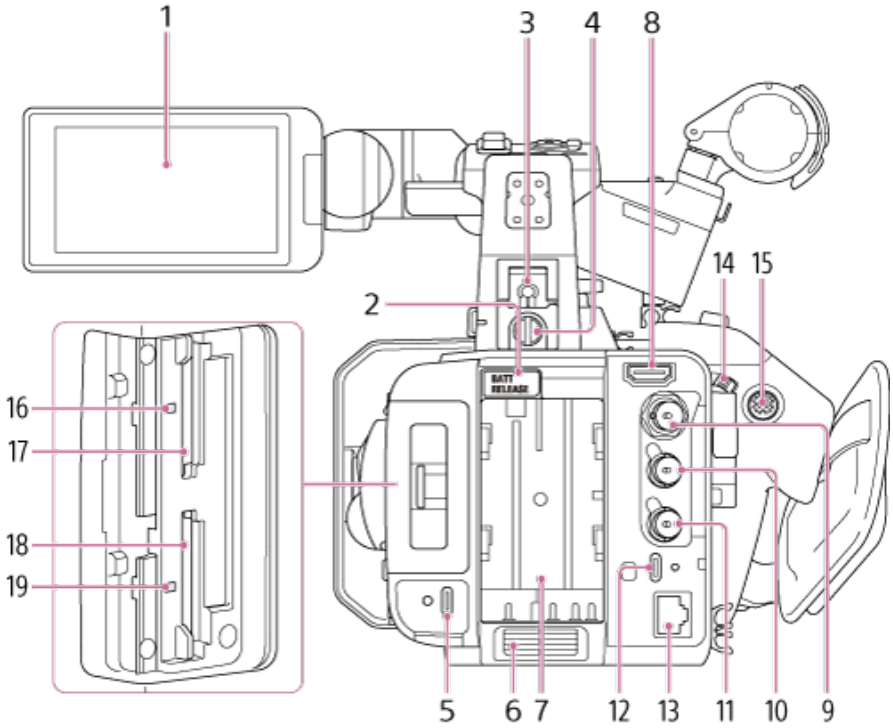
電源を入れる/切る

TP1002063819

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

背面部/端子部/カードスロット部



1. **LCDモニター/タッチパネル**
2. **BATT RELEASE（バッテリー取り出し）ボタン**
   バッテリーを取り出すときにボタンを押します。

3. **マルチインターフェースシュー**

   マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについて、詳しくは販売店にお問い合わせください。

4. **アクセサリーシュー落下防止用ネジ**

   ご注意
   - アクセサリーの固定つまみも「LOCK」の矢印側に回して固定してください。

5. **電源入力用USB-C™端子**
   電源入力専用のUSB Type-C端子です。データ通信や電源出力はできません。
   USB-C端子左側のネジ穴は、Type-Cケーブル固定用のネジ穴です。

6. **吸気口**

   ご注意
   - 吸気口をふさがないでください。

7. **バッテリー取り付け部**
8. **HDMI出力端子**
   HDMI信号を出力する端子です。

9. **SDI OUT端子（BNC型）**
   SDI信号を出力する端子です。

10. **TC IN/OUT端子（BNC型）**
タイムコードの入力/出力用端子です。
REF/TC IN/OUTスイッチの設定によって、以下の用途に使用します。
IN：本機のタイムコードを外部ロックさせるとき、基準となるタイムコード信号を入力する端子となります。
OUT：外部機器のタイムコードを、本機のタイムコードでロックさせるとき、本機のタイムコード信号を出力する端子となります。

ご注意

- TC IN/OUT端子には、SMPTEデジタル規格準拠した機器を接続してください。規格外の機器（例：0.5～4.5Vの範囲外の電圧を印加する機器など）を接続した場合、本機を破損する可能性がありますのでご注意ください。

11. **GENLOCK IN/REF OUT端子**
GENLOCK IN/REF OUTの入力/出力用端子です。REF/TC IN/OUTスイッチの設定によって、以下の用途に使用します。

- GENLOCK IN：外部から本機にゲンロックをかけるとき、または本機のタイムコードを外部ロックさせるとき、基準信号を入力する端子となります。
- REF OUT：外部機器との同期用に同期信号（HD-Sync）を出力する端子となります。

12. **データ通信用USB-C™端子**
USB Type-C端子です。データ通信に使用できます。USB-C端子右側のネジ穴は、Type-Cケーブル固定用のネジ穴です。

13. **LAN端子**
有線LAN用端子です。

14. **録画START/STOPボタン/HOLDスイッチ（グリップ）**
録画START/STOPボタンを押すとランプが点灯し記録が開始されます。もう一度押すとランプが消灯し記録が停止します。
HOLDスイッチをHOLD側にしておくと、録画START/STOPボタンが押せなくなります。

15. **マルチセレクター**
オートフォーカス操作やメニュー操作時等に使用します。8方向にカーソルを移動したり、押すと値の選択や決定ができます。

16. **アクセスランプA**
17. **CFexpress Type A/SDカードスロット（A）**
18. **CFexpress Type A/SDカードスロット（B）**
19. **アクセスランプB**

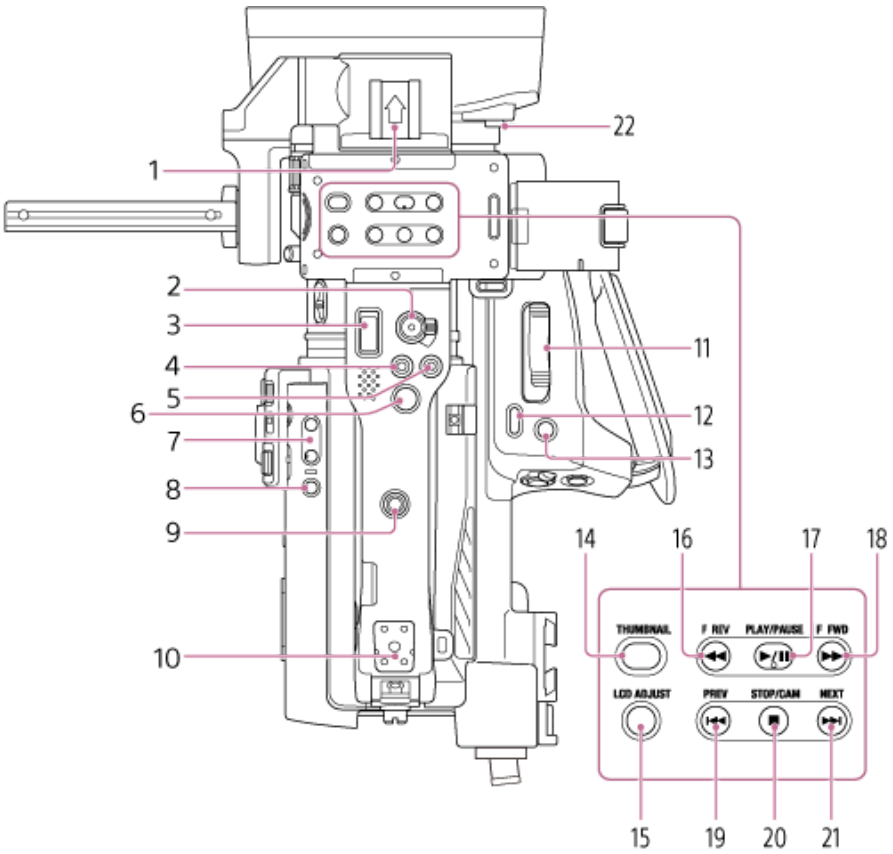
関連項目

- LCDモニターの角度と位置を調節する
- タッチパネルの使いかた
- 画面表示
- バッテリーパックを使う
- USB充電器を使う
- 「C3 Portal」や「Ci Media Cloud」へファイルを転送する
- コンピューターでクリップを管理/編集する
- HDMI出力の外部機器と接続する
- SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット
- SDI出力の外部機器と接続する
- 映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）
- 有線LANでインターネットに接続する
- 基本操作手順
- メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する
- メモリーカードを入れる

TP1002063820

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

上面部/ハンドル部



1. **アクセサリーシュー**

2. **録画START/STOPボタン/HOLDスイッチ（ハンドル）**
   録画START/STOPボタンを押すとランプが点灯し記録が開始されます。もう一度押すとランプが消灯し記録が停止します。
   HOLDスイッチをHOLD側にしておくと、録画START/STOPボタンが押せなくなります。

3. **ハンドルズームレバー**
   広角または望遠のどちらかに動かします。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

4. **ASSIGN（アサイナブル）9ボタン**
5. **ASSIGN（アサイナブル）10ボタン**
6. **マルチセレクター**
   オートフォーカス操作やメニュー操作時等に使用します。8方向にカーソルを移動したり、押すと値の選択や決定ができます。

7. **ボリュームボタン**
   ヘッドホン/内蔵スピーカーの音量を調節します。

8. **DISPLAYボタン**
   本機の状態や設定の表示/非表示を切り替えます。
   10秒以上押すと、HDMI出力が1920×1080または1280×720Pになり、OSD重畳をオンに切り替えます。

9. **アクセサリー取り付け用ネジ穴**
   ネジ穴1/4インチ、1/4-20UNCのネジ（長さ6 mm以下）に対応しています。

ご注意

- 6 mmより長いネジを使用すると、外装部品が破損するおそれがあります。

10. **アクセサリーシュー取り付け部/アクセサリー取り付け用ネジ穴**

ネジ穴1/4インチ、1/4-20UNCのネジ（長さ6 mm以下）に対応しています。

ご注意

- 6 mmより長いネジを使用すると、外装部品が破損するおそれがあります。

11. **ズームレバー（グリップ）**
    広角または望遠のどちらかに動かします。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

12. **DIRECT MENU/ASSIGN（アサイナブル）5ボタン**
13. **FOCUS MAG/ASSIGN（アサイナブル）4ボタン**
14. **THUMBNAILボタン**
    撮像状態または再生状態でボタンを押すと、サムネイル画面が表示されます。もう一度押すと撮像状態に戻ります。

15. **LCD ADJUSTボタン**
    LCDモニターの明るさ調節用レベルバーを表示します。マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルで操作してください。

16. **F REVボタン**
    逆方向に高速再生します。もう一度押すとさらに高速になります（3段階まで）。

17. **PLAY/PAUSEボタン**
    再生を一時停止します。もう一度押すと再生に戻ります。

18. **F FWDボタン**
    順方向に高速再生します。もう一度押すとさらに高速になります（3段階まで）。

19. **PREVボタン**
    クリップの先頭画にジャンプします。先頭画にいた場合、再生位置の逆方向にクリップジャンプします。PREVボタンを押した状態でF REVボタンを押すと、メモリーカード内の先頭クリップの先頭画にジャンプします。

20. **STOP/CAMボタン**
    再生中に押すと再生を停止します。

21. **NEXTボタン**
    再生位置の順方向にクリップジャンプします。
    最終クリップにいた場合は、最終クリップの最終画にジャンプします。NEXTボタンを押した状態でF FWDボタンを押すと、メモリーカード内の最終クリップの最終画にジャンプします。

22. **レンズフード取り外しボタン**

関連項目

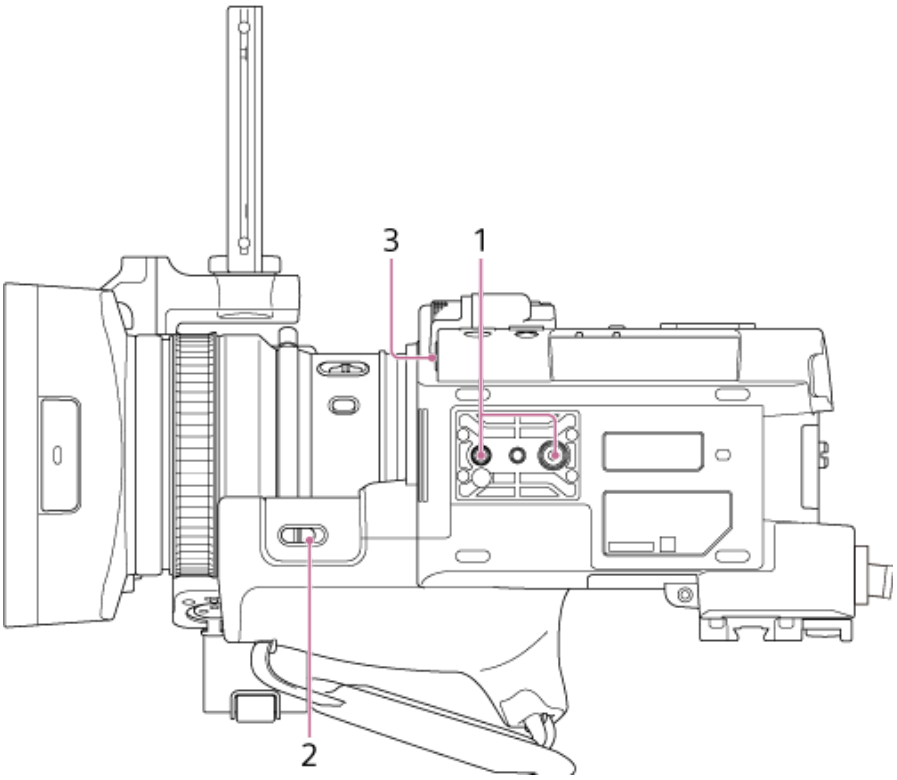
- 収録する音声を設定する
- 音声入力機器を選ぶ
- 基本操作手順
- メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する
- ズームレバーでズームする
- アサイナブルボタン
- ダイレクトメニュー
- 拡大表示をしてフォーカスを合わせる
- クリップを再生する
- レンズフード（付属）を取り付ける

TP1002063821

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

底面部



1. **三脚用ネジ穴**
   1/4インチ（1/4-20UNCネジ）、3/8インチ（3/8-16UNCネジ）に対応しています。三脚（別売、ネジの長さ5.5 mm以下）を取り付けます。

2. **ズームサーボスイッチ**
   ズーム操作モードを切り替えます。

   - SERVO：ハンドルズームレバーまたはグリップズームレバーでズーム操作ができます。
   - MANUAL：ズームリングでマニュアルズーム操作ができます。

3. **WB SETボタン**
   WHT BALスイッチがAまたはBになっている場合にWB SETボタンを押すと、オートホワイトバランスを実行し、ホワイトバランスデータを内蔵メモリーに保存します。

TP1002063822

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

タッチパネルの使いかた

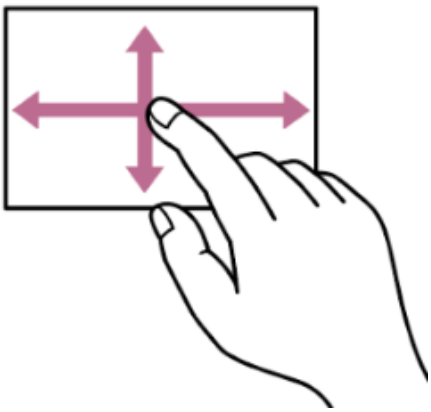
タッチパネル利用上のご注意

本製品のLCDモニターはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作を行えます。
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪/ボールペン/ピンなど）を押し付けたりしないでください。
次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

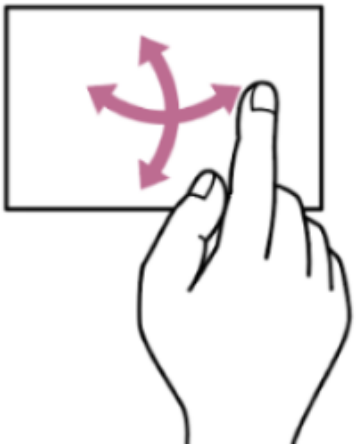
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

タッチパネル上の操作

タップ
アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。
ドラッグ
画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。



フリック/スワイプ
画面に触れて上下または左右にはらうように操作します。



ヒント

- 表示内容が画面の外へ続く場合は、表示内容をドラッグしたりフリックしたりしてスクロールさせることができます。

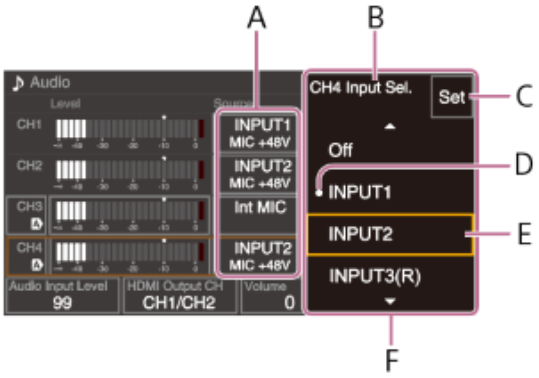
タッチパネルの設定

タッチパネルを利用するかどうかは、フルメニューの［Technical］－［Touch Operation］で設定できます。

タッチ操作対応設定画面の使いかた

ステータス画面での操作を例に、タッチ操作での設定方法を説明します。

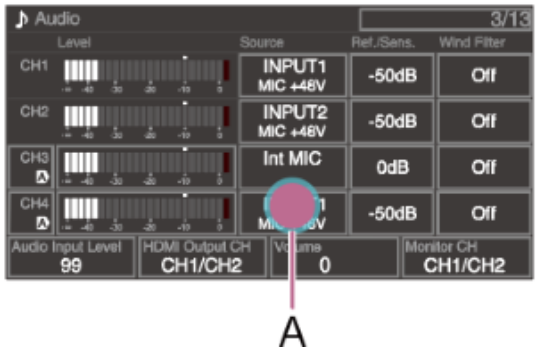
画面構成



A：設定項目
B：設定項目名
C：［Set］（決定）ボタン
D：直前の設定値を示す印
E：設定値選択カーソル（橙色枠）
F：設定値の選択肢

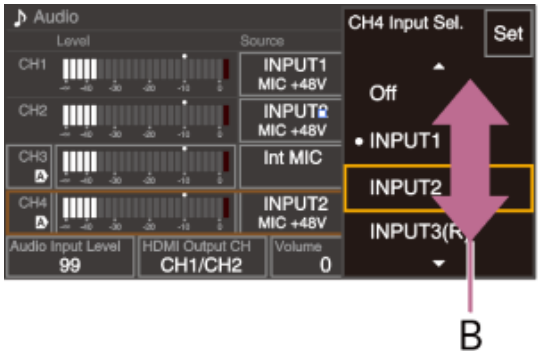
操作方法

1. **設定項目をタップ（A）する。**



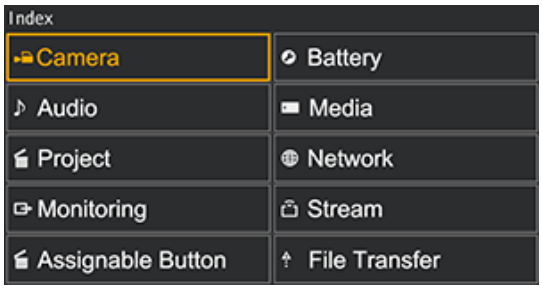
設定値の選択肢が表示されます。

2. **設定値をドラッグまたはフリック（B）して選択する。**



3. **［Set］または設定値選択カーソルをタップする。**
設定値を確定し元の画面に戻ります。

4. **画面を右にスワイプする。**
メニュー階層を移動します。



ヒント

- CANCEL/BACKボタンを押すと直前の設定値に戻ります。
- マルチファンクションダイヤルやマルチセレクターでも操作できます。
- タッチ操作を無効にすることもできます。

TP1002063825

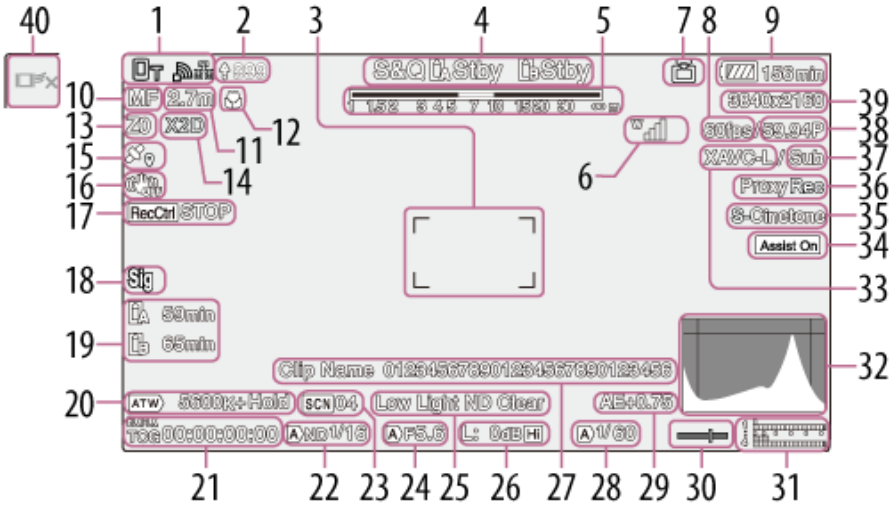
5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

画面表示

撮影中（記録中/記録待機中）および再生中は、映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。
表示/非表示の切り替えは、DISPLAYボタンで行います。非表示にした場合も、ダイレクトメニューの操作中は表示されます。
また、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます。

撮影中の画面に表示される情報



1. **ネットワーク状態**
   ネットワーク接続の状態がアイコンで表示されます。

2. **アップロード中表示/転送ファイル残数**
3. **フォーカスエリア**
   オートフォーカスでフォーカスを合わせる領域が表示されます。

4. **スロットA/Bの記録モード/動作状態、スロー&クイックモーション、クリップコンティニュアスレックモード、インターバルレック記録間隔時間表示**

表示	意味
● Rec	記録中
Stby	記録待機中

5. **被写界深度**
6. **UWP-Dシリーズの状態**
   UWP-DシリーズをMIシューにデジタルオーディオ伝送の設定で接続したとき、電波強度を示すRFレベルなどがアイコンで表示されます。

7. **ストリーミング状態**
   SRTの場合、ARCによるビットレートが併せて表示されます。

表示	意味
	ストリーミング送信している状態
	ストリーミング送信への移行中状態
	エラーが発生してストリーミング送信していない状態

表示	意味
USB	USBストリーミング出力していない状態 （「USB」が点滅表示）
	USBストリーミング出力している状態 （「USB」が表示）

8. **スロー&クイックモーション撮像フレームレート**
9. **バッテリー残量/DC IN電圧**
10. **フォーカスモード**

表示		意味
Focus Hold		［Focus Hold］モード
Full MF		Full MFモード
MF		MFモード
AF		AFモード
		リアルタイムトラッキングAFモード
被写体認識AF（AF/人物検出/Only/花/!）		
	人物検出	人物検出アイコン
	Only	人物限定AFアイコン
	花	保存された追尾顔ありアイコン
	!	AF一時停止アイコン[1)]

1) オートフォーカス動作中にオートフォーカス動作が継続できず、一時的にオートフォーカス動作が停止したときに表示されます。オートフォーカス動作を停止する原因が解消し、オートフォーカス動作を再開すると、非表示になります。

11. **フォーカスポジション**
    フォーカスの位置が表示されます。

12. **フォーカスマクロ表示**
    フォーカスマクロのオン/オフの状態が表示されます。

13. **ズームポジション**
    ズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。
    バー表示に変えることもできます。

14. **デジタルエクステンダー**
    デジタルエクステンダー機能の拡大率を表示します。
    デジタルエクステンダーがオンに設定されている場合に表示されます。
    デジタルエクステンダーについては、「ズームを調節する」の「デジタルエクステンダーを使う」をご覧ください。

15. **GPS状態表示**

表示	意味
	位置情報が有効期限内
	位置情報が有効期限外
	設定不備で位置情報連係ができていない状態

16. **手ブレ補正モード**
17. **SDI出力/HDMI出力の［Rec Control］状態**
    SDI/HDMI出力信号の出力状態を表示します。

18. 電子署名表示

表示	意味
Stg	電子署名が有効な状態
cr	電子署名が有効、かつC2PA用証明書がロード済みの状態

19. メモリーカード残量

表示	意味
A	マウント処理中/マウント状態（［Media(A)］）
B	マウント処理中/マウント状態（［Media(B)］）
P	マウント処理中/マウント状態（［Media(B)］）1)
P（点滅）	マウント状態（記録不可）（［Media(B)］）1) 2)

1) プロキシクリップのみを記録する場合
2) 記録開始時または記録中にエラーや残量が無くなった場合

メモリーカードがプロテクトされている場合は、（プロテクト）マークが表示されます。

20. ホワイトバランスモード

表示	意味
ATW	自動モード
ATW ［Hold］	自動モード一時停止
W:P	プリセットモード
W:A	メモリーAモード
W:B	メモリーBモード

21. タイムコード外部ロック/タイムデータ

他機のタイムコードにロックさせると「EXT-LK」と表示されます。

22. NDフィルター

表示	意味
A	自動モード

23. シーンファイル

24. アイリス

アイリスの位置（F値）が表示されます。

表示	意味
A	自動モード

25. 映像レベル注意

26. ゲイン

ゲイン値を表示します。

表示	意味
A	自動モード

表示	意味
Hi	高感度モード
H	プリセットHモード
M	プリセットMモード
L	プリセットLモード
T	ターボゲインモード
✿	一時調節モード

27. **クリップ名**
記録中または次に記録するクリップの名前が表示されます。

28. **シャッター**

表示	意味
A	自動モード

29. **AEモード/AEレベル**

表示	意味
AE	標準モード
	逆光モード
	スポットライトモード

30. **水準器**
本機の水平方向の傾きが±1°刻みで±15°まで表示されます。

31. **オーディオレベルメーター**
CH1～CH4のオーディオレベルを表示します。

32. **映像信号モニター**
ウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムを表示します。
オレンジの線はゼブラレベルの設定値を表します。
ネットワーク速度表示
ネットワーク経路ごとに、現在の通信速度を表示します。映像信号表示を表示しているときは表示されません。

33. **記録フォーマット（コーデック）表示**
メモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。

34. **ガンマ表示アシスト/基本ルック**
ガンマ表示アシストの状態を表示します。ガンマ表示アシストの表示/非表示は、［Gamma Display Assist］が割り当てられたアサイナブルボタンで切り替えることができます。

35. **記録映像表示**
基本ルックの設定値を表示します。

36. **プロキシ状態**

表示	意味
Proxy	プロキシ記録オン
Proxy Rec	プロキシ記録中
Proxy Rec（点滅）	プロキシ記録準備中

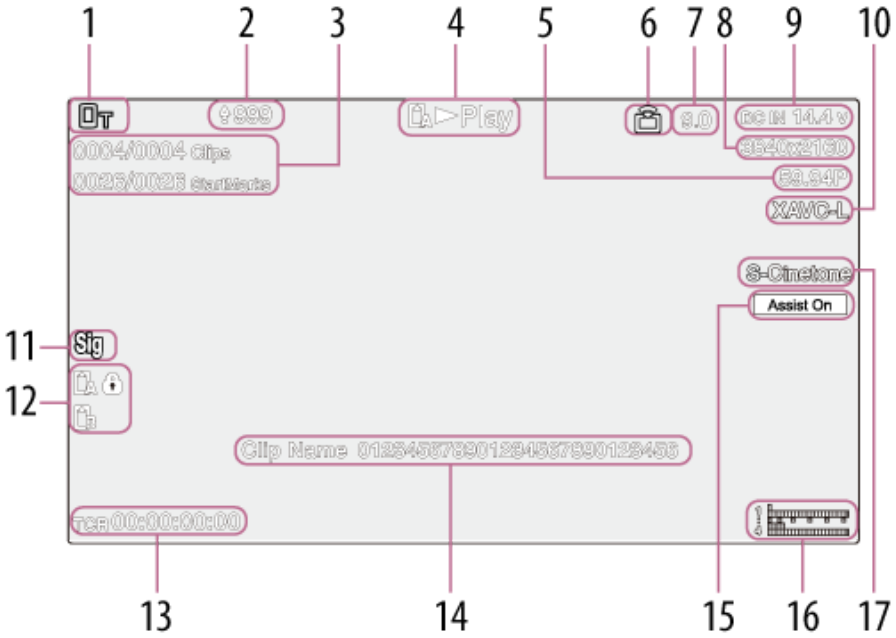
表示	意味
PxChunk	プロキシ分割記録オン
PxChunk Rec	プロキシ分割記録中
PxChunk Rec（点滅）	プロキシ分割記録準備中

37. **4K & HD（Sub）記録表示**
38. **記録フォーマット（フレームレートとスキャン方式）**
39. **記録フォーマット（画サイズ）表示**
    メモリーカードに記録される画サイズを表示します。

40. **リアルタイムトラッキングAF終了ボタン**

再生中の画面に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. **ネットワーク状態**
2. **アップロード中表示/転送ファイル残数**
3. **クリップ番号/クリップ総数**
4. **再生動作状態**
5. **再生フォーマット（フレームレートとスキャン方式）**
6. **ストリーミング状態**
7. **ビットレート**
   SRTストリーミング時に［ARC］が［On］の場合は、ビットレートが表示されます。ビットレートがARC機能によって設定した値より低下すると点滅表示されます。

8. **再生フォーマット（画サイズ）**
9. **バッテリー残量/DC IN電圧**
10. **再生フォーマット（コーデック）**
11. **電子署名表示**
12. **メモリーカード**
    メモリーカードがプロテクトされている場合は、（プロテクト）マークが表示されます。

13. **タイムデータ**
14. **クリップ名**
15. **ガンマ表示アシスト**
    ガンマ表示アシストの状態を表示します。

16. **オーディオレベルメーター**
    再生オーディオレベルを表示します。

17. **再生中クリップの記録ガンマ**
再生中のクリップが［HLG］または［S-Log3］で記録されていた場合に、それぞれ記録ガンマを表示します。

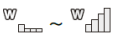
アイコンについて

ネットワーク接続のアイコン

アイコンが点滅しているときは、NETWORKボタンを押して［Network］ステータス画面で状態をご確認ください。
詳しくは「ネットワークの接続状態を確認する」をご覧ください。

ネットワークモード	接続状態	アイコン
アクセスポイントモード	アクセスポイントとして動作中	
	アクセスポイント動作エラー	（アイコン点滅）
ステーションモード	Wi-Fi接続中 電波強度によりアイコンが変化（4段階）	
	Wi-Fi接続切断（準備中含む）	（アイコン点滅）
	Wi-Fi接続エラー	（アイコン点滅）
有線LAN	有線LAN接続中	
	有線LAN切断	（アイコン点滅）
	有線LANエラー	（アイコン点滅）
USBテザリング	USBテザリング接続中	
	USBテザリング切断	（アイコン点滅）
	USBテザリングエラー	（アイコン点滅）
Bluetooth	Bluetooth機能がオン	

UWP-Dシリーズのアイコン

送信機の状態	受信状態	アイコン
電源オフ	未受信	
通常送信状態	受信中	 （受信レベルを4段階で表示）
ミュート状態	受信中（ミュート中）	
バッテリー残量警告状態	受信中	 （アイコン点滅）
ミュート、かつバッテリー残量警告状態	受信中	 （アイコン点滅）

関連項目

- デジタルエクステンダーを使う
- プロキシクリップを分割記録し、転送する
- 「Monitor & Control」と接続する
- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する
- ネットワークの接続状態を確認する
- 基本操作手順
- ゲインを調節する

- ストリーミングする
- スロー＆クイックモーション
- 手ブレ補正を使う
- 残りの記録可能時間を確認する
- ホワイトバランスを手動で調節する
- ルックを選ぶ
- ルックをSceneファイルとして保存する
- ファイルに保存される項目
- サムネイル画面の構成
- 映像信号モニター
- ガンマ表示アシスト機能
- プロキシ記録
- リアルタイムトラッキングAFを終了する

TP1002063826

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

ステータス画面

ステータス画面では、本機の設定や状態を確認することができます。また、*印が付いている項目については設定を変更できます。

ステータス画面を表示させるには

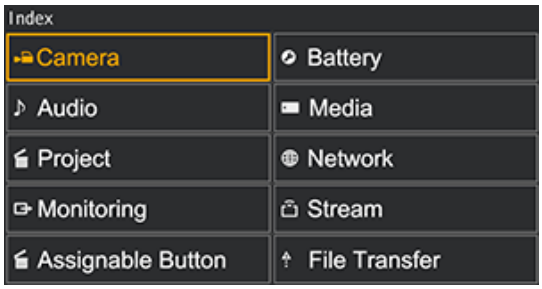
- MENUボタンを押す。

ヒント

- フルメニューの［Technical］ー［Menu Settings］ー［Menu Page On/Off］で、各ステータス画面の表示/非表示を切り替えることができます。

ステータス画面を切り替えるには

- マルチファンクションダイヤルを回す。
- マルチセレクターを上下に操作する。
- ステータス画面を上下にスワイプする。
- ステータス画面を右にスワイプして［Index］画面を表示させ、見たいページを選択する。



ステータス画面を消すには

- MENUボタンを押す。

設定を変更するには

ステータス画面の表示中にマルチファンクションダイヤルやマルチセレクターを押すと、ページ内の設定項目を選べるようになります。ページ番号を選んで押すと、ページ切り替えに戻ります。
なお、タッチ操作で直接選ぶこともできます。

ご注意

- フルメニューの［Technical］ー［Menu Settings］ー［User Menu Only］を［On］に設定すると、ステータス画面で設定変更できなくなります。

［Camera］ステータス画面

主に各種プリセットの状態を表示します。

表示項目	説明
［White Switch<B>］	ホワイトバランスのメモリーBの設定値
［White Switch<A>］	ホワイトバランスのメモリーAの設定値
［White Switch<P>］	［Preset White］の設定値
［ND］<Preset>*	NDフィルターの［Preset］の設定値
［Gain<L>］*	［Gain<L>］の設定
［Gain<M>］*	［Gain<M>］の設定

表示項目	説明
［Gain<H>］*	［Gain<H>］の設定
［Gain<Turbo>］*	［Gain<Turbo>］の設定
［Zebra1］*	ゼブラ1のオン/オフとレベルの設定
［Zebra2］*	ゼブラ2のオン/オフとレベルの設定
［Gamma］	ガンマカテゴリーとカーブ
［Scene File］*	使用中のSceneファイルとそのファイルID

［Audio］ステータス画面

各チャンネルの入力設定、オーディオレベルメーターと音声モニターの設定を表示します。

表示項目		説明
［CH1］	［Level］	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
	［Source］*	入力ソース
	［Reference］*	入力リファレンスレベル
	［Wind Filter］*	マイクの風音低減フィルターの設定
［CH2］	［Level］	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
	［Source］*	入力ソース
	［Reference］*	入力リファレンスレベル
	［Wind Filter］*	マイクの風音低減フィルターの設定
［CH3］	［Level］	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
	［Source］*	入力ソース
	［Reference］*	入力リファレンスレベル
	［Wind Filter］*	マイクの風音低減フィルターの設定
［CH4］	［Level］	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
	［Source］*	入力ソース
	［Reference］*	入力リファレンスレベル
	［Wind Filter］*	マイクの風音低減フィルターの設定
［Audio Input Level］*		音声入力レベル（マスターボリューム）の設定
［HDMI Output CH］*		HDMIに出力される音声チャンネルの設定
［Headphone Out］*		ヘッドホン出力方式の設定
［Monitor CH］*		モニターするチャンネルの設定

［Project］ステータス画面

撮影プロジェクトに関する基本的な設定を表示します。

表示項目	説明
［Frequency/Scan］*	システム周波数と走査方式の設定
［Codec］*	記録するコーデックの設定
［Rec Function］*	特殊な記録機能のオン/オフと主な設定
［Simul Rec］*	2スロット同時記録機能のオン/オフ状態と設定
［Title Prefix］*	クリップ名のタイトル部分
［Video Format］*	メモリーカードに記録する画サイズ
［Clip Continuous Rec］*	クリップコンティニュアスレックモードのオン/オフ
［Picture Cache Rec］*	ピクチャーキャッシュレック機能のオン/オフとキャッシュサイズの設定
［Number］*	クリップ名の最後の数値部分
［Base Setting］	［Target Display］の設定値
［4K & HD (Sub) Rec］*	［4K & HD (Sub) Rec］の設定
［Auto Framing］*	オートフレーミング機能の設定
［Proxy Rec］*	プロキシ記録のオン/オフの設定
［Genlock］	ゲンロック信号の信号源

［Monitoring］ステータス画面

SDI/HDMI出力の設定を表示します。

表示項目		説明
［SDI］	［Signal］*	出力画サイズ
	［Info. Disp.］*	画面表示出力オン/オフ
	［Color Gamut］	色域の設定値の適用状態
［HDMI］	［Signal］*	出力画サイズ
	［Info. Disp.］*	画面表示出力オン/オフ
	［Color Gamut］	色域の設定値の適用状態
［IP/USB］	［Signal］*	出力画サイズ /［Stream］ステータス画面への遷移/［USB Stream］のオン/オフ
	［Info. Disp.］	画面表示出力（［Off］固定）
	［Color Gamut］	色域の設定値の適用状態
［LCD］	［Info. Disp.］	画面表示出力オン/オフ
	［Color Gamut］	色域の設定値の適用状態
［Gamma Display Assist］*		［Gamma Display Assist］のオン/オフ状態

［Assignable Button］ステータス画面

各アサイナブルボタンに割り当てた機能を表示します。

表示項目	説明
1	アサイナブル1ボタンに割り当てられている機能
2	アサイナブル2ボタンに割り当てられている機能

表示項目	説明
3	アサイナブル3ボタンに割り当てられている機能
4	アサイナブル4ボタンに割り当てられている機能
5	アサイナブル5ボタンに割り当てられている機能
6	アサイナブル6ボタンに割り当てられている機能
7	アサイナブル7ボタンに割り当てられている機能
8	アサイナブル8ボタンに割り当てられている機能
9	アサイナブル9ボタンに割り当てられている機能
10	アサイナブル10ボタンに割り当てられている機能
11	アサイナブル11ボタンに割り当てられている機能
［Multi Fn Dial］	マルチファンクションダイヤルに割り当てられている機能
［Grip Dial］	グリップダイヤルに割り当てられている機能

［Battery］ステータス画面

バッテリーまたはDC IN電源の情報を表示します。

表示項目	説明
［Detected Battery］	バッテリーの種類
［Remaining］	残容量（%）
［Charge Count］	充電を行った回数
［Capacity］	残容量（Ah）
［Voltage］	バッテリー電圧（V）
［Manufacture Date］	バッテリーの製造年月日
［Power Source］	電源供給源
［Supplied Voltage］	供給電源電圧

［Media］ステータス画面

メモリーカードの残量および残記録可能時間を表示します。

表示項目	説明
メモリーカードAの情報	スロットAにメモリーカードが挿入されているとき、アイコンを表示する
メモリーカードAの残量メーター	スロットAに挿入されているメモリーカードの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メモリーカードAの残時間	現在と同じ状態でスロットAに挿入されているメモリーカードに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メモリーカードAの初期化ボタン	押すとメモリーカードAを初期化するメニューを表示する
メモリーカードBの情報	スロットBにメモリーカードが挿入されているとき、アイコンを表示する
メモリーカードBの残量メーター	スロットBに挿入されているメモリーカードの残容量を、残比率で表したバーで表示する

表示項目	説明
メモリーカードBの残時間	現在と同じ状態でスロットBに挿入されているメモリーカードに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メモリーカードBの初期化ボタン	押すとメモリーカードBを初期化するメニューを表示する

［Network］ステータス画面

ネットワーク接続の接続状態を表示します。

表示項目	説明
［Wireless LAN］*	無線LANの設定、接続状態
［Wired LAN］*	有線LANの設定、接続状態
［USB］/［USB Stream］/［USB Tethering］*	USB機能の設定、接続状態
［Bluetooth］*	Bluetoothの設定、接続状態
［Show Authentication］	押すと本機に接続するためのユーザー名とパスワードを表示する

ヒント

- ［Status］欄が点滅している場合、点滅部をタップすると対策のヒントが表示される場合があります。詳しくは、「ネットワークの接続状態を確認する」「「Monitor & Control」と接続する」「無線LANでインターネットに接続する」「USBテザリングでインターネットに接続する」「有線LANでインターネットに接続する」をご覧ください。

［Stream］ステータス画面

ストリーミングの状態を表示します。

表示項目	説明
［RTMP/RTMPS Status］*/［SRT-Caller Status］*	ストリーミング機能のオン/オフの設定 ［On］時はストリーミング機能の状態も表示する
［ARC］	［SRT-Caller 1］～［SRT-Caller 3］の自動レート制御機能のオン/オフ状態 ［On］時は自動レート制御の状態も表示する
［Destination］*	ストリーミングの送信先の設定
［Latency］/［TTL］	［SRT-Caller 1］～［SRT-Caller 3］のストリーミングのレイテンシー、TTLの表示
［Destination URL］	ストリーミングの送信先URLの表示
［Codec］	コーデックの表示
［Audio Channel］	音声チャンネルの表示
［Resolution］/［Bit Rate］	ストリーミングの解像度、ビットレートの表示

［File Transfer］ステータス画面

ファイル転送の情報を表示します。

表示項目	説明
［Auto Upload］*	［Auto Upload］のオン/オフ状態
［Auto Upload (Proxy)］*	［Auto Upload (Proxy)］のオン/オフ/分離状態
［Total Transfer Progress］	総ジョブの転送進捗状況

表示項目	説明
［Default Upload Server］*	［Auto Upload (Proxy)］の転送先サーバーの選択
［Job Status(Remain/Total)］	総ジョブ数と残りのジョブ数
［Current File Transfer Progress］	転送中ファイルの転送進捗状況
［Current Transferring File Name］	転送中のファイル名
［Server Address］	ファイル転送先サーバーのアドレス
［Destination Directory］	ファイル転送先サーバーの転送先ディレクトリー

関連項目

- ネットワークの接続状態を確認する
- 「Monitor & Control」と接続する
- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する

TP1002063827

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

電源の準備

バッテリーパック、またはUSB充電器（20V/5A対応品）を介してAC電源を使用できます。
安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック
BP-U35
BP-U70
BP-U100

バッテリーチャージャー
BC-U1A
BC-U2A

⚠警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

- AC電源につないで使うときは、市販のUSB充電器（20V/5A対応品）をご使用ください。
- バッテリーパックやUSB充電器は、必ず本機の電源スイッチを⏻（スタンバイ）の位置にしてから脱着してください。電源スイッチを▌（オン）の位置のまま脱着した場合、まれに起動しなくなることがあります。もし起動しなくなった場合には、電源スイッチを⏻（スタンバイ）の位置にしてからバッテリーパックおよびUSB充電器を一旦取り外し、約30秒放置した後に取り付けてください。（バッテリーパックで動作中の本機にUSB充電器を着脱する場合は、電源スイッチは▌（オン）の位置のままで問題ありません。）

TP1002063828

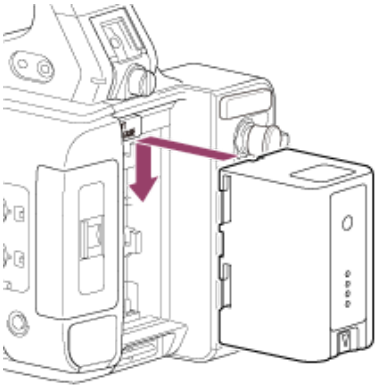
5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

バッテリーパックを使う

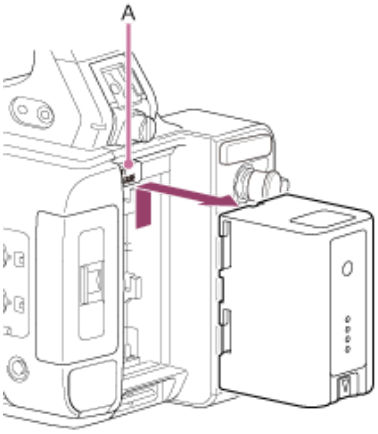
バッテリーパックを取り付ける

バッテリーパックをバッテリーパック装着部の奥まで差し込んで、下にスライドさせてロックする。



バッテリーパックを取り外す

BATT RELEASEボタン（A）を押しながらバッテリーパックを上にスライドさせてロックを外し、引き抜く。



ご注意

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャーBC-U1A/BC-U2Aを使用して充電してください。
- 使用直後などバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影/再生しているときは、LCDモニターにバッテリー残量が表示されます。

アイコン	意味
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%
	30%～11%
	10%～0%

残量は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して、分単位で表示されます。

バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると（［Low Battery］状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリーランプの点滅で警告します。
さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると（［Battery Empty］状態）、バッテリーパックの残りがないことを知らせるメッセージに切り替わります。
充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

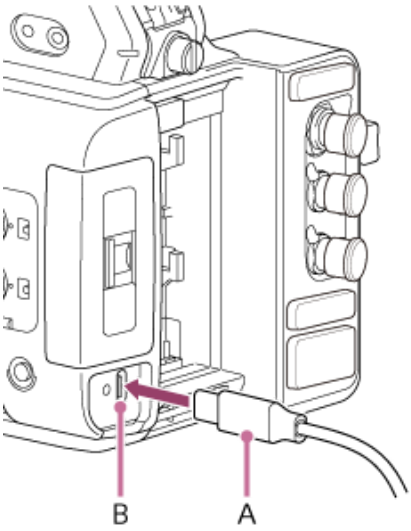
工場出荷時には、［Low Battery］はフル充電の10%、［Battery Empty］は3%に設定されています。これらの設定は、フルメニューの［Technical］－［Camera Battery Alarm］で変更することもできます。

TP1002063971

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

USB充電器を使う

USB充電器（20V/5A対応品）を使ってAC電源に接続すると、バッテリーが切れることを心配しないで使うことができます。



USB充電器（A）を本体のDC IN端子（B）につなぎ、AC電源に接続します。

USB充電器の出力電圧が低下すると

使用中にUSB充電器の出力電圧が一定の値まで低下すると（［DC Low Voltage1］状態）、USB充電器の出力電圧が低下していることを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリーランプの点滅で警告します。
さらに電圧が低下し、動作が継続不可能な状態になると（［DC Low Voltage2］状態）、USB充電器の出力電圧が不足していることを知らせるメッセージに切り替わります。
USB充電器が故障している可能性がありますので、必要に応じて点検を行ってください。

警告電圧を変更する

工場出荷時には、［DC Low Voltage1］は18.5 V、［DC Low Voltage2］は18.0 Vに設定されています。これらの設定は、フルメニューの［Technical］―［Camera DC IN Alarm］で変更することもできます。

USB充電器について

- USB充電器を壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- USB充電器は手近なAC電源を使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにAC電源からプラグを抜き、電源を遮断してください。
- USB充電器のプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- USB充電器をつないでも本機に装着したバッテリーを充電することはできません。
- USB充電器を本体から取り外す際はプラグ部分を持って真っすぐ抜いてください。ケーブル部分を引っ張ると故障の原因になります。
- USB充電器はアダプターとケーブルそれぞれで20V/5A以上に対応したものを使用してください。
- 不具合が生じる可能性があるため、アダプターに複数ポートがある場合でも、本機以外の機器を接続しないでください。

TP1002063830

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

電源を入れる/切る

電源を入れるときは（オン）の位置にします。電源を切るときは（スタンバイ）の位置にします。

ご注意

- 本機は、電源スイッチを（スタンバイ）にした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやUSB充電器は、電源スイッチを（スタンバイ）にして電源ランプが消えてから取り外してください。電源スイッチが（オン）のまま取り外すと、本機やメモリーカードの故障の原因となることがあります。

TP1002063831

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

日付/時刻

本機を初めて使用するときやバックアップ電池が放電してしまった後に、初めて本機の電源を入れるとLCDモニターに初期設定画面が表示されます。
この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

［Time Zone］について

UTC（協定世界時）からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。
マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルで項目や数値を選び、マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを押して決定すると、時計が動き始めます。
設定画面が消えた後は、フルメニューの［Maintenance］－［Clock Set］で［Time Zone］および日時の設定を変更することができます。

ご注意

- 電源が供給されていない（バッテリーパックもUSB充電器も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初期設定画面が表示されます。
- 初期設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。
- 本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。

TP1002063832

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

アクセシビリティ機能の概要

本機には、視覚を補助するためのアクセシビリティ機能が搭載されています。画面を拡大して表示する機能があります。
アクセシビリティ機能は、初期設定画面またはフルメニューの［Maintenance］-［ Accessibility］から設定できます。

画面拡大機能

フルメニューの［Maintenance］－［ Accessibility］－［Enlarge Screen］で、画面拡大機能のオン/オフや拡大倍率などの詳細な設定ができます。

ヒント

- 記録映像、再生映像のほか、一部の表示物は拡大しません。

関連項目

- 画面を拡大表示する

TP1002063833

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

基本動作の設定

撮影を始める前に、運用形態に合わせて、［Project］ステータス画面で基本動作の設定を行います。

関連項目

- ステータス画面

TP1002063834

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

撮影モード

本機では、現場で自在に映像の作り込みができるカスタム撮影に対応しています。
映像規格を選ぶことができます。
フルメニューの［Project］－［Base Setting］－［Target Display］で切り替えます。

- ［SDR］：HD放送の規格に準じた撮影
- ［HDR］：次世代の4K放送の規格に準じた撮影

関連項目

- ガンマ表示アシスト機能
- 映像信号モニター

TP1002063835

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

記録フォーマット

システム周波数

撮影する映像のシステム周波数を切り替えます。
［Project］ステータス画面の［Frequency/Scan］で切り替えます。設定値によっては、切り替えを実行すると本機が自動的に再起動します。

ヒント

- フルメニューの［Project］－［Rec Format］－［Frequency］でも設定できます。

ご注意

- 記録/再生中にシステム周波数を切り替えることはできません。

コーデック

撮影する映像のコーデックを切り替えます。
［Project］ステータス画面の［Codec］で切り替えます。

ヒント

- フルメニューの［Project］－［Rec Format］－［Codec］でも設定できます。

ご注意

- 撮影中/再生中にコーデックを切り替えることはできません。

ビデオフォーマット

撮影する映像のビデオフォーマットの設定を行います。
［Project］ステータス画面の［Video Format］で切り替えます。

ヒント

- フルメニューの［Project］－［Rec Format］－［Video Format］でも設定できます。

ご注意

- 撮影中/再生中にビデオフォーマットを切り替えることはできません。
- ビデオフォーマットの設定によって、SDI OUT端子およびHDMI出力端子からの信号も制限されます。

TP1002063836

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

マイク（別売）を取り付ける

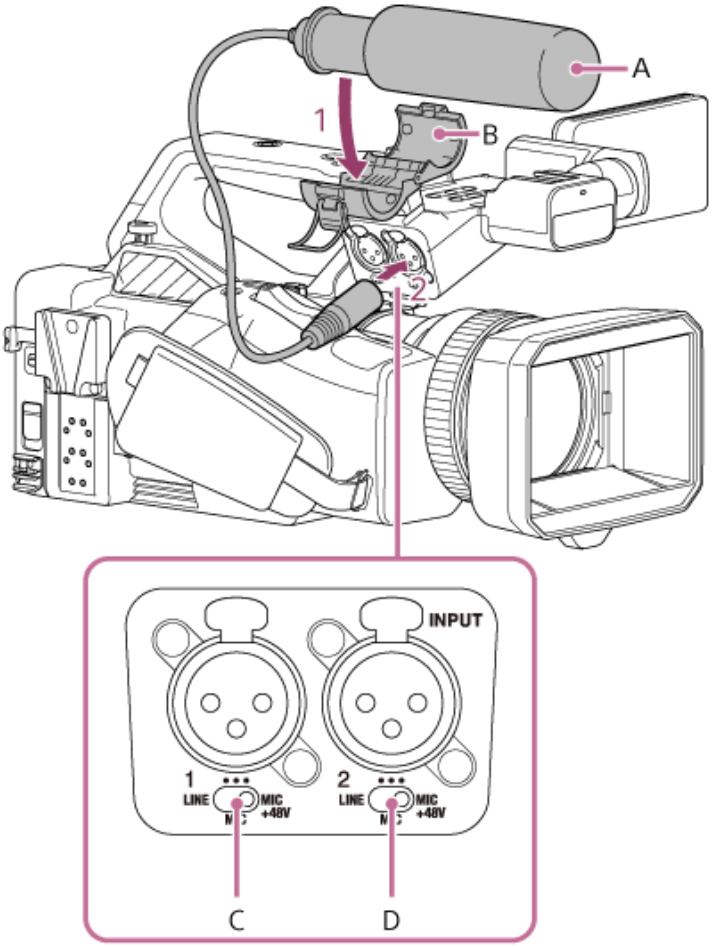
マイク（別売）を取り付けることができます。

1. **マイク（A）をマイクホルダー（B）に取り付ける。**

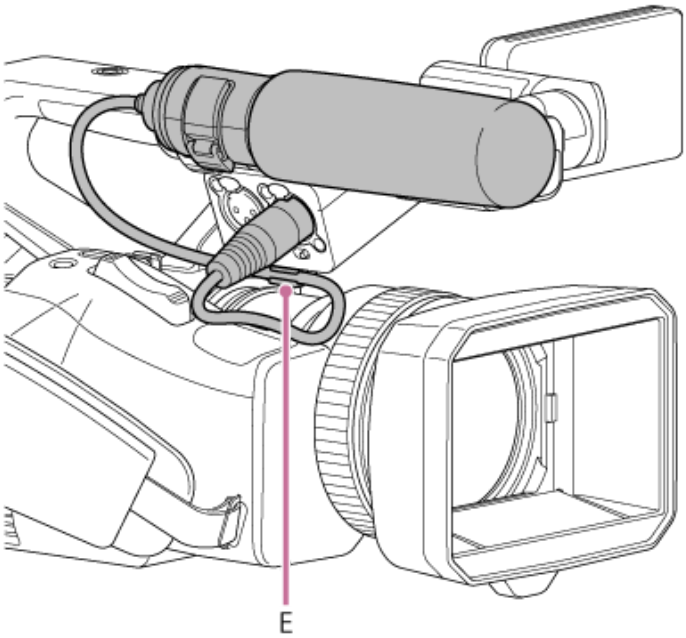
2. **マイクケーブルをINPUT 1端子またはINPUT 2端子に接続する。**

3. **マイクの種類に応じてINPUT 1/INPUT 2スイッチ（C/D）を設定する。**

   MIC：ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク
   MIC+48V: +48V電源（ファンタム電源）対応のマイク



4. **マイクケーブルをケーブルホルダー（E）に取り付ける。**



ヒント

- マイクがしっかりと固定できないときは、マイクに付属のスペーサーを使ってください。
- マイクの先端が写り込んでしまう場合があります。マイクの位置を調整してください。

関連項目

- 収録する音声を設定する
- 音声入力機器を選ぶ
- 録音レベルを自動調節する
- 録音レベルを手動調節する

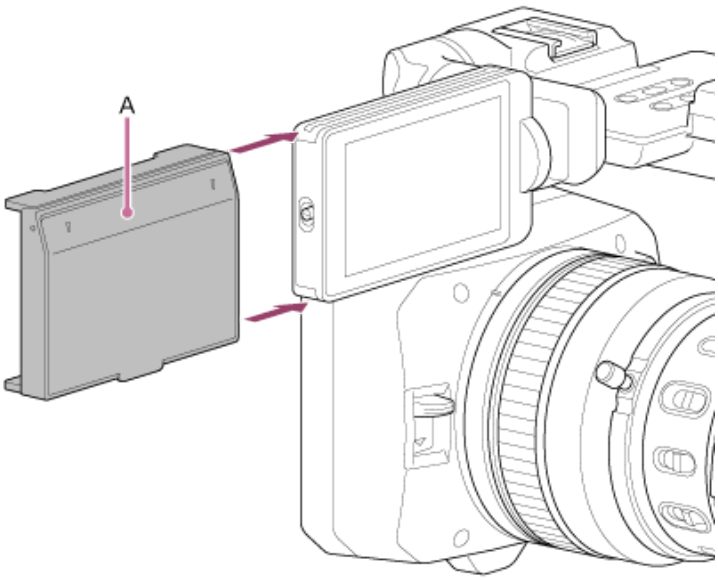
TP1002063837

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

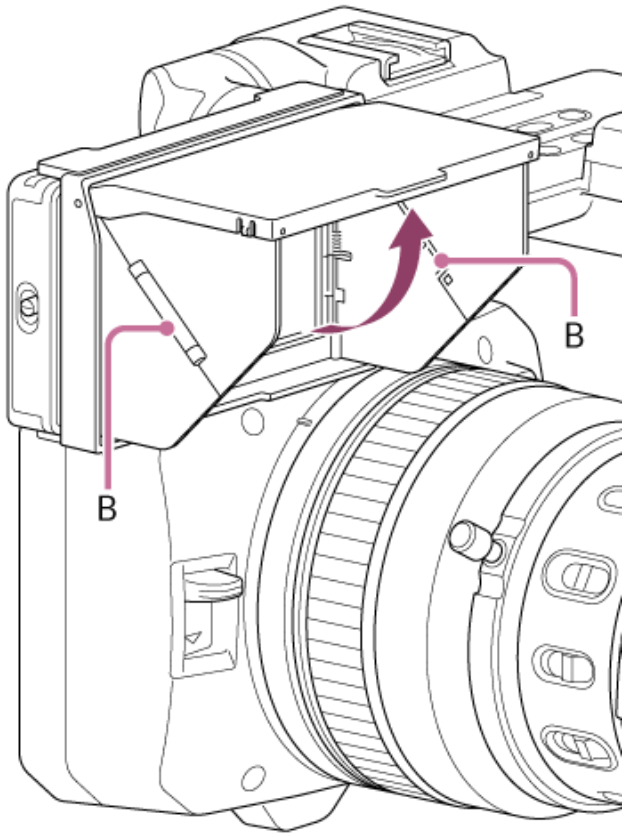
LCDフード（付属）を取り付ける

LCDモニターにLCDフード（付属）を取り付けることができます。
LCDフード（A）を、LCDモニターの上下の溝に左から右へスライドさせて取り付ける。



LCDフードカバーを開く

LCDフードカバーの中央下部を手前に引き、上方に開く。



LCDフードカバーを閉じるときは、左右の（B）を内側へ折りたたんで閉めてください。

ご注意

- LCDモニターを動かすときは、LCDモニター本体を持って動かしてください。LCDフードを持って動かさないでください。

LCDフードを取り外す

LCDフードを取り付けたときと逆の方向に抜き取ります。

ヒント

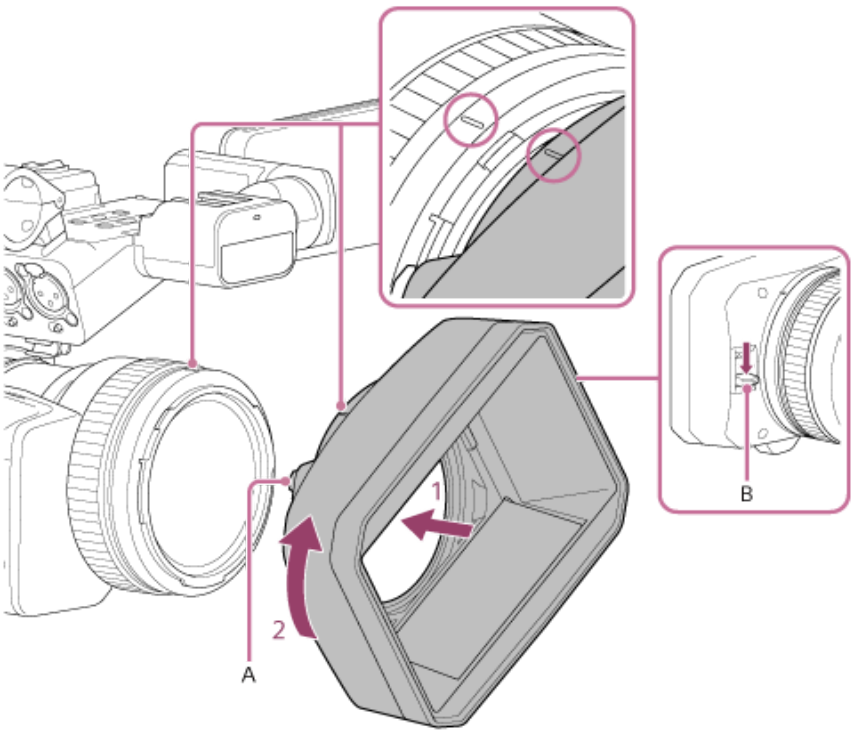
- LCDフードはLCDモニターの背面側に取り付けることもできます。

TP1002063839

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

レンズフード（付属）を取り付ける

レンズフード（付属）を取り付けることができます。
レンズとレンズフードの印を合わせて取り付け（1）、矢印（2）の方向にロックされるまで回す。



ご注意

- 運搬時などご使用にならないときは、レンズフードシャッター開閉スイッチ（B）を下に押し、レンズフードシャッターを閉じてレンズを保護してください。

レンズフードを取り外す

レンズフード取り外しボタン（A）を押しながら、取り付けた方向（2）と反対方向に回す。

TP1002063840

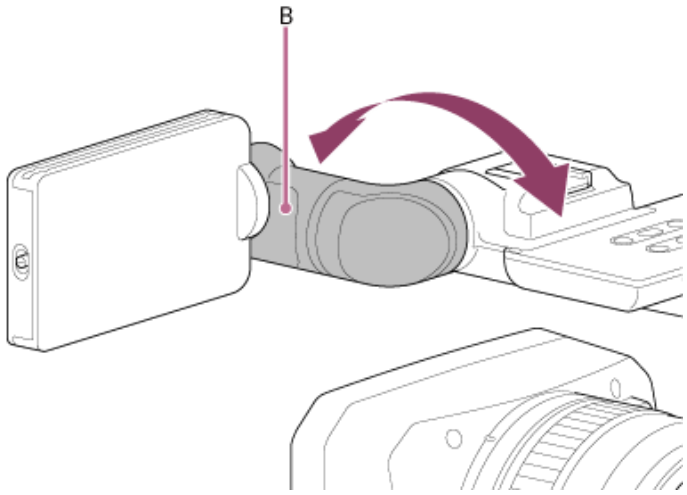
5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

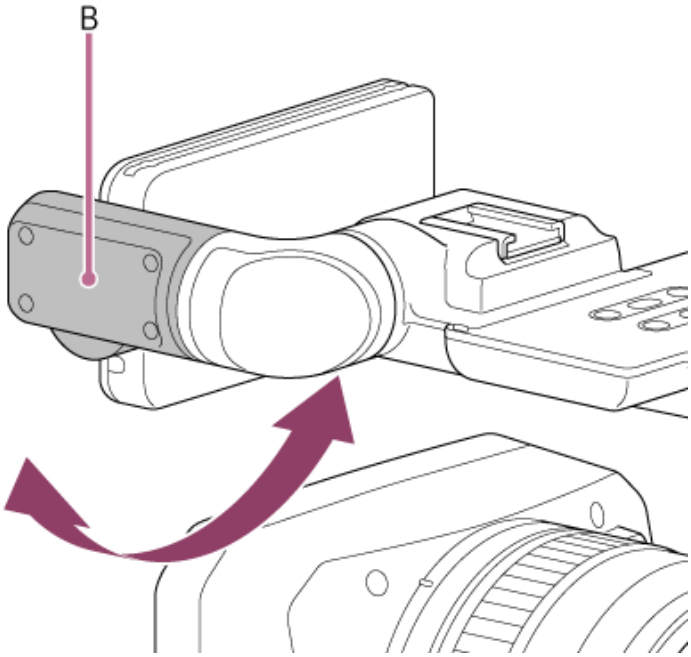
ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

LCDモニターの角度と位置を調節する

LCDモニターの位置を調節する

LCDモニターアーム（B）を前後左右に回して、見やすい位置に調節します。

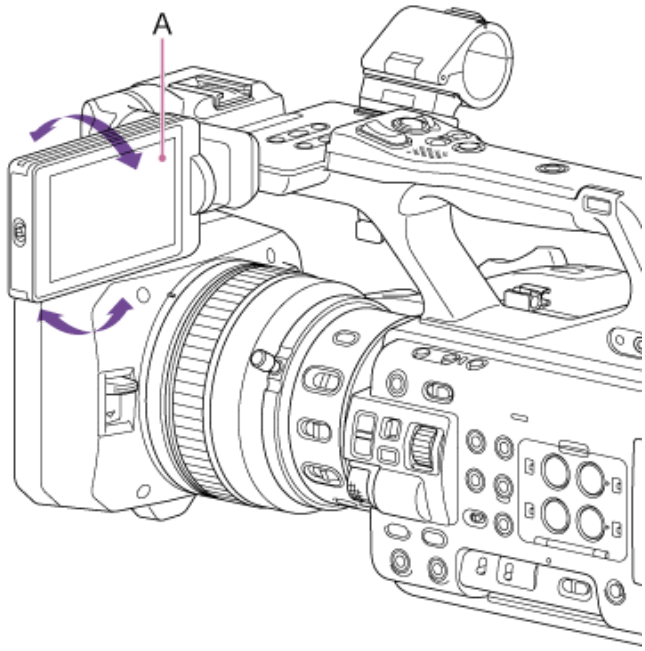




LCDモニターを見やすい角度と位置に調節することができます。

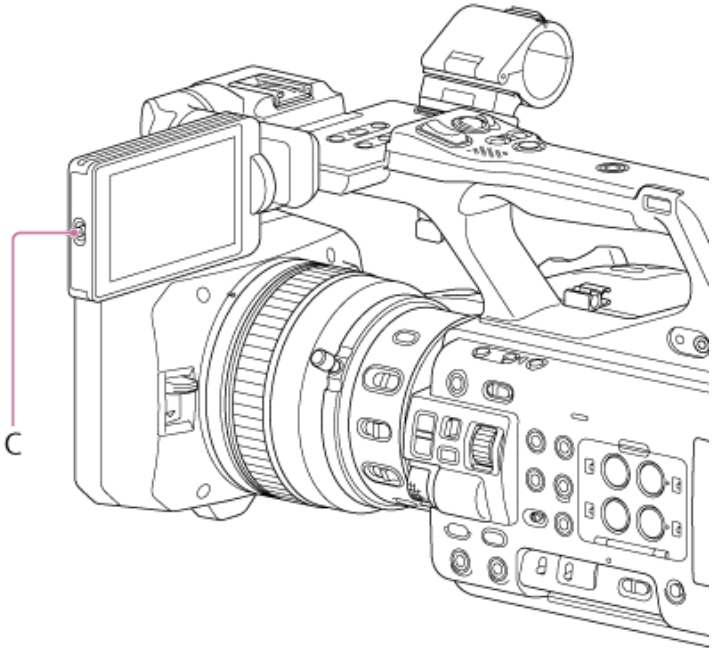
LCDモニターの角度を調節する

LCDモニター（A）を上下方向に回して、見やすい角度に調節します。



画面表示を反転させる

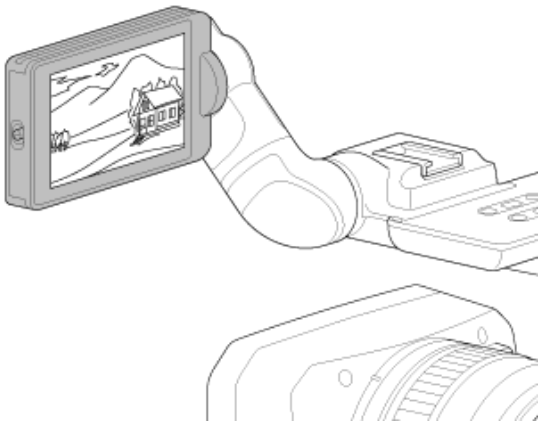
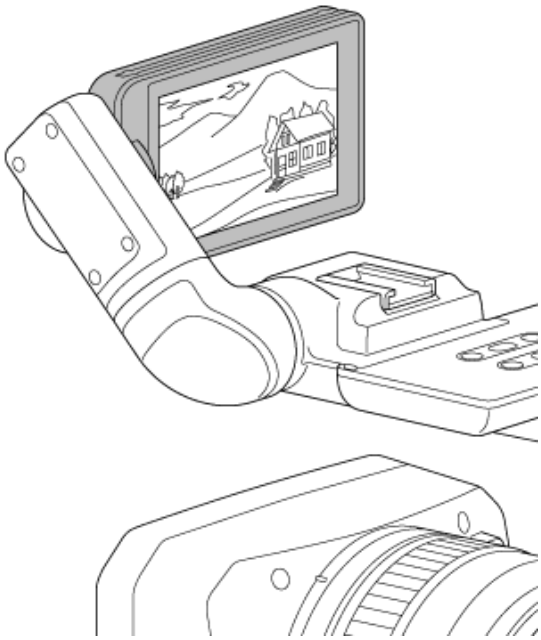
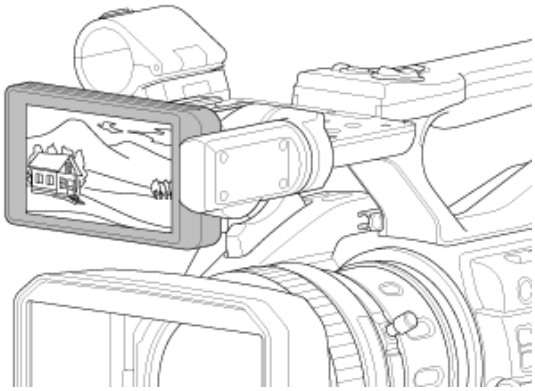
L/R / ROTATEスイッチ（C）で、撮影画面を左右反転させたり、上下左右反転させたりすることができます。
LCDモニターをレンズ側に180°回転させて操作するときに使います。



L/R / ROTATEスイッチ	説明
OFF	撮影画面は反転しません。
L/R	撮影画面は左右に反転します。
ROTATE	撮影画面は上下左右に反転します。

LCDモニターの配置例

角度と位置を調節し、画面の反転状態を設定することで、LCDモニターを下図のように配置することができます。

LCDモニターの向き	説明
LCDモニターがレンズと反対方向を向いた状態（スイッチ：OFF） 	
LCDモニターをカメラの中央に配置し、レンズと反対方向を向いた状態（スイッチ：ROTATE） 	通常の撮影に適した表示です。
LCDモニターをカメラの中央に配置し、レンズ方向を向いた状態（スイッチ：L/R） 	自分撮りに適した表示です。撮影映像は左右反転表示になりますが、再生映像は左右反転されずに表示します。

TP1002063842

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

LCDモニターの明るさを調節する

ハンドル部のLCD ADJUSTボタンを押して、明るさ調節用レベルバーを表示させ、マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルで調節します。
明るさ調節用レベルバーは操作をやめると3秒で非表示になります。
明るさを変えても、記録される映像に影響はありません。

ヒント

- ［LCD Monitor Adjust］を割り当てたアサイナブルボタンでも調節できます。
- フルメニューの［Monitoring］－［LCD Monitor Setting］－［Brightness］でも調節できます。

TP1002063843

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

LCDモニターの画面表示を拡大する

フルメニューの［Maintenance］－［ Accessibility］－［Enlarge Screen］－［Setting］を［Enable］に設定し、［Enlarge Screen Button］で設定したアサイナブルボタンを押すと画面が拡大表示されます。押すたびに倍率が上がり、最後に拡大を解除します。
拡大位置の移動は、LCDモニターのタッチ操作、またはマルチセレクターで行います。メニュー操作はマルチファンクションダイヤルで行います。

ヒント

- ［ Accessibility］－［Enlarge Screen］－［Setting］を［Disable］に設定すると、［Enlarge Screen］に設定していたアサイナブルボタンの機能は工場出荷時の割り当てに戻ります。

ご注意

- タッチ操作で画面拡大倍率を変えることはできません。

関連項目

- 画面を拡大表示する

TP1002063844

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

メモリーカードについて

本機では、撮影した映像/音声を、カードスロット内のCFexpress Type Aメモリーカード（別売）またはSDXCメモリーカード（別売）に記録します。また、プロキシ記録、設定内容の保存/読み出しと、将来のバージョンアップ（ソフトウェアアップデート）時にもこれらのメモリーカードを使用します。

CFexpress Type Aメモリーカードについて

本機に対応のCFexpress Type Aメモリーカード*についての詳細は、下記をご覧ください。
推奨メモリーカードについて
他社製メディアの動作については、各社メディアの取扱説明書やメーカー情報をご確認ください。

* 本書では「CFexpressカード」と表現しています。

SDXCメモリーカードについて

本機に対応のSDXCメモリーカード*についての詳細は、下記をご覧ください。
推奨メモリーカードについて

* 本書では「SDカード」と表現しています。

TP1002063848

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

推奨メモリーカードについて

動作保証条件は［Rec Format］や記録設定によって異なります。

通常記録

✓：動作を保証
x：保証しない

記録フォーマット			[Quality]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
59.94 Hz	XAVC-L	3840×2160P	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080i	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1280×720P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC-I	3840×2160P*1	[High]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
			[Mid]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
			[Low]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080P*2	[High]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080i*2	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1280×720P*2	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	MPEG-HD 422	1920×1080i	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1280×720P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			[Quality]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
50 Hz	XAVC-L	3840×2160P	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080i	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1280×720P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC-I	3840×2160P*1	[High]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P*2	[High]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080i*2	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1280×720P*2	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	MPEG-HD 422	1920×1080i	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1280×720P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			[Quality]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
29.97 Hz	XAVC-L	3840×2160P	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC-I	3840×2160P*1	[High]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P*2	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	MPEG-HD 422	1920×1080P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
25 Hz	XAVC-L	3840×2160P	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC-I	3840×2160P*1	[High]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P*2	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	MPEG-HD 422	1920×1080P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			[Quality]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
23.98 Hz	XAVC-L	3840×2160P	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC-I	3840×2160P*1	[High]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P*2	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	MPEG-HD 422	1920×1080P	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Mid]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			[Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

*1 Class300
*2 Class100

S&Q

✓：動作を保証
x：保証しない

ご注意

- S&Qモードは、インターレースに対応していません。

記録フォーマット			S&Q撮像フレームレート	[Quality]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
59.94 Hz	XAVC-L	3840×2160P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[High]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				[Mid], [Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			100, 120	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
				[Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1280×720P	1-60	[High], [Mid], [Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC-I	3840×2160P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			100, 120	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1280×720P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	MPEG-HD 422	1280×720P	1-60	[High], [Mid], [Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q撮像フレームレート	[Quality]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
50 Hz	XAVC-L	3840×2160P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
				[Mid], [Low]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			100, 120	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
				[Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1280×720P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC-I	3840×2160P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			100, 120	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1280×720P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	MPEG-HD 422	1280×720P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q撮像フレームレート	[Quality]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
29.97 Hz	XAVC-L	3840×2160P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
				[Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			100, 120	[High]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				[Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC-I	3840×2160P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			100, 120	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
	MPEG-HD 422	1920×1080P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
25 Hz	XAVC-L	3840×2160P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
				[Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			100, 120	[High]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				[Mid], [Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC-I	3840×2160P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			100, 120	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
	MPEG-HD 422	1920×1080P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q撮像フレームレート	[Quality]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
23.98 Hz	XAVC-L	3840×2160P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[High]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
				[Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			100, 120	[High]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				[Mid], [Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC-I	3840×2160P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			100, 120	[High], [Mid], [Low]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
	MPEG-HD 422	1920×1080P	1-60	[High], [Mid], [Low]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓

*1 Class300
*2 Class100

TP1002063849

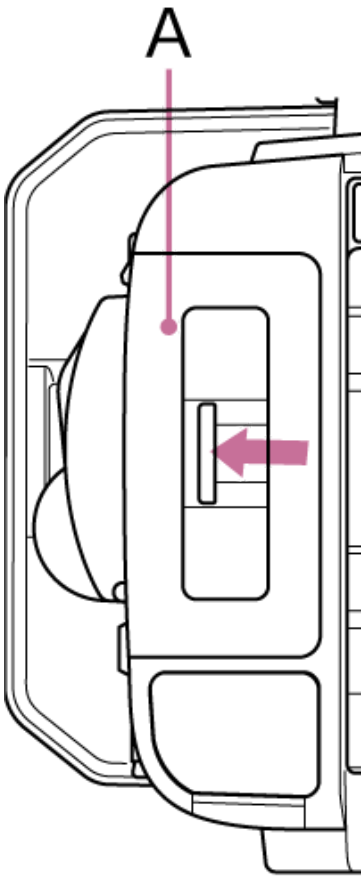
5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

メモリーカードを入れる

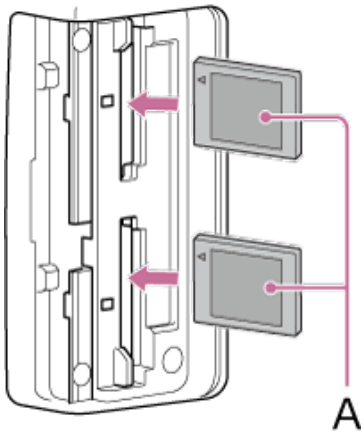
メモリーカードの入れ方を説明します。

1 カードスロットカバー（A）中央のレバーを矢印の方向に押して開ける。

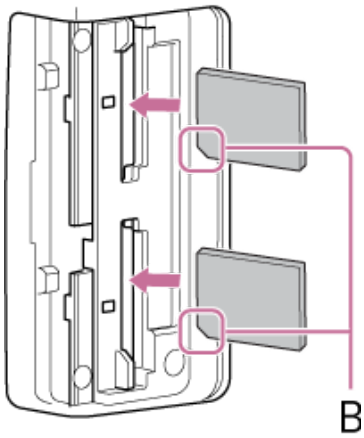


2 メモリーカードを差し込む。

- CFexpressカードの場合はラベル（A）を左にする。



- SDカードの場合はラベルを右にして切り欠き部（B）を下にする。



アクセスランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

ご注意

- アクセスランプの赤い点滅が長く続き緑点灯にならない場合は、一度電源を切りメモリーカードを抜き差しすることで、緑点灯になる可能性があります。

3 カードスロットカバーを閉める。

ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- CFexpress Type A/SDカードスロット（A）/（B）の両方にメモリーカードを挿入して記録を行う際には、どちらのスロットにも、記録するフォーマットに対して動作が推奨されているメモリーカードを挿入してください。

関連項目

- メモリーカードについて

TP1002063850

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

メモリーカードを取り出す

カードスロットのカードスロットカバーを開け、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 記録終了後にメモリーカードを取り出した際、メモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

TP1002063851

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

メモリーカードを初期化する

フォーマットされていないメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたメモリーカードを装着すると、メッセージがLCDモニターに表示されます。
下記の手順に従ってフォーマットしてください。

1. **［Media］ステータスで初期化したいメモリーカードの［Format］を選択し、［Full Format］または［Quick Format］を選択する。**
   確認メッセージが表示されます。

   - ［Full Format］：メモリーカードのデータ管理情報だけでなくデータ領域を含む全体を初期化します。
   - ［Quick Format］：メモリーカードのデータ管理情報を初期化します。

   ご注意
   - フォーマット対象のメモリーカードに転送対象ファイルが存在する場合は、確認メッセージの下に補足メッセージ（表示例：［A transfer target file exists.］）が表示されます。この場合は、メモリーカードを初期化してよいかどうかを確認してから、初期化を実行またはキャンセルしてください。

2. **［OK］を選択する。**
   実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。
   フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、マルチファンクションダイヤルを押して消します。

ヒント
- フルメニューの［TC/Media］－［Format Media］でも実行できます。

ご注意
- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- フォーマットの処理時間によっては、実行中のメッセージが表示されない場合があります。

フォーマットできなかったときは

本機で使用できないメモリーカードはフォーマットできません。
警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるメモリーカードに交換してください。

本機でフォーマットしたメモリーカードを他の機器で使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

TP1002063852

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、撮影画面のメディア残量表示で、各スロットに装着したメモリーカードの残量を確認することができます。
現在設定されている記録フォーマットで撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメモリーカードの残量から計算して分単位で表示します。

メモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分を切ると、［Media Near Full］が表示され、記録/タリーランプの点滅とブザー音（ヘッドホン出力）で警告します。空きのあるメモリーカードに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、［Media Full］の表示に変わり記録が停止します。

ヒント

- 1枚のメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。

TP1002063853

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

基本操作手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

1. **必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。**
2. **必要なメモリーカードを入れる。**
   メモリーカードはA/B両方のカードスロットに入れておくと、1枚目の残量がなくなった時点で自動的に2枚目に切り替わります。
3. **電源スイッチをオンにする。**
   電源ランプが点灯して、LCDモニターに撮影画面が表示されます。
4. **グリップまたはハンドルの録画START/STOPボタンを押す。**
   記録/タリーランプが点灯して、撮影が始まります。
5. **撮影を終了するときは、もう一度録画START/STOPボタンを押す。**
   撮影が停止し、本機は［Stby］（記録待機）モードになります。

ご注意

- 電源を入れてから数秒以内に録画START/STOPボタンを押すと、記録/タリーランプが点灯し録画状態になりますが、選択している記録フォーマットによっては最初の数秒間はメモリーカードに記録されない場合があります。

FULL AUTOモードで撮影する

AUTO/MANUALスイッチをAUTOにすると、オートNDフィルター/オートアイリス/オートゲインコントロール/オートシャッター/ATWモードが有効になり、明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます。
それぞれをマニュアルで調節したいときは、AUTO/MANUALスイッチをMANUALにしてください。

ご注意

- ［Auto ND Filter］は、NDバリアブルモードで［ND Filter Position］を［On］にしたときに働きます。ND PRESET/VARIABLEスイッチをVARIABLEにしておき、被写体の明るさに応じてND FILTER POSITION上下ボタンを押して、［On］/［Clear］を手動で切り替えてください。

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する

カードスロットA/Bの両方にメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカードA（またはメモリーカードB）の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります（リレー記録）。
メモリーカードが切り替わるたびに、記録済みのメモリーカードを新しいメモリーカードに交換することで、中断することなく撮影を続けられます。

ヒント

- 記録中にSLOT SELECTボタンを押すと、記録先をもう一方のメモリーカードへ手動で切り替えることができます。

ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、アクセスランプが消灯しているカードスロットのみ行ってください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のカードスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、メッセージが表示されます。メモリーカードが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、続けて撮影ができない場合があります。正しく行うには、撮影開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Catalyst Browse」を使用してください。ご使用の前には、「Catalyst Browse」の動作環境を確認してください。
- SDカードを使ってリレー記録を行う場合は、同じ種類のSDカードを使用してください。

- 非推奨メモリーカードが装着されている場合は、リレー記録はできません。
- インターバルレックモードでは、リレー記録はできません。
- 4K & HD (Sub) 記録モードでは、リレー記録はできません。
- 電子署名機能がオンの場合は、リレー記録はできません。

クリップについて

クリップ

撮影を停止すると、開始から停止までの映像/音声/付随データが、ひとつの「クリップ」としてメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、フルメニューの［TC/Media］–［Clip Name Format］で設定された形式でクリップ名がつけられます。

クリップの最大記録時間

クリップの最大記録時間は、記録フォーマットにより異なりますが、最大6時間です。新規のクリップに記録を継続します。ただし、記録設定の状態によっては、記録を継続せずに終了します。

音声を聞く

記録される音声をヘッドホンでモニターできます。
ヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、記録される音声をモニターできます。また、再生時は内蔵スピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。
モニターするチャンネルの選択は、［Audio］ステータス―［Monitor CH］またはフルメニューの［Audio］–［Audio Output］–［Monitor CH］で行います。

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、フルメニューの［TC/Media］–［Timecode］で設定します。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとしてクリップに付加できます。ユーザービットを現在時刻に設定することも可能です。［TC/Media］–［Users Bit］で設定します。

タイムデータを表示する

表示するタイムコードは、フルメニューの［TC/Media］–［TC Display］–［Display Select］で設定します。
［DURATION/TC/U-BIT］機能が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、表示がタイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

タイムコードの入力/出力を切り替える

REF/TC IN/OUTスイッチで、タイムコードの入力/出力を切り替えることができます。

記録内容を確認する

レックレビューモードを使うと、直前に記録したクリップの映像を画面で確認することができます。

ご注意

- 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。

レックレビューの方法

事前にアサイナブルボタンのいずれかに［Rec Review］を割り当てておきます。
記録を停止したら、［Rec Review］が割り当てられたアサイナブルボタンを押します。すると、直前に記録したクリップの再生が始まります。
クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、［Stby］（記録待機）モードに戻ります。

レックレビューを中止するには

［Rec Review］が割り当てられたアサイナブルボタンまたはCANCEL/BACKボタンを押します。

レックレビューの設定

フルメニュ―の［Technical］－［Rec Review］の設定により、再生開始位置を次のいずれかに設定できます。

- クリップの最後の3秒
- クリップの最後の10秒
- クリップの先頭から

ヒント

- 撮影した複数のクリップから任意のクリップを確認したい場合は、THUMBNAILボタンを押してサムネイル画面からクリップを選択して再生を開始することができます。

関連項目

- クリップを再生する

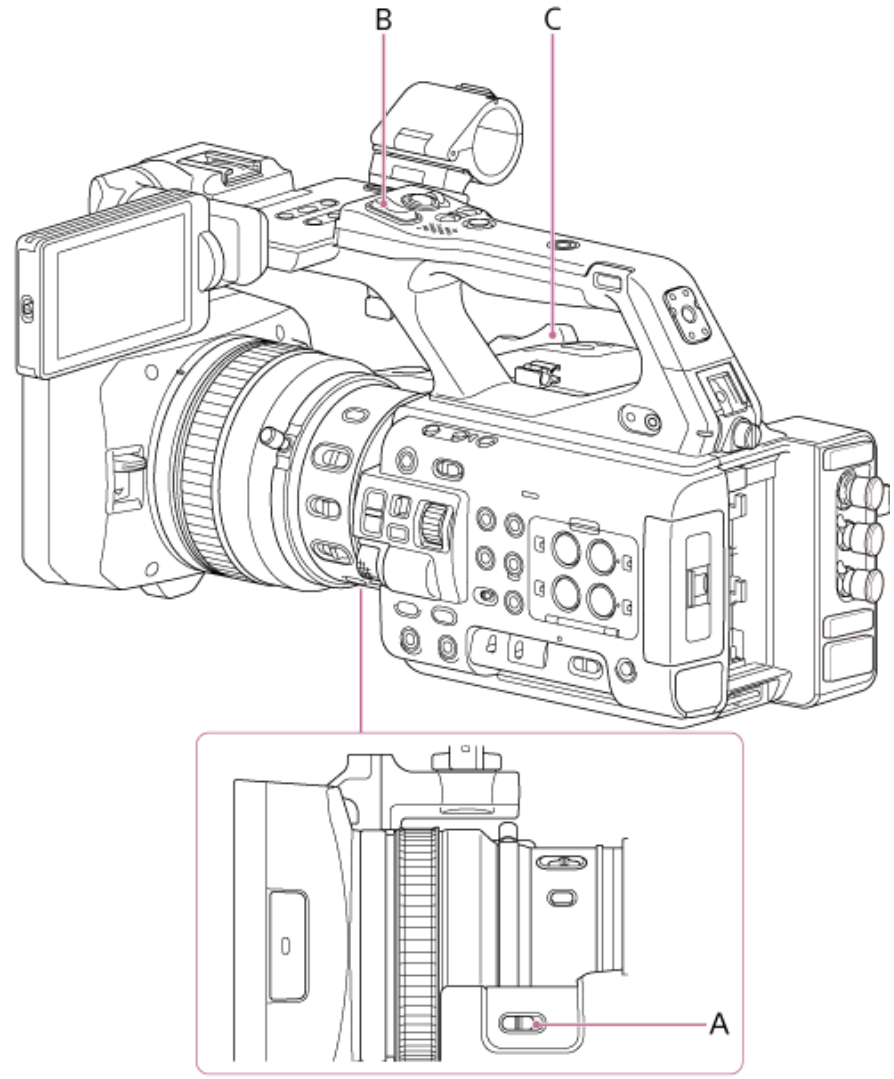
TP1002063854

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

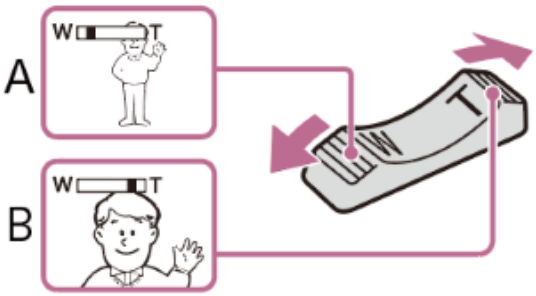
ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

ズームレバーでズームする

ズームサーボスイッチ（A）をSERVOにして、ハンドルズームレバー（B）またはグリップズームレバー（C）でズーム操作ができます。



ズームレバーを浅く押し込むとゆっくり、深く押し込むと速くズームします。
ハンドルズームレバーの場合は、あらかじめフルメニューの［Technical］－［Handle Zoom］－［Setting］を［Variable］に設定してください。



A：Wへ押すと広角になる
B：Tへ押すと望遠になる

ヒント

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約100cm以上です。
- 被写体との距離が100cm以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- ズームレバーから指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバーの操作音が記録されることがあります。

関連項目

- ハンドルズームレバーでズームする

TP1002063855

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

デジタルエクステンダーを使う

本機は最大4倍のデジタルエクステンダー機能を搭載しています。非連続な切り替えとなります。
［Digital Extender］、［Digital Extender ×2］、［Digital Extender ×3］または［Digital Extender ×4］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、画面中央部を下記の倍率で拡大します。

設定	記録解像度	拡大倍率
［Digital Extender］	FHD	2倍→3倍→4倍
	QFHD	1.5倍
［Digital Extender ×2］*	FHD	2倍
［Digital Extender ×3］*	FHD	3倍
［Digital Extender ×4］*	FHD	4倍

* QFHDのときは、この機能は使用できません。

ご注意

- 以下のとき、デジタルエクステンダー機能は使用できません。
  - シャッタースピードが64F～2Fのとき
  - スロー&クイックモーションモードがオンで、撮影フレームレートが60 fps超のとき
  - スローシャッター中
  - オートフレーミング中
- 以下のとき、［Digital Extender ×2］、［Digital Extender ×3］、［Digital Extender ×4］を使用できません。
  - RTMP/RTMPSまたはSRTの解像度が3840×2160に設定されているとき
  - フルメニューの［Monitoring］－［USB Stream］－［Setting］が［On］で、［Format］が3840×2160Pに設定されているとき

TP1002063856

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ハンドルズームレバーでズームする

ズームサーボスイッチをSERVOにして、ハンドルズームレバーでズーム操作ができます。
フルメニューの［Technical］－［Handle Zoom］でハンドル部のズームレバーの動作を設定できます。

1. フルメニューの［Technical］－［Handle Zoom］－［Setting］で、ハンドルズームの動作を［Low］、［High］、［Variable］のいずれかに設定する。
2. ハンドルズームレバーを押してズームする。
   - ［Variable］にすると、押し具合によってズームスピードが変化します。
   - ［Low］または［High］にすると、押し具合に関わらず一定のスピードで動きます。［Handle Zoom］の［Low］または［High］で、スピードを指定することができます。
   - アサイナブルボタンに［Handle Zoom］を割り当てておくと、このボタンを押すたびにハンドルズームの動作を切り替えることができます。

ご注意

- ハンドルズームの動作が［Off］に設定されていると、ハンドルズームレバーは使えません。
- ズームスピードが低速のときにズーミングにむらが出ることがあります。

関連項目

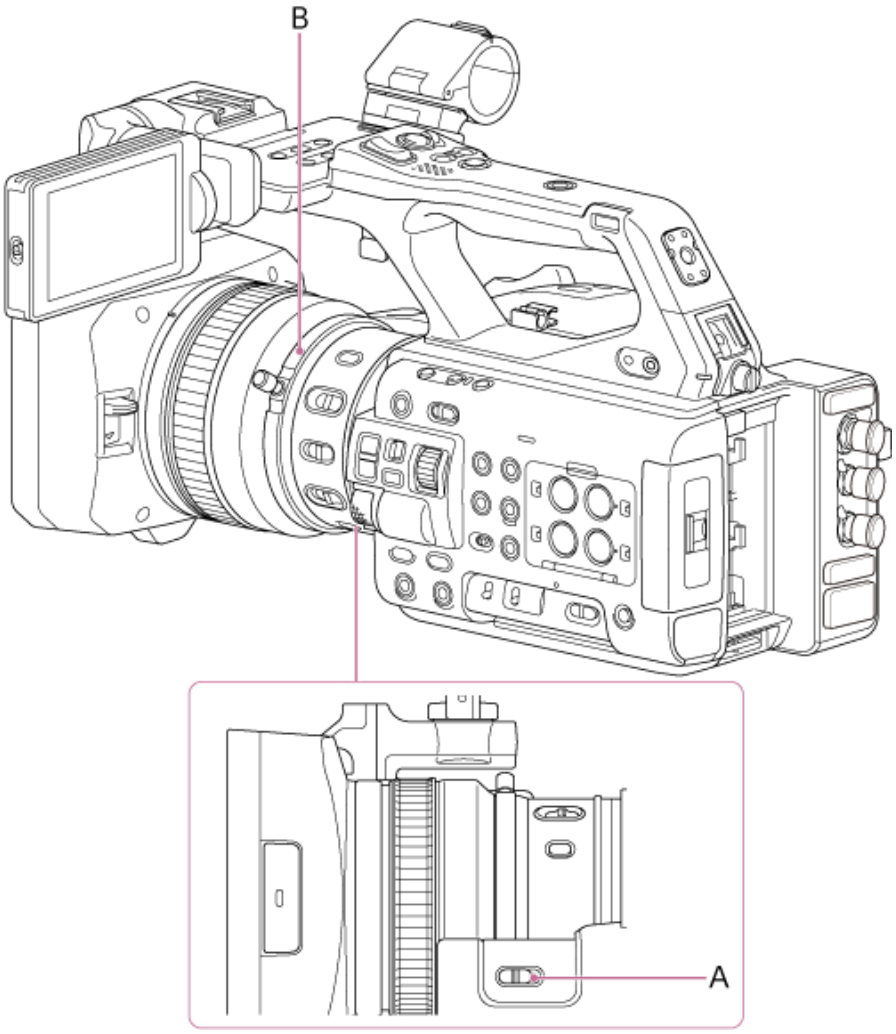
- ズームレバーでズームする

TP1002063857

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ズームリングでズームする

ズームサーボスイッチ（A）をMANUALにして、ズームリング（B）を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。



ご注意

- ズームリングは適度な速さで回してください。速すぎると、ズームの駆動音が記録されることがあります。
- ズームサーボスイッチをSERVOにしてズームリング操作をしないでください。無理に回すとレンズが破損する恐れがあります。

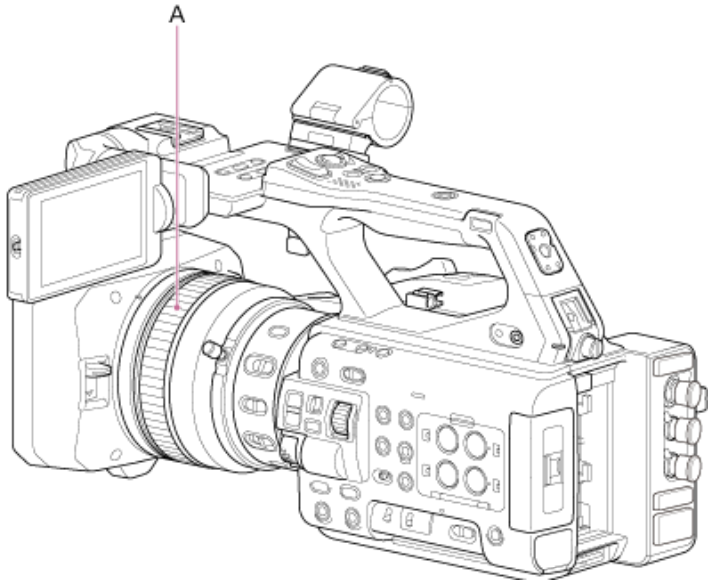
TP1002063858

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

フォーカスを手動調節する

Full MFモードで調節する

フォーカスリング（A）を後方（本体側）に引くと、常に手動でフォーカスを合わせるFull MF（フルマニュアルフォーカス）モードになります。
LCDモニターの画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。
Full MFモードでは、フォーカスリングに印字されている距離指標の目盛りを使用してフォーカスを合わせることができます。



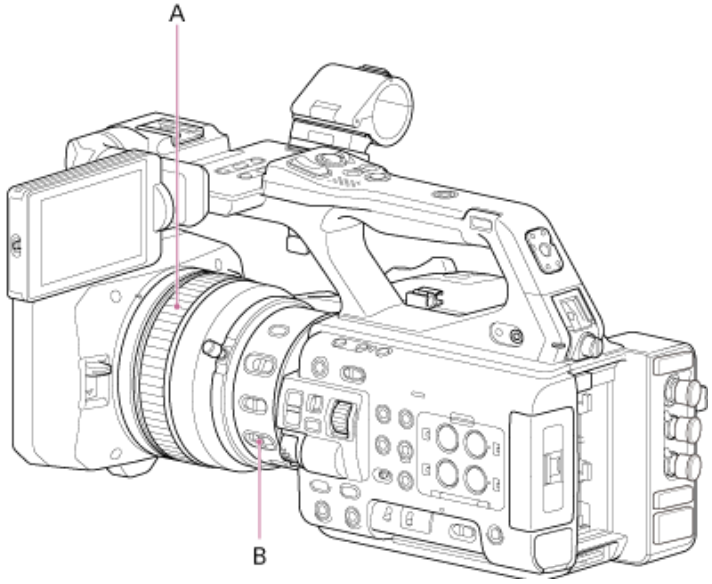
フォーカスの合う距離は、距離指標の位置に対応します。

ご注意

- フォーカスリングを回すときは、両端に強く当てないでください。
- Full MFモード中は、オートフォーカス、プッシュオートフォーカスは使用できません。

MFモードで調節する

必要なときのみオートフォーカスを働かせることができるMF（マニュアルフォーカス）モードです。 フォーカスリング（A）を前方（レンズフード側）にスライドさせ、FOCUSスイッチ（B）を MANUALにします。
撮影状況に応じて、フォーカスリング（A）を回して手動でフォーカスを合わせることができます。



以下のようなときに使います。

- 水滴の多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にフォーカスを手前の被写体から奥の被写体に送るとき
- 外気温の大きな変化により、フォーカスのピントが外れたとき（レンズの温度特性による変化時）

ヒント

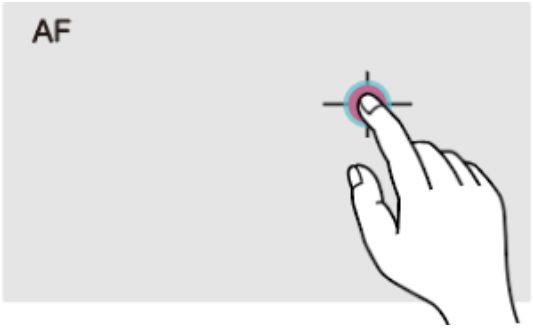
- 手動調節を基本オペレーションとして、FOCUSスイッチをAFに設定することにより、オートフォーカスを補助的に効かせることもできます。

TP1002063859

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

タッチ操作でフォーカスを合わせる

マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたい位置をタッチ操作で指定すると、フォーカスを合わせることができます。
詳しくは「リアルタイムトラッキングAFを開始する」をご覧ください。
1回だけピントを合わせてマニュアルフォーカスに戻したい場合は、スポットフォーカスを使用します。
スポットフォーカスを使用するには、［Shooting］－［Focus］－［Touch Function in MF］を［Spot Focus］に設定します。
ピントを合わせたい位置をタップすると、スポットフォーカスマークが表示されます。



ご注意

- スポットフォーカス中にFOCUS PUSH AUTOボタンを押すとスポットフォーカスを終了し、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。［Push AF/Push MF］を割り当てたアサイナブルボタンでも同様の操作ができます。
- ピント拡大中、またはフルメニューの［Technical］－［Touch Operation］を［Off］に設定しているときは、スポットフォーカスの位置指定操作はできません。

関連項目

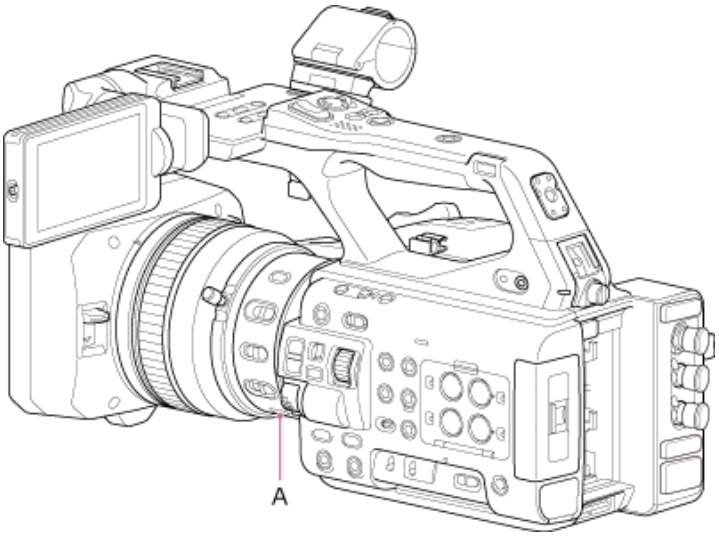
- タッチパネルの使いかた

TP1002063860

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

一時的に自動でフォーカスを合わせる

マニュアルフォーカス中に、FOCUS PUSH AUTOボタン（A）または［Push AF/Push MF］が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。



フルメニューの［Shooting］－［Focus］－［Focus Area］で設定したフォーカスエリア内でフォーカスを合わせます。
ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。
マニュアルフォーカス中に、ある被写体から別の被写体にフォーカス送りするような場合に有効です。

TP1002063861

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

拡大表示をしてフォーカスを合わせる

工場出荷時はグリップのASSIGN（アサイナブル）4ボタンとハンドルのASSIGN（アサイナブル）9ボタンに［Focus Magnifier ×3/×6］が割り当てられています。
ASSIGN（アサイナブル）4ボタンまたはASSIGN（アサイナブル）9ボタンを押すと、LCDモニターがピント拡大画面に切り替わり、画面中央が約3倍に拡大されます。もう一度押すと約6倍に拡大されます。フォーカスが合っているかを確認するときに便利です。
もう一度押すと元に戻ります。
ピント拡大中にマルチセレクターで拡大位置を移動できます。マルチセレクターを押すと中央に戻ります。

ご注意

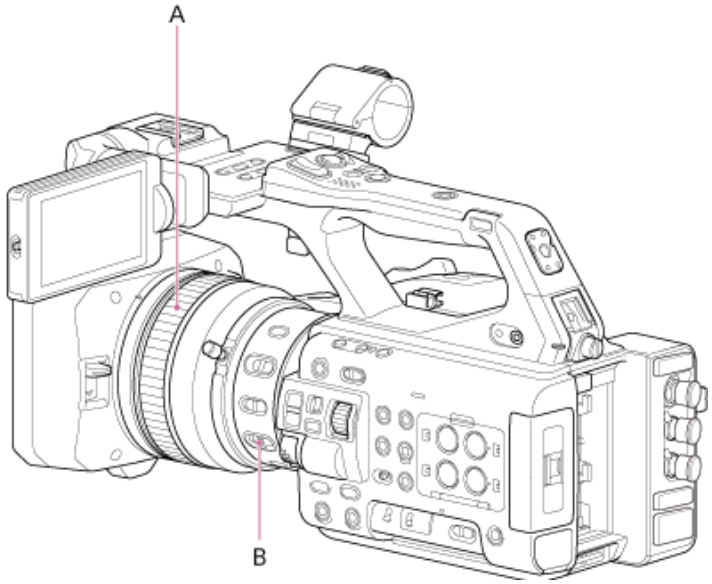
- ピント拡大で表示されていても、記録される画像やSDI出力、HDMI出力の画像は拡大されません。
- 拡大位置は本機の電源をオフにすると画面中央に戻ります。

TP1002063862

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

フォーカスを自動調節する

本機は、高い精度でフォーカスを合わせることに優れるコントラストAF方式を採用しています。
フォーカスを自動調整するには、フォーカスリング（A）を前方（レンズフード側）にスライドさせ、FOCUSスイッチ（B）をAUTOの位置にします。



ご注意

- 撮影状況により精度が出ない場合があります。

TP1002063863

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

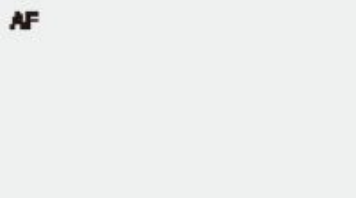
ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

オートフォーカスの対象領域/位置を設定する

フルメニューの［Shooting］–［Focus］–［Focus Area］でオートフォーカスの対象とする領域を設定できます。

［Wide］

映像全域からフォーカスを合わせる位置を探します。枠は表示されません。

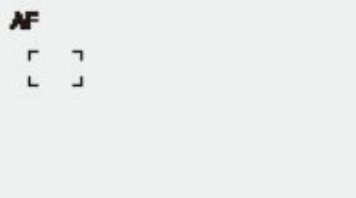


［Zone］

指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる位置を探します。
選択後、マルチセレクターで位置を指定します。
マルチセレクターを長押しすると中央の位置に戻ります。

［Flexible Spot］

映像の指定した位置にフォーカスを合わせます。
選択後、マルチセレクターで位置を指定します。
マルチセレクターを長押しすると中央の位置に戻ります。



ヒント

- フルメニューの［Monitoring］–［Display On/Off］–［Focus Area Indicator］で、フォーカス領域の枠を表示/非表示にすることができます。

ご注意

- フォーカス領域の枠はDISPLAYボタンでは非表示になりません。

TP1002063864

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

フォーカスエリアをすばやく変更する

アサイナブルボタンに［Focus Setting］を割り当てると、撮影中などにオートフォーカスの対象領域（フォーカスエリア）の位置や大きさをすばやく変更することができます。
［Focus Area］の設定により動作が変わります。

［Focus Area］–［Wide］の場合：

［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンの長押しによるフォーカスエリアの大きさ変更のみ可能です。［Focus Area］を［Flexible Spot］または［Zone］に設定すれば、続けて位置変更も可能です。

［Focus Area］–［Zone］または［Flexible Spot］の場合：

［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、マルチセレクターでフォーカスエリアの位置を変更することができます。
位置変更中にマルチセレクターを押すと、フォーカスエリアの位置が中央に戻ります。
［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンを長押しするとフォーカスエリアの大きさを変更することができます。
大きさを変更後、マルチセレクターを押すとフォーカスエリアの位置を設定します。
設定の変更が終了したら、［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンを押して元の画面に戻ります。

ヒント

- フォーカスエリアの位置変更が可能な場合は、フォーカスエリア枠がオレンジ色で表示されます。

TP1002063865

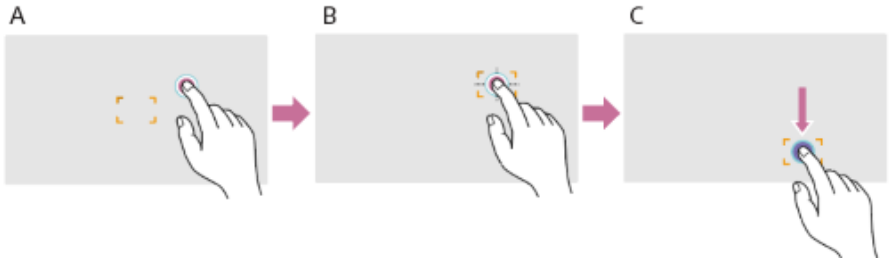
5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する

［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンを押すなどしてフォーカスエリアの表示をオレンジにしたとき、タッチ操作で移動できます。
タップした場所をフォーカスエリアの中心とし、フォーカスエリアの位置を移動します。ドラッグすると、フォーカスエリアの位置は指の動きに追従して移動します。

ヒント

- 撮影画面では［Focus Setting］を割り当てたアサイナブルボタンの操作で、タッチフォーカス操作の有効/無効を切り替えることができます。



A：任意の位置をタップする
B：タップした位置をフォーカスエリアの中心として位置を移動する
C：ドラッグで指先を追従し、フォーカスエリアの位置を移動する

ご注意

- タップまたはドラッグした位置がフォーカスエリアの位置の設定範囲を超えた場合、フォーカスエリアの位置は設定範囲内の上下左右端に設定されます。
- 以下の場合、この機能は使えません。
  - フルメニューの［Technical］－［Touch Operation］を［Off］に設定した場合
  - フォーカスエリア枠がグレーまたは非表示の場合

関連項目

- タッチパネルの使いかた

TP1002063866

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

一時的に手動でフォーカスを合わせる

オートフォーカス中に、FOCUS PUSH AUTOボタンを押すと、そのボタンを押している間はマニュアルフォーカスになります。
ボタンから指を離すと、オートフォーカスに戻ります。
被写体の手前を撮影対象でないものが横切るときなどに、一時的にオートフォーカスを止めて手動でフォーカスを合わせることができます。

ヒント

- ［Push AF/Push MF］が割り当てられたアサイナブルボタンでも同様の動作が可能です。
- リアルタイムトラッキングAF中の場合、リアルタイムトラッキングAFを終了します。

TP1002063869

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

人物を検出して追尾する

人物を追尾対象として検出し、フォーカスエリア内にある顔や瞳、頭にフォーカスを合わせ続けることができます。
フォーカスモードがオートフォーカスモードまたはプッシュオートフォーカス中のみ使用できます。
人物の顔/瞳/頭を検出すると灰色の被写体認識枠が表示されます。オートフォーカスの対象と判断されると、枠が白色になり、追尾が開始されます。
よりピンポイントな認識部位（瞳など）が認識された場合は、その部位が自動的に優先されて認識枠が表示されます。
複数の人物を検出したときは、主な被写体は自動的に決定します。

ヒント

- フォーカスエリアが［Zone］または［Flexible Spot］に設定されているときは、設定したフォーカスエリアの範囲に人物が重なっているときに、認識した被写体の部位（顔や瞳、頭）に認識枠が表示されます。

フルメニューの［Shooting］－［Focus］－［Subject Recognition AF］で、被写体認識AFの動作を設定します。
［Human Only AF］：
カメラが被写体（人物）を検出したとき、人の顔/瞳/頭にフォーカスを合わせて追尾します。
顔/瞳/頭を検出しない間は、オートフォーカスモードが一時停止し、人物限定AF中の[!]（オートフォーカス一時停止アイコン）が表示されます。顔/瞳/頭だけにフォーカスを合わせて追尾したいときに有効なモードです。
［Human Priority AF］：
カメラが被写体（人物）の顔/瞳/頭を検出したとき、人の顔/瞳/頭に優先的にフォーカスを合わせて追尾します。顔/瞳/頭を検出しないときは、映像のどこかにフォーカスがあった状態にします（初期設定）。
［Off］：
被写体認識AF機能を無効にします。

ご注意

- ［Human Only AF］に設定しているときでも、プッシュオートフォーカス実行中は、［Human Priority AF］になります。
- FOCUSスイッチがMFのときは、被写体認識枠を表示しません（プッシュオートフォーカス実行中、リアルタイムトラッキングAF実行中を除く）。
- ［Human Only AF］に設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的に［Human Priority AF］になります。

被写体認識枠を消す

被写体認識枠の表示/非表示は、フルメニューの［Monitoring］－［Display On/Off］－［Subject Recognition Frame］で設定できます。

アサイナブルボタンで被写体認識AFの動作を切り替える

アサイナブルボタンに［Subject Recognition AF］を割り当てると、そのボタンを押すたびに、被写体認識AFの動作が［Human Priority AF］→［Human Only AF］→［Off］の順に切り替わります。

ダイレクトメニューで設定する

被写体認識AFの動作は、ダイレクトメニューでも切り替えることができます。

関連項目

- アサイナブルボタン
- ダイレクトメニュー

TP1002063870

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

被写体を指定して追尾する

タッチ操作や被写体認識枠の選択操作で指定した被写体にフォーカスを合わせ続けることができます。
被写体を選択すると白色の追尾枠が表示され、追尾が開始されます。

ヒント

- フォーカスエリアの設定に関わらず、映像領域全体で追尾します。

フルメニューの［Shooting］－［Focus］－［Touch Function in MF］を［Tracking AF］に設定すると、フォーカスモードがマニュアルフォーカスモードの場合でもリアルタイムトラッキングAFが可能です。
被写体認識AFの動作モードの設定によって、追尾対象に対して次のように動作します。

［Human Only AF］/［Human Priority AF］：
指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。
追尾対象が人物で、顔/瞳/頭を検出した場合は、顔/瞳/頭にフォーカスを合わせます。
追尾対象の顔/瞳/頭を検出した場合、追尾対象の顔を保存します。保存が完了すると（保存された追尾顔ありアイコン）が表示されます。

［Off］：
指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。
追尾対象が人物であっても、顔/瞳/頭の検出は行いません。

TP1002063871

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

リアルタイムトラッキングAFを開始する

特定の被写体を追尾対象に指定すると、その被写体に対して追尾が開始されます。

タッチ操作で指定する

次のいずれかの状態のときに、追尾対象とする被写体をタップします。

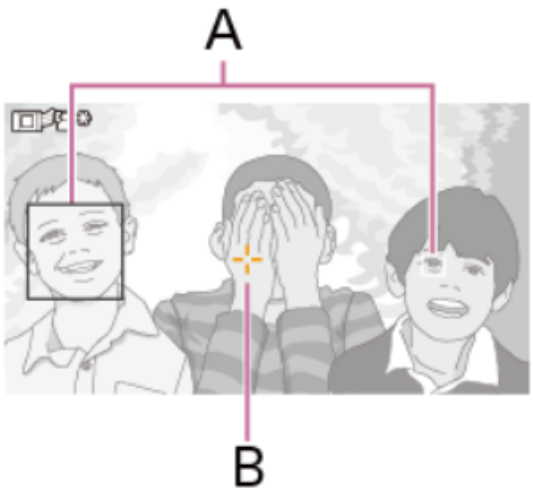
- フォーカスモードがマニュアルフォーカスモード、またはプッシュマニュアルフォーカス中で、フルメニューの［Shooting］－［Focus］－［Touch Function in MF］が［Tracking AF］のとき
- フォーカスモードがオートフォーカスモード、またはプッシュオートフォーカス（AF）中のとき

ご注意

- フルメニューの［Technical］－［Touch Operation］を［Off］に設定した場合はタッチ操作での指定はできません。

トラッキングAFポインターで指定する

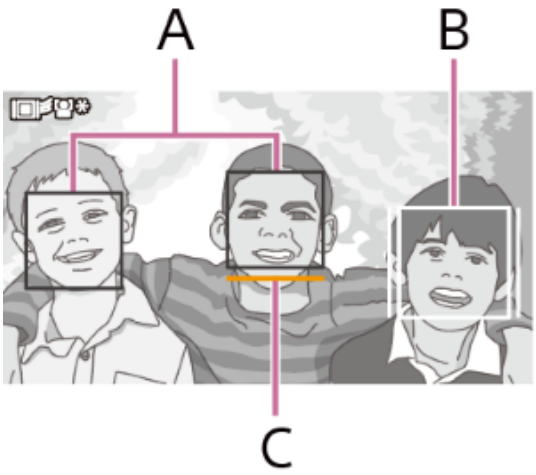
フルメニューの［Shooting］－［Focus］－［Multi Selector Function］を［Pointer］に設定すると、タッチ操作の代わりにマルチセレクターで画面上の被写体を自由に選ぶことができます。
マルチセレクターで被写体にトラッキングAFポインターを追尾対象にする被写体に移動して、マルチセレクターを押し込みます。



A：瞳顔枠
B：トラッキングAFポインター
タッチパネル操作を無効にしている場合に便利です。
トラッキングAFポインターは、ポインターの色や縁取りを変えることで見やすくしたり、撮影を邪魔しすぎないようにすることができます。フルメニューの［Shooting］－［Focus］－［Pointer Color］と［Pointer Border］で設定してください。

被写体認識枠の選択操作で指定する

フルメニューの［Shooting］－［Focus］－［Multi Selector Function］を［Subject Sel. Cursor］に設定すると、被写体認識枠をマルチセレクターで選ぶことができます。
マルチセレクターで被写体選択カーソル（オレンジ色の下線）を追尾対象にする被写体に移動して、マルチセレクターを押し込みます。



A：他の顔検出枠（灰色）
B：追尾枠
C：顔選択カーソル（オレンジ）

ヒント

- リアルタイムトラッキングAF中に追尾対象を変更することもできます。

ご注意

- マニュアルフォーカス中は、被写体認識枠の選択操作でトラッキングを開始できません。

TP1002063872

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

リアルタイムトラッキングAFを終了する

タッチ操作で終了する

タッチパネル左上に表示される（リアルタイムトラッキングAF終了）ボタンをタップします。

ヒント

- 以下の場合もリアルタイムトラッキングAFが終了します。
  - FOCUS PUSH AUTOボタンまたは［Push AF/Push MF］を割り当てたアサイナブルボタンを押したとき
  - FOCUSスイッチでAUTO/MANを切り替えたとき
  - フォーカスモードを変更したとき
  - オートフォーカスアシストを実行したとき
  - フォーカスエリアの設定や被写体認識AFの動作を変更したとき
  - 撮影画面内から追尾対象がなくなり、フォーカスがどこにも合っていない状態が数秒経過したとき

TP1002063873

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

撮影時のご注意

以下の場合は、状況によってはうまく被写体にピントが合わないことがあります。

- 低照度、逆光時
- 影がかかった状態
- ピントが大きくずれた状態

また、被写体の動きが大きいときなど、瞳を認識していても、以下の場合は、状況によってはうまく瞳にピントが合わないことがあります。

- 目を閉じた状態
- 瞳に毛などがかかった状態
- メガネ（サングラス）をかけた状態

ほかにも、状況によって被写体にピントを合わせられない場合があります。

- 被写体の瞳などの優先したい部位にピントを合わせることができないときは、被写体の頭部などの認識されたほかの部位に自動でピントを合わせることがあります。
- 被写体の顔などに白色の被写体認識枠が表示されていても、自動的に被写体の瞳などの優先したい部位にピントを合わせることがあります。
- 被写体の一部しか画角に入っていないときは認識しない場合があります。
  - 人物や動物の手や足のみが見えている場合
  - 被写体の一部が隠れて見えない場合など
- 状況によっては、被写体以外のものや部位などを被写体と誤認識することがあります。

ズーム操作をしたときにマニュアルフォーカスがずれる場合は、「フランジバックの調整」の内容に沿って、調整を行ってください。

関連項目

- フランジバックの調整

TP1002063874

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

フランジバックの調整

レンズの取り付け面と撮像素子面までの距離（フランジバック）を自動調整します。
光学ズームの広角端と望遠端でフォーカスが正しく合わない場合に実施します。正しく調整されると、フォーカス調節後にズーム位置を変更しても、フォーカスが合ったまま保持されます。

調整前の準備

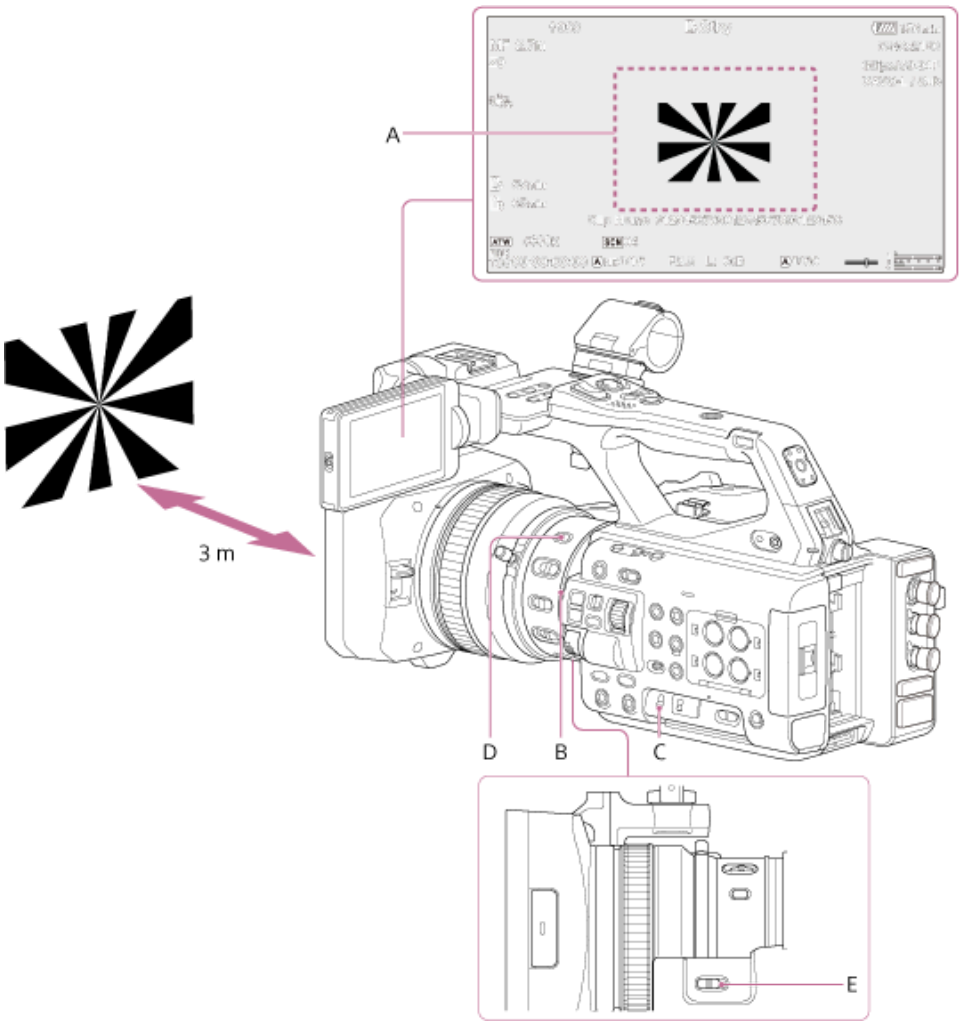
調整前に次の準備を必ず行ってください。

1. **フランジバック調整用チャートを、専用URLからダウンロードし、A3サイズで印刷する。**
   https://helpguide.sony.net/pro/fb_adj/v1/h_zz/

2. **カメラを水平な場所に置く。**
   コンバージョンレンズなどが装着されている場合は取り外してください。

3. **フランジバック調整用チャート（A3サイズ推奨）を、約3 m離れた位置に置き、ズームを望遠端にして、フランジバック調整用チャートの中心が画面中央になるように映す。**
   ズームを広角端にしたときの画面の中央付近（下図の点線部分内）に、チャートと異なる距離の被写体が入らないようにしてください。
   A：点線内は専用チャートのみを映す

4. **ズームを広角端にしたあと、以下の設定を行う。**
   スイッチ類の設定
   B：IRISリング：F1.9（開放）
   C：GAINスイッチ：0 dBに設定したポジション
   D：STEADY SHOTボタン：オフ
   E：ズームサーボスイッチ：SERVO



フルメニューの設定
［Project］－［Rec Format］－［Frequency］：59.94または50
［Project］－［Rec Format］－［Video Format］：3840×2160P
［Shooting］－［S&Q Motion］－［Setting］：［Off］

5. **ズーム範囲全体で画が適切な明るさになるように、照明やNDフィルターで明るさを調節する。**

自動調整を実行する

1. **フルメニューの［Technical］－［Lens］－［Auto FB Adjust］－［Execute］を選択する。**
2. **確認画面の内容を確認したあと、［Execute］を選択する。**

フランジバックの自動調整を中断するには

実行中に表示される［Cancel］を選択します。

ご注意

- 調整実行中はカメラには触れないでください。
- 調整が失敗した場合、メッセージが表示されます。調整ができない場合は以下を確認してください。
  - フランジバック調整チャートの明るさは適切か。
    明るさが不適切だとメッセージが表示されて調整が中断します。
  - フランジバック調整チャートが近すぎたり、遠すぎたりしていないか。
  - 「調整前の準備」の操作を正しく行ったか。
  - カメラ画面の中にライトなど高輝度被写体が映っていないか。

TP1002063875

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

アイリスを調節する

アイリスを調節して、明るさを調節できます。

アイリスを自動調節する

被写体に応じて明るさを調節します。
IRISスイッチをAUTOにする。

ヒント

- AUTO/MANUALスイッチがAUTOのとき、アイリスは強制的にオートモードになります。
- ［Auto Iris］のダイレクトメニューで［Auto］を選んでも同様の操作ができます。
- アサイナブルボタンに［Auto Iris］を割り当てることもできます。

アイリスを手動調節する

1. **IRISスイッチをMANUALにする。**
2. **IRISリングを回して調節する。**

ヒント

- ダイレクトメニューでF値を選択し、マルチセレクターを上下させることで同様の操作ができます。ただし、IRISスイッチをAUTOにする必要があります。
- リモコンでアイリスを調節するときは、IRISスイッチをAUTOにし、ダイレクトメニューでアイリスを［Manual］に設定してください。
- リモコンのアサイナブルダイヤルに［IRIS］を割り当てることもできます。ただし、IRISスイッチをAUTOにする必要があります。

一時的に自動調節する

［Push Auto Iris］を割り当てたアサイナブルボタンを押している間、アイリスを自動調節します。
指を離すと、そのときのＦ値の位置で手動アイリスに戻ります。

TP1002063876

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ゲインを調節する

ゲインを調節して、明るさを調節できます。

ゲインを自動調節する

1. **マルチファンクションダイヤルを押してダイレクトメニューを表示させ、ダイヤルを回してゲイン表示の左の M を選択しダイヤルを押す。**
   ［AGC］のダイレクトメニューが表示されます。
2. **［Auto］を選んでダイヤルを押す。**

ヒント

- フルメニューの［Shooting］－［Auto Exposure］－［AGC］を［On］に設定しても同様の調節が可能です。
- AUTO/MANUALスイッチがAUTOのとき、［AGC］は強制的に［On］になります。
- アサイナブルボタンに［AGC］を割り当てることもできます。

ゲインを手動調節する

アイリスを固定したまま露出調整したいときや、AGCによるゲインアップを行いたくないときなどに使用します。

1. **マルチファンクションダイヤルを操作して［AGC］のダイレクトメニューを表示させ、［Manual］を選ぶ。**
2. **GAINスイッチでL/M/Hを選ぶ。**

ヒント

- ［Camera］ステータス－［Gain<L>］/［Gain<M>］/［Gain<H>］、またはフルメニューの［Shooting］－［Gain］－［Gain<L>］/［Gain<M>］/［Gain<H>］で各スイッチポジションのプリセット値を変更できます。
- アサイナブルボタンに［Push AGC］を割り当てると、そのボタンを押している間だけ［AGC］を［On］にできます。

ゲインを微調整する

1. **マルチファンクションダイヤルを押してダイレクトメニューを表示させ、ダイヤルを回してゲイン表示を選択する。**
   ダイヤルを押すとゲイン値が白背景で表示されます。
2. **マルチファンクションダイヤルを回して調節する。**

ご注意

- GAINスイッチの設定に応じたゲインプリセット値を変更します。

ヒント

- ［Gain］が割り当てられたアサイナブルボタンを押すことでも、ゲイン値が白背景で表示された状態にすることができます。

ゲインを一時的に微調整する

マルチファンクションダイヤルに［Gain］を割り当てると、GAINスイッチで設定した値からダイヤルで調整することができます。
被写界深度を変えずにもう一歩露出を追い込みたいときに便利です。
一時的に微調整した結果は、GAINスイッチの切り替えや［AGC］を［On］、電源をオフにすると無効になります。

ヒント

- アサイナブルボタンに［Push AGC］を割り当てると、そのボタンを押している間だけ［AGC］を［On］にできます。
- 別売のグリップリモコンのアサイナブルダイヤルに［Gain］を割り当てることもできます。

TP1002063877

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

シャッターを調節する

シャッターを調節して、明るさを調節できます。

シャッターを自動調節する

1. **マルチファンクションダイヤルを押してダイレクトメニューを表示させ、シャッター表示の［Sht: Off］または左の M を選択しダイヤルを押す。**
2. **［Auto］を選ぶ。**
   映像の明るさに応じて自動でシャッター速度または開角度を調節できます。

ヒント

- ［Shutter］が割り当てられたアサイナブルボタンを長押しして、メニューを表示させることもできます。
- フルメニューの［Shooting］－［Auto Exposure］－［Auto Shutter］を［On］に設定しても同様の調節が可能です。
- AUTO/MANUALスイッチがAUTOのとき、［Auto Shutter］は強制的に［On］になります。

シャッターを手動調節する

1. **SHUTTERスイッチをONにする。**
2. **マルチファンクションダイヤルを押してダイレクトメニューを表示させ、ダイヤルを回してシャッター表示を選択しダイヤルを押す。**
   シャッター表示が白背景で表示されます。
3. **マルチファンクションダイヤルを回してシャッター速度を調節する。**

ヒント

- 露光時間をフレーム周期に合わせる場合は、SHUTTERスイッチをOFFにします。
- 開角度で設定したり、光源の周波数に応じてシャッター速度を細かく設定することもできます。

TP1002063878

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

光量を調節する

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルターを変更して適切な明るさにすることができます。
本機は2つのNDフィルターモードを備えています。2つのモードはND PRESET/VARIABLEスイッチで切り替えます。

プリセットモードで調節する

ND PRESET/VARIABLEスイッチをPRESETの位置にして、ND FILTER POSITION上下ボタンで切り替えます。
［Clear］：NDなし
［1］：［Camera］ステータスの［ND<Preset>］－［Preset1］で設定した透過率。
［2］：［Camera］ステータスの［ND<Preset>］－［Preset2］で設定した透過率。
［3］：［Camera］ステータスの［ND<Preset>］－［Preset3］で設定した透過率。

ヒント

- フルメニューの［Shooting］－［ND Filter］でも設定できます。

バリアブルモードで調節する

ND PRESET/VARIABLEスイッチをVARIABLEの位置にします。ND FILTER POSITION上下ボタンで［Clear］と［On］を切り替えます。

光量を自動調節する

［Auto ND Filter］を［On］にして、NDフィルターを使った自動露出調節を行います。

1. **ND FILTER POSITION上下ボタンの＋を押して、NDフィルターを［On］にする。**
2. **ND AUTOボタンを［Auto］になるまで長押しする。**

ヒント

- AUTO/MANUALスイッチがAUTOのとき、かつNDフィルターが[On]のとき、［Auto ND Filter］は強制的に［On］になります。

光量を手動調節する

1. **ND FILTER POSITION上下ボタンの＋を押して、NDフィルターを［On］にする。**
2. **ND AUTOボタンを［Manual］になるまで長押しする。**
3. **ND VARIABLEダイヤルを回してフィルターの透過率を調節する。**

ヒント

- リモコンのアサイナブルダイヤルに［ND Filter］を割り当てることもできます。

一時的に自動調節する

［Push Auto ND］が割り当てられたアサイナブルボタンを押している間、［Auto ND Filter］が［On］になります。指を離すと［Off］に戻ります。
ND FILTER POSITION上下ボタンの＋を押して、NDフィルターを［On］にしておいてください。

ご注意

- 撮影中に［Clear］をまたいでNDフィルターを切り替えたとき、画像内にNDフィルターの枠が入り、音声に動作音が入ります。

ヒント

- ND VARIABLEダイヤルをND1/4からさらに下に回すと、［Clear］にすることができます。また、［Clear］からある程度上に回すと、ND1/4にすることができます。フルメニューの［Technical］－［ND Dial］－［CLEAR with Dial］で、この動作を無効にすることができます。
- ND FILTER POSITION上下ボタンの代わりに、［ND Filter Position］が割り当てられたアサイナブルボタンを押して設定を変更することもできます。
  プリセットモード：［Clear］→［Preset1］→［Preset2］→［Preset3］→［Clear］・・・
  バリアブルモード：［Clear］→［On］→［Clear］・・・
- ［Auto ND Filter］が割り当てられたアサイナブルボタンを押して［Auto ND Filter］を［On］/［Off］にすることもできます。
- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じフォーカスが甘くなることがあります（ビデオカメラでは一般的に起こる現象です）。NDフィルターを使うことでこの現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

TP1002063879

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

ホワイトバランスを自動で調節する

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調節します。
光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調節し直します。

1. **マルチファンクションダイヤルを押してダイレクトメニューを表示させ、ダイヤルを回して色温度表示の左の［W:P］/［W:A］/［W:B］のいずれかを選択しダイヤルを押す。**
   ［White Mode］のメニューが表示されます。
2. **［ATW］を選んでダイヤルを押す。**
3. **必要に応じて、フルメニューの［Shooting］–［White Setting］–［ATW Speed］で調節速度を選択する。**

ヒント

- AUTO/MANUALスイッチがAUTOのとき、強制的に［White Mode］が［ATW］になります。
- アサイナブルボタンに［ATW Hold］機能を割り当てておくと、このボタンを押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

ご注意

- 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調節できないことがあります。
  例：
  - 空/海/地面/草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
  - 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体
  - ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

TP1002063880

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ホワイトバランスを手動で調節する

1. **マルチファンクションダイヤルを押してダイレクトメニューを表示させ、ダイヤルを回して色温度表示の左の ATW を選択しダイヤルを押す。**
   ［White Mode］のメニューが表示されます。
2. **［W:P］/［W:A］/［W:B］のいずれかを選んでダイヤルを押す。**
3. **WHT BALスイッチでB/A/PRESETを選択する。**
   B: メモリーBモード
   A: メモリーAモード
   PRESET: プリセットモード

ヒント

- フルメニューの［Shooting］－［White Setting］－［White Switch<B>］を［ATW］に設定すると、メモリーBに［ATW］が割り当てられます。

メモリーA/メモリーBモード
メモリーAまたはメモリーBに保存されたホワイトバランスに調節します。
プリセットモード
色温度をプリセット値（工場出荷時：［3200K］）に調節するモードです。

既定のプリセット値に変更する

プリセットモードでは既定のプリセット値に直接変更することができます。
［White Balance］が割り当てられたアサイナブルボタンを長押しして、ダイレクトメニューで以下から選択する。
［3200K］→［4300K］→［5600K］→［6300K］

ヒント

- ［Preset White Select］が割り当てられたアサイナブルボタンを押して設定を変更することもできます。

  ［→3200K］
  ［→4300K］
  ［→5600K］
  ［→6300K］

任意の色温度に変更する

1. **マルチファンクションダイヤルを押してダイレクトメニューを表示させ、色温度が白背景で表示された状態にする。**
2. **マルチファンクションダイヤルを回して調節する。**

ヒント

- プリセットモードでは100K単位で設定できます。
- メモリーモードでは、［2000K］～［5600K］は20K単位で設定できます。［5600K］より上の値は、［5580K］から［5600K］の色変化量と等しくなる間隔で設定できます。また、フルメニューの［Shooting］－［White］－［Tint］の調節ができます。

オートホワイトバランスを実行する

メモリーA/メモリーBモードで保存するホワイトバランスを自動で設定します。

1. **メモリーAモードまたはメモリーBモードを選択する。**
2. **被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。**
3. **明るさを調節する。**
   アイリスを手動調節してください。詳細は下記をご覧ください。
   アイリスを調節する
4. **WB SETボタンを押す。**

- メモリーモードで実行した場合、自動で調節した結果は手順1で選択したメモリー（AまたはB）に保存されます。

- ATWモードで実行した場合、自動調節が終わると、結果を引き継いでATWを再開します。［ATW Speed］の設定に関わらず、最速でホワイトバランスをあわせたいときに使用できます。

ご注意

- 正常に終了しなかったときは画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

TP1002063881

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

手ブレ補正を使う

手ブレ補正機能を有効にすると、撮影時の細かな動きによる画像のぶれを抑えることができます。
レンズのSTEADY SHOTボタンを押すごとに、手ブレ補正モードがオン/オフします。設定は、LCDモニターに表示されます。

ご注意

- 三脚に載せて安定した状態で使用するときは、手ブレ補正をオフにしてください。

TP1002063882

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

収録する音声を設定する

本機の入力端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。

外部音声の入力端子と切り替えスイッチ

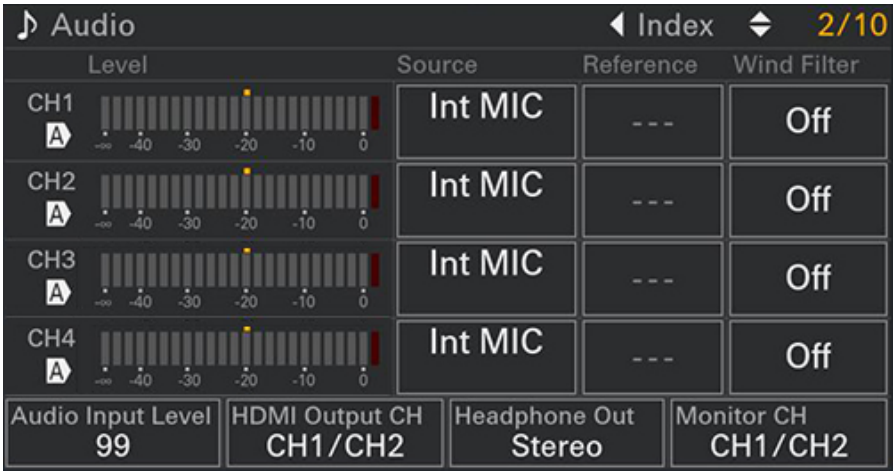
INPUT 1端子
INPUT 2端子
マルチインターフェースシュー
INPUT 1スイッチ（LINE/MIC/MIC+48V）
INPUT 2スイッチ（LINE/MIC/MIC+48V）

録音レベルの設定用スイッチ/ダイヤル

CH1（AUTO/MAN）スイッチ
CH2（AUTO/MAN）スイッチ
CH3（AUTO/MAN）スイッチ
CH4（AUTO/MAN）スイッチ
AUDIO LEVELダイヤル（CH1）
AUDIO LEVELダイヤル（CH2）
AUDIO LEVELダイヤル（CH3）
AUDIO LEVELダイヤル（CH4）

［Audio］ステータス画面

MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させます。



TP1002063883

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

音声入力機器を選ぶ

1 ［Audio］ステータスの［CH1］/［CH2］/［CH3］/［CH4］–［Source］、またはフルメニューの［Audio］–［Audio Input］–［CH1 Input Select］/［CH2 Input Select］/［CH3 Input Select］/［CH4 Input Select］で音声入力を切り替える。

ご注意

- スロー＆クイックモーションまたはインターバルレックでの撮影では、音声は記録されません。
- ［CH1 Input Select］と［CH2 Input Select］が［Internal MIC］に設定されている場合、CH1とCH2の録音レベルは共にAUDIO LEVELダイヤル（CH1）に連動して調節されます。［CH3 Input Select］と［CH4 Input Select］が［Internal MIC］に設定されている場合、CH3とCH4の録音レベルは共にAUDIO LEVELダイヤル（CH3）に連動して調節されます。

2 入力する音源を選ぶ。

INPUT 1/INPUT 2端子に接続する機器に合わせて、INPUT 1/INPUT 2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチを設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器（ミキサーなど）	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源（ファンタム電源）対応のマイク	MIC+48V

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT 1/INPUT 2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチをLINEにしてください。

TP1002063884

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

録音レベルを自動調節する

自動調節するチャンネルのCH1/CH2/CH3/CH4（AUTO/MAN）スイッチをAUTOの位置にします。

関連項目

- ブロックダイヤグラム

TP1002063885

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

録音レベルを手動調節する

CH1/CH2の録音レベルを手動調節する場合は、以下の手順で行います。

1. **調節するチャンネルのCH1/CH2/CH3/CH4（AUTO/MAN）スイッチをMANの位置にする。**

2. **撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルのAUDIO LEVELダイヤル（CH1）/（CH2）/（CH3）/（CH4）を回して、音量を調節する。**
   - CH1～CH4を一括してレベル調節することもできます。［Audio Input Level］が割り当てられたマルチファンクションダイヤルやリモコンのアサイナブルダイヤル、［Audio］ステータス、またはフルメニューの［Audio］－［Audio Input］－［Audio Input Level］で調節します。

ヒント

- 音声入力レベルの確認には、［Audio］ステータス画面が便利です。

ご注意

- ［Audio］メニューの設定の組み合わせにより［Audio Input Level］の設定が無効になる場合があります。
- 本機では組み合わせによりさまざまな設定ができます。
- 設定の組み合わせについて、詳細は下記をご覧ください。
  ブロックダイヤグラム

TP1002063886

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ダイレクトメニュー

撮影画面に表示される本機の状態や設定を、直接選択して変更することができます。
設定できる項目は、以下のとおりです。

- ［Subject Recognition AF］
- ［White Mode］
- ［Color Temp］
- ［Scene File］
- ［ND Filter Position］/［Auto ND Filter］
- ［ND Filter Value］
- ［Auto Iris］
- Iris value
- ［AGC］
- Gain value
- ［Auto Shutter］/［ECS］
- ［Shutter Value］
- ［Auto Exposure Mode］
- ［Auto Exposure Level］
- S&Q motion frame rate

1. **マルチファンクションダイヤル、または［Direct Menu］が割り当てられたアサイナブルボタンを押す。**
   ダイレクトメニューで設定できる項目のいずれかにオレンジのカーソルが表示されます。

2. **マルチファンクションダイヤルを回して操作したい項目にカーソルを合わせ、マルチファンクションダイヤルを押す。**
   メニューが表示されるか、または項目が白背景で表示されます。

3. **マルチファンクションダイヤルで設定値を選び、マルチファンクションダイヤルを押す。**
   メニューまたは白背景が消えて、新しい設定値がオレンジのカーソルで表示されます。
   再び［Direct Menu］が割り当てられたアサイナブルボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過すると、ダイレクトメニューが終了します。

ヒント

- 各種ファンクションボタンを短押しまたは長押しして、直接設定をする状態にすることもできます。
- 白背景で表示された状態では、マルチファンクションダイヤルをアサイナブルダイヤルのように使うことができます。
- 選択操作はマルチセレクターでも行えます。
- ダイレクトメニューはタッチ操作できません。

TP1002063888

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

アサイナブルボタン

本機には、機能を割り当てて使用できるアサイナブルボタンが11個あります。

ボタンの機能を変更する

フルメニューの［Project］－［Assignable Button］で設定します。
割り当てられた機能は、［Assignable Button］ステータス画面で確認することができます。

工場出荷時にアサイナブルボタンに割り当てられている機能

アサイナブルボタン	機能
ASSIGN（アサイナブル）1ボタン	［Zebra］
ASSIGN（アサイナブル）2ボタン	［Peaking］
ASSIGN（アサイナブル）3ボタン	［Video Signal Monitor］
ASSIGN（アサイナブル）4ボタン	［Focus Magnifier ×3/×6］
ASSIGN（アサイナブル）5ボタン	［Direct Menu］
ASSIGN（アサイナブル）6ボタン	［Off］
ASSIGN（アサイナブル）7ボタン	［Push Auto Iris］
ASSIGN（アサイナブル）8ボタン	［Off］
ASSIGN（アサイナブル）9ボタン	［Direct Menu］
ASSIGN（アサイナブル）10ボタン	［Focus Magnifier ×3/×6］
ASSIGN（アサイナブル）11ボタン	［Off］

割り当てられる機能

- ［Off］
- ［Turbo Gain］
- ［Gain］
- ［AGC］
- ［Push AGC］
- ［ND Filter Position］
- ［Auto ND Filter］
- ［Push Auto ND］
- ［Auto Iris］
- ［Push Auto Iris］
- ［Shutter］
- ［Auto Shutter］
- ［AE Level/Mode］
- ［Backlight］
- ［Spotlight］
- ［Preset White Select］
- ［White Balance］
- ［ATW］
- ［ATW Hold］
- ［Focus Setting］
- ［Subject Recognition AF］
- ［Push AF/Push MF］
- ［Focus Hold］
- ［Focus Magnifier ×3/×6］
- ［Focus Magnifier ×3］

- [Focus Magnifier ×6]
- [Digital Extender]
- [Digital Extender ×2]
- [Digital Extender ×3]
- [Digital Extender ×4]
- [S&Q Motion]
- [Soft Skin Effect]
- [Rec]
- [Picture Cache Rec]
- [Clip Continuous Rec]
- [AFR Tracking Stop]
- [AFR/MFR Stop (Full)]
- [AFR Restart]
- [AFR Settings]
- [Rec Review]
- [Last Clip Del.]
- [Shot Mark1]
- [Shot Mark2]
- [Clip Flag OK]
- [Clip Flag NG]
- [Clip Flag Keep]
- [Color Bars]
- [Tally [Front]]
- [DURATION/TC/U-BIT]
- [Display]
- [Lens Info]
- [Video Signal Monitor]
- [Marker]
- [LCD Monitor Adjust]
- [LCD Monitor Mode]
- [Gamma Display Assist]
- [Peaking]
- [Zebra]
- [Audio Monitor CH]
- [Audio Mon. CH Switch]
- [Thumbnail]
- [Touch Operation]
- [Handle Zoom]
- [Stream]
- [Auto Upload (Proxy)]
- [Enlarge Screen]
- [Direct Menu]
- [Network Status]
- [User Menu]
- [Menu]

TP1002063889

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

アサイナブルダイヤル

グリップリモコン（別売）のアサイナブルダイヤルの機能を変更することができます。
フルメニューの［Project］－［Assignable Dial］－［Grip/Remote Dial］でアサイナブルダイヤルに機能を割り当てます。

設定	内容
［Off］	アサイナブルダイヤルの操作を無効にします。
［Gain］	ゲインを調節できます。
［ND Filter］	NDフィルターのプリセット値を設定できます。
［IRIS］（初期値）	アイリスを調節できます。
［Auto Exposure Level］	自動露出レベルを調節できます。
［Audio Input Level］	録音レベルを調節できます。
［Multi Function Dial］	マルチファンクションダイヤルとして動作します。

ご注意

- メニューなどを表示しているときは、本設定は無効になります。

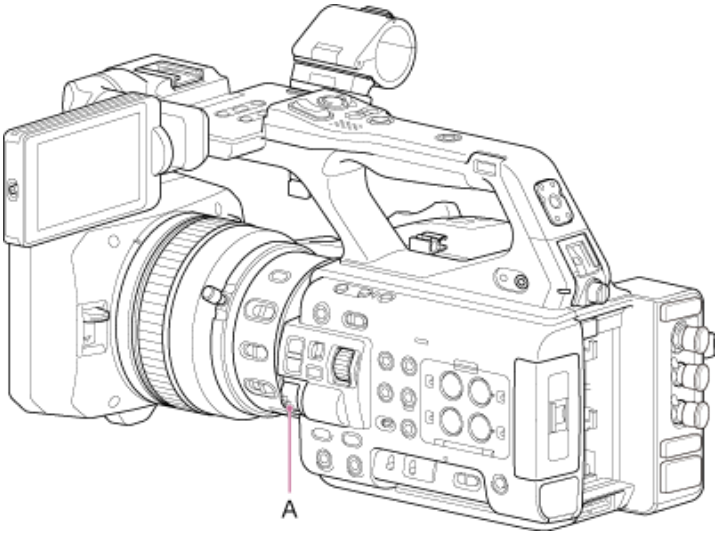
TP1002064535

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

マルチファンクションダイヤル

本体のマルチファンクションダイヤルの機能を変更することができます。



A：マルチファンクションダイヤル
フルメニューの［Project］－［Multi Function Dial］－［Default Function］でマルチファンクションダイヤルに機能を割り当てます。

設定	内容
［Off］（初期値）	マルチファンクションダイヤルの操作を無効にします。
［Gain］	ゲインを調節できます。
［Auto Exposure Level］	自動露出レベルを調節できます。
［Audio Input Level］	録音レベルを調節できます。

ご注意

- メニューなどを表示しているときは、本設定は無効になります。

TP1002063890

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

スロー&クイックモーション

記録フォーマットが下記に設定されているときは、撮像時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

記録フォーマット			フレームレート
システム周波数	コーデック	ビデオフォーマット	
59.94/50	XAVC-I	3840x2160P	1-60
		1920x1080P	1-60、100、120
		1280x720P	1-60
	XAVC-L	3840×2160P	1-60
		1920×1080P	1-60、100、120
		1280×720P	1-60
	MPEG-HD 422	1280×720P	1-60
29.97/25/23.98	XAVC-I	3840x2160P	1-60
		1920x1080P	1-60、100、120
	XAVC-L	3840×2160P	1-60
		1920×1080P	1-60、100、120
	MPEG-HD 422	1920×1080P	1-60

［S&Q Motion］が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、スロー＆クイックモーションモードをオン/オフできます。
ボタンを長押しすると、撮像時のフレームレートを設定できます。

ヒント

- ［Project］ステータスの［Rec Function］またはフルメニューの［Shooting］－［S&Q Motion］でも設定することができます。

ご注意

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー＆クイックモーションモードにできません。
- スロー＆クイックモーションモードでは、音声は記録できません。
- スロー＆クイックモーションモードでは、オートシャッターは無効になります。

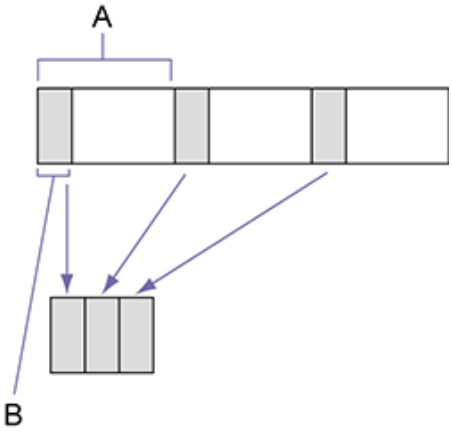
TP1002063893

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）

本機のメモリーを利用して間欠的に映像を取り込み、記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。記録を開始すると、設定したフレーム数（［Number of Frames］）分の映像を、任意のインターバル（［Interval Time］）で自動記録できます。



A：撮影の間隔（［Interval Time］）
B：1回に記録する画像フレーム数（［Number of Frames］）
インターバルレックを有効にしているときは、撮影開始前にビデオライトHVL-LBPC（別売）を自動的に点灯させ、光量、色温度を安定させた状態で撮影を行うことができます（プリライティング機能）。

ご注意

- インターバルレックなどの特殊記録機能を複数同時に使用できません。
- インターバルレック使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、インターバルレックは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、インターバルレックモードは自動的に解除されます。
- 記録中や再生中、サムネイル画面表示中にインターバルレックの設定を変更することはできません。
- インターバルレックモードで撮影中に、クリップの最大記録時間になった場合は、記録を継続せずに終了します。
- インターバルレックモードでは、リレー記録できません。

設定するには

［Project］ステータス画面の［Rec Function］で［Interval Rec］を選択し、［Number of Frames］と［Interval Time］を設定してください。

ヒント

- ［Number of Frames］と［Interval Time］は、フルメニューの［Project］－［Interval Rec］でも設定できます。

ご注意

- ビデオライトを記録前に点灯させる場合は、ビデオライトのスイッチをAUTOに設定してください。
- ビデオライトのスイッチをONに設定すると、ビデオライトは常時点灯します。（ビデオライトは自動点灯/消灯しません。）
- 各設定により消灯時間が5秒以下になる場合は、ビデオライトは消灯しません。

本機の電源を切るとインターバルレックモー ドは解除されますが、［Number of Frames］、［Interval Time］の設定は保持されます。次回インターバルレックモードで撮影するときに再設定する必要はありません。

撮影するには

録画START/STOPボタンを押すと記録が開始され、LCDモニター上に「Int●Rec」と「Int●Stby」が交互に表示されます。

プリライティング機能を使用する場合は、記録が始まる前にビデオライトが点灯します。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。
撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。

インターバルレックモードを解除するには

次のいずれかを実行します。

- 電源スイッチをオフにする。
- 記録待機中に、［Project］ステータス画面の［Rec Function］を［Interval Rec］以外に設定する。

また、本機が再起動した場合もインターバルレックモードは解除されます。

記録中の動作制限

- 音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。

本機の電源が切れた場合

- 本機の電源スイッチをオフにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取り外したり、DC電源コードを引き抜いたり、USB充電器側の電源を切ったりした場合は、その瞬間以前に撮影したショット（最大10秒）が記録されないことがあります。バッテリー交換の際は充分ご注意ください。

TP1002063894

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュレック機能）

ピクチャーキャッシュレック機能を使用すると、カメラが捉えた映像を、指定した時間内蔵キャッシュメモリーに蓄えておくことによって、記録開始操作以前にさかのぼって記録することができます。 ［Project］ステータス画面の［Picture Cache Rec］で［On］を選択し、キャッシュサイズを設定します。

［Cache Size］の設定	蓄積時間（目安）
［Short］	5秒
［Medium］	10秒
［Long］	20秒
［Max］	各記録フォーマットでの最大値

ヒント

- 蓄積時間は、撮影フレームレートや記録フォーマットにより短くなる場合があります。［Project］ステータス画面の［Picture Cache Rec］欄、またはキャッシュサイズ設定画面右下の表示でご確認ください。
- フルメニューの［Project］－［Picture Cache Rec］でも設定できます。
- アサイナブルボタンで［Picture Cache Rec］のオン/オフを切り替えることもできます。

ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、インターバルレック、2 スロット同時記録、プロキシ記録との併用はできません。ピクチャーキャッシュレックをオンにすると、これらの機能は強制的にオフになります。
- 記録中、レックレビュー中、ストリーミング中は、ピクチャーキャッシュレックモードにできません。
- ピクチャーキャッシュレックがオンのときは、タイムコードが［Regen］や［Rec Run］に設定されていても［Free Run］モードで記録されます。
- ピクチャーキャッシュレック中は［Output Format］の設定を変更できない場合があります。この場合、一度ピクチャーキャッシュレックをオフにしてから変更操作を行ってください。

ピクチャーキャッシュレックを実行する

［Picture Cache Rec］がオンのとき、LCDモニター上に「● Cache」（●は緑）が点灯します。
録画START/STOPボタンを押すと記録が開始され、キャッシュメモリーに蓄積されている映像からメモリーカードに書き込まれます。

ピクチャーキャッシュレック機能を解除するには

［Project］ステータス画面の［Picture Cache Rec］をオフにするか、ピクチャーキャッシュレック機能を割り当てたアサイナブルボタンを押します。

ご注意

- 記録フォーマットや基本ルックが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。したがって、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- メモリーカード挿入直後にピクチャーキャッシュレックの開始/終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。
- 映像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレック機能をオンにしてから開始されます。したがって、オンにする前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、メモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄えないため、この間の映像はピクチャーキャッシュレックできません。

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

連続する記録を一つのクリップに収録する（クリップコンティニュアスレック）

通常は記録開始、停止のたびに1つのクリップが独立したファイルとして生成されますが、クリップコンティニュアスレック機能を使用すると、記録と停止を繰り返しても、機能が停止または解除されるまで連続した1つのクリップを生成することができます。
短いクリップを数多く生成したくないとき、または記録できるクリップ数の上限を意識しないで記録したいときに便利な機能です。
記録の開始点にはレックスタートマークが記録されるため、記録開始位置の検索も容易です。

撮影前の設定

［Project］ステータス画面の［Clip Continuous Rec］－［Setting］を［On］にすると、クリップコンティニュアスレックモードになり、LCDモニターに「Cont Stby」が表示されます。

ヒント

- フルメニューの［Project］－［Clip Continuous Rec］でも設定できます。
- アサイナブルボタンで［Clip Continuous Rec］のオン/オフを切り替えることもできます。

ご注意

- クリップコンティニュアスレックは、スロー＆クイックモーション、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、2スロット同時記録、4K & HD (Sub) 記録と同時にオンにすることはできません。クリップコンティニュアスレックをオンにすると、これらの機能は強制的にオフになります。
  メモリーカードを修復しても、レックスタートマークは修復されません。
- 記録中はクリップコンティニュアスレックモードにできません。

クリップコンティニュアスレックで撮影する

録画START/STOPボタンを押すと記録が開始され、LCDモニター上の「Cont Stby」表示が「Cont ●Rec」（●は赤）表示に変わります。

ご注意

- 記録中または記録待機中（「Cont Stby」表示が点灯した状態）にメモリーカードを取り出したり、バッテリーや電源を抜いたりすると、メモリーカードの修復が必要になります。クリップコンティニュアスレックモードを終了してからメモリーカードを取り出してください。なお、「Cont Stby」が点滅（1回/秒）しているときは、メモリーカードを取り出すことができます。
  メモリーカードを修復しても、レックスタートマークは修復されません。
- 最低2秒間記録してから記録を停止してください。

クリップコンティニュアスレックモードを終了するには

記録待機中に、［Project］ステータス画面の［Clip Continuous Rec］－［Setting］を［Off］にします。

動作制限

記録中または記録待機中に以下の操作を行うと、1つのつながったクリップが作成されません。次に記録を行うと、新たなクリップが生成されます。

- クリップ操作（クリップのロック、削除、または名前の変更）
- メモリーカードスロットの切り替え
- 記録フォーマットの変更
- 電源スイッチを⏻（スタンバイ）にして電源を切る
- サムネイル画面を表示する
- クリップを再生する
- クリップコンティニュアスレックモードを終了する

TP1002064536

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する

［Project］ステータス画面の［Simul Rec］、またはフルメニューの［Project］－［Simul Rec］－［Setting］を［On］に設定すると、メモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録できます。

メモリーカードAとメモリーカードBの記録操作を別々に行う

録画START/STOPボタンとハンドルの録画START/STOPボタンで、それぞれ別のメモリーカードを記録開始/停止することができます。
工場出荷時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

- ［Rec Button: A B Handle Rec Button: A B ］

それぞれのボタンで別のメモリーカードへ記録するように設定したとき、［SDI/HDMI Rec Control］の記録開始/停止制御は、スロットAの記録状態に従います。

設定を変えるには

フルメニューの［Project］－［Simul Rec］を［Rec Button Set］に設定します。

［Rec Button Set］の設定	ボタンとメモリーカード
［Rec Button: A B Handle Rec Button: A B ］	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/停止する。
［Rec Button: A Handle Rec Button: B ］	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドルの録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/停止する。
［Rec Button: B Handle Rec Button: A ］	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドルの録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/停止する。

ヒント

- LANCリモコンやスマートフォンアプリのリモコンの録画ボタンは、本機のグリップ部の録画START/STOPボタンと同じ動作をします。

録画START/STOPボタンの誤操作を防止するには

録画START/STOPボタンに付属するHOLDスイッチをHOLDの位置にします。

ファイル名について

2スロット同時記録の場合は、生成されるクリップはどちらのメディアも同じクリップ名になります。

関連項目

- 上面部/ハンドル部
- 背面部/端子部/カードスロット部

TP1002063896

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

4K映像とHD映像を同時に記録する

1枚のメモリーカードに、4K（QFHD）の映像をメインクリップ、事前編集などに活用できるXAVC-Lの映像をサブクリップとして、同時に記録することができます。
4K & HD (Sub) 記録モードに使用できるメモリーカードの記録フォーマットは、以下のとおりです。
サブクリップの記録フォーマットは、メインクリップのシステム周波数によって決まります。

メインクリップ記録フォーマット	システム周波数	サブクリップ記録フォーマット
XAVC-I 3840 x 2160P	29.97, 25, 23.98	XAVC-L 1920 x 1080P
	59.94, 50	XAVC-L 1920 x 1080P XAVC-L 1920 x 1080i
XAVC-L 3840 x 2160P	59.94, 50, 29.97, 25, 23.98	XAVC-L 1920 x 1080P

撮影前の設定

［Project］ステータス画面の［4K & HD (Sub) Rec］－［Setting］を［On］にします。

ヒント

- フルメニューの［Project］－［4K & HD (Sub) Rec］でも設定できます。

ご注意

- 4K & HD (Sub) 記録モードは、スロー＆クイックモーション、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、クリップコンティニュアスレック、2スロット同時記録、プロキシ記録と同時にオンにすることはできません。4K & HD (Sub) 記録モードをオンにすると、これらの機能は強制的にオフになります。
- 記録中、再生中、サムネイル表示中、ストリーミング中は、4K & HD (Sub)記録モードにできません。

4K & HD (Sub) 記録モードで撮影する

録画START/STOPボタンを押すと4K & HD (Sub)記録モードで記録が開始されます。
撮影中は、LCDモニター上の記録フォーマット（コーデック）の右横に「XAVC-I/Sub」または「XAVC-L/Sub」と表示されます。

4K & HD (Sub) 記録モードを終了するには

記録待機中に、［Project］ステータス画面の［4K & HD (Sub) Rec］－［Setting］を［Off］にします。

TP1002064537

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

オートフレーミング

オートフレーミングとは、カメラが人物を認識して、あらかじめ設定された構図になるように映像を切り出して記録・出力する機能です。
ライブ撮影において、オートフレーミングで切り出された映像をライブ配信に利用しつつ、切り出す前の映像をクリップに残してパッケージメディアの素材にする、などの使い方ができます。
［Project］ステータスの［Auto Framing］、またはフルメニューの［Project］－［Auto Framing］－［Setting］を［On］に設定し、以下の設定を行います。

切り出した映像の出力先

- 記録映像とストリーミング出力される映像：
  フルメニューの［Project］－［Auto Framing］－［Rec/Stream］で設定します。

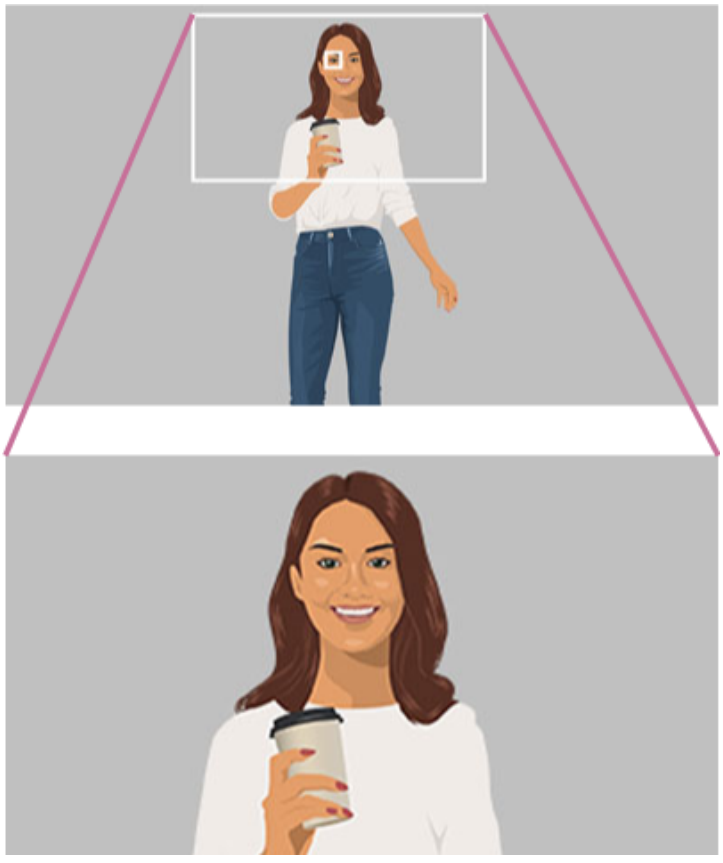
- HDMIに出力される映像：
  フルメニューの［Project］－［Auto Framing］－［HDMI］で設定します。

追尾対象の指定方法

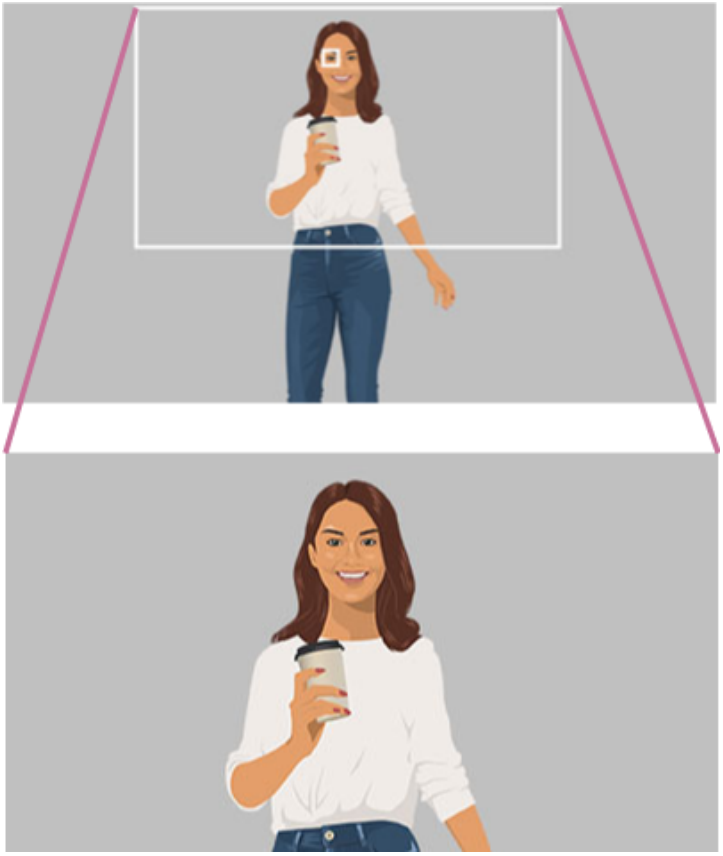
フルメニューの［Project］－［Auto Framing］－［Tracking Start Mode］で設定します。
［Manual］：追尾対象の人物を手動で指定します。任意のタイミングでズームインしたい場合や、複数の人物から選びたい場合などに設定します。
［Auto］：映像内の中央付近にいる人物を優先的に追尾対象とみなします。

人物の大きさ

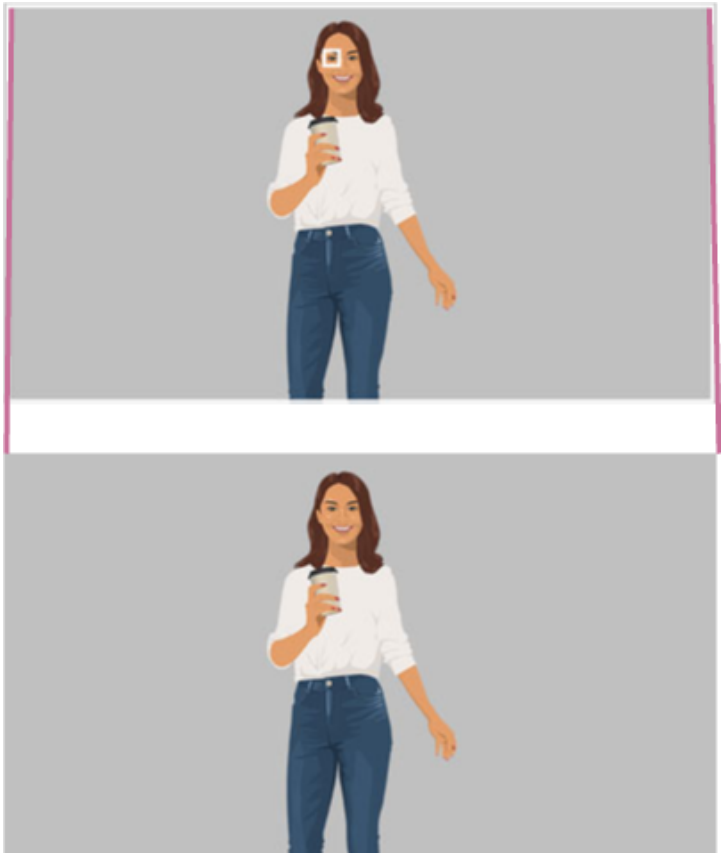
［Project］ステータスまたはフルメニューの［Project］－［Auto Framing］－［Crop Level］で設定します。
［Crop Level］の設定によって、構図が以下のように変わります。
［Large Crop Level］：
人物が大きく表示される構図にします。



［Medium Crop Level］：
人物が中程度の大きさに表示される構図にします。



［Small Crop Level］：
人物が小さく表示される構図にします。



人物を追尾する速度

［Project］ステータスまたはフルメニューの［Project］－［Auto Framing］－［Tracking Speed］で設定します。

演出効果

人物がほとんど動かないなど映像に変化が乏しい場合でも、構図をゆっくりズームイン・アウトさせることで、映像に変化を持たせることができます。
フルメニューの［Project］－［Auto Framing］－［Production Effect］で設定します。

ヒント

- ［AFR Tracking Stop］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、クロップ位置を維持したままオートフレーミングを停止できます。
- ［AFR/MFR Stop (Full)］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、フレーミングを停止し全画角にできます。［Auto Framing］-［Tracking Start Mode］が［Auto］の場合にもう一度押すと、追尾対象をリセットしオートフレーミングをやり直すことができます。意図した構図から外れた場合の対処にご利用いただけます。
- ［AFR Restart］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、［Auto Framing］-［Tracking Start Mode］が［Auto］の場合に、追尾対象をリセットし最初からやり直すことができます。
- ［AFR Settings］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、［Crop Level］と［Tracking Speed］を設定できます。

ご注意

- 撮影状況によっては最適な構図で切り出しされない場合があります。
- 本機能が有効なとき、SDI出力はできません。
- 本機能が有効なとき、デジタルエクステンダー機能は使用できません。
- 設定した記録フォーマットに関わらずイメージャーは4Kサイズで駆動します。このため、本機能を有効にしたときに映像の明るさ（感度）が変化することがあります。

TP1002063897

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

マニュアルフレーミング

指定した構図で切り出された映像を撮影できます。撮影する被写体や切り出す大きさなどは手動で設定します。
複数台の固定カメラを使ったワンマンオペレーション撮影でも、飽きのこないカメラワークを実現できます。

本機能は、モバイル機器のアプリケーション「Monitor & Control」を使用することで利用できます。
［Project］ステータスの［Auto Framing］、またはフルメニューの［Project］－［Auto Framing］－［Setting］を［On］に設定し、本機と「Monitor & Control」を接続してください。詳しくは「Monitor & Control」のヘルプガイドをご覧ください。

切り出した映像の出力先

- 記録映像とストリーミング出力される映像：
  フルメニューの［Project］－［Auto Framing］－［Rec/Stream］で設定します。

- HDMIに出力される映像：
  フルメニューの［Project］－［Auto Framing］－［HDMI］で設定します。

ヒント

- ［AFR/MFR Stop (Full)］を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、フレーミングを停止し全画角にできます。
- 本機とモバイル機器との接続方法や「Monitor & Control」の操作については、「Monitor & Control」のヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

- 撮影状況によっては指定した構図で切り出しされない場合があります。
- 本機能が有効なとき、SDI出力はできません。
- 本機能が有効なとき、デジタルエクステンダー機能は使用できません。
- 設定した記録フォーマットに関わらずイメージャーは4Kサイズで駆動します。このため、本機能を有効にしたときに映像の明るさ（感度）が変化することがあります。

関連項目

- 「Monitor & Control」と接続する

TP1002063898

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

映像信号モニター

フルメニューの［Monitoring］–［Display On/Off］–［Video Signal Monitor］で、LCDモニターに表示する映像信号の種類をウェーブフォーム/ベクトルスコープ/ヒストグラムのいずれかに設定できます。
オレンジの線はゼブラレベルの設定値を表します。
［Video Signal Monitor］を割り当てたアサイナブルボタンでも設定できます。

TP1002063899

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ガンマ表示アシスト機能

フルメニューの［Project］－［Base Setting］－［Target Display］を［HDR］に設定したとき、［Monitoring］ステータスの［Gamma Display Assist］を［On］に設定すると、LCDモニターをHDR撮影しやすい表示にすることができます。フルメニューの［Monitoring］－［Gamma Display Assist］－［Setting］でも設定することができます。

ガンマ表示アシスト機能有効時にLCDモニターの表示を選択する

ガンマ表示アシスト機能が有効なときにLCDモニターのHDR映像の表示方法を次の2種類から選択できます。

HDRの低輝度部分や高輝度部分のコントラストを保持して表示する

HDRの表現力を活かし、明るめの露出、または暗めの露出で撮影した場合にも、黒つぶれや白飛びを起こさずに映像をLCDモニターに表示できます。その反面、全体のコントラストは少し低くなります。

この表示方法を使用するには、フルメニューの［Project］－［HDR Setting］－［LCD Monitor SDR Preview］を［Off］に設定します。

HDRからSDRへの変換を想定して簡易変換されたSDRを表示

いままでのSDRと同様の感覚でのカメラオペレーションが可能です。

HDRとSDRのゲイン差を［SDR Gain］で設定することで、HDR映像の明るさを設定できます。

この表示方法を使用するには次の設定を行います。

1. **フルメニューの［Project］－［HDR Setting］－［LCD Monitor SDR Preview］を［On］に設定する。**
2. **フルメニューの［Project］－［HDR Setting］－［SDR Gain］でHDRモード時のSDRゲイン値を調節する。**

ヒント

- 撮影後、SR Live Metadataを使用してHDR映像からSDRに変換する場合、変換に［SDR Gain］が適用され、撮影時にLCDモニターで確認していた露出のSDR映像に変換されます。

TP1002063900

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

クリップフラグ

［Clip Flag OK］が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、［Add OK］が実行され記録中または直前に記録したクリップに［OK］のクリップフラグが付けられます。再生中のクリップにもクリップフラグを付けることができます。
2回続けて押すと［Delete Clip Flag］が実行され、［OK］のクリップフラグが消えます。

ヒント

- フルメニューの［Thumbnail］–［Set Clip Flag］でクリップフラグを付けることもできます。
- サムネイル画面をクリップフラグの種類別に表示することができます（フィルタードクリップサムネイル画面）。詳細は下記をご覧ください。
  クリップを操作する

TP1002063901

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

自動的に時計を合わせる

「Creators' App for Enterprise」アプリケーションと連係して、本機の時計をBluetooth接続したモバイル機器の時計に合わせることができます。

1. **スマートフォンに「Creators' App for Enterprise」アプリケーションをインストールしておく。**
2. **スマートフォンと本機をBluetoothで接続する。**
   フルメニューの［Network］－［Bluetooth］－［Pairing］を実行して、画面の指示に従ってください。
   併せて「Creators' App for Enterprise」のヘルプガイドをご覧ください。

3. **時刻を合わせる場合は、フルメニューの［Maintenance］－［Clock Set］－［Auto Date/Time Correction］を、時差を合わせる場合は［Clock Set］－［Auto Time Zone Correction］を［On］にする。**
   本機能をご利用の場合、両方を［On］に設定することをお勧めします。

ヒント

- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
  - 本機が他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。
  - フルメニューの［Network］－［Network Reset］－［Reset］を実行する。

ご注意

- 「Creators' App for Enterprise」と時刻情報連係を行っている場合、本機メニューの操作でタイムゾーンや時刻を設定すると、クリップに記録される時刻がずれることがあります。
- ［Clock Set］－［Time Zone］の設定値欄に「UTC *」が表示されているとき、手動でタイムゾーンや時刻を設定すると時刻がずれます。本機の電源を入れなおして位置時刻情報連係機能を働かせると、正しい情報に更新されます。「UTC *」が表示されるまでお待ちください。
- 本機を初期化するとペアリング情報も削除されます。スマートフォン側のペアリング情報を削除して、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、本機とスマートフォンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 無線LANの2.4GHz帯を使用してストリーミングなど大量の通信を行っている場合、動作が不安定になることがあります。大量の通信を行う場合は、有線LANの使用をご検討ください。
- Bluetooth接続を行う際は、信頼できるデバイスとのみペアリングしてください。身に覚えのないペアリング要求や不明なデバイスとの接続は避けてください。
- Bluetooth機能を使用しないときは、Bluetooth機能をオフにしてください。
- ペアリング済みのデバイスを定期的に確認し、不要なデバイスは削除してください。
- スマートフォンから本機のペアリング情報を削除したときは、［Bluetooth］－［Manage Paired Device］からスマートフォンのペアリング情報を削除してください。

TP1002098986

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

位置情報を記録する

本機はスマートフォンアプリ「Creators' App for Enterprise」とBluetoothで接続することにより、スマートフォンで測位した位置情報をクリップに記録したりSDI出力のメタデータに重畳することができます。

1. **スマートフォンに「Creators' App for Enterprise」アプリケーションをインストールしておく。**
2. **フルメニューの［Technical］–［GPS］–［Location by Mobile App］を［On］にする。**
3. **スマートフォンとBluetoothでペアリングしていない場合、フルメニューの［Network］–［Bluetooth］–［Pairing］を実行しておく。**
4. **スマートフォンで「Creators' App for Enterprise」を実行する。**
   以降は「Creators' App for Enterprise」の画面の指示に従ってください。
   詳しくは「Creators' App for Enterprise」のヘルプガイドをご覧ください。

ヒント

- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
  - 本機が他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。
  - フルメニューの［Network］–［Bluetooth］–［Manage Paired Device］で、すべてのペアリングを解除する。
  - スマートフォンで、本機とのペアリング情報をすべて削除する。
  - 上記で改善しない場合は、フルメニューの［Network］–［Network Reset］–［Reset］を実行する。

ご注意

- 複数のスマートフォンを本機とBluetoothペアリングした場合、最初に見つかった「Creators' App for Enterprise」から情報を取得します。接続中のスマートフォンが意図した個体か、ご確認ください。必要に応じて、使用しない側のペアリングを解除してください。
- 位置情報の更新周期は「Creators' App for Enterprise」の仕様に従います。 詳しくは「Creators' App for Enterprise」のヘルプガイドをご覧ください。
- 「Creators' App for Enterprise」を使って位置情報が連動された状態で、本機で撮影した動画をインターネットに公開、共有すると、意図せずに第三者に撮影場所が知られる場合があります。それを回避するには、本機のフルメニュー［Technical］–［GPS］–［Location by Mobile App］を［Off］にして撮影してください。
- 本機を初期化するとペアリング情報も削除されます。スマートフォン側のペアリング情報を削除して、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、本機とスマートフォンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 無線LANの2.4GHz帯を使用してストリーミングなど大量の通信を行っている場合、Bluetooth機能の動作が不安定になることがあります。大量の通信を行う場合は、有線LANの使用をご検討ください。
- Bluetooth接続を行う際は、信頼できるデバイスとのみペアリングしてください。身に覚えのないペアリング要求や不明なデバイスとの接続は避けてください。
- Bluetooth機能を使用しないときは、Bluetooth機能をオフにしてください。
- ペアリング済みのデバイスを定期的に確認し、不要なデバイスは削除してください。
- スマートフォンからカメラのペアリング情報を削除したときは、［Manage Paired Device］からスマートフォンのペアリング情報を削除してください。

関連項目

- ネットワーク機能でできること

TP1002064538

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

プロキシ記録

本機は高解像度のオリジナルクリップの動画をメモリーカードに記録しながら、低解像度のプロキシクリップを同時に記録できます。
プロキシクリップは短時間で自動分割して、記録終了前でもファイルの転送を行うことができます。
使用可能なメモリーカードや、メモリーカードのフォーマット方法、残容量の確認方法について、詳細は下記をご覧ください。
推奨メモリーカードについて
メモリーカードを初期化する
残りの記録可能時間を確認する

記録されるファイルについて

拡張子は「.mp4」です。
タイムコードも同時に記録されます。

ファイルの保存先について

記録したファイルは、以下のディレクトリーに保存されます。

メモリーカード	フォルダパス	
	通常記録	分割記録
SDXC	/PRIVATE/XDROOT/SUB	/PRIVATE/XDROOT/GENERAL/SONY/PXTMP
CFexpress Type A	/XDROOT/SUB	/XDROOT/GENERAL/SONY/PXTMP

ファイル名について

メモリーカードに記録されるクリップ名+S03となります。ただし、プロキシクリップ分割記録し、転送する場合には、オリジナルクリップ名＋分割番号＋S03となります。

プロキシ記録で撮影する

以下の手順でプロキシ記録の撮影を行います。

1. **［Project］ステータス－［Proxy Rec］またはフルメニューの［Project］－［Proxy Rec］－［Setting］を［On］に設定する。**
2. **メモリーカードをCFexpress Type A/SDカードスロットに差し込む。**

   - CFexpressカードの場合はラベルを左にする。
   - SDカードの場合はラベルを右にして切り欠き部を下にする。

ご注意

- プロキシ記録は、スロー＆クイックモーションと同時に［On］にすることはできません。プロキシ記録が［On］の状態で、スロー＆クイックモーションを［On］にすると、プロキシ記録は一時的に［Off］になります。

3. **録画START/STOPボタンを押す。**
   プロキシ記録で撮影が開始されます。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。メモリーカードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、メモリーカードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

プロキシ記録時のオーディオチャンネルを設定するには

フルメニューの［Project］–［Proxy Rec］–［Audio Channel］で、プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを設定できます。

TP1002063902

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

プロキシクリップを分割記録し、転送する

自動転送の設定を［Chunk］にしてプロキシクリップを分割記録すると、本線記録中でもプロキシクリップを転送することが可能になります。
分割記録したプロキシクリップの転送について、詳細は下記をご覧ください。
クリップを自動転送する

1. **フルメニューの［Project］–［Proxy Rec］–［Chunk］で分割記録時間を選択する。**
   ［30s］：30秒単位でプロキシクリップを分割して記録します（初期設定値）。
   ［1min］：1分単位でプロキシクリップを分割して記録します。
   ［2min］：2分単位でプロキシクリップを分割して記録します。

2. **フルメニューの［Network］–［File Transfer］–［Auto Upload (Proxy)］を［Chunk］に設定する。**
   オリジナルクリップはスロットAのメディアに記録され、分割記録したプロキシクリップはスロットBのメディアに記録されます。

3. **プロキシ記録を開始する。**
   設定した分割記録時間ごとにプロキシクリップが転送ジョブとしてジョブリストに登録されます。

ご注意

- ［Auto Upload (Proxy)］を［Chunk］に設定しない場合、プロキシの分割記録は行われません。
- スロットBのメディアは分割したプロキシクリップの記録専用となるため、リレー記録や2スロット同時記録はできません。

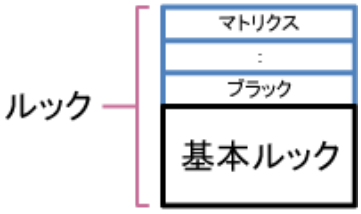
TP1002063903

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

ルックを選ぶ

基本ルックをベースにブラックやマトリクスなどの調節を加えてルックを構成します。



これらの設定をSceneファイルに保存することで、内容の異なるルックを簡単に選ぶことができます。
本機は、計7個のプリセットのルックをSceneファイルの工場出荷値として用意しています。

1. **撮影画面でマルチファンクションダイヤルを押す。**
2. **SCN1 （Sceneファイル）アイコンを選ぶ。**
3. **マルチファンクションダイヤルを押す。**
4. **メニューから好みのルックを選択し、マルチファンクションダイヤルを押す。**

ヒント

- 工場出荷時は、以下がプリセットされています。

［Target Display］	［SDR］	［HDR］
Sceneファイル1	［S-Cinetone］	［HLG Live］
Sceneファイル2	［ITU709］	［HLG Mild］
Sceneファイル3	［709tone］	［HLG Natural］
Sceneファイル4	未登録	［S-Log3］
Sceneファイル5～16	未登録	未登録

- フルメニューの［Paint/Look］－［Scene File］－［Recall Internal Memory］でもルックを選択することができます。なお、プリセットのルックは［Scene File］－［Preset Recall］でも呼び出せます。

TP1002063904

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

好みの基本ルックをインポートする

PCなどで作成した3D LUTファイルを、基本ルックとしてメモリーカードまたはクラウドサービスから最大16個までインポートすることができます。

- ファイル形式：Catalyst BrowseやRAW Viewerで生成される17格子または33格子のCUBEファイル（*.cube）
- 入力色域/ガンマ：S-Gamut3.Cine/S-Log3またはS-Gamut3/S-Log3

メモリーカードからインポートする

3D LUTファイルをメモリーカードからインポートします。

1. **PCなどでメモリーカードの所定のフォルダに、3D LUTファイルを保存する。**

メモリーカード	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/SONY/PRO/LUT/
CFexpress Type A	/SONY/PRO/LUT/

2. **3D LUTファイルを保存したメモリーカードを、CFexpress Type A/SDカードスロット（B）に差し込む。**
3. **フルメニューの［Paint/Look］–［Base Look］–［Import from Media(B)］を実行する。**
4. **インポート先を選択する。**
5. **インポートする3D LUTファイルを選択する。**
   画面の指示に従ってください。本機は3D LUTファイルを基本ルックとして取り扱います。
6. **フルメニューの［Paint/Look］–［Base Look］–［Select］でインポートした3D LUTファイルを選択する。**
7. **インポートした3D LUTファイルの属性に合わせて、フルメニューの［Paint/Look］–［Base Look］–［Input］と［Output］を設定する。**

クラウドサービスからインポートする

3D LUTファイルをクラウドサービスからインポートします。

1. **本機をスマートフォンアプリ「Creators' App for Enterprise」に接続する。**
2. **フルメニューの［Paint/Look］–［Base Look］–［Import from Cloud(Private)］/［Import from Cloud(Share)］を実行する。**
3. **インポート先を選択する。**
4. **インポートする3D LUTファイルを選択する。**
   画面の指示に従ってください。本機は3D LUTファイルを基本ルックとして取り扱います。
5. **フルメニューの［Paint/Look］–［Base Look］–［Select］でインポートした3D LUTファイルを選択する。**
6. **インポートした3D LUTファイルの属性に合わせて、フルメニューの［Paint/Look］–［Base Look］–［Input］と［Output］を設定する。**

露出不足を調節する

インポートした基本ルックを使って自動露出をしたときに露出不足の傾向がある場合は、フルメニューの［Paint/Look］–［Base Look］–［AE Level Offset］で調節してください。

ご注意

- 3D LUTファイルをインポートしただけでは映像に反映されません。フルメニューの［Paint/Look］–［Base Look］–［Select］でインポートした3D LUTファイルを読み出してください。
- ［Input］を正しく設定しないと、本来のルックになりません。
- 設定項目［Input］/［Output］/［AE Level Offset］は、［Select］で選択された基本ルックに適用されます。複数の3D LUTファイルをインポートした場合は、各3D LUTファイルを［Select］で選択し、［Input］/［Output］/［AE Level Offset］をそれぞれ設定してください。
- 設定した［Input］/［Output］/［AE Level Offset］は、3D LUTファイルごとに保存されます。

- インポートした3D LUTファイルは、［SDR］/［HDR］共通の基本ルック選択肢となりますが、これらのモードに応じた色域/ガンマ変換は行いません。
- フルメニューの［Maintenance］–［All Reset］–［Reset］を実行しても3D LUTファイルは削除されません。
- ユーザーの基本ルックを使っているSceneファイルで、ユーザー基本ルックのオリジナルのCubeデータがカメラに保存されていない場合、そのSceneファイルをメモリーカードに保存することはできません。この場合は、SceneファイルリストのSceneファイル名称の先頭に❗アイコンが表示されます。
- ルックによって、初期値が変わる可能性があります（例：［Noise Suppression］のオン/オフなど）。ルックを変更した際は、想定している設定になっていることを再確認してください。

TP1002063905

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

基本ルックを削除する

フルメニューの［Paint/Look］－［Base Look］－［Delete］でインポートした3D LUTファイルを削除できます。
フルメニューの［Paint/Look］－［Base Look］－［Delete All］ですべての3D LUTファイルを削除できます。

ご注意

- 削除する前に、その基本ルックがSceneファイルで使用されていないことをご確認ください。使用されている基本ルックを削除した場合、該当するSceneファイルのルックは不適切なものになります。
- インポートした3D LUTファイルは、フルメニューの［Maintenance］－［All Reset］－［Reset］を実行しても削除されません。

TP1002063906

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

ルックをカスタマイズする

フルメニューの［Paint/Look］－［Matrix］などの各設定項目で、基本ルックを基にルックをカスタマイズすることができます。
設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

ご注意

- 3D LUTファイルをインポートして映像に適用したとき、フルメニューの［Paint/Look］－［Matrix］などの基本ルック以外の各設定が変更されていると、3D LUTファイルに定義された通りのルックになりません。フルメニューの［Paint/Look］－［Reset Paint Settings］－［Reset without Base Look］でカスタマイズされた設定値をまとめてリセットできます。

TP1002063907

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ルックをSceneファイルとして保存する

フルメニューの［Paint/Look］－［Scene File］－［Store Internal Memory］で、現在のルックをSceneファイルとして内蔵メモリーに保存できます。
撮影画面からダイレクトメニューの操作で簡単に呼び出せるようになります。

ヒント

- プリセットのSceneファイルも上書きできます。
- プリセットのSceneファイルを復元するには、フルメニューの［Paint/Look］－［Scene File］－［Preset Recall］で復元したいルックを読み出したあと、［Scene File］－［Store Internal Memory］でSceneファイルに保存してください。

ご注意

- ルックを保存せずにほかのルックを選択すると、保存前のルックは破棄されます。
- フルメニューの［Maintenance］－［All Reset］－［Reset］を実行しても、Sceneファイルは削除されません。

保存したルックを削除する

フルメニューの［Paint/Look］－［Scene File］－［Delete Internal Memory］で内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを削除できます。

ヒント

- 削除すると、ダイレクトメニューに表示されなくなります。

TP1002063908

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

Sceneファイルの名称を編集する

フルメニューの［Paint/Look］–［Scene File］–［File Name］を実行すると、Sceneファイルの名称を編集できます。
［Store Internal Memory］を実行して内蔵メモリーにSceneファイルを保存するときに、編集した名称で保存されます。

ヒント

- ［Recall Internal Memory］を実行してカメラにSceneファイルを読み込むと、そのSceneファイルの名称が［File Name］の初期値になります。フルメニューの［Paint/Look］–［Base Look］–［Select］で基本ルックを選択した場合は、その基本ルックの名称が［File Name］の初期値になります。

ご注意

- ［Save to Media(B)］を実行してSceneファイルをメモリーカードに保存する場合は、内蔵メモリーに保存されているSceneファイルの名称と同じになります。メモリーカード上でファイル名の重複がある場合は、コピーカウンターが自動で付与されます。

TP1002063909

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ルックをほかのカメラと共有する

ルックをSceneファイルとして、Sceneファイルの保存・読み込み機能に対応している他のカメラと共有することができます。フルメニューの［Paint/Look］の設定項目が本機能の対象です。
フルメニューの［Paint/Look］－［Scene File］で、Sceneファイルの保存・読み込みを行います。

1. **［Paint/Look］メニューの各設定項目でお好みのルックにする。**
2. **［File Name］でルックに名称を設定する。**
   詳しくは「Sceneファイルの名称を編集する」をご覧ください。
3. **［Store Internal Memory］を実行し、現在のルックをSceneファイルとして内蔵メモリーに保存する。**
   詳しくは「ルックをSceneファイルとして保存する」をご覧ください。
4. **［Save to Media(B)］を実行し、内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する。**
   詳しくは「内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する」をご覧ください。
5. **手順4でSceneファイルを保存したメモリーカードを、本機能に対応している共有先のカメラのスロットBに挿入する。**
6. **共有先のカメラで［Load from Media(B)］を実行し、Sceneファイルを内蔵メモリーに読み込む。**
   詳しくは「メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む」をご覧ください。
7. **共有先のカメラで［Recall Internal Memory］を実行し、内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを呼び出す。**
   手順3で保存した共有元のカメラのルックが、このカメラの画質設定に適用されます。

ファイルの保存先について

Sceneファイルは、メモリーカード内の以下のディレクトリーに保存されます。

メモリーカード	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/SONY/PRO/SCENE
CFexpress Type A	/SONY/PRO/SCENE

ご注意

- メモリーカード上でファイル名の重複がある場合は、コピーカウンターが自動で付与されます。
- 読み込んだSceneファイルの設定画質を完全に再現することはできません。
- メモリーカードから読み込んだSceneファイルには存在するが、読み込みを行ったカメラにはない設定項目は、読み込まれません。
- 読み込みを行ったカメラには存在するが、メモリーカードから読み込んだSceneファイルにはない設定項目については、読み込みを行ったカメラでは初期値が設定されます。
- 設定項目が同じでも、メニュー上の設定値範囲が違う場合は、対応する設定値範囲内で読み込みを行います。
- 設定値が読み込めても、イメージセンサーやカメラ信号処理の機種ごとの違いにより、同じ画質にはならないことがあります。読み込みを行った後、画質の確認をしてください。
- メモリーカード上のSceneファイルの保存数は、SDR用とHDR用で各60個以内にしてください。これを超えると、保存しているすべてのファイルが本機で参照できなくなります。

関連項目

- ルックをSceneファイルとして保存する
- 内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する
- メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する

フルメニューの［Paint/Look］－［Scene File］－［Save to Media(B)］で、本機の内蔵メモリーに保存されているSceneファイルをメモリーカードに保存します。

ヒント

- メモリーカードに保存したSceneファイルは、本機能に対応している他のカメラで読み込むことができます。
- Sceneファイルに含まれる本機の設定項目は、内蔵メモリーに保存する項目と同じです。
  詳しくは「ファイルに保存される項目」をご覧ください。

ご注意

- ユーザーの基本ルックを使っているSceneファイルで、ユーザー基本ルックのオリジナルのCubeデータが本機に保存されていない場合、そのSceneファイルをメモリーカードに保存することはできません。この場合は、SceneファイルリストのSceneファイル名称の先頭に!アイコンが表示されます。

関連項目

- ファイルに保存される項目

TP1002063911

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む

フルメニューの［Paint/Look］–［Scene File］–［Load from Media(B)］で、メモリーカードに保存されているSceneファイルを、本機の内蔵メモリーに読み込みます。

ヒント

- メモリーカードのSceneファイルを内蔵メモリーに読み込んだあと、フルメニューの［Paint/Look］–［Scene File］–［Recall Internal Memory］からそのSceneファイルを選択することで現在の画質設定に適用できます。

ご注意

- 異なる機種や、ソフトウェアバージョンが違う同一機種でSceneファイルを読み込んだ場合、共通する設定項目の設定値のみ内蔵メモリーに読み込まれます。
- 設定値が読み込めた設定項目でも、イメージセンサーやカメラ信号処理の機種ごとの違いがあるため、同じ画質にはならないことがあります。

TP1002063912

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

ネットワーク機能でできること

本機とスマートフォン/タブレットなどのモバイル機器を接続すると、モバイル機器をリモコンとして利用することができます。また、本機をインターネットに接続すると、ファイル転送や様々なサービスを利用することができます。

ご注意

- ネットワーク接続用機材を本機に取り付けて使用する場合、機器が発する電波によって音声にノイズが記録される可能性があります。その際はネットワーク接続用機材を本機から離して使用してください。

- リモート操作
  モバイル機器で、本機の撮影映像や再生映像を見ながら、本機をリモート操作することができます。

  ご注意

  - 不正なアクセスが検出された場合、カメラが通信を受け付けない状態になることがあります。その際は再度初めから接続し直してください。

- ファイル転送
  本機のメモリーカードに記録したプロキシクリップやオリジナルクリップを、インターネット経由でクラウドサーバーに転送することができます。

- ストリーミング
  本機の撮影映像をRTMP/RTMPSやSRTでストリーミングすることができます。

「Monitor & Control」アプリケーション

モバイル機器の画面で本機の映像をモニタリングしながら、ホワイトバランスや露出の設定、フォーカス操作などを行えるアプリケーションです。

「Creators' App for Enterprise」アプリケーション

以下をサポートするアプリケーションです。

- 本機の時計を合わせる
  モバイル機器の時刻と時差に、本機を設定します。
- 本機で位置情報を記録する
  モバイル機器で取得した位置情報を本機へ送ります。本機は位置情報をクリップに記録したりSDI出力に重畳します。
- 本機からクラウドサービス「C3 Portal」や「Ci Media Cloud」へファイルを転送する
  本アプリケーションはカメラとの簡単接続やスマートフォンを活用した効率的なファイル転送をサポートしています。詳しくは本アプリケーションのヘルプガイドをご覧ください。

ファイル転送機能をご利用の場合は、「C3 Portal」や「Ci Media Cloud」のアカウントが必要です。
アカウントの取得については、所属組織の管理者にお問い合わせください。

また、Bluetooth接続することにより、以下の機能が利用できます。

- 本機の時計をモバイル機器に合わせる
- モバイル機器が取得した位置情報をクリップに記録したりSDI出力のメタデータに重畳する

なお、これらは「C3 Portal」のアカウントは不要です。

ご注意

- お住まいの地域によってはクラウドサービスやアプリケーション、一部の機能を提供していない場合があります。

「Camera Remote SDK」

ソニーが提供する、ソフトウエア開発者自身がソニーのカメラを使ったソリューションやアプリケーションを開発する環境です。開発者はこのSDKを使うことにより、ホストPCからソニーのカメラのリモート制御を行ない、撮影やモニタリングといった独自のアプリケーションを開発することが可能となります。

各アプリケーションやSDKについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。操作方法については、それぞれのヘルプまたはヘルプガイドをご覧ください。

TP1002063914

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

「Monitor & Control」と接続する

本機とモバイル機器を接続して「Monitor & Control」を使ってモバイル機器で本機の映像をモニタリングしながら操作できます。

接続方式	特徴
BluetoothペアリングでのWi-Fi接続/Bluetooth pairing（Wi-Fi）	本機をAP[1]としてモバイル機器1台のみ接続できます。無線LAN経由ではインターネットに接続しません。
カメラをAP[1]としたWi-Fi接続（Wi-Fi Direct接続）/Wi-Fi	
無線LANルーターをAP[1]としたWi-Fi接続/Wi-Fi	複数のモバイル機器から本機を操作できます。 ルーターがインターネットに接続し本機にも接続を許可している場合、本機はインターネットに接続しています。
ルーター経由での有線LAN接続/Wired LAN	
モバイル機器をAP[1]としたWi-Fiテザリング[2]/Tethering（Wi-Fi）	モバイル機器がインターネットに接続し本機にも接続を許可している場合、本機はインターネットに接続しています。
モバイル機器をAP[1]としたUSBテザリング[2]/Tethering（USB）	

1) アクセスポイント（AP）：Wi-Fi接続するためのSSIDを提供する機器
2) テザリング（インターネット共有）：モバイル端末のSIMカードを利用して、モバイル回線のデータ通信により、インターネット接続を可能にする機能

本機とモバイル機器との接続方法や「Monitor & Control」の操作については、「Monitor & Control」のヘルプガイドをご覧ください。

［Network］ステータス画面の［Status］欄の表示で、動作状態を確認できます。
本機をAPモードに設定した場合の状態表示については、以下をご覧ください。その他の場合は、関連するトピックをご覧ください。

状態表示	想定原因	対策
［Non Active］	（状態遷移中）	処理中です。しばらくお待ちください。
（SSID名）	モバイル機器の接続を待ち受けている。	SSID名をタップすると、本機のSSIDとパスワードを表示します。 モバイル機器の無線LAN機能に設定してください。
［Connected］	モバイル機器が接続されている。	複数の機器を接続することはできません。
［IP Address Error］	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り当てられた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

関連項目

- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する
- ネットワークの接続状態を確認する

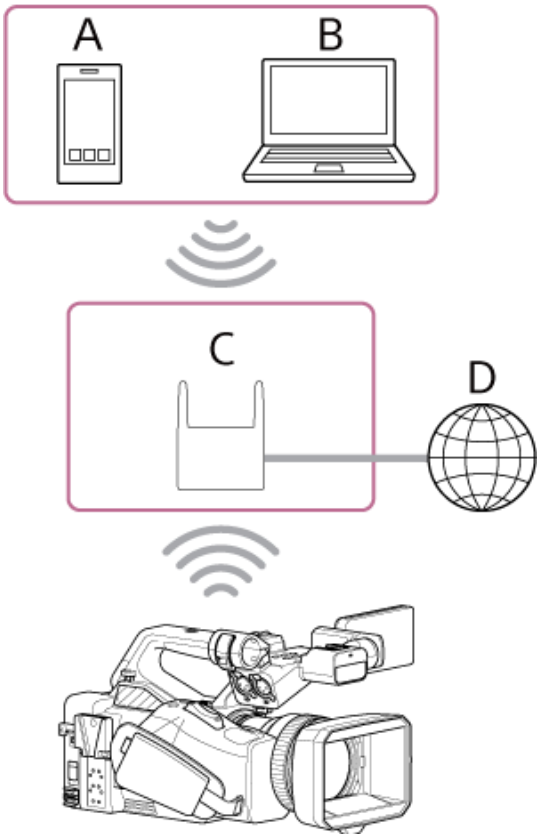
TP1002063915

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

無線LANでインターネットに接続する

本機を既存の無線LANのアクセスポイントに接続します。操作用のモバイル機器とはアクセスポイント経由で接続します。
接続したアクセスポイントの履歴は、過去10件まで記憶されます。接続履歴はAllファイルに保存されますが、アクセスポイントのパスワードは保存されないため、Allファイル読み込み後の再接続の際にはパスワードの入力が必要となります。



A：スマートフォン/タブレット
B：コンピューター
C：アクセスポイント
D：インターネット

ヒント

- アクセスポイントに接続するとき、本機はステーション（ST）モードにします。
- モバイル機器をアクセスポイントに設定できる場合があります（Wi-Fiテザリング）。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

アクセスポイント自動検出機能を使って接続する

1. **NETWORKボタンを押す。**
   ［Network］ステータスが表示されます。

ヒント

- MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。

2. **［Wireless LAN］－［Setting］を［Wireless LAN ST］に設定する。**

ご注意

- 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
- 本機はネットワーク機器（例えばルーター、スイッチング・ハブ）ではありません。DoS攻撃（サービス妨害攻撃）などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。

- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合（例えばFree Wi-Fiなど）、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。

3. **［Wireless LAN］の［Status］を押す。**
［Scan Networks］画面が表示されます。

4. **接続するネットワークのアクセスポイントを選択し、パスワードを入力する。**
5. **必要に応じて以下の接続設定を行う。**

設定項目	説明
［DHCP］	DHCPを設定します。 ［On］に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、［Off］に設定します。
［IP Address］	本機のIPアドレスを入力します。 ［DHCP］を［Off］に設定したときに有効です。
［Subnet Mask］	本機のサブネットマスクを入力します。 ［DHCP］を［Off］に設定したときに有効です。
［Gateway］	アクセスポイントのゲートウェイを入力します。 ［DHCP］を［Off］に設定したときに有効です。
［DNS Auto］	DNS自動取得設定をします。［On］に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 ［DHCP］を［On］に設定したときに有効です。
［Primary DNS Server］	アクセスポイントのプライマリーDNSサーバーを入力します。 ［DNS Auto］を［Off］に設定したときに有効です。
［Secondary DNS Server］	アクセスポイントのセカンダリーDNSサーバーを入力します。 ［DNS Auto］を［Off］に設定したときに有効です。

6. **設定が完了したら［Connect］ボタンを押す。**
本機がインターネットに接続されます。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、［Network］ステータス－［Wireless LAN］－［Remote］を［Enable］に設定してください。
- ［Network］ステータス画面の［Show Authentication］ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

アクセスポイントの情報を手動で入力して接続する

1. **［Network］ステータスの［Wireless LAN］－［Setting］を［Wireless LAN ST］に設定する。**
2. **フルメニューの［Network］－［Wireless LAN］の［Manual Register］を設定する。**
［Wireless LAN］－［Manual Register］画面が表示されます。

3. **以下の設定を行う。**

設定項目	説明
［SSID］	無線LANアクセスポイントのSSIDを入力します。 **ご注意** - 入力可能文字数は1文字～32文字以下です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号(- . @ _ ( ) ! " # $ % & ' * + , / : ; < = > ? [\ ] ^ ` { | } ~)

設定項目	説明
［Security］	暗号化方式を選択します。 **ご注意** ● 本書では、LAN接続を中継する無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを「アクセスポイント」と表記しています。 ● 本機は、セキュリティ設定がWPA3-SAE、WPA2-PSK (AES)、または、セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続することが可能です。セキュアな無線LAN接続を実現するために、セキュリティ設定がWPA3またはWPA2のアクセスポイントを使用することを、強く推奨します。 ● セキュリティ方式は初期状態でWPA2が選択されています。 ● セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続すると、ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、脆弱性への攻撃を受ける可能性があります。特別な理由がある場合以外は、セキュリティ設定なしでの使用は推奨しません。 ● 無線LANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さなかった場合、あるいは無線LANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
［Password］	無線LANアクセスポイントのパスワードを入力します。 **ご注意** ● 入力可能文字数は以下です。 – ［WPA2］の場合：8文字以上63文字以下 – ［WPA3］の場合：8文字以上128文字以下 – ［None］の場合：0文字 また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字、小文字)・数字・記号(- . @ _ ( ) ! " # $ % & ' * + , / : ; < = > ? [\ ] ^ ` { | } ~)
［DHCP］	DHCPを設定します。［On］に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。 手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、［Off］に設定します。
［IP Address］	本機のIPアドレスを入力します。 ［DHCP］を［Off］に設定したときに有効です。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
［Subnet Mask］	本機のサブネットマスクを入力します。 ［DHCP］を［Off］に設定したときに有効です。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
［Gateway］	ゲートウェイのアドレスを入力します。 ［DHCP］を［Off］に設定したときに有効です。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
［DNS Auto］	DNS自動取得設定をします。［On］に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 ［DHCP］を［On］に設定したときに有効です。

設定項目	説明
［Primary DNS Server］	プライマリーDNSサーバーのアドレスを入力します。 ［DNS Auto］を［Off］に設定したときに有効です。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
［Secondary DNS Server］	セカンダリーDNSサーバーのアドレスを入力します。 ［DNS Auto］を［Off］に設定したときに有効です。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。

4. **設定が完了したら［Connect］ボタンを押す。**
本機がインターネットに接続されます。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、［Network］ステータス－［Wireless LAN］－［Remote］を［Enable］に設定してください。
- ［Network］ステータス画面の［Show Authentication］ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

ご注意

- ［Security］（暗号化方式）は［None］、［WPA2］、［WPA3］から選択できます。セキュリティの観点から、暗号化される［WPA2］または［WPA3］の利用を推奨します。セキュアな無線LAN接続を実現するために、セキュリティ設定がWPA2またはWPA3のアクセスポイントを使用することを、強く推奨します。
- セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続すると、ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、脆弱性への攻撃を受ける可能性があります。特別な理由がある場合以外は、セキュリティ設定なしでの使用は推奨しません。
- ［Manual Register］画面でアクセスポイントを設定するとき、入力可能な文字数と文字の種類は以下のとおりです。
  - SSIDを入力する場合：
    入力可能文字数は1文字～32文字です。また、入力可能な文字は以下です。
    英字（大文字・小文字）、数字、記号（- . @ _ ( ) ! " # $ % & ' * + , / : ; < = > ? [\ ] ^ ` { | } ~）
  - パスワードを入力する場合：
    WPA2の入力可能文字数は8文字～63文字です。WPA3の入力可能文字数は8文字～128文字です。また、入力可能な文字は以下です。
    英字（大文字・小文字）、数字、記号（- . @ _ ( ) ! " # $ % & ' * + , / : ; < = > ? [\ ] ^ ` { | } ~）

［Network］ステータス画面の［Status］欄の表示で、動作状態を確認できます。

状態表示	想定原因	対策
［Non Active］	（状態遷移中）	処理中です。しばらくお待ちください。
［Disconnected］	接続するアクセスポイントが選択されていない。	［Disconnected］をタップして、アクセスポイントの一覧から接続先を選択してください。
［Searching］	前回接続したアクセスポイントを探索している。	接続先を変更する場合は、［Searching］をタップしてアクセスポイントの一覧から接続先を選択してください。

状態表示	想定原因	対策
［Connecting］	● アクセスポイントから遠い。 ● IPアドレスの取得中または取得に失敗した。 ● WPS実行中。 ● アクセスポイントから切断された。	以下を確認してください。 ● 接続するアクセスポイントが近くにある。 ● アクセスポイントが本機を信頼する機器と認めている。 ● アクセスポイントの同時接続数上限を超えていない。 ● アクセスポイントまたはネットワークのDHCPサーバーが有効になっている。
（SSID名）	（正常に動作中）	本機は表示のアクセスポイントに接続しています。
［IP Address Error］	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り当てられた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

関連項目

- ネットワークの接続状態を確認する

TP1002063916

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

USBテザリングでインターネットに接続する

USBケーブルで本機とスマートフォンを接続し、スマートフォンの回線を使用してインターネットに接続します。

1. **本機の電源を入れる。**
2. **NETWORKボタンを押す。**
   ［Network］ステータスが表示されます。

ヒント

- MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。

3. **［USB］–［Setting］を［USB Tethering］に設定する。**
   USBテザリングがオンになります。

4. **USBケーブルで本機とスマートフォンを接続する。**
5. **スマートフォンのテザリング通信を有効に設定する。**
   詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
   本機がインターネットに接続されます。

［Network］ステータス画面の［Status］欄の表示で、動作状態を確認できます。

状態表示	想定原因	対策
［Non Active］	（状態遷移中）	処理中です。しばらくお待ちください。
［No Device］	USBケーブルが抜けている。	以下を確認してください。 ● USBケーブルを挿しなおす。 ● 対向機器の電源が入っている。
［Unsp. Cnct. Dev.］	● 対向機器がUSBテザリングに設定されていない。 ● 対向機器がUSBテザリングに対応していない。	対向機器のUSBテザリングがオンに設定されていることを確認してください。 USBハブは使用できません。
［Disconnected］	（状態遷移中）	処理中です。しばらくお待ちください。
［Connecting］	● 対向機器がUSBテザリングに設定されていない。 ● 対向機器が本機を信頼する機器と認めていない。 ● IPアドレスの取得中または取得に失敗した。	以下を確認してください。 ● 対向機器のUSBテザリングがオンに設定されている。 ● 対向機器が本機を信頼する機器と認めている。 ● 対向機器またはネットワークのDHCPサーバーが有効になっている。 DHCPサーバーがない場合は、手動でIPアドレスを設定してください。
［Connected］	（正常に動作中）	本機は正常に動作しています。
［IP Address Error］	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り当てられた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Creators' App for Enterprise」、「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、［Network］ステータス－［USB Tethering］－［Remote］を［Enable］に設定してください。
- ［Network］ステータス画面の［Show Authentication］ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。
- ［USB Tethering］と［USB Stream］の両方が［Off］のときに、本機とスマートフォンをUSB接続すると、有効にするUSB機能を選択する画面が表示されます。この場合は、ドロップダウンリストボックスで［USB Tethering］を選択し、［Execute］を選択すると、USBテザリングがオンになります。

ご注意

- 黒い画面に［USB Connecting］と表示されている場合は、USBケーブルを抜いて撮影画面に戻り、［Network］ステータス画面で［USB］を［USB Tethering］にしてからUSBケーブルを接続してください。
- USBハブを介してスマートフォンを接続した場合、USBテザリングは使用できません。
- 接続されたUSB機器の要求電流に応じて、最大5V/1.5Aまでの電力を供給可能です。
- テザリングを行うスマートフォンは、信頼できるデバイスのみを使用してください。セキュリティ上安全ではないため、素性が不明なデバイスとの接続は推奨しません。

関連項目

- ネットワークの接続状態を確認する

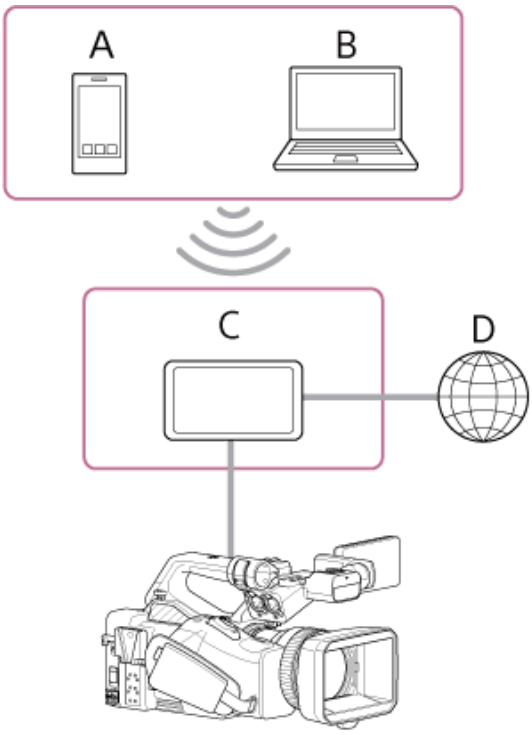
TP1002063917

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

有線LANでインターネットに接続する

本機とルーターを有線LAN接続してインターネットに接続します。無線LANルーターを使用すると、スマートフォンなどのモバイル機器を複数台、本機と接続することができます。



A：スマートフォン/タブレット
B：コンピューター
C：無線LANルーター
D：インターネット

1. **本機のネットワーク端子と無線LANルーターをLANケーブルで接続する。**
2. **本機の電源を入れる。**
3. **NETWORKボタンを押す。**
   ［Network］ステータスが表示されます。

ヒント

- MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。

4. **［Wired LAN］－［Setting］を［Wired LAN］に設定する。**

ご注意

- 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
- 本機はネットワーク機器（例えばルーター、スイッチング・ハブ）ではありません。DoS攻撃（サービス妨害攻撃）などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。
- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。

5. **必要に応じて、フルメニューの［Network］－［Wired LAN］－［Detail Settings］で以下の設定を行い、［Set］を選択する。**

設定項目	説明
［DHCP］	DHCPを設定します。［On］に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。 手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、［Off］に設定します。
［IP Address］	本機のIPアドレスを入力します。 ［DHCP］を［Off］に設定したときに有効です。 **ご注意** ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
［Subnet Mask］	本機のサブネットマスクを入力します。 ［DHCP］を［Off］に設定したときに有効です。 **ご注意** ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
［Gateway］	ゲートウェイのアドレスを入力します。 ［DHCP］を［Off］に設定したときに有効です。 **ご注意** ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
［DNS Auto］	DNS自動取得設定をします。［On］に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 ［DHCP］を［On］に設定したときに有効です。
［Primary DNS Server］	プライマリーDNSサーバーのアドレスを入力します。 ［DNS Auto］を［Off］に設定したときに有効です。 **ご注意** ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
［Secondary DNS Server］	セカンダリーDNSサーバーのアドレスを入力します。 ［DNS Auto］を［Off］に設定したときに有効です。 **ご注意** ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。

［Network］ステータス画面の［Status］欄の表示で、動作状態を確認できます。

状態表示	想定原因	対策
［Non Active］	（状態遷移中）	処理中です。しばらくお待ちください。

状態表示	想定原因	対策
［Disconnected］	● イーサーネットケーブルが抜けている。 ● イーサーネットケーブルで接続した対向機器の電源が入っていない。 ● イーサーネットケーブルが損傷している。	以下を確認してください。 ● イーサーネットケーブルの両端が正しく挿されている。 ● イーサーネットケーブルで接続した対向機器の電源が入っている。 ● イーサーネットケーブルが損傷していない。
［Connecting］	● IPアドレスの取得中または取得に失敗した。 ● ネットワークにDHCPサーバーが存在しない。	しばらく待っても変わらない場合は、ネットワークのDHCPサーバーが有効になっていることを確認してください。 DHCPサーバーがない場合は、手動でIPアドレスを設定してください。
［Connected］	（正常に動作中）	本機は正常に動作しています。
［IP Address Error］	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り当てられた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、［Network］ステータス－［Wired LAN］－［Remote］を［Enable］に設定してください。
- ［Network］ステータス画面の［Show Authentication］ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

ご注意

- 接続設定を変更した場合、必ず［Set］を選択してください。［Set］を選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

関連項目

- ネットワークの接続状態を確認する

TP1002063918

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ネットワークの接続状態を確認する

NETWORKボタンを押すと［Network］ステータス画面が表示されます。
各ネットワーク接続の状態を確認することができます。

ヒント

- リモート操作を行う場合は、該当する経路の［Remote］を［Enable］に設定してください。リモート操作を行わない場合は、意図しない動作を避けるため、［Disable］に設定することを強くお勧めします。

無線LAN・アクセスポイントモード（AP）の場合

状態表示	想定原因	対策
［Non Active］	（状態遷移中）	処理中です。しばらくお待ちください。
（SSID名）	モバイル機器の接続を待ち受けている。	SSID名をタップすると、本機のSSIDとパスワードを表示します。モバイル機器の無線LAN機能に設定してください。
［Connected］	モバイル機器が接続されている。	複数の機器を接続することはできません。
［IP Address Error］	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り当てられた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

無線LAN・ステーションモード（ST）の場合

状態表示	想定原因	対策
［Non Active］	（状態遷移中）	処理中です。しばらくお待ちください。
［Disconnected］	接続するアクセスポイントが選択されていない。	［Disconnected］をタップして、アクセスポイントの一覧から接続先を選択してください。
［Searching］	前回接続したアクセスポイントを探索している。	接続先を変更する場合は、［Searching］をタップしてアクセスポイントの一覧から接続先を選択してください。

状態表示	想定原因	対策
［Connecting］	● アクセスポイントから遠い。 ● IPアドレスの取得中または取得に失敗した。 ● WPS実行中。 ● アクセスポイントから切断された。	以下を確認してください。 ● 接続するアクセスポイントが近くにある。 ● アクセスポイントが本機を信頼する機器と認めている。 ● アクセスポイントの同時接続数上限を超えていない。 ● アクセスポイントまたはネットワークのDHCPサーバーが有効になっている。
（SSID名）	（正常に動作中）	本機は表示のアクセスポイントに接続しています。
［IP Address Error］	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り当てられた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

有線LANの場合

状態表示	想定原因	対策
［Non Active］	（状態遷移中）	処理中です。しばらくお待ちください。
［Disconnected］	● イーサーネットケーブルが抜けている。 ● イーサーネットケーブルで接続した対向機器の電源が入っていない。 ● イーサーネットケーブルが損傷している。	以下を確認してください。 ● イーサーネットケーブルの両端が正しく挿されている。 ● イーサーネットケーブルで接続した対向機器の電源が入っている。 ● イーサーネットケーブルが損傷していない。
［Connecting］	● IPアドレスの取得中または取得に失敗した。 ● ネットワークにDHCPサーバーが存在しない。	しばらく待っても変わらない場合は、ネットワークのDHCPサーバーが有効になっていることを確認してください。 DHCPサーバーがない場合は、手動でIPアドレスを設定してください。
［Connected］	（正常に動作中）	本機は正常に動作しています。
［IP Address Error］	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り当てられた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

USBテザリングの場合

状態表示	想定原因	対策
［Non Active］	（状態遷移中）	処理中です。しばらくお待ちください。
［No Device］	USBケーブルが抜けている。	以下を確認してください。 ● USBケーブルを挿しなおす。 ● 対向機器の電源が入っている。
［Unsp. Cnct. Dev.］	● 対向機器がUSBテザリングに設定されていない。 ● 対向機器がUSBテザリングに対応していない。	対向機器のUSBテザリングがオンに設定されていることを確認してください。 USBハブは使用できません。
［Disconnected］	（状態遷移中）	処理中です。しばらくお待ちください。

状態表示	想定原因	対策
［Connecting］	● 対向機器がUSBテザリングに設定されていない。 ● 対向機器が本機を信頼する機器と認めていない。 ● IPアドレスの取得中または取得に失敗した。	以下を確認してください。 ● 対向機器のUSBテザリングがオンに設定されている。 ● 対向機器が本機を信頼する機器と認めている。 ● 対向機器またはネットワークのDHCPサーバーが有効になっている。 DHCPサーバーがない場合は、手動でIPアドレスを設定してください。
［Connected］	（正常に動作中）	本機は正常に動作しています。
［IP Address Error］	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り当てられた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

TP1002077198

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

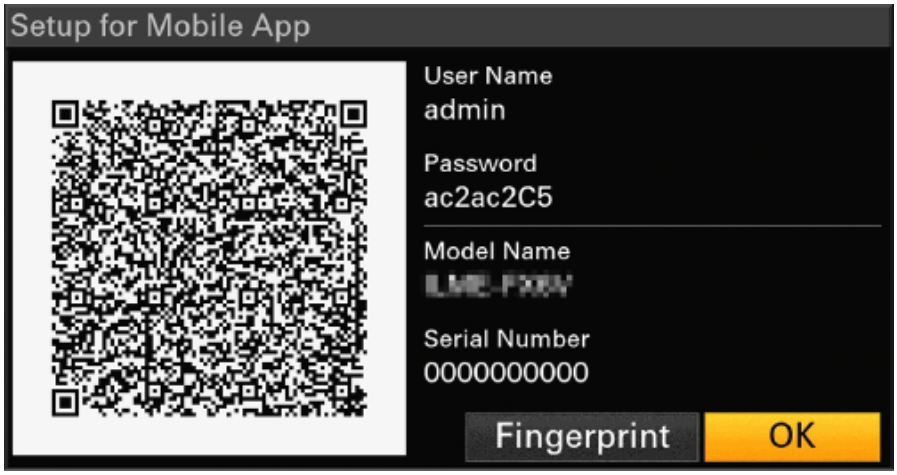
「C3 Portal」や「Ci Media Cloud」へファイルを転送する

「Creators' App for Enterprise」を使って、クラウドサービス「C3 Portal」や「Ci Media Cloud」へファイルを転送することができます。

1. **フルメニューの［Network］–［Network Setup］–［Setup for Mobile App］を実行する。**
   自動変更される項目の確認画面が表示されます。
   ［Network］メニューの設定が次のように自動変更されます。

   - ［USB Tethering］–［Setting］–［On］
   - ［USB Tethering］–［Camera Remote Control］–［Enable］

2. **設定内容を確認して［OK］を選択する。**
   設定が開始されます。
   設定中はメッセージが表示されます。
   設定が正常に終了すると、LCDモニターにアクセス認証の画面が表示されます。



   画面には以下の情報が表示されます。
   ユーザー名/パスワード/フィンガープリント/カメラのモデル名/シリアル番号

ヒント

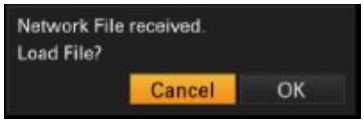
- 本画面は映像出力へ出力されません。

ご注意

- パスワードを盗み見られたり、QRコードの画像を流出させないように注意してください。

3. **スマートフォンの「Creators' App for Enterprise」を起動し、ファイル転送先のクラウドサービスを選択してサインインする。**
4. **本機のデータ通信用USB-C端子にUSBケーブルを接続し、スマートフォンを接続する。**
5. **スマートフォンのUSBテザリング機能を有効にする。**
   詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

6. **「Creators' App for Enterprise」の画面の指示に従って、本機のLCDモニターに表示されたQRコードを撮影する。**
   スマートフォンから本機へファイル転送の設定情報が送られ、本機に次の画面が表示されます。



7. **［OK］を選択する。**
   設定の読み込みが開始されます。
   設定の読み込みが正常に終了すると、メッセージが表示されます。

ご注意

- 「Creators' App for Enterprise」は、本機の［Network］－［File Transfer］の設定を書き換えます。
- ［Root Certificate］は自動では設定できません。手動で設定してください。

オリジナルクリップを転送する

［File Transfer］ステータスまたはフルメニューの［Network］－［File Transfer］－［Auto Upload］を［On］に設定すると、オリジナルクリップを自動で転送できます。
記録を終了するたびに、選択したクラウドサービスのアカウントに紐づけされた場所へクリップが転送されます。

プロキシクリップを転送する

［File Transfer］ステータスまたはフルメニューの［Network］－［File Transfer］－［Auto Upload (Proxy)］を［On］に設定すると、プロキシクリップを自動で転送できます。
記録を終了するたびに、選択したクラウドサービスのアカウントに紐づけされた場所へクリップが転送されます。

ヒント

- 本機から転送されたファイルは、「Creators' App for Enterprise」でキャッシュされながら「C3 Portal」や「Ci Media Cloud」へ転送されます。本機のファイル転送状態の表示は、「Creators' App for Enterprise」への転送状況を示しています。
- 本機から「Creators' App for Enterprise」へファイル転送が終了した後は、本機の電源をオフにすることができますが、スマートフォンからのファイル転送は継続している場合があります。スマートフォンの電池残量にはご注意ください。
- 「C3 Portal」や「Ci Media Cloud」へ任意のクリップを転送することができます。詳細は下記をご覧ください。
  クリップを選んで転送する
- 「C3 Portal」で保存された3D LUTファイルを本機にインポートすることがきます。
- 本機で作成したAllファイルを「C3 Portal」に保存したり、読み出したりして利用することができます。

「C3 Portal」を使用したその他の機能

3D LUTファイルを管理する
「C3 Portal」側で保存された3D LUTファイルを本機にインポートできます。
Allファイルを管理する
本機で作成したAllファイルを「C3 Portal」に保存したり、読み出したりして利用できます。

関連項目

- 好みの基本ルックをインポートする
- 設定内容をファイルに保存する

TP1002063919

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ファイルを転送するための準備をする

記録したプロキシクリップやオリジナルクリップを、インターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送することができます。
以下の手順に従って、本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続します。
無線LANでインターネットに接続する
USBテザリングでインターネットに接続する
有線LANでインターネットに接続する

ファイルの転送先を登録する

あらかじめクリップを構成するファイルを転送するサーバーを登録しておきます。

1. **フルメニューの［Network］－［File Transfer］－［Server Settings1］～［Server Settings16］を選択する。**
2. **転送先設定画面が表示されます。**
3. **転送先設定画面の各項目を設定する。**

設定項目	説明
［Display Name］	転送先のリストに表示されるサーバー名を入力します。 **ご注意** ● 入力可能文字数は1文字～16文字です。 また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（! # $ % & ’( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [ ] ~）
［Service］	サーバーの種類を表示します。 ［FTP］：FTP サーバー
［Host Name］	サーバーのアドレスを入力します。 **ご注意** ● 入力可能文字数は1文字～255文字です。 また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（. -）
［Port］	サーバーに接続する際のポート番号を入力します。 **ご注意** ● 入力可能文字数は1文字～5文字です。 また、入力可能な文字は数字のみです。
［User Name］	ユーザー名を入力します。 **ご注意** ● 入力可能文字数は0文字～255文字です。 また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（- . @ _ ( ) ! " # $ % & ' * + , / : ; < = > ? [\ ] ^ ` { | } ~）

設定項目	説明
［Password］	パスワードを入力します。 **ご注意** ● 入力可能文字数は0文字～255文字です。 また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（- . @ _ ( ) ! " # $ % & ' * + , / : ; < = > ? [\ ] ^ ` { | } ~）
［Passive Mode］	パッシブモードのオン/オフを行います。
［Destination Directory］	転送先ディレクトリー名を入力します。 **ご注意** ● オリジナルクリップは、転送先として指定したディレクトリー内の「Main」フォルダーに転送されます。 ● 編集時、編集不可能な文字は“□”で表示されます。この文字を含むディレクトリー名を編集した場合の動作は保証されません。もし編集してしまった場合は、すべての文字を削除して入力し直してください。 ● 転送先サーバーで使用できない文字を［Destination Directory］に入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。 ● 入力可能文字数は0文字～128文字です。 また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（! # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [ ] ~）
［Using Secure Protocol］	セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。 詳しくは「セキュアなFTP転送を行うには」をご覧ください。
［Root Certificate］	証明書の読み込みや消去を行います。 ● ［Load］：手順3で［Set］を選択すると、CA証明書を読み込みます。 **ご注意** ● 読み込む証明書はPEM形式で、カードスロットBに挿入したメモリーカードのルートディレクトリーに「certification.pem」のファイル名で書き込んでおいてください。 ● ［Clear］：手順3で［Set］を選択すると、CA証明書をクリアします。 ● ［None］：読み込み/消去を行いません。 **ご注意** ● CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。 ● 記録フォーマットにより、記録動作が優先されるため証明書を［Load］/［Clear］できない場合があります。 ● 低電圧時には、CA証明書を［Load］/［Clear］することはできません。
［Root Certificate Status］	証明書の読み込み状態を表示します。
［Reset］	［Server Settings1］～［Server Settings16］の設定を初期値に戻します。

4. 設定が完了したら［Set］を選択し、設定内容を確定する。

ご注意

● 設定完了後は、必ず［Set］を選択してください。［Set］を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

TP1002063920

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

クリップを選んで転送する

メモリーカードに記録したプロキシクリップやオリジナルクリップをサーバーに転送します。

ご注意

- 分割記録したプロキシクリップは自動転送専用ファイルになるため、そのファイルを選んで転送することはできません。

プロキシクリップを転送する

1. **フルメニューの［Thumbnail］－［Transfer Clip (Proxy)］－［Select Clip］を選択する。**
   画面がフルメニューからサムネイル画面に変わります。
   クリップの転送は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で操作することができます。

2. **転送したいクリップを選択し、最後にMENUボタンを押す。**
   転送を実行する確認画面が表示されます。

3. **［Execute］を選択する。**
   選択したオリジナルクリップに対応するプロキシクリップが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
   転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。

4. **［OK］を選択する。**

ヒント

- 手順1で［Select Clip］ではなく、［All Clips］を選択するとオリジナルクリップに対応するプロキシクリップが一括転送されます。

ご注意

- 転送ジョブの上限は200件です。

オリジナルクリップを転送する

1. **フルメニューの［Thumbnail］－［Transfer Clip］－［Select Clip］を選択する。**
   画面がフルメニューからサムネイル画面に変わります。
   ファイルの転送は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で操作することができます。

2. **転送したいクリップを選択し、最後にMENUボタンを押す。**
   転送を実行する確認画面が表示されます。

3. **［Execute］を選択する。**
   選択したクリップが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
   転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。

4. **［OK］を選択する。**

ヒント

- 手順1で［Select Clip］ではなく、［All Clips］を選択するとクリップが一括転送されます。

ご注意

- オリジナルクリップは、転送先として指定したディレクトリー内の「Main」フォルダーに転送されます。
- 転送ジョブの上限は200件です。

転送状態を確認する

フルメニューの［Network］－［File Transfer］－［View Job List］を選択すると、ファイルの転送状態を確認することができます。
モバイル機器と接続すると「Catalyst Browse」アプリケーションでファイルの転送状態を確認することもできます。

ヒント

- ［File Transfer］ステータスまたはフルメニューの［Network］－［File Transfer］－［Auto Upload］/［Auto Upload (Proxy)］を［On］に設定し、ネットワークに接続している場合、記録終了時に［Default Upload Server］で設定されたサーバーに対して、自動的にオリジナルクリップやプロキシクリップを転送します。オリジナルクリップとプロキシクリップの両方を自動転送に設定している場合には、プロキシクリップが優先して自動転送されます。

ご注意

- ジョブリストは本機の電源をオフにしても保持されますが、電源スイッチを（スタンバイ）にせずにバッテリーパックを取り外した場合には、最大で10分間分程度の進捗情報が喪失する可能性があります。
- バッテリー電圧低下状態に陥った後に追加されたジョブについては、ジョブリストに保存されません。
- ファイル転送中に転送がエラーになると、転送先サーバーの設定や状態によっては、同じ名前のクリップが転送できなくなることがあります。その場合は転送先サーバーの設定や状態を確認してください。

関連項目

- サムネイル画面の構成
- クリップを操作する

TP1002063921

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

クリップを自動転送する

クリップを自動転送することができます。

オリジナルクリップを自動転送する

記録終了時にオリジナルクリップを指定したサーバーに自動で転送します。
自動転送を有効にするには、［File Transfer］ステータスまたはフルメニューの［Network］–［File Transfer］–［Auto Upload］を［On］に設定します。

プロキシクリップを自動転送する

記録終了時にプロキシクリップを指定したサーバーに自動で転送します。
自動転送を有効にするには、［File Transfer］ステータスまたはフルメニューの［Network］–［File Transfer］–［Auto Upload (Proxy)］を［On］に設定します。
また、［Auto Upload (Proxy)］を［Chunk］に設定すると、プロキシクリップを分割記録して、記録継続中でも指定したサーバーに順次転送することができます。分割記録したプロキシクリップの自動転送は、他のファイル転送ジョブよりも優先されて行われます。

関連項目

- プロキシ記録
- プロキシクリップを分割記録し、転送する

TP1002063922

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

セキュアなFTP転送を行うには

ファイルの転送先サーバーとの接続にFTPSのExplicitモード（FTPES）を使用することで、ファイルを暗号化して転送することができます。

セキュアなFTP転送の設定

セキュアなFTP転送を行うには、ファイル転送先サーバーの設定で、［Using Secure Protocol］を［On］に設定し、証明書の読み込みを行います。

FTP機能に関するご注意

FTPはコンテンツ、ユーザー名、パスワードが暗号化されていません。セキュアな転送を確保するため、FTPES（FTPS）を使用してください。

FTPS機能について

FTPS機能は、安全なファイル転送を実現するために様々な暗号化アルゴリズムをサポートしています。幅広いサーバーとの互換性を確保するため、複数の暗号化アルゴリズムに対応していますが、その中には現在のセキュリティベストプラクティスに適合しないものも含まれています。

FTPS機能がサポートする暗号化アルゴリズム

以下の暗号化アルゴリズムをサポートしています。

- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256

推奨される暗号化アルゴリズムについて

NIST勧告（NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5）および関連するセキュリティ標準に基づき、以下の暗号化アルゴリズムが推奨されています。

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384

非推奨アルゴリズムについて

FTPS機能は互換性のため以下のアルゴリズムもサポートしていますが、NIST勧告（NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5）および関連するセキュリティ標準に基づき非推奨とされており、将来のバージョンでは削除される可能性があります。

- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256

接続互換性について

FTPS機能は、セキュリティと互換性のバランスを考慮して設計されています。現時点では、以下の理由から非推奨アルゴリズムもサポートしていますが、将来のバージョンではセキュリティ強化のためこれらのアルゴリズムを削除する可能性があります。

- フリーランスのフォトグラファーやビデオグラファーは、様々なクライアントが運用するサーバーに接続する必要があります。
- 古いシステムやレガシーサーバーとの互換性を維持する必要があります。
- サーバー側での暗号化アルゴリズムの設定変更は複雑であり、すべてのユーザーが安全な設定に変更できるとは限りません。
- FTPSのサーバー設定は、他のセキュアサービスと共有されることが多く、サーバー上の他サービスへの影響を考慮する必要があり容易に変更できるとは限りません。
- 様々な環境での相互運用性を確保するため、幅広い暗号化アルゴリズムのサポートが必要です。

FTPS接続時に使用される暗号化アルゴリズムは接続先サーバーとの自動ネゴシエーションによって決定されるため、サーバー側の設定に依存します。セキュリティリスクを認識しつつも、ユーザーの多様なニーズに応えるため、現時点では幅広い互換性を優先しています。

セキュリティリスク

CBC/DHE/RSA/SHA-1を含む非推奨アルゴリズムを使用すると、暗号化されたデータが攻撃者によって解読または改ざんされるリスクが高まり、転送中のデータが漏洩する危険性があります。

安全な接続のための推奨事項

FTPS機能を使用する際は、接続先サーバーが推奨暗号化アルゴリズムをサポートしているか事前に確認してください。サーバー側では推奨アルゴリズムのみを有効にし、非推奨アルゴリズムを無効化することをお勧めします。

参考資料

- Recommendation for Key Management, Special Publication 800-57 Part 1 Revision 5, NIST, 2020.
- Transitioning the Use of Cryptographic Algorithms and Key Lengths, Special Publication 800-131A Revision 2, NIST, 2019.
- Recommendation for Block Cipher Modes of Operation: The CMAC Mode for Authentication, Special Publication 800-38B, NIST, 2005 (includes updates as of 10/06/2016).

関連項目

- ファイルを転送するための準備をする

TP1002063923

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ストリーミングする

本機で撮影/再生している映像と音声を低遅延でストリーミングすることができます。
ストリーミングには二種類あります。

- RTMP/RTMPSストリーミング
  Adobe Inc.が開発したRTMP（Real Time Messaging Protocol）で、本機で撮影映像と音声を低遅延でストリーミングすることができます。SSLで暗号化したRTMPSにも対応しています。

- SRTストリーミング
  Haivision社が開発したSRT（Secure Reliable Transport）で、本機で撮影映像と音声を低遅延でストリーミング伝送することができます。SRTストリーミングにはListenerとCallerがあり、ListenerがIPアドレスやドメインなど接続先情報を持ち、CallerがListenerに接続します。本機はCallerに該当します。

ご注意

- セキュアなストリーミング配信を行うためには、配信URLに「rtmps://」が含まれている必要があります。RTMPは、一般的なストリーミング配信に使用されますが、セキュリティが十分ではありません。一方でRTMPSは、SSL/TLSを使用してデータを暗号化し、安全な配信を実現します。
- SRTでは、暗号化の設定項目としてAES-128またはAES-256を選択することができます。これにより、ストリーミングデータが暗号化され、安全に配信されます。無線LANの［Security］（暗号化方式）を［None］に設定することも可能ですが、この場合、データは暗号化されず、通信がセキュアでなくなります。この設定をする場合は、ネットワーク環境や配信先のセキュリティ要件を十分に考慮してください。
- SRTの暗号化設定は、配信先と一致させる必要があります。配信先が使用する暗号化方式と同じ設定を行うことで、正常な通信が確保されます。
- SRTを利用する場合、パスフレーズ、共通鍵の入力可能な文字の種類は、アルファベット、数字、記号です。文字数は16文字以上に設定することを強く推奨します。

ストリーミングのビットレートの範囲と初期値は、システム周波数と解像度によって以下のように異なります。

システム周波数	ストリーミング		
	解像度	ビットレート範囲（Mbps）	初期値（Mbps）
59.94/50	3840×2160	38のみ	–
	1920×1080	4.5 ～ 27	9
	1280×720	2.3～13.5	6
29.97/25/23.98	3840×2160	13 ～ 38	34
	1920×1080	3 ～ 18	6
	1280×720	1.5 ～ 9	4

ご注意

- 保存した動画を使った再生ストリーミングには対応していません。
- 映像の出力方式がインターレース方式のときでも、ストリーミングではプログレッシブ方式で出力されます。

RTMPS機能について

RTMPS機能は、安全なRTMPSストリーミング配信を実現するために様々な暗号化アルゴリズムをサポートしています。幅広い配信先のサーバーとの互換性を確保するため、複数の暗号化アルゴリズムに対応していますが、その中には現在のセキュリティベストプラクティスに適合しないものも含まれています。

RTMPS機能がサポートする暗号化アルゴリズム

以下の暗号化アルゴリズムをサポートしています。

- TLS_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_AES_128_CCM_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CCM
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CCM
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CCM
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CCM
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256

推奨される暗号化アルゴリズムについて

NIST勧告（NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5）および関連するセキュリティ標準に基づき、以下の暗号化アルゴリズムが推奨されています。

- TLS_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_AES_128_CCM_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CCM
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CCM
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256

非推奨アルゴリズムについて

RTMPS機能は互換性のため以下のアルゴリズムもサポートしていますが、NIST勧告（NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5）および関連するセキュリティ標準に基づき非推奨とされており、将来のバージョンでは削除される可能性があります。
Key exchange algorithms

- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CCM
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CCM
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256

接続互換性について

RTMPS機能は、セキュリティと互換性のバランスを考慮して設計されています。現時点では、以下の理由から非推奨アルゴリズムもサポートしていますが、将来のバージョンではセキュリティ強化のためこれらのアルゴリズムを削除する可能性があります。

- RTMPSのストリーミング機能を使用するには、RTMPS配信に対応した様々なサーバーに接続する必要があります。
- 古いシステムやレガシーサーバーとの互換性を維持する必要があります。
- サーバー側での暗号化アルゴリズムの設定変更は複雑であり、すべてのユーザーが安全な設定に変更できるとは限りません。
- RTMPSのサーバー設定は、他のセキュアサービスと共有されることが多く、サーバー上の他サービスへの影響を考慮する必要があり容易に変更できるとは限りません。
- 様々な環境での相互運用性を確保するため、幅広い暗号化アルゴリズムのサポートが必要です。

RTMPS接続時に使用される暗号化アルゴリズムは接続先サーバーとの自動ネゴシエーションによって決定されるため、サーバー側の設定に依存します。セキュリティリスクを認識しつつも、ユーザーの多様なニーズに応えるため、現時点では幅広い互換性を優先しています。

セキュリティリスク

CBCおよびDHEを含む非推奨アルゴリズムを使用すると、暗号化されたデータが攻撃者によって解読されるリスクが高まり、ストリーミング配信中のデータが漏洩する危険性があります。

安全な接続のための推奨事項

RTMPSのストリーミング配信機能を使用する際は、接続先サーバーが推奨暗号化アルゴリズムをサポートしているか事前に確認してください。サーバー側では推奨アルゴリズムのみを有効にし、非推奨アルゴリズムを無効化することをお勧めします。

参考資料

- Recommendation for Key Management, Special Publication 800-57 Part 1 Revision 5, NIST, 2020.
- Transitioning the Use of Cryptographic Algorithms and Key Lengths, Special Publication 800-131A Revision 2, NIST, 2019.
- Recommendation for Block Cipher Modes of Operation: The CMAC Mode for Authentication, Special Publication 800-38B, NIST, 2005 (includes updates as of 10/06/2016).

RTMP/RTMPSストリーミングの設定をする

接続先とフォーマットを設定する

1. **フルメニューの［Network］－［Stream］を［RTMP/RTMPS 1］～［RTMP/RTMPS 8］に設定する。**
   接続先設定画面が表示されます。

2. **接続先設定画面の各項目を設定する。**

設定項目	説明
［Display Name］	［Destination Select］のメニュー上の表示名を設定します。
［Codec］	ストリーミングする映像のコーデックが表示されます。
［Resolution］	ストリーミングする映像の解像度を設定します。 - 3840×2160P - 1920×1080P - 1280×720P
［Bit Rate］	ストリーミングする映像のビットレートを設定します。
［Destination URL］	接続するサーバーのURLを設定します。 「rtmps://」で始まるURLは、RTMPSストリーミングと認識され、ストリーミングデータは暗号化されます。この場合、RTMPS接続用の証明書が必要になります。
［Stream Key］	ストリーミング接続で使用するストリームキーを設定します。
［RTMPS Certificate］	RTMPSストリーミング用の証明書の読み込みや消去について設定します。 - ［Load］：証明書を読み込みます。 **ご注意** - 読み込む証明書はPEM形式で、メモリーカードのルートディレクトリーに「RTMPS_certification.pem」のファイル名で書き込んでおいてください。 - ［Clear］：証明書をクリアします。 - ［None］：読み込み/消去を行いません。 ここで証明書を読み込まない場合は、本機に内蔵の既定証明書が使用されます。

3. **設定が完了したら［Set］を選択し、設定内容を確定する。**

ご注意

- 設定完了後は、必ず［Set］を選択してください。［Set］を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。
- RTMPS接続用の証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。

- 記録フォーマットにより、記録動作が優先されるため証明書を［Load］/［Clear］を実行できない場合があります。
- 低電圧時には、RTMPS接続用の証明書を［Load］/［Clear］することはできません。
  ［RTMPS Certificate Status］：RTMPS接続用の証明書の読み込み状態を表示します。
  ［Reset］：設定を初期値に戻します。

本機に内蔵の既定証明書を任意の既定証明書に変更する

1. **カードスロットBに任意の既定証明書が保存されているメモリーカードを挿入する。**
   読み込まれるファイル：メモリーカードのルートディレクトリー直下の「RTMPS_DefaultCertificates.pem」

2. **フルメニューの［Network］–［Stream］–［RTMPS Default Certificates］–［Replace］で［Execute］を選択する。**
   メモリーカードに既定証明書が書き込まれていることを確認するメッセージが表示されます。なお、既定証明書は、ユーザー任意の既定証明書に変更することも可能です。

3. **［OK］を選択する。**
   任意の既定証明書が本機に読み込まれます。
   読み込みが正常に終了すると、メッセージが表示されます。

本機に内蔵の既定証明書に戻す

フルメニューの［Network］–［Stream］–［RTMPS Default Certificates］–［Reset］で［Execute］を選択します。
操作が正常に終了すると、メッセージが表示されます。
任意に登録した既定証明書が削除され、本機に内蔵の既定証明書が有効になります。

既定証明書の状態を確認する

フルメニューの［Network］–［Stream］–［RTMPS Default Certificates］–［Status］で既定証明書の状態が表示されます。
本機に内蔵の既定証明書が使用されている場合は、［Preinstall］と表示されます。
任意の既定証明書が使用されている場合は、証明書の変更が行われた日時が表示されます。
表示形式：年4桁（西暦）＋月2桁＋日2桁＋時2桁（24時間）＋分2桁＋秒2桁
表示例：2024年12月1日12時34分56秒→20241201123456

SRTストリーミングの設定をする

接続先とフォーマットを設定する

1. **フルメニューの［Network］–［Stream］を［SRT-Caller 1］～［SRT-Caller 8］に設定する。**
   接続先設定画面が表示されます。

2. **接続先設定画面の各項目を設定する。**

設定項目	説明
［Display Name］	［Destination Select］のメニュー上の表示名を設定します。
［Codec］	ストリーミングする映像のコーデックを設定します。
［Resolution］	ストリーミングする映像の解像度を設定します。 ・1920×1080P ・1280×720P
［Bit Rate］	ストリーミングする映像のビットレートを設定します。
［Destination URL］	接続するサーバーのURLを設定します。
［Port］	ストリーミングの送信先のポートを設定します。
［Latency］	ストリーミングの配信遅延時間を設定します。
［TTL］	ストリーミングのTTL値を設定します。
［Encryption］	ストリーミングの暗号化方式を設定します。
［Passphrase］	ストリーミングの暗号化に使用するパスフレーズを設定します。
［ARC］	ストリーミング時のAdaptive Rate Control機能を有効にするか無効にするか設定します。

ご注意

- ［Codec］で［H.265/HEVC］を使用する場合、一部の受信機では正常に再生されない場合があります。再生に問題が発生した場合には［H.264/AVC］をお試しください。

3. **設定が完了したら［Set］を選択し、設定内容を確定する。**
   設定完了後は、必ず［Set］を選択してください。［Set］を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。
   ［Reset］：設定を初期値に戻します。

ストリーミングを開始する

1. **本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続する。**

ご注意

- ストリーミングは継続的に大量の通信を行うため、有線LANの使用をお勧めします。とくに無線LAN2.4GHz帯の使用は、モバイル機器からのリモート操作やBluetoothリモコンの動作に支障が出る場合があります。やむを得ず無線接続を使用する場合は、事前に本番同等の電波環境で十分なテストを行ってください。
- 本機はネットワーク機器（例えばルーター、スイッチング・ハブ）ではありません。DoS攻撃（サービス妨害攻撃）などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。
- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合（例えばFree Wi-Fiなど）、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。

2. **［Stream］ステータス、またはフルメニューの［Network］－［Stream］－［Destination Select］で、事前に設定した伝送設定を選択する。**
3. **［Stream］ステータスの［RTMP/RTMPS Status］/［SRT-Caller Status］、またはフルメニューの［Network］－［Stream］－［Setting］を［On］に設定する。**
   設定に応じてストリーミングが開始されます。

ご注意

- 以下の場合、ストリーミングを開始できません。
  - フルメニューの［Shooting］－［S&Q Motion］－［Setting］を［On］に設定しているとき
  - フルメニューの［Project］-［Simul Rec］-［Setting］を［On］に設定しているとき
  - フルメニューの［Project］-［Interval Rec］-［Setting］を［On］に設定しているとき
  - フルメニューの［Project］－［Picture Cache Rec］－［Setting］を［On］に設定しているとき
  - フルメニューの［Project］－［4K & HD (Sub) Rec］－［Setting］を［On］に設定しているとき
- ストリーミング中に、フルメニューの［Project］-［Picture Cache Rec］-［Cache Size］の設定を変更することはできません。
- ストリーミングを開始してから実際に映像/音声がストリーミングされるまでに数十秒かかる場合があります。
- ストリーミングの接続先の設定が不正な場合やネットワークに接続できていない場合には、ストリーミング状態表示に✕が表示されます。
- インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。接続先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- お使いのインターネット回線やネットワークの状況によっては、配信が中断される場合があります。その場合は、再度ストリーミングを開始してください。
- 動きの激しいシーンの場合は、画質が悪くなります。
- ストリーミングを大きな解像度で小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためには、［Resolution］でより小さい解像度を選んでください。
- ストリーミング中は、Monitor & Controlで映像を見ることはできません。
- ストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
- ストリーミング中は画面情報の更新頻度が低下しますが、操作には影響しません。
- ストリーミング中は、記録設定は変更できません。
- ストリーミング可能な配信フォーマットは、本線の［Rec Format］によって変わります。
- ストリーミングの解像度が3840x2160Pのとき、デジタルエクステンダー機能を使用すると拡大率は1.5倍になります。

ストリーミングを停止する

［Stream］ステータスの［RTMP/RTMPS Status］/［SRT-Caller Status］、またはフルメニューの［Network］－［Stream］－［Setting］を［Off］に設定するとストリーミングが停止します。

TP1002063924

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

サムネイル画面の構成

THUMBNAILボタンを押すと、メモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル画面に表示されます。
サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生映像は、LCDモニター/外部モニターに表示されます。
THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

ご注意

- サムネイル画面には、現在選択している記録フォーマットで記録されたクリップのみが表示されます。記録したはずのクリップが表示されないときは、記録フォーマットをご確認ください。また、メモリーカードを初期化する場合は、メモリーカードのすべてのデータが消去されますのでご注意ください。

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。

A：現在選択されているメモリーカード（プロテクトされている場合は右にロックマーク表示）
表示するメモリーカードを切り替えるには、SLOT SELECTボタンを押してください。
B：クリップ番号/クリップ総数
C：カーソル（黄色）

1. **サムネイル**
   各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画像に設定されます。
   サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。フルメニューの［Thumbnail］－［Customize View］－［Thumbnail Caption］で表示内容を変更できます。

2. **クリップ名**
   選択されているクリップのクリップ名が表示されます。電子署名が付与されている場合は、クリップ名の先頭に電子署名のアイコンが表示されます。

3. **記録時の記録フォーマット**
   選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

4. **特殊記録撮影情報**
   特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。
   スロー＆クイックモーションモードで撮影されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

5. **クリップの記録時間**
6. **作成日時**

TP1002063925

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

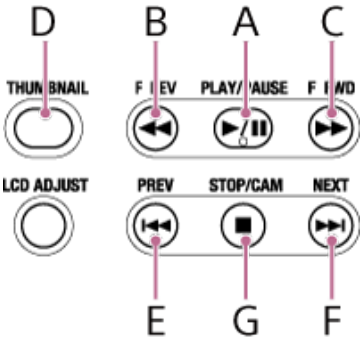
クリップを再生する

本機が記録停止中のときは、記録したクリップを再生することができます。

1. **再生するメモリーカードを入れる。**
2. **再生操作ボタンのPLAY/PAUSEボタンを押す。**
3. **PREVボタンまたはNEXTボタンを押して、再生したいクリップの頭出しをする。**
4. **PLAY/PAUSEボタンを押す。**
   再生画面が表示されます。

再生操作は次のボタンやダイヤルで行います。

ハンドルの再生操作ボタン



A：PLAY/PAUSEボタン
再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。
B：F REVボタン
C：F FWDボタン
高速再生します。PLAY/PAUSEボタンを押すと標準再生に戻ります。
D：THUMBNAILボタン
再生状態で押すと、サムネイル画面が表示されます。もう一度押すと撮像状態に戻ります。
E：PREVボタン
現在のクリップの先頭に移動します。クリップの先頭で押すと前のクリップに移動します。PREVボタンを押した状態でF REVボタンを押すと、先頭のクリップに移動します。
F：NEXTボタン
次のクリップの先頭に移動します。NEXTボタンを押した状態でF FWDボタンを押すと、最終のクリップに移動します。
G：STOP/CAMボタン
再生を停止します。

マルチセレクター/マルチファンクションダイヤル/タッチパネル

マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤル押し、再生映像のタップ：
再生を一時停止します。
もう一度押すと再生に戻ります。
マルチセレクターの左ボタン/右ボタン押し、再生映像の右フリック/左フリック：
クリップの先頭または前後のクリップに移動します。
マルチセレクターの左ボタン/右ボタン長押し：
高速再生します。
長押しをやめると標準再生に戻ります。
CANCEL/BACKボタン：
再生を停止し、撮影画面に戻ります。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

1. **再生するメモリーカードを入れる。**
2. **THUMBNAILボタンを押す。**
   再生したいメモリーカードと異なるメモリーカードのクリップが表示されている場合、SLOT SELECTボタンを押して切り替えてください。

3. **マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを操作して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。**
   サムネイル画面を上下にドラッグすると、スクロールさせることができます。

4. **マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを押す。**
   選択したクリップの先頭から再生が始まります。
   サムネイルをタップした場合も再生が始まります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作ができません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れのない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、マルチセレクターの左ボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

TP1002063926

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

クリップを操作する

サムネイル画面では、フルメニューの［Thumbnail］メニューを使用してクリップの操作や詳細情報の確認などができます。

クリップ操作メニュー

- ［Display Clip Properties］
- ［Set Clip Flag］
- ［Lock/Unlock Clip］
- ［Delete Clip］
- ［Copy Clip］
- ［Copy Sub Clip］
- ［Transfer Clip］
- ［Transfer Clip (Proxy)］
- ［Filter Clips］
- ［Customize View］

クリップの詳細情報を表示する

フルメニューの［Thumbnail］－［Display Clip Properties］を選択します。
マルチセレクターを左右へ押すと、前後のクリップへ移動することができます。
PREV/NEXTボタンやタッチパネルの左右ドラッグ操作も使用できます。

1. **現在のクリップの画像**
2. **タイムコード表示**
   ［TC Index］：クリップのタイムコード
   ［Start］：記録開始点のタイムコード
   ［End］：記録終了点のタイムコード
   ［Duration］：収録時間
3. **収録日時と変更日時**
4. **現在選択されているメモリーカード**
5. **メモリーカードのプロテクトアイコン**
6. **クリップ番号/クリップ総数**
7. **バッテリーアイコン**
8. **クリップの情報**
   クリップ名/記録フォーマット/特殊記録撮影情報/収録機器名/電子署名情報

クリップフラグを付ける

クリップにクリップフラグ（［OK］/［NG］/［KP］マーク）を付けると、クリップフラグを基準にクリップを絞り込んで表示することができます。
クリップフラグを付けたいクリップのサムネイルを選択し、フルメニューの［Thumbnail］－［Set Clip Flag］からクリップフラグを選びます。

設定値	付加されるクリップフラグ
［Add OK］	OK
［Add NG］	NG

設定値	付加されるクリップフラグ
［Add KEEP］	KP

ヒント

- クリップフラグ機能を割り当てたアサイナブルボタン使用してクリップフラグを付けることもできます。

クリップをフィルターで表示する

フルメニューの［Thumbnail］－［Filter Clips］で表示したいフラグを選ぶと、指定したフラグの付いているクリップのみを表示することができます。
すべてのクリップを表示するには、［All］を選んでください。

ヒント

- DISPLAYボタンでフィルターを順に切り替えることもできます。

クリップを削除する

メモリーカードからクリップを削除することができます。
フルメニューの［Thumbnail］－［Delete Clip］－［Select Clip］/［All Clips］を選択します。
［Select Clip］：任意のクリップを削除します。1度に複数のクリップを選択することもできます。
［All Clips］：表示されているすべてのクリップを削除します。

クリップをコピーする

クリップを別のメモリーカードにコピーすることができます。
コピー先のメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。
フルメニューの［Thumbnail］－［Copy Clip］－［Select Clip］/［All Clips］を選択します。
［Select Clip］：任意のクリップをコピーします。複数のクリップを選択することもできます。
［All Clips］：同じメモリーカードに記録されているクリップを、別のメモリーカードにまとめてコピーします。

HDのクリップをコピーする

4K & HD (Sub) 記録モードで記録したHDのクリップを別のカードにコピーすることができます。
コピー先のメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。
フルメニューの［Thumbnail］－［Copy Sub Clip］－［All Clips］を選択します。

ご注意

- クリップコピー時、コピー先のメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。
  例：
  ABCD0002 → ABCD0002(1)
  ABCD0002(1) → ABCD0002(2)
  ABCD0005(3) → ABCD0005(4)
- コピー先のメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されます。コピー先のメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップをコピーできない場合があります。

クリップをインターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送する

詳細は下記をご覧ください。
ファイルを転送するための準備をする
クリップを選んで転送する

サムネイル画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更します。
フルメニューの［Thumbnail］－［Customize View］－［Thumbnail Caption］から、表示したい内容を選びます。
［Date Time］：作成日時または最終変更日時
［Time Code］：タイムコード
［Duration］：収録時間
［Sequential Number］：サムネイル番号

関連項目

- ［TC/Media］メニュー

TP1002063927

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

メニュー一覧

MENUボタンを長押しすると、撮影や再生に必要な各種設定を行うフルメニューがLCDモニターに表示されます。外部ビデオモニターに表示させることもできます。

［User］
任意の設定を集めたメニュー
［Edit User Menu］から編集できます。
［Shooting］
撮影に関する設定
［Project］
プロジェクトの基本的な設定
［Paint/Look］
画質に関する設定
［TC/Media］
タイムコードとメモリーカードに関する設定
［Monitoring］
ビデオ出力に関する設定
［Audio］
音声に関する設定
［Thumbnail］
サムネイル表示に関する設定
［Technical］
技術的な内容の設定
［Network］
ネットワークに関する設定
［Maintenance］
時計や言語設定などの機器設定

フルメニューの階層

[User] (工場出荷時の設定)	[Base Setting]
	[HDR Setting]
	[Rec Format]
	[S&Q Motion]
	[Simul Rec]
	[4K & HD (Sub) Rec]
	[Proxy Rec]
	[Picture Cache Rec]
	[Output Format]
	[Assignable Button]
	[Multi Function Dial]
	[Peaking]
	[Delete Clip]
	[Wireless LAN]
	[Wired LAN]
	[USB Tethering]
	[Bluetooth]
	[Touch Operation]
	[Menu Settings]
	[Edit User Menu]
[Shooting]	[Gain]
	[ND Filter]
	[Shutter]
	[Auto Exposure]
	[White]
	[White Setting]
	[Offset White]
	[Focus]
	[S&Q Motion]
	[Soft Skin Effect]
	[Noise Suppression]
	[Flicker Reduce]
	[Auto Black Balance]

[Project]	[Base Setting]
	[Rec Format]
	[HDR Setting]
	[Simul Rec]
	[4K & HD (Sub) Rec]
	[Proxy Rec]
	[Interval Rec]
	[Picture Cache Rec]
	[Clip Continuous Rec]
	[SDI/HDMI Rec Control]
	[Auto Framing]
	[Assignable Button]
	[Assignable Dial]
	[Multi Function Dial]
	[User File]
	[All File]
[Paint/Look]	[Scene File]
	[Base Look]
	[Reset Paint Settings]
	[Black]
	[Black Gamma]
	[Knee]
	[Detail]
	[Matrix]
	[Multi Matrix]
[TC/Media]	[Timecode]
	[TC Display]
	[Users Bit]
	[HDMI TC Out]
	[Clip Name Format]
	[Update Media]
	[Format Media]

[Monitoring]	[Output On/Off]
	[Output Format]
	[USB Stream]
	[Output Display]
	[Display On/Off]
	[Marker]
	[LCD Monitor Setting]
	[Gamma Display Assist]
	[Peaking]
	[Zebra]
[Audio]	[Audio Input]
	[Audio Output]
[Thumbnail]	[Display Clip Properties]
	[Set Clip Flag]
	[Lock/Unlock Clip]
	[Delete Clip]
	[Copy Clip]
	[Copy Sub Clip]
	[Transfer Clip]
	[Transfer Clip (Proxy)]
	[Filter Clips]
	[Customize View]
[Technical]	[Color Bars]
	[ND Dial]
	[Tally]
	[Touch Operation]
	[Rec Review]
	[Handle Zoom]
	[GPS]
	[Menu Settings]
	[Fan Control]
	[Lens]
	[APR]
	[Camera Battery Alarm]
	[Camera DC IN Alarm]

[Network]	[Network Setup]
	[Wireless LAN]
	[Wired LAN]
	[USB Tethering]
	[Bluetooth]
	[File Transfer]
	[Stream]
	[Network Reset]
[Maintenance]	[Language]
	[Accessibility]
	[Clock Set]
	[All Reset]
	[Hours Meter]
	[License Options]
	[Version]

TP1002063928

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

フルメニューの操作方法

フルメニュー画面の表示や操作は以下の方法で行います。

MENUボタン

長押しするとフルメニューを表示します。フルメニューの表示中に押すと元の画面に戻ります。

マルチセレクター

ボタンを8方向へ押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。
マルチセレクターを押すと、選択している項目を決定します。

マルチファンクションダイヤル

マルチファンクションダイヤルを回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。
マルチファンクションダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

CANCEL/BACKボタン

1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

タッチ操作

タッチ操作でメニュー項目や設定値を選択できます。

ご注意

- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。
- フルメニューの［Technical］－［Touch Operation］－［Setting］を［Off］に設定している場合、タッチ操作はできません。

メニューを設定する

マルチセレクターを8方向へ押すか、またはマルチファンクションダイヤルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを押して決定します。タッチ操作の場合は、設定したい項目をタップします。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大8行まで表示します。選択肢が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。タッチ操作の場合は、上下にフリックして選択項目を表示させます。
- 選択肢の設定値の範囲が大きい項目の場合（例：−99 ～ ＋99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定の変更が可能な状態であることを示します。
- 項目を実行する［Execute］を選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、一旦メニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行またはキャンセルを選択してください。

TP1002063929

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。

1 タッチ操作、またはマルチファンクションダイヤルやマルチセレクターで入力したい文字タイプを選択し、決定する。

タップまたは左右にドラッグしてカーソルを移動できます。
［ABC］：英大文字
［abc］：英小文字
［123］：数字
［!#$］：特殊文字

2 選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。

カーソルが次の欄に移動します。
：カーソルの位置にスペースを入力します。
←/→：カーソル位置を移動します。
：カーソルの左の文字を削除します。

3 入力が終わったら、［Done］を選択し、決定する。

文字列を確定して、入力画面が消えます。
キャンセルする場合は、［Cancel］を選択します。

ご注意

- パスワード入力時には伏字切り替えボタン（）が表示されます。アスタリスク表示と通常の文字表示を切り替えることができます。

TP1002063930

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

メニューをロックする

フルメニューの表示をロックして、［User］メニューだけを表示させることができます。
ステータス画面では設定変更できなくなります。

1. **マルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押しする。**

2. **フルメニューの［Technical］–［Menu Settings］–［User Menu with Lock］を選択する。**

   ご注意

   - マルチファンクションダイヤルを押さずにMENUボタンを長押ししてフルメニューを表示した場合は、［Menu Settings］–［User Menu Only］が表示され、ロックを設定することができません。必ずマルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押ししてください。

3. **［On］を選択して決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。**

   LCDモニターの表示が、暗証番号入力画面に切り替わります。

4. **任意の暗証番号を入力する。**

   0000～9999の4桁の数値が入力できます。初期値は0000となっています。
   数値を入力し、決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。
   すべての桁を入力したら、カーソルが［Set］に移動します。

5. **決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。**

   入力が確定します。
   設定が完了したメッセージが表示され、画面が［User］メニューに切り替わります。

TP1002063931

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

メニューのロックを解除する

フルメニューの表示ロックを解除します。

1 マルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押しする。

2 フルメニューの［User］–［Menu Settings］–［User Menu with Lock］を選択する。

ご注意

- マルチファンクションダイヤルを押さずにMENUボタンを長押ししてフルメニューを表示した場合は、［Menu Settings］–［User Menu Only］が表示され、ロックを解除することができません。必ずマルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押ししてください。

3 ［Off］を選択して決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

LCDモニターの表示が、暗証番号入力画面に切り替わります。

4 メニューをロックしたときの番号を入力する。

数値を入力し、決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。
すべての桁を入力したら、カーソルが［Set］に移動します。

5 決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

入力が確定します。
メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が一致した場合、ロックが解除できたことのメニュー表示に切り替わります。

ご注意

- メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が不一致の場合は、ロックを解除できません。
- 暗証番号は、忘れたときのため、手元に記録を残すことをお勧めします。忘れたときはサービス窓口にお問い合わせください。
- 下表のフルメニューのメニュー項目を［User］メニューに登録せずにロックした場合、同機能をアサイナブルボタンに設定することはできません。
- 下表の機能をアサイナブルボタンに割り当てていた場合は、メニューをロックした時点でアサイナブル機能が無効になります。

フルメニューの項目	アサイナブルボタンの選択肢
［Shooting］–［Auto Exposure］–［AGC］	［AGC］
［Shooting］–［Auto Exposure］–［Auto Shutter］	［Auto Shutter］
［Shooting］–［Auto Exposure］–［Mode］	［Backlight］
［Shooting］–［Auto Exposure］–［Mode］	［Spotlight］
［Shooting］–［White］–［Preset White］	［Preset White Select］
［Shooting］–［Focus］–［Subject Recognition AF］	［Subject Recognition AF］
［Shooting］–［S&Q Motion］–［Setting］	［S&Q Motion］
［Shooting］–［Soft Skin Effect］–［Setting］	［Soft Skin Effect］
［Project］–［Picture Cache Rec］–［Setting］	［Picture Cache Rec］
［Project］–［Clip Continuous Rec］–［Setting］	［Clip Continuous Rec］

フルメニューの項目	アサイナブルボタンの選択肢
[Project] – [Auto Framing] – [Crop Level] / [Framing Tracking Speed]	[Auto Framing Settings]
[Thumbnail] – [Set Clip Flag] – [Add OK]	[Clip Flag OK]
[Thumbnail] – [Set Clip Flag] – [Add NG]	[Clip Flag NG]
[Thumbnail] – [Set Clip Flag] – [Add KEEP]	[Clip Flag Keep]
[Technical] – [Color Bars] – [Setting]	[Color Bars]
[Monitoring] – [Display On/Off] – [Tally]	[Tally [Front]]
[TC/Media] – [TC Display] – [Display Select]	[DURATION/TC/U-BIT]
[Monitoring] – [Display On/Off] – [Lens Info]	[Lens Info]
[Monitoring] – [Display On/Off] – [Video Signal Monitor]	[Video Signal Monitor]
[Monitoring] – [Marker] – [Setting]	[Marker]
[Monitoring] – [LCD Monitor Setting] – [Color Mode]	[LCD Monitor Mode]
[Monitoring] – [Gamma Display Assist] – [Setting]	[Gamma Display Assist]
[Monitoring] – [Peaking] – [Setting]	[Peaking]
[Monitoring] – [Zebra] – [Setting]	[Zebra]
[Audio] – [Audio Output] – [Monitor CH]	[Audio Monitor CH]
[Technical] – [Touch Operation] – [Setting]	[Touch Operation]
[Technical] – [Handle Zoom] – [Setting]	[Handle Zoom]
[Network] – [Stream] – [Setting]	[Stream]
[Network] – [File Transfer] – [Auto Upload (Proxy)]	[Auto Upload (Proxy)]

TP1002063932

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

画面を拡大表示する

LCDモニターに、撮影画面や再生画面、メニュー画面などを拡大して表示することができます。
拡大表示が割り当てられたボタンを押すと、拡大倍率の設定に従って画面が拡大表示されます。

ご注意

- 一部の画面や表示物は、拡大表示に対応していません。
- 撮影映像や再生映像は拡大しません。撮影映像の拡大にはピント拡大機能をご使用ください。

拡大表示を有効に設定する

1. **フルメニューの［Maintenance］－［ Accessibility］－［Enlarge Screen］－［Setting］を［Enable］に設定する。**
   確認メッセージが表示されます。

2. **［Execute］を選択する。**
   画面拡大機能が有効になり、ASSIGN 11ボタンに画面拡大機能が割り当てられます。

拡大倍率の設定をする

フルメニューの［Maintenance］－［ Accessibility］－［Enlarge Screen］－［Magnification］で拡大倍率を設定します。
撮影環境や表示内容に応じて、複数の倍率を選択できます。

拡大表示に使うボタンの設定をする

拡大表示を割り当てたボタンを変更したい場合に設定します。
フルメニューの［Maintenance］－［ Accessibility］－［Enlarge Screen］－［Enlarge Screen Button］で設定します。
ASSIGN（アサイナブル） 1～ASSIGN（アサイナブル） 11ボタンのいずれかに拡大表示を設定できます。

ヒント

- フルメニューの［Project］－［Assignable Button］でもアサイナブルボタンに拡大表示を割り当てることができます。

ご注意

- ［Assignable Button］－［Enlarge Screen］の割り当てをすべて解除すると、フルメニューの［Maintenance］－［ Accessibility］－［Enlarge Screen］－［Setting］が［Disable］に変更されます。
- ［ Accessibility］－［Enlarge Screen］－［Setting］を［Disable］に設定すると、［Assignable Button］－［Enlarge Screen］が割り当てられているすべてのアサイナブルボタンの設定が初期値に戻ります。
- ［ Accessibility］－［Enlarge Screen］－［Setting］を［Disable］に設定しているときに、［Assignable Button］でいずれかのボタンに拡大表示を割り当てると、［Enlarge Screen］－［Setting］が［Enable］に変更されます。

画面拡大の操作方法

- 拡大表示が割り当てられたボタンを押すことで画面が拡大表示されます。
- 画面拡大中は、マルチセレクターまたはタッチ操作（ドラッグ）で表示する位置を動かすことができます。メニューやメッセージの操作は、マルチファンクションダイヤルで行います。
- 拡大表示が割り当てられたボタンを押すたびに、［Magnification］で設定した倍率で、拡大していない状態→拡大倍率1→拡大倍率2→…拡大していない状態の順に切り替わります。
- 拡大表示を解除するには、ボタンを繰り返し押して通常の画面表示に戻してください。

TP1002063934

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

［User］メニュー

工場出荷状態で設定されている各メニュー項目および対応する機能は以下のとおりです。

［User］

メニュー項目	内容
［Base Setting］	［Project］ – ［Base Setting］
［HDR Setting］	［Project］ – ［HDR Setting］
［Rec Format］	［Project］ – ［Rec Format］
［S&Q Motion］	［Shooting］ – ［S&Q Motion］
［Simul Rec］	［Project］ – ［Simul Rec］
［4K & HD (Sub) Rec］	［Project］ – ［4K & HD (Sub) Rec］
［Proxy Rec］	［Project］ – ［Proxy Rec］
［Picture Cache Rec］	［Project］ – ［Picture Cache Rec］
［Output Format］	［Monitoring］ – ［Output Format］
［Assignable Button］	［Project］ – ［Assignable Button］
［Multi Function Dial］	［Project］ – ［Multi Function Dial］
［Peaking］	［Monitoring］ – ［Peaking］
［Delete Clip］	［Thumbnail］ – ［Delete Clip］
［Wireless LAN］	［Network］ – ［Wireless LAN］
［Wired LAN］	［Network］ – ［Wired LAN］
［USB Tethering］	［Network］ – ［USB Tethering］
［Bluetooth］	［Network］ – ［Bluetooth］
［Touch Operation］	［Technical］ – ［Touch Operation］
［Menu Settings］	［Technical］ – ［Menu Settings］
［Edit User Menu］	［Edit User Menu］

ご注意

- ［User］メニューは［Edit User Menu］によってメニュー項目の追加や削除ができます。設定できる項目数は20が上限です。

TP1002063935

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

［Edit User Menu］メニュー

［User］－［Edit User Menu］を選択すると、［Edit User Menu］メニューが第1階層に表示されます。

［Edit User Menu］

メニュー項目	細目と設定値	内容
［Add Item］ ［User］メニュー項目の追加	–	［User］メニューに第2階層の項目を追加する。
［Customize Reset］ ［User］メニュー項目のリセット	–	［User］メニューの登録項目を工場出荷時の状態に戻す。
編集中に選択した第2階層の項目	［Delete］	［User］メニューに登録した第2階層の項目を削除する。
	［Move］	［User］メニューに登録した項目を並べ替える。
	［Edit Sub Item］	［User］メニューに登録した第3階層の項目に属する細目を編集（登録/削除）する。

TP1002063936

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

［Shooting］メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

［Shooting］－［Gain］

ゲインに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Gain<L>］	−3dB～18dB	0dB	ゲインのプリセット値<L>を設定する。
［Gain<M>］	−3dB～18dB	9dB	ゲインのプリセット値<M>を設定する。
［Gain<H>］	−3dB～18dB	18dB	ゲインのプリセット値<H>を設定する。
［Gain<Turbo>］	−3dB～18dB / 42dB	42dB	ターボゲインのプリセット値を設定する。
［High Sensitivity Mode］	［On］/［Off］	［Off］	高感度モードをオン/オフする。
［Shockless Gain］	［On］/［Off］	［Off］	ショックレスゲインをオン/オフする。

［Shooting］－［ND Filter］

NDフィルターのプリセット値を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Preset1］	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/4	NDフィルターのプリセット1の値を設定する。
［Preset2］	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/16	NDフィルターのプリセット2の値を設定する。
［Preset3］	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/64	NDフィルターのプリセット3の値を設定する。

［Shooting］－［Shutter］

電子シャッターの動作を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Mode］	［Speed］/［Angle］	［Speed］	電子シャッターのモードを選択する。 動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用する。秒数でシャッター速度を設定する［Speed］モードと開角度でシャッター速度を設定する［Angle］モードを選択する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Shutter Speed］	64F ～ 1/8000 設定値は、選択されている記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。 59.94Hz： 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 50Hz： 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 29.97Hz： 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/30 / 1/40 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 25Hz： 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/25 / 1/33 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 23.98Hz： 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/24 / 1/32 / 1/48 / 1/50 / 1/60 / 1/96 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000	59.94Hz：1/60 50Hz：1/50 29.97Hz：1/30 25Hz：1/25 23.98Hz：1/24	［Speed］モード選択時、シャッタースピードを設定する。
［Shutter Angle］	64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 360.0° / 300.0° / 270.0° / 240.0° / 216.0° / 210.0° / 180.0° / 172.8° / 150.0° / 144.0° / 120.0° / 90.0° / 86.4° / 72.0° / 45.0° / 30.0° / 22.5° / 11.25° / 5.6°	180.0°	［Angle］モード 選択時、開角度を設定する。
［ECS On/Off］	［On］/［Off］	［Off］	ECSモードの設定をオン/オフする。
［ECS Frequency］	23.99 ～ 8000 設定値は、選択されている記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。	59.94P：60.00 50P：50.00 29.97P：30.00 23.98P：23.99 25P：25.02	ECSモード選択時、ECS周波数を設定する。

［Shooting］–［Auto Exposure］

自動露出調整の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Level］	+3.0 / +2.75 / +2.5 / +2.25 / +2.0 / +1.75 / +1.5 / +1.25 / +1.0 / +0.75 / +0.5 / +0.25 / ±0 / −0.25 / −0.5 / −0.75 / −1.0 / −1.25 / −1.5 / −1.75 / −2.0 / −2.25 / −2.5 / −2.75 / −3.0	±0	自動検出した露出に対する明暗レベルを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Mode］	［Backlight］/［Standard］/［Spotlight］	［Standard］	自動露出調整の動作モードを設定する。 ［Backlight］：中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード ［Standard］：標準モード ［Spotlight］：中心となる被写体にスポットライトが当たっているとき、白潰れを軽減するモード
［Speed］	−99 ～ +99	±0	自動露出調整の調整スピードを設定する。
［AGC］	［On］/［Off］	［Off］	オートゲインコントロールをオン/オフする。
［AGC Limit］	3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / 18dB	18dB	オートゲインコントロールの最大ゲインを設定する。
［AGC Point］	F2.8 / F4 / F5.6	F2.8	［AGC］を［On］に設定している場合に、オートゲインコントロールを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
［Auto Shutter］	［On］/［Off］	［Off］	オートシャッターをオン/オフする。
［A.SHT Limit］	1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / 1/2000	1/2000	オートシャッターの最速シャッタースピードを設定する。
［A.SHT Point］	F5.6 / F8 / F11 / F16	F16	［Auto Shutter］を［On］に設定している場合に、オートシャッターを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
［Clip High light］	［On］/［Off］	［Off］	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をオン/オフする。
［Detect Window］	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 /［Custom］	1	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選択する。 （露出を手動調整しているときは無効）
［Detect Window Indication］	［On］/［Off］	［Off］	測光範囲の表示をオン/オフする。
［Custom Width］	40 ～ 999	500	［Detect Window］メニューの［Custom］に対して、測光範囲の幅を設定する。
［Custom Height］	70 ～ 999	500	［Detect Window］メニューの［Custom］に対して、測光範囲の高さを設定する。
［Custom H Position］	−479 ～ +479	±0	［Detect Window］メニューの［Custom］に対して、測光範囲の水平位置を設定する。
［Custom V Position］	−464 ～ +464	±0	［Detect Window］メニューの［Custom］に対して、測光範囲の垂直位置を設定する。

［Shooting］－［White］

ホワイトバランスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Preset White］	2000K ～ 15000K	3200K	ホワイトバランスのプリセット値を設定する。
［Color Temp <A>］	2000K ～ 15000K	3200K	メモリーAに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 **ご注意** ● ［Color Temp］は、［R Gain］/［B Gain］調整時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な［Color Temp］値を表示できない場合があります。
［Tint<A>］	−99 ～ ＋99	±0	メモリーAに保存されたホワイトバランスの［Tint］の値を設定する。 **ご注意** ● ［Tint］は、［R Gain］/［B Gain］調整時に±99でクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な［Tint］値を表示できない場合があります。
［R Gain <A>］	−99.0 ～ ＋99.0	±0.0	メモリーAに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
［B Gain <A>］	−99.0 ～ ＋99.0	±0.0	メモリーAに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。
［Color Temp <B>］	2000K ～ 15000K	3200K	メモリーBに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 **ご注意** ● ［Color Temp］は、［R Gain］/［B Gain］調整時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な［Color Temp］値を表示できない場合があります。
［Tint<B>］	−99 ～ ＋99	±0	メモリーBに保存されたホワイトバランスの［Tint］値を設定する。 **ご注意** ● ［Tint］は、［R Gain］/［B Gain］調整時に±99でクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な［Tint］値を表示できない場合があります。
［R Gain <B>］	−99.0 ～ ＋99.0	±0.0	メモリーBに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
［B Gain <B>］	−99.0 ～ ＋99.0	±0.0	メモリーBに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。

［Shooting］－［White Setting］

ホワイトバランスの調整を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Shockless White］	［Off］/ 1 / 2 / 3	2	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 ［Off］：瞬時に切り替わる。 1～3：数字が大きいほどゆっくり切り替わる。
［ATW Speed］	1 / 2 / 3 / 4 / 5	3	オートホワイトモード時の反応速度を設定する。 1：最も反応速度が速い。
［White Switch<B>］	［Memory］/ ［ATW］	［Memory］	WHT BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。
［Filter White Memory］	［On］/［Off］	［Off］	NDフィルターごとにホワイトバランスメモリー領域を設定する機能をオン/オフする。 ［On］：NDフィルターごとにホワイトバランスメモリーを設定する。 **ヒント** ● プリセットモードのときは［Clear］/1/2/3の4組、バリアブルモードのときは［Clear］と［On］の2組となります。 ［Off］：各NDフィルターでホワイトバランスメモリーは共通。

［Shooting］－［Offset White］

ホワイトバランスのオフセットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Offset White <A>］	［On］/ ［Off］	［Off］	メモリーAのホワイトバランスにオフセット値を付加する［On］または付加しない［Off］を選択する。
［Offset Color Temp<A>］	−99 ～ +99	±0	［Offset White <A>］を［On］に設定している場合に、メモリーAのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
［Offset Tint<A>］	−99 ～ +99	±0	［Offset White <A>］を［On］に設定している場合に、メモリーAのホワイトバランスに付加する［Tint］方向のオフセットを設定する。
［Offset White <B>］	［On］/ ［Off］	［Off］	メモリーBのホワイトバランスにオフセット値を付加する［On］または付加しない［Off］を選択する。
［Offset Color Temp<B>］	−99 ～ +99	±0	［Offset White <B>］を［On］に設定している場合に、メモリーBのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
［Offset Tint<B>］	−99 ～ +99	±0	［Offset White <B>］を［On］に設定している場合に、メモリーBのホワイトバランスに付加する［Tint］方向のオフセットを設定する。
［Offset White<ATW>］	［On］/ ［Off］	［Off］	オートホワイトのホワイトバランスにオフセット値を付加する［On］または付加しない［Off］を選択する。
［Offset Color Temp<ATW>］	−99 ～ +99	±0	［Offset White<ATW>］を［On］に設定している場合に、オートホワイトのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
［Offset Tint<ATW>］	−99 ～ +99	±0	［Offset White<ATW>］を［On］に設定している場合に、オートホワイトのホワイトバランスに付加する［Tint］方向のオフセットを設定する。

［Shooting］－［Focus］

フォーカスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Focus Area］	［Wide］/［Zone］/［Flexible Spot］	［Wide］	オートフォーカス、プッシュオートフォーカスの対象とする領域を設定する。 ［Wide］：映像全域からフォーカスを合わせる位置を探す。 ［Zone］：指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる点を探す。 ［Flexible Spot］：映像の指定した位置にフォーカスを合わせる。
［Subject Recognition AF］	［Human Only AF］/［Human Priority AF］/［Off］	［Human Priority AF］	被写体検出AF機能の動作を設定する。 ［Human Only AF］:カメラが被写体（人物）を検出したとき、人物の瞳、顔、頭部にフォーカスを合わせる。人物を検出しない間は、オートフォーカスが一時停止する。 ［Human Priority AF］:カメラが被写体（人物）を検出したとき、人物の瞳、顔、頭部にフォーカスを合わせる。人物を検出しないときはオートフォーカスで動作する。 ［Off］：被写体認識AF機能を無効にします。
［Touch Function in MF］	［Tracking AF］/［Spot Focus］	［Tracking AF］	マニュアルフォーカス時にタッチ操作の動作を設定する。
［Multi Selector Function］	［Subject Sel. Cursor］/［Pointer］	［Subject Sel. Cursor］	マルチセレクター操作によるオートフォーカス対象の指定方法を設定する。 ［Subject Sel. Cursor］：マルチセレクターで被写体認識枠を選ぶことができる。 ［Pointer］：マルチセレクターでトラッキングAFポインターを動かして、画面上の被写体を自由に選ぶことができる。
［Pointer Color］	［Orange］/［White］/［Yellow］/［Cyan］/［Green］/［Magenta］/［Red］/［Blue］	［Orange］	フォーカス対象の指定に使用するポインターの色を設定する。
［Pointer Border］	［On］/［Off］	［On］	フォーカス対象の指定に使用するポインターの縁取りをオン/オフする。

［Shooting］－［S&Q Motion］

スロー＆クイックモーションモードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	スロー＆クイックモーションモードをオン/オフする。
［Frame Rate］	1fps ～ 60fps / 100fps / 120fps	–	スロー＆クイックモーションモード時のフレームレートを設定する。 **ご注意** ● 設定値の範囲は、選択されているシステム周波数やコーデック、ビデオフォーマットによって異なります。

［Shooting］－［Soft Skin Effect］

美肌効果の設定を行います。

ヒント

- 顔検出時、被写体の顔の肌をなめらかに撮影する効果を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	美肌効果をオン/オフする。
［Level］	［Low］/［Mid］/［High］	［Mid］	美肌効果の強さを設定する。

［Shooting］－［Noise Suppression］

ノイズサプレスの設定を行います。

ヒント

- ［Setting］と［Level］の設定値はそれぞれ［Target Display］の設定に反映されます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［On］	ノイズサプレス機能をオン/オフする。
［Level］	［Low］/［Mid］/［High］	［Mid］	ノイズサプレスのレベルを設定する。

［Shooting］－［Flicker Reduce］

フリッカー補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Mode］	［Auto］/［On］/［Off］	［Off］	フリッカー補正モードを設定する。
［Frequency］	［50Hz］/［60Hz］	［60Hz］	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。

［Shooting］－［Auto Black Balance］

オートブラックバランスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Auto Black Balance］	［Execute］/［Cancel］	–	オートブラックバランス機能を実行する。 ［Execute］：実行する。

TP1002063937

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

［Project］メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

［Project］－［Base Setting］

基本設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Target Display］	［SDR］/［HDR］	［SDR］	記録/出力の映像規格を設定する。

［Project］－［Rec Format］

記録フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Frequency］	59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	59.94	システム周波数を選択する。
［Codec］	［XAVC-I］/［XAVC-L］/［MPEG-HD 422］	［XAVC-L］	クリップの記録/再生コーデックを設定する。
［Video Format］	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 ［Video Format］/［Quality］/［Bit Rate］の設定値	–	録画フォーマットを設定する。
［Quality］	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 ［Video Format］/［Quality］/［Bit Rate］の設定値	–	記録ビットレートを設定する。
［Bit Rate］	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 ［Video Format］/［Quality］/［Bit Rate］の設定値	–	記録ビットレートを表示する。

［Project］－［HDR Setting］

HDRモードの設定を行います。

ご注意

- ［Target Display］が［HDR］のときのみ設定できます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［LCD Monitor SDR Preview］	［On］/［Off］	［Off］	HDRモード時でガンマ表示アシストが有効なとき、LCDモニターの映像を簡易的にHDRからSDRに変換した映像で表示する機能をオン/オフする。 **ヒント** ● ［On］のときはLCDモニターの映像に［SDR Gain］が適用されます。
［SDR Gain］	0dB ～ −15dB	−6dB	HDRモード時で［LCD Monitor SDR Preview］を［On］に設定している場合に、LCDモニターの映像に適用される［SDR Gain］の値を設定する。

［Project］ – ［Simul Rec］

同時記録の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	本線同時記録機能のオン/オフと記録先メディアを一括設定する。
［Rec Button Set］	［Rec Button: A B Handle Rec Button: A B ］/［Rec Button: A Handle Rec Button: B ］/［Rec Button: B Handle Rec Button: A ］	［Rec Button: A B Handle Rec Button: A B ］	メモリーカードごとに録画START/STOPボタンの割り当てを行う。

［Project］ – ［4K & HD (Sub) Rec］

4K & HD (Sub)記録の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	4K & HD (Sub)記録をオン/オフする。
［HD (Sub) Format］	［XAVC-L 1920P 50Mbps］/［XAVC-L 1920i 50Mbps］	［XAVC-L 1920P 50Mbps］	HD (Sub)用の映像サイズを設定する。

［Project］ – ［Proxy Rec］

プロキシ記録モードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	プロキシ記録モードをオン/オフする。
［Proxy Format］	［HEVC 1920P (16M)］/［HEVC 1920P (9M)］/［AVC 1280P (6M)］/［AVC 1920i (9M)］	［AVC 1280P (6M)］	プロキシファイル用の映像のサイズを設定する。
［Audio Channel］	［CH1/CH2］/［CH3/CH4］	［CH1/CH2］	プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。
［Chunk］	［30s］/［1min］/［2min］	［30s］	プロキシファイルの分割記録時間を選択する。

［Project］ – ［Interval Rec］

インターバルレックの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	インターバルレックモードをオン/オフする。
［Interval Time］	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10/ 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (sec) 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10/ 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (min) 1 / 2 / 3 / 4 / 6 / 12 / 24 (hour)	1	［Interval Rec］が［On］の場合に、インターバル撮影時の録画間隔（インターバル）を設定する。
［Number of Frames］	**記録フレームレートが50P/59.94Pのとき：** ［2frames］/［6frames］/［12frames］ **上記以外のとき：** ［1frame］/［3frames］/［6frames］/［9frames］	**記録フレームレートが50P/59.94Pのとき：** ［2frames］ **上記以外のとき：** ［1frame］	［Interval Rec］が［On］の場合に、インターバル撮影時の1回の記録フレーム数を設定する。

［Project］–［Picture Cache Rec］

ピクチャーキャッシュレックモードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	ピクチャーキャッシュレックモードをオン/オフする。
［Cache Size］	［Short］/［Medium］/［Long］/［Max］	［Max］	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間（キャッシュレック開始時にさかのぼる時間）を設定する。
［Cache Rec Time］	–	–	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間（キャッシュレック開始時にさかのぼる時間）を表示する。

［Project］–［Clip Continuous Rec］

クリップコンティニュアスレックモードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	クリップコンティニュアスレックモードをオン/オフする。
［Find Mode］	［Clip］/［Rec Start］	［Clip］	NEXTボタン/PREVボタンを押したときの動作を選択する。

［Project］–［SDI/HDMI Rec Control］

SDI/HDMI記録制御の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［Off］/［SDI/HDMI Remote I/F］/［Parallel Rec］	［Off］	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御を設定する。 ［Off］：リモート制御しない。 ［SDI/HDMI Remote I/F］：本機にメディアを挿入していない状態でも、外部接続機器の記録/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期しない。 ［Parallel Rec］：本機にメディアを挿入している状態でも、外部接続機器の記録/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期する。 **ご注意** ● HDMI出力信号による制御を行う場合は、フルメニューの［TC/Media］－［HDMI TC Out］－［Setting］を［On］に設定してください。

［Project］－［Auto Framing］

オートフレーミングの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	オートフレーミング機能をオン/オフする。
［Rec/Stream］	［Crop］/［Full］	［Full］	記録される映像とストリーミングで出力される映像をクロップするかを設定する。
［HDMI］	［Crop］/［Full］	［Crop］	HDMIに出力される映像をクロップするかどうかを設定する。
［Tracking Start Mode］	［Manual］/［Auto］	［Manual］	オートフレーミングの開始方法を設定する。 ［Manual］：タッチ操作などでトラッキングが開始されたら、切り出し領域が被写体の追尾を開始する。 ［Auto］：被写体を認識したら自動で切り出し領域が被写体の追尾を開始する。
［Crop Level］	［Large Crop Level］/［Medium Crop Level］/［Small Crop Level］	［Medium Crop Level］	認識した被写体をクロップする範囲の大きさを設定する。
［Tracking Speed］	［1(Slow)］/ 2 / 3 / 4 / ［5(Fast)］	3	フレーミングやクロップが被写体に追従する速度を設定する。
［Production Effect］	［Off］/［15s Zoom In/Out］/［30s Zoom In/Out］	［Off］	オートフレーミングのクロップと全画角を自動で切り替えるかどうかを設定する。 ［15s Zoom In/Out］：15秒ごとにクロップと全画角を切り替える。 ［30s Zoom In/Out］：30秒ごとにクロップと全画角を切り替える。

［Project］－［Assignable Button］

アサイナブルボタンへの機能割り当て設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
<1> ～ <11>/［<PUSH AUTO>］	［Off］/［Turbo Gain］/［Gain］/［AGC］/［Push AGC］/［ND Filter Position］/［Auto ND Filter］/［Push Auto ND］/［Auto Iris］/［Push Auto Iris］/［Shutter］/［Auto Shutter］/［AE Level/Mode］/［Backlight］/［Spotlight］/［Preset White Select］/［White Balance］/［ATW］/［ATW Hold］/［Focus Setting］/［Subject Recognition AF］/［Push AF/Push MF］/［Focus Hold］/［Focus Magnifier ×3/×6］/［Focus Magnifier ×3］/［Focus Magnifier ×6］/［Digital Extender］/［Digital Extender ×2］/［Digital Extender ×3］/［Digital Extender ×4］/［S&Q Motion］/［Soft Skin Effect］/［Rec］/［Picture Cache Rec］/［Clip Continuous Rec］/［AFR Tracking Stop］/［AFR/MFR Stop (Full)］/［AFR Restart］/［AFR Settings］/［Rec Review］/［Last Clip Del.］/［Shot Mark1］/［Shot Mark2］/［Clip Flag OK］/［Clip Flag NG］/［Clip Flag Keep］/［Color Bars］/［Tally [Front]］/［DURATION/TC/U-BIT］/［Display］/［Lens Info］/［Video Signal Monitor］/［Marker］/［LCD Monitor Adjust］/［LCD Monitor Mode］/［Gamma Display Assist］/［Peaking］/［Zebra］/［Audio Monitor CH］/［Audio Mon. CH Switch］/［Thumbnail］/［Touch Operation］/［Handle Zoom］/［Stream］/［Auto Upload (Proxy)］/［Enlarge Screen］/［Direct Menu］/［Network Status］/［User Menu］/［Menu］	アサイナブルボタンに機能を割り当てる。 ［Turbo Gain］：ターボゲインモードのオン/オフを切り替える。 ［Gain］：［Gain Mode］/［Value］のダイレクトメニューの操作を開始/終了する。 ［AGC］：オートゲインコントロールのオン/オフを切り替える。 ［Push AGC］：ボタンを押している間、オートゲインコントロールを有効にする。 ［ND Filter Position］：NDフィルターポジションを切り替える。 ［Auto ND Filter］：オートNDフィルターのオン/オフを即時に切り替える。 ［Push Auto ND］：ボタンを押している間、オートNDフィルターを有効にする。 ［Auto Iris］：オートアイリスのオン/オフを切り替える。 ［Push Auto Iris］：ボタンを押している間、オートアイリスを有効にする。 ［Shutter］：［Auto Shutter］/［ECS］/［Shutter Value］のダイレクトメニューを開始/終了する。 ［Auto Shutter］：オートシャッターのオン/オフを切り替える。 ［AE Level/Mode］：［AE Mode］/［Level］のダイレクトメニューを開始/終了する。 ［Backlight］：［Backlight］/［Standard］を切り替える。 ［Spotlight］：［Spotlight］/［Standard］を切り替える。 ［Preset White Select］：ホワイトバランスプリセットモード値を切り替える。 ［White Balance］：［White Balance Mode］/［Value］のダイレクトメニューを開始/終了する。 ［ATW］：オートホワイトのオン/オフを切り替える。 ［ATW Hold］：オートホ

メニュー項目	細目と設定値	内容
		ワイトの動作を一時停止する。 ［Focus Setting］：フォーカスエリアの設定を行う。 ［Subject Recognition AF］：被写体認識オートフォーカスの動作を切り替える。 ［Push AF/Push MF］：フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合に、ボタンを押している間はオートフォーカスになる。 フォーカスモードがオートフォーカスの場合に、ボタンを押している間はマニュアルフォーカスになる。 ［Focus Hold］：フォーカスモードがオートフォーカスの場合に、ボタンを押している間フォーカスを固定する。 ［Focus Magnifier ×3/×6］/［Focus Magnifier ×3］/［Focus Magnifier ×6］：ピント拡大時のオン/オフを切り替える。 ［Digital Extender］/［Digital Extender ×2］/［Digital Extender ×3］/［Digital Extender ×4］：画面拡大（2倍/3倍/4倍）機能のオン/オフを切り替える。 ［S&Q Motion］：短押しでスロー＆クイックモーションのオン/オフ切り替える。長押しで撮影時のフレームレートの設定をする。 ［Soft Skin Effect］：短押しで美肌効果のオン/オフを切り替える。長押しで美肌効果の強さの設定をする。 ［Rec］：撮影を開始または停止する。 ［Picture Cache Rec］：ピクチャーキャッシュレックモードのオン/オフを切り替える。 ［Clip Continuous Rec］：クリップコンティニュアスレック機能のオン/オフを切り替える。 ［AFR Tracking Stop］：クロップ位置を維持したままオートフレーミングを停止する。 ［AFR/MFR Stop (Full)］：フレーミングを停止し全画角にする。もう一度押すと再開する。 ［AFR Restart］：オートフレーミングが自動開始の

メニュー項目	細目と設定値	内容
		場合に、追尾対象をリセットし最初からやり直す。 ［AFR Settings］：オートフレーミングのクロップレベル/フレーミング追従速度を設定する。 ［Rec Review］：レックレビューのオン/オフを切り替える。 ［Last Clip Del.］：ラストクリップの削除を実行する。 ［Shot Mark1］：記録中または再生中のクリップにショットマーク1を追加する。 ［Shot Mark2］：記録中または再生中のクリップにショットマーク2を追加する。 ［Clip Flag OK］：［Add OK］を実行する、2回続けて押すと［Delete Clip Flag］を実行する。 ［Clip Flag NG］：［Add NG］を実行する、2回続けて押すと［Delete Clip Flag］を実行する。 ［Clip Flag Keep］：［Add KEEP］を実行する、2回続けて押すと［Delete Clip Flag］を実行する。 ［Color Bars］：カラーバーのオン/オフを切り替える。 ［Tally [Front]］：記録/タリーランプ（フロント）の点灯/点滅のオン/オフを切り替える。 ［DURATION/TC/U-BIT］：［Time Code］/［Users Bit］/［Duration］を切り替える。 ［Display］：画面表示のオン/オフを切り替える。 ［Lens Info］：被写界深度表示を切り替える。 ［Video Signal Monitor］：映像信号モニター（波形モニターなど）の表示を切り替える。 ［Marker］：マーカーのオン/オフを切り替える。 ［LCD Monitor Adjust］：LCDモニターの明るさ調整用画面を表示する。 ［LCD Monitor Mode］：LCDモニターのカラー/モノクロを切り替える。 ［Gamma Display Assist］：ガンマ表示アシストを切り替える。 ［Peaking］：ピーキング

メニュー項目	細目と設定値	内容
		のオン/オフを切り替える。 ［Zebra］：ゼブラのオン/オフを切り替える。 ［Audio Monitor CH］：ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音声チャンネルを切り替える。 ［Audio Mon. CH Switch］：ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音声チャンネルの組み合わせを切り替える。 ［Thumbnail］：サムネイル画面を開始/終了する。 ［Touch Operation］：タッチ操作のオン/オフを切り替える。 ［Handle Zoom］：ハンドルズーム動作を切り替える。 ［Stream］：ストリームのオン/オフを切り替える。 ［Auto Upload (Proxy)］：プロキシファイルの自動転送の［On］/［Off］/［Chunk］を切り替える。 ［Enlarge Screen］：画面拡大表示の倍率を切り替える。 ［Direct Menu］：ダイレクトメニューを開始/終了する。 ［Network Status］：［Network］ステータス画面を表示する。 ［User Menu］：［User］メニュー表示を開始/終了する。 ［Menu］：フルメニュー表示を開始/終了する。

［Project］–［Assignable Dial］

アサイナブルダイヤルへの機能割り当て、回転方向の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Grip/Remote Dial］	［Off］/［Gain］/［ND Filter］/［IRIS］/［Auto Exposure Level］/［Audio Input Level］/［Multi Function Dial］	［IRIS］	別売のグリップリモコンのアサイナブルダイヤルに機能を割り当てる。 ［Off］：アサイナブルダイヤルの操作を無効にする。 ［Gain］：ゲインを調節する。 ［ND Filter］：NDフィルターを調節する。 ［IRIS］：アイリスを調節する。 ［Auto Exposure Level］：自動露出レベルを調節する。 ［Audio Input Level］：録音レベルを調節する。 ［Multi Function Dial］：マルチファンクションダイヤルとして動作する。
［Grip Dial Direction］	［Normal］/［Opposite］	［Normal］	別売のグリップリモコンのアサイナブルダイヤルの回転方向を設定する。 ［Normal］：順方向に回転する。 ［Opposite］：逆方向に回転する。

［Project］–［Multi Function Dial］

マルチファンクションダイヤルへの機能割り当て設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Default Function］	［Off］/［Gain］/［Auto Exposure Level］/［Audio Input Level］	［Off］	マルチファンクションダイヤルのデフォルト機能を割り当てる。 ［Off］：マルチファンクションダイヤルの操作を無効にする。 ［Gain］：ゲインを調節する。 ［Auto Exposure Level］：自動露出レベルを調節する。 ［Audio Input Level］：録音レベルを調節する。

［Project］–［User File］

ユーザーファイルの操作に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Load from Media(B)］	［Execute］/［Cancel］	–	ユーザーファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードから読み込む。 ［Execute］：実行する。
［Save to Media(B)］	［Execute］/［Cancel］	–	ユーザーファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存する。 ［Execute］：実行する。
［File ID］	–	–	ユーザーファイルのファイルIDの表示と編集を行う画面を表示する。
［Load Customize Data］	［On］/［Off］	［Off］	［Load from Media(B)］の実行時に［User］メニューの構成カスタマイズ情報を読み込むかどうかを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Load White Data］	［On］/［Off］	［Off］	［Load from Media(B)］の実行時にホワイトバランス情報を読み込むかどうかを設定する。

［Project］－［All File］

Allファイルに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Load from Media(B)］	［Execute］/［Cancel］	–	Allファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードから読み込む。 ［Execute］：実行する。
［Load from Cloud(Private)］	［Execute］/［Cancel］	–	クラウドサービス「C3 Portal」（個人）にアップロードしたAllファイルを読み込む。 ［Execute］：実行する。
［Load from Cloud(Share)］	［Execute］/［Cancel］	–	クラウドサービス「C3 Portal」（共通）にアップロードしたAllファイルを読み込む。 ［Execute］：実行する。
［Save to Media(B)］	［Execute］/［Cancel］	–	Allファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存する。 ［Execute］：実行する。
［Save to Cloud(Private)］	［Execute］/［Cancel］	–	Allファイルの設定をクラウドサービス「C3 Portal」（個人）に保存する。 ［Execute］：実行する。
［Save to Cloud(Share)］	［Execute］/［Cancel］	–	Allファイルの設定をクラウドサービス「C3 Portal」（共通）に保存する。 ［Execute］：実行する。
［File ID］	–	–	ファイルに名前を付ける。
［Load Network Data］	［On］/［Off］	［Off］	［Load from Media(B)］の実行時に、［Network］メニューの設定情報を読み込むかどうかを設定する。

TP1002063938

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

［Paint/Look］メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

［Paint/Look］－［Scene File］

Sceneファイルに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
［Recall Internal Memory］	–	内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを読み込み、現在の画質設定に適用する。
［Store Internal Memory］	–	現在の画質設定状態をSceneファイルとして内蔵メモリーに保存する。
［Delete Internal Memory］	–	内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを削除する。
［Preset Recall］	［Target Display］－［SDR］を選択している場合：［S-Cinetone］/［ITU709］/［709tone］ ［Target Display］－［HDR］を選択している場合：［HLG Live］/［HLG Mild］/［HLG Natural］/［S-Log3］	プリセット画質（書き換え不可）を現在の画質設定に適用する。
［Load from Media(B)］	–	メモリーカードからSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む。
［Save to Media(B)］	–	内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する。
［File Name］	–	Sceneファイル名の編集を行う。

［Paint/Look］－［Base Look］

基本ルックに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Select］	［Target Display］－［SDR］を選択している場合：［S-Cinetone］/［ITU709］/［709tone］/［User1］～［User16］ ［Target Display］－［HDR］を選択している場合：［HLG Live］/［HLG Mild］/［HLG Natural］/［S-Log3］/［User1］～［User16］	［Target Display］－［SDR］を選択している場合：［ITU709］ ［Target Display］－［HDR］を選択している場合：［HLG Mild］	基本ルックを選択する。
［Delete］	–	–	選択した基本ルックを削除する。
［Delete All］	–	–	すべての基本ルックを削除する。
［Import from Media(B)］	［Execute］/［Cancel］	–	カードスロットBに挿入したメモリーカードから基本ルックファイルを読み込む。 ［Execute］：実行する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Import from Cloud(Private)］	［Execute］/［Cancel］	–	クラウドサービス「C3 Portal」（個人）にアップロードした基本ルックファイルを読み込む。 ［Execute］：実行する。
［Import from Cloud(Share)］	［Execute］/［Cancel］	–	クラウドサービス「C3 Portal」（共通）にアップロードした基本ルックファイルを読み込む。 ［Execute］：実行する。
［Input］	［S-Gamut3/SLog3］/［S-Gamut3.Cine/SLog3］	［S-Gamut3.Cine/SLog3］	［Select］で選択している基本ルックの入力色域を設定する。
［Output］	［BT.709］/［HLG］	［BT.709］	［Select］で選択している基本ルックの出力色域を設定する。
［AE Level Offset］	0EV / 1/3EV / 2/3EV / 1EV / 4/3EV / 5/3EV / 2EV	0EV	［Select］で選択している基本ルックの露出基準値を設定する。

［Paint/Look］–［Reset Paint Settings］

基本ルック以外の［Paint/Look］メニューの設定値をリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	内容
［Reset without Base Look］	［Execute］/［Cancel］	基本ルック以外の［Paint/Look］メニューの設定値のリセットを実行する。 ［Execute］：実行する。

［Paint/Look］–［Black］

ブラックの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Master Black］	−99.0 ～ +99.0	±0.0	マスターブラックレベルを設定する。
［R Black］	−99.0 ～ +99.0	±0.0	Rブラックレベルを設定する。
［B Black］	−99.0 ～ +99.0	±0.0	Bブラックレベルを設定する。

［Paint/Look］–［Black Gamma］

ブラックガンマ補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	ブラックガンマ補正機能をオン/オフする。 **ヒント** ● ［Base Look］–［Select］が［ITU709］または［709tone］のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Range］	［Low］/［L.Mid］/［H.Mid］	［L.Mid］	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する。
［Master Black Gamma］	−7〜+7	±0	マスターブラックガンマレベルを設定する。

［Paint/Look］−［Knee］

ニー補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Target Display］−［SDR］を選択している場合：［On］ ［HDR］を選択している場合：［Off］	ニー補正をオン/オフする。 **ヒント** ・［Base Look］−［Select］が［ITU709］、［709tone］、［HLG Live］、［HLG Mild］または［HLG Natural］のときのみ有効です。
［Auto Knee］	［On］/［Off］	［Target Display］−［SDR］を選択している場合：［On］ ［HDR］を選択している場合：［Off］	オートニーをオン/オフする。 **ヒント** ・［Setting］を［On］に設定している場合に、［Base Look］−［Select］−［ITU709］/［709tone］のときのみ有効です。
［Point］	75% 〜 109%	90%	ニーポイントを設定する。
［Slope］	−99 〜 +99	±0	ニースロープを設定する。

［Paint/Look］−［Detail］

ディテール調整の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［On］	ディテールをオン/オフする。
［Level］	−7 〜 +7	±0	ディテールレベルを設定する。
［Manual Setting］	［On］/［Off］/---	［Off］	ディテール手動調整をオン/オフする。
［H/V Ratio］	−2 〜 +2	±0	ディテール手動調整時に垂直（V）/水平（H）ディテールのバランスを設定する。
［B/W Balance］	［Type1］/［Type2］/［Type3］/［Type4］/［Type5］	［Type3］	ディテール手動調整時に下側（Black）/上側（White）ディテールのバランスを設定する。
［Limit］	0 〜 7	0	ディテール手動調整時にディテールのリミットレベルを設定する。
［Crispening］	0 〜 7	0	ディテール手動調整時にクリスプニングレベルを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［High Light Detail］	0 ～ 4	0	ディテール手動調整時に高輝度部分のディテールレベルを設定する。

［Paint/Look］－［Matrix］

マトリクス補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［User Matrix］	［On］/［Off］	［Off］	ユーザーマトリクス補正をオン/オフする。
［User Matrix Level］	−99 ～ +99	±0	映像全域の色の濃さを調整する。
［User Matrix Phase］	−99 ～ +99	±0	映像全域の色合いを調整する。
［User Matrix R-G］	−99 ～ +99	±0	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
［User Matrix R-B］	−99 ～ +99	±0	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
［User Matrix G-R］	−99 ～ +99	±0	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
［User Matrix G-B］	−99 ～ +99	±0	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
［User Matrix B-R］	−99 ～ +99	±0	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
［User Matrix B-G］	−99 ～ +99	±0	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。

［Paint/Look］－［Multi Matrix］

マルチマトリクス補正の設定を行います。

ご注意

- ［Area Indication］はすべての映像出力に適用されます。映像出力信号を本線信号として使っている場合などはご注意ください。
- マルチマトリクス補正は、全色相を16分割した色軸毎に色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）を調節します。調節したい色軸を選択する際に、［Area Indication］をオンにすることで、調節対象の色軸が撮影映像中のどの場所なのかを簡易的に確認できます。場所を確認したら、［Area Indication］をオフにしてから、色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）を調節してください。
- 記録動作中、［Area Indication］はオフに固定されます。
- マルチマトリクス補正の設定画面から他に移動すると、［Area Indication］は自動的にオフになります。
- マルチマトリクス補正の設定中は、DISPLAYボタンは［Area Indication］の切り替えボタンとなります。DISPLAYボタンを押す度に、［Area Indication］のオン/オフが切り替わります。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	マルチマトリクス補正をオン/オフする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Area Indication］	［On］/［Off］	［Off］	［Axis］で選択した調整対象の色軸に該当する対象領域を見分ける表示機能をオン/オフする。 撮影映像中の対象領域以外の部分をモノトーンで表示する。 **ヒント** ・マルチマトリクス補正の設定画面では、DISPLAYボタンで［Area Indication］のオン/オフを切り替えることができます。 **ご注意** ・［Area Indication］はすべての映像出力に適用されます。映像出力信号を本線信号として使っている場合などはご注意ください。
［Reset］	［Execute］/ ［Cancel］	–	各色軸の色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）の設定値をすべて初期値にする。
［Axis］	B / B+ / MG– / MG / MG+ / R / R+ / YL– / YL / YL+ / G– / G / G+ / CY / CY+ / B–	B	調整対象の色軸を選択する。
［Hue］	–99 ～ +99	±0	［Axis］で選択した調整対象の色軸の色相（ヒュー）を設定する。
［Saturation］	–99 ～ +99	±0	［Axis］で選択した調整対象の色軸の飽和度（サチュレーション）を設定する。

TP1002063939

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

［TC/Media］メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

［TC/Media］–［Timecode］

タイムコードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Mode］	［Preset］/［Regen］/［Clock］	［Preset］	タイムコードの歩進モードを設定する。 ［Preset］：設定された値から歩進する。 ［Regen］：前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 ［Clock］：内蔵時計をタイムコードとして使用する。
［Run］	［Rec Run］/［Free Run］	［Rec Run］	［Rec Run］：撮影時のみ歩進する。 ［Free Run］：撮影時に関係なく常に歩進する。
［Setting］	–	–	タイムコードを任意の値に設定する。 ［Set］：確定する。
［Reset］	［Execute］/［Cancel］	–	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 ［Execute］：実行する。
［TC Format］	［DF］/［NDF］	［DF］	タイムコードのフォーマットを設定する。 ［DF］：ドロップフレーム ［NDF］：ノンドロップフレーム

［TC/Media］–［TC Display］

タイムデータ表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Display Select］	［Timecode］/［Users Bit］/［Duration］	［Timecode］	タイムデータの表示を切り替える。

［TC/Media］–［Users Bit］

ユーザービットに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Mode］	［Fix］/［Time］	［Fix］	ユーザービットのモードを設定する。 ［Fix］：ユーザービットに任意の固定値を使用する。 ［Time］：ユーザービットに現在の時分秒を使用する。
［Setting］	–	–	ユーザービットを任意の値に設定する。

［TC/Media］–［HDMI TC Out］

HDMI利用時のタイムコード出力に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。

［TC/Media］－［Clip Name Format］

クリップ名に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Title Prefix］	nnn_（nnnはシリアル番号の下3桁）（最大7文字表示）	nnn	クリップ名のタイトル部分（4～46文字）を設定する。文字列の入力画面を呼び出す。
［Number Set］	0001～9999	0001	クリップ名の最後の番号部分（4桁）を設定する。

［TC/Media］－［Update Media］

メモリーカード内の管理ファイルを更新します。

メニュー項目	細目と設定値	内容
［Media(A)］	［Execute］/［Cancel］	カードスロットAのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 ［Execute］：実行する。
［Media(B)］	［Execute］/［Cancel］	カードスロットBのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 ［Execute］：実行する。

［TC/Media］－［Format Media］

メモリーカードを初期化します。

メニュー項目	細目と設定値	内容
［Media(A)］	［Full Format］/［Quick Format］/［Cancel］	カードスロットAのメモリーカードを初期化する。
［Media(B)］	［Full Format］/［Quick Format］/［Cancel］	カードスロットBのメモリーカードを初期化する。

TP1002063940

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

［Monitoring］メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

［Monitoring］－［Output On/Off］

映像出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［SDI］	［On］/［Off］	［On］	SDI出力をオン/オフする。
［HDMI］	［On］/［Off］	［On］	HDMI出力をオン/オフする。

［Monitoring］－［Output Format］

出力フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［SDI］ ［HDMI］	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット	–	SDIとHDMI出力の解像度設定をする。
［REF］	［HD Sync］	［HD Sync］	出力同期信号種別を表示する。

［Monitoring］－［USB Stream］

USBストリーミングの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	USBストリーミングをオン/オフする。
［Format］	3840×2160P / 1920×1080P / 1280×720P	1920×1080P	USBストリーミングの解像度を設定する。 3840×2160および1280×720は、システム周波数が29.97または25のときに選択できます。
［Audio Channel］	［CH1/CH2］	［CH1/CH2］	USBストリーミングのオーディオチャンネルを表示する。 オーディオチャンネルは［CH1/CH2］に固定されています。

［Monitoring］－［Output Display］

画面表示の出力設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［SDI］	［On］/［Off］	［Off］	SDI出力信号へのメニューやステータスなど、画面表示の重畳を設定する。
［HDMI］	［On］/［Off］	［Off］	HDMI出力信号へのメニューやステータスなど、画面表示の重畳を設定する。

［Monitoring］－［Display On/Off］

撮影画面または再生画面に表示する項目を選択します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Network Status]	[On] / [Off]	[On]	撮影画面または再生画面に表示する項目を選択する。
[File Transfer Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Stream Status]	[On] / [Off]	[On]	
[USB Stream Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Rec/Play Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Tally]	[On] / [Off]	[On]	
[Battery Remain]	[On] / [Off]	[On]	
[Focus Mode]	[On] / [Off]	[On]	
[Focus Position]	[On] / [Off]	[On]	
[Focus Macro]	[On] / [Off]	[On]	
[Focus Area Indicator]	[On] / [Off]	[On]	
[Subject Recognition Frame]	[On] / [Off]	[On]	
[Tracking AF Pointer]	[On] / [Off]	[On]	
[Lens Info]	[On] / [Off]	[Off]	
[Rec Format]	[On] / [Off]	[On]	
[Frame Rate]	[On] / [Off]	[On]	
[Zoom Position]	[On] / [Off]	[On]	
[Digital Extender]	[On] / [Off]	[On]	
[UWP RF Level]	[On] / [Off]	[On]	
[GPS]	[On] / [Off]	[On]	
[SteadyShot]	[On] / [Off]	[On]	
[Base Look/Rec Look]	[On] / [Off]	[On]	
[SDI/HDMI Rec Control]	[On] / [Off]	[On]	
[Monitoring Look]	[On] / [Off]	[On]	
[Proxy Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Digital Signature]	[On] / [Off]	[On]	
[Media Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Video Signal Monitor]	[Off] / [Waveform] / [Vector] / [Histogram]	[Off]	
[Network Speed]	[On] / [Off]	[Off]	
[Clip Name]	[On] / [Off]	[On]	
[White Balance]	[On] / [Off]	[On]	
[Scene File]	[On] / [Off]	[On]	
[Auto Exposure Mode]	[On] / [Off]	[On]	

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Auto Exposure Level］	［On］/［Off］	［On］	
［Timecode］	［On］/［Off］	［On］	
［ND Filter］	［On］/［Off］	［On］	
［Iris］	［On］/［Off］	［On］	
［Gain］	［On］/［Off］	［On］	
［Shutter］	［On］/［Off］	［On］	
［Level Gauge］	［On］/［Off］	［On］	
［Audio Level Meter］	［On］/［Off］	［On］	
［Video Level Warning］	［On］/［Off］	［On］	
［Clip Number］	［On］/［Off］	［On］	
［Notice Message］	［On］/［Off］	［On］	

［Monitoring］– ［Marker］

マーカー表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［On］	すべてのマーカー表示をまとめてオン/オフする。
［Color］	［White］/［Yellow］/［Cyan］/［Green］/［Magenta］/［Red］/［Blue］	［White］	マーカーの信号色を選択する。
［Center Marker］	1 / 2 / 3 / 4 /［Off］	［Off］	センターマーカーを選択する。
［Safety Zone］	［On］/［Off］	［Off］	セーフティーゾーンマーカーをオン/オフする。
［Safety Area］	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	セーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
［Aspect Marker］	［Line］/［Mask］/［Off］	［Off］	アスペクトマーカーの比を選択する。
［Aspect Mask］	0 ～ 15	12	マーカー外側のビデオ信号のレベルを設定する。
［Aspect Safety Zone］	［On］/［Off］	［Off］	アスペクトセーフティーゾーンマーカーをオン/オフする。
［Aspect Safety Area］	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	アスペクトセーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
［Aspect Select］	1:1 / 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.39:1 /［Custom］	2.39:1	アスペクトマーカーを表示するときのアスペクト比を設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Custom Aspect Ratio］	任意の値を入力する	01.00:01.00	アスペクト比を任意の値に設定する。 **ご注意** ● ［Aspect Select］を［Custom］に設定した場合に、この設定が有効になります。
［Guide Frame］	［On］/［Off］	［Off］	ガイドフレーム表示をオン/オフする。
［100% Marker］	［On］/［Off］	［Off］	100%マーカーをオン/オフする。
［User Box］	［On］/［Off］	［Off］	ユーザーボックスマーカーの表示をオン/オフする。
［User Box Width］	3 ～ 479	240	ユーザーボックスマーカーの幅（中心から左右端までの距離）を設定する。
［User Box Height］	3 ～ 269	135	ユーザーボックスマーカーの高さ（中心から上下端までの距離）を設定する。
［User Box H Position］	−476 ～ +476	0	ユーザーボックスマーカーの中心の水平位置を設定する。
［User Box V Position］	−266 ～ +266	0	ユーザーボックスマーカーの中心の垂直位置を設定する。

［Monitoring］−［LCD Monitor Setting］

LCDモニターの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Brightness］	1 ～ 15	8	LCDモニター映像の明るさを調整する。
［Color Mode］	［Color］/［B&W］	［Color］	E-E表示/記録時のLCDモニターの表示モードを選択する。

［Monitoring］−［Gamma Display Assist］

ガンマ表示アシストの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［On］	［Target Display］が［HDR］時のガンマ表示アシスト機能をオン/オフする。 **ご注意** ● ［Target Display］を［SDR］に設定しているときは、本設定は［Off］に固定されます。

［Monitoring］−［Peaking］

ピーキングの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	ピーキングをオン/オフする。
［Peaking Level］	［High］/［Mid］/［Low］	［Mid］	カラーピーキングの信号レベルを設定する。
［Color］	［B&W］/［Red］/［Yellow］/［Blue］	［B&W］	カラーピーキングの信号色を選択する。

［Monitoring］–［Zebra］

ゼブラパターンの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［Off］/［Zebra1］/［Zebra2］	［Off］	ゼブラ表示の種類を選択する。
［Zebra1 Level］	0% ～ 109%	70%	［Zebra1］を表示するレベルを設定する。
［Zebra1 Aperture Level］	2% ～ 20%	10%	［Zebra1］のアパーチャーレベルを設定する。
［Zebra2 Level］	0% ～ 109%	100%	［Zebra2］を表示するレベルを設定する。

TP1002063941

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

［Audio］メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
設定項目について、詳細は下記をご覧ください。
ブロックダイヤグラム

［Audio］－［Audio Input］

音声入力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［CH1 Input Select］	［INPUT1］/［Internal MIC］/［Shoe CH1］	［Internal MIC］	CH1に対する入力元を切り替える。
［CH2 Input Select］	［INPUT1］/［INPUT2］/［Internal MIC］/［Shoe CH2］	［Internal MIC］	CH2に対する入力元を切り替える。
［CH3 Input Select］	［Off］/［INPUT1］/［Internal MIC］/［Shoe CH1］/［Shoe CH3］	［Internal MIC］	CH3に対する入力元を切り替える。
［CH4 Input Select］	［Off］/［INPUT1］/［INPUT2］/［Internal MIC］/［Shoe CH2］/［Shoe CH4］	［Internal MIC］	CH4に対する入力元を切り替える。
［INPUT1 MIC Reference］	−80dB / −70dB / −60dB / −50dB / −40dB / −30dB	−50dB	INPUT 1からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
［INPUT2 MIC Reference］	−80dB / −70dB / −60dB / −50dB / −40dB / −30dB	−50dB	INPUT 2からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
［Line Input Reference］	+4dB / 0dB / −3dB /［EBUL］	+4dB	INPUT 1/INPUT 2スイッチの設定がLINEの場合の基準入力レベルを選択する。
［Reference Level］	−20dB / −18dB / −16dB / −12dB /［EBUL］	−20dB	基準入力レベルの1 kHz信号の記録レベルを選択する。
［CH1 Wind Filter］	［On］/［Off］	［Off］	CH1に対する風音低減フィルターを設定する。
［CH2 Wind Filter］	［On］/［Off］	［Off］	CH2に対する風音低減フィルターを設定する。
［CH3 Wind Filter］	［On］/［Off］	［Off］	CH3に対する風音低減フィルターを設定する。
［CH4 Wind Filter］	［On］/［Off］	［Off］	CH4に対する風音低減フィルターを設定する。
［Audio Input Level］	0 ～ 99	99	音声入力レベルを設定する。 ［CH1 Level］～［CH4 Level］の設定に従って、マスターボリュームとして使用できます。
［Limiter Mode］	［Off］/ −6dB / −9dB / −12dB / −15dB / −17dB	［Off］	オーディオ入力レベルの手動調節時の大きな信号に対するリミッター特性を選択する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［CH1&2 AGC Mode］	［Mono］/［Stereo］	［Stereo］	CH1とCH2の自動レベル調整モードを設定する。 ［Stereo］に設定しているときは、チャンネル間でオートゲインコントロールが連動する。
［CH3&4 AGC Mode］	［Mono］/［Stereo］	［Stereo］	CH3とCH4の自動レベル調整モードを設定する。 ［Stereo］に設定しているときは、チャンネル間でオートゲインコントロールが連動する。
［AGC Spec］	−6dB / −9dB / −12dB / −15dB / −17dB	−6dB	オートゲインコントロール特性を選択する。
［1kHz Tone on Color Bars］	［On］/［Off］	［Off］	カラーバー表示中の1 kHzの基準音声信号をオン/オフする。 **ご注意** ● ［On］に設定すると、［CH3 Input Select］/［CH4 Input Select］を［Off］に設定している場合でも、1 kHzの基準音声信号をCH3/CH4に乗せます。
［CH1 Level］	［Audio Input Level］/［Side］/［Level+Side］	［Level+Side］	CH1の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 **ご注意** ● ［Side］は本機側面のAUDIO LEVEL（CH1）ダイヤルを指します。［Level+Side］を設定したときは［Audio Input Level］設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります。
［CH2 Level］	［Audio Input Level］/［Side］/［Level+Side］	［Level+Side］	CH2の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 **ご注意** ● ［Side］は本機側面のAUDIO LEVEL（CH2）ダイヤルを指します。［Level+Side］を設定したときは［Audio Input Level］設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります。
［CH3 Level］	［Audio Input Level］/［Side］/［Level+Side］	［Level+Side］	CH3の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 **ご注意** ● ［Side］は本機側面のAUDIO LEVEL（CH3）ダイヤルを指します。［Level+Side］を設定したときは［Audio Input Level］設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります。
［CH4 Level］	［Audio Input Level］/［Side］/［Level+Side］	［Level+Side］	CH4の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 **ご注意** ● ［Side］は本機側面のAUDIO LEVEL（CH4）ダイヤルを指します。［Level+Side］を設定したときは［Audio Input Level］設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります。

［Audio］ – ［Audio Output］

音声出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Monitor CH］	［CH1/CH2］/［CH3/CH4］/［MIX ALL］/［CH1］/［CH2］/［CH3］/［CH4］	［CH1/CH2］	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 **ご注意** ● 複数チャンネルの音声を同時出力する設定値を選択した場合は、音割れしないように各チャンネルの出力レベルを下げて音声が出力されます。
［Headphone Out］	［Mono］/［Stereo］	［Stereo］	ヘッドホン端子をモノラル出力にするか、ステレオ出力にするかを選択する。
［Alarm Level］	0 ～ 7	4	警告音の音量を調整する。
［HDMI Output CH］	［CH1/CH2］/［CH3/CH4］	［CH1/CH2］	HDMIに出力される音声チャンネルの組み合わせを設定する。

TP1002063942

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

［Thumbnail］メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

［Thumbnail］

メニュー項目	内容
［Display Clip Properties］	クリップ詳細情報画面を開く。

［Thumbnail］－［Set Clip Flag］

クリップフラグの編集を行います。

メニュー項目	内容
［Add OK］	［OK］フラグを付ける。
［Add NG］	［NG］フラグを付ける。
［Add KEEP］	［KEEP］フラグを付ける。
［Delete Clip Flag］	すべてのフラグを外す。

［Thumbnail］－［Lock/Unlock Clip］

クリップの保護設定を行います。

メニュー項目	内容
［Select Clip］	保護/保護を解除するクリップを選択して実行する。
［Lock All Clips］	すべてのクリップを保護する。
［Unlock All Clips］	すべてのクリップの保護を解除する。

［Thumbnail］－［Delete Clip］

クリップを削除します。

メニュー項目	内容
［Select Clip］	任意のクリップを削除する。
［All Clips］	クリップを一括削除する。

［Thumbnail］－［Copy Clip］

クリップをコピーします。

メニュー項目	内容
［Select Clip］	任意のクリップをコピーする。
［All Clips］	クリップを一括コピーする。

［Thumbnail］－［Copy Sub Clip］

サブクリップのコピーを行います。

メニュー項目	内容
［All Clips］	4K & HD (Sub)記録で記録されたサブクリップを、別のメディアにメインクリップとして一括コピーする。

［Thumbnail］－［Transfer Clip］

クリップを転送します。

ご注意

- ［Network］－［Network Setup］－［Edit Authentication］－［Input Password］でパスワードを設定していない場合、［Transfer Clip］は設定できません。

メニュー項目	内容
［Select Clip］	任意のクリップを転送する。
［All Clips］	クリップを一括転送する。 **ご注意** - 転送できるクリップの上限は200件です。

［Thumbnail］－［Transfer Clip (Proxy)］

プロキシクリップを転送します。

ご注意

- ［Network］－［Network Setup］－［Edit Authentication］－［Input Password］でパスワードを設定していない場合、［Transfer Clip (Proxy)］は設定できません。

メニュー項目	内容
［Select Clip］	任意のクリップに対応しているプロキシクリップを転送する。
［All Clips］	クリップに対応するプロキシクリップを一括転送する。 **ご注意** - 転送できるクリップの上限は200件です。

［Thumbnail］－［Filter Clips］

表示するクリップの設定を行います。

メニュー項目	内容
［OK］	［OK］フラグのついたクリップのみを表示する。
［NG］	［NG］フラグのついたクリップのみを表示する。
［KEEP］	［KEEP］フラグのついたクリップのみを表示する。
［None］	フラグのついていないクリップのみを表示する。
［All］	フラグのありなしによらず、すべてのクリップを表示する。

［Thumbnail］–［Customize View］

サムネイル画面の表示を切り替えます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Thumbnail Caption］	［Date Time］/［Time Code］/［Duration］/［Sequential Number］	［Time Code］	サムネイル画像直下の表示内容を切り替える。

TP1002063943

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

［Technical］メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

［Technical］–［Color Bars］

カラーバーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	カラーバーをオン/オフする。
［Type］	ARIB / 100% / 75% / SMPTE	ARIB	カラーバーの種類を選択する。

［Technical］–［ND Dial］

ND VARIABLEダイヤルの操作に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［CLEAR with Dial］	［On］/［Off］	［On］	ND VARIABLEダイヤルの操作でNDフィルターの状態遷移［Clear］⇔［On］を可能にするかどうか設定する。

［Technical］–［Tally］

記録/タリーランプの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Front Tally Lamp］	［On］/［Off］	［On］	記録/タリーランプ（フロント）をオン/オフする。
［Rear Tally Lamp］	［On］/［Off］	［On］	記録/タリーランプ（リア）をオン/オフする。

［Technical］–［Touch Operation］

タッチ操作に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［On］	タッチ操作をオン/オフする。

［Technical］–［Rec Review］

レックレビューの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［3s］/［10s］/［Clip］	［3s］	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する時間を選択する。

［Technical］–［Handle Zoom］

ハンドルズームの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［Off］/［Low］/［High］/［Variable］	［Variable］	ハンドルズームスピードを設定する。
［High］	1 ～ 8	8	［Setting］を［High］に設定している場合に、ハンドルズームレバーを押したときのズームスピードを設定する。
［Low］	1 ～ 8	3	［Setting］を［Low］に設定している場合に、ハンドルズームレバーを押したときのズームスピードを設定する。 **ご注意** ● ズームスピードが低速のときにズーミングにむらが出ることがあります。

［Technical］－［GPS］

位置情報の記録に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Location by Mobile App］	［On］/［Off］	［Off］	スマートフォンアプリ「Creators' App for Enterprise」からの位置情報の取得をオン/オフする。

［Technical］－［Menu Settings］

メニューに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［User Menu Only］	［On］/［Off］	［Off］	メニューを表示したときに、［User］メニューだけを表示するか、メニューリストを表示するかを設定する。 ［On］：［User］メニューだけを表示する。 ［Off］：メニューリストを表示する。
［Menu Page On/Off］	［ Camera］/［ Audio］/［ Project］/［ Monitoring］/［ Assignable Button］/［ Battery］/［ Media］/［ Network］/［ Stream］/［ File Transfer］	–	ステータス画面の表示をオン/オフする。
［User Menu with Lock］	［On］/［Off］	［Off］	メニュー表示にロックをかけて、［User］メニューだけの表示にするかを設定する。 **ご注意** ● 通常のメニュー表示操作では表示されません。

［Technical］－［Fan Control］

ファン制御モードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［Auto］/［Minimum］/［Off in Rec］	［Auto］	ファン制御モードを設定する。 **ご注意** ● ［Off in Rec］に設定していても、本機の内部温度が一定温度を超えるとファンが回転します。

［Technical］–［Lens］

レンズに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Distortion Comp.］	［Auto］/［Off］	［Auto］	自動歪曲収差補正を設定する。
［Auto FB Adjust］	［Execute］/［Cancel］	–	レンズのフランジバックの自動調整・調整値を初期化する。 ［Execute］：実行する。
［Distance Display］	［Meter］/［Feet］	［Meter］	レンズ情報とフォーカスポジションの表示単位を設定する。
［Zoom Position Display］	［Number］/［Bar］	［Number］	ズーム位置の表示形式を設定する。

［Technical］–［APR］

APRを実行します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［APR］	［Execute］/［Cancel］	–	APR（Auto Pixel Restoration：イメージセンサーの自動調整）を実行する。 ［Execute］：実行する。

［Technical］–［Camera Battery Alarm］

バッテリーの電圧低下警告の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Low Battery］	5% / 10% / 15% / --- / 45% / 50%	10%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する（5%刻み）。
［Battery Empty］	3% ～ 7%	3%	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。

［Technical］–［Camera DC IN Alarm］

入力電圧警告の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［DC Low Voltage1］	16.0V ～ 21.0V	18.5V	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［DC Low Voltage2］	16.0V ～ 20.0V	18.0V	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。

［Technical］－［Measurement］

ご注意

- 本機能はノイズ測定などの特殊な用途でのみ使用するものです。オンにすると、画質設定としてガンマ補正機能が無効になります。通常の撮影では ［Off］(初期設定値)でご使用ください。
  下記の操作を行ったとき、［Measurement］設定が［Off］になります。

  - 本機の電源を切ったとき
  - ［Base Look］－［Select］を［709tone］以外に変更したとき
  - ［Target Display］を［SDR］以外に変更したとき

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/ ［Off］	［Off］	［Base Look］－［Select］で［709tone］を選択したときのみ使用可能

TP1002063944

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

［Network］メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

［Network］－［Network Setup］

ネットワーク接続経路に共通の設定などを行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setup for Mobile App］	–	–	「Creators' App for Enterprise」をUSBテザリングで使用するための初期設定を行う。
［LAN Type Select］	［Wireless LAN AP 2.4G］/［Wireless LAN AP 5G］/［Wireless LAN ST］/［Wired LAN］/［Off］	［Off］	LANの接続方法を設定する。
［Show Authentication］	–	–	アクセス認証のユーザー名とパスワードをテキストとQRコードで表示する。 **ご注意** ● ユーザー名やパスワードは、お買い上げ時にカメラが自動で生成し設定されます。任意のユーザー名とパスワードを設定する際は、他者に盗み見られないようご注意ください。
［Edit Authentication］	［User Name］	–	アクセス認証のためのユーザー名を設定する。 **ご注意** ● 入力可能文字数は16文字以下の文字列です。 また、入力可能な文字は、以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（! % + , - . = -）
	［Input Password］	–	アクセス認証のためのパスワードを設定する。 **ご注意** ● 入力可能文字数は、英数字/記号で英字と数字の両方を含む8文字以上16文字以下の文字列です。 また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（! % + , - . = -）
	［Generate Password］－［Execute］/［Cancel］	–	アクセス認証のためのパスワードを自動生成する。 ［Execute］：実行する。
［NETWORK Lamp］	［Wireless LAN］/［Wired LAN］/［USB Tethering］	有効	ネットワークランプの通知対象とするネットワークの経路を設定する。 設定はチェックボックスで行います。 有効：チェックを付ける 無効：チェックを外す

［Network］－［Wireless LAN］

無線LANに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［Access Point (2.4GHz)］/ ［Access Point (5GHz)］/ ［Station Mode］/ ［Off］	［Off］	無線LAN接続の動作モードを選択する。 **ご注意** ● 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
［Channel］	－	－	無線LANのチャンネルを表示する。 （アクセスポイントモードのみ）
［Camera SSID & Password］	－	－	本機のSSIDとパスワードを表示する。 （アクセスポイントモードのみ）
［Regenerate Password］	－	－	アクセスポイントモードのパスワードを再生成する。 （アクセスポイントモードのみ）
［Camera Remote Control］	－	－	ステーションモードで本機と無線LAN接続されているモバイル機器からのリモートコントロールを許可するかどうかの設定が表示される。 （ステーションモードのみ）
［Connected Network］	－	－	接続中の無線LANネットワークのアクセスポイントを表示する。 （ステーションモードのみ）
［Scan Networks］	－	－	無線LANネットワークのアクセスポイントを検出し、リスト表示する。 （ステーションモードのみ）
［WPS］	［Execute］/ ［Cancel］	－	WPS（Wi-Fi Protected Setup）による接続設定を開始する。 ［Execute］：実行する。 （ステーションモードのみ） **ご注意** ● セキュリティ設定されていない機器とWPSで接続設定することはできません。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Manual Register］	–	–	接続する無線LANネットワークのアクセスポイントを設定する。 （ステーションモードのみ）
	［SSID］	–	接続先アクセスポイントのSSIDを設定する。 **ご注意** ● 入力可能文字数は1文字～32文字以下です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号(- . @ _ ( ) ! " # $ % & ' * + , / : ; < = > ? [\ ] ^ ` { | } ~)
	［Security］	–	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を設定する。
	［Password］	–	接続先アクセスポイントのパスワードを設定する。 **ヒント** ● セキュリティが［WPA2］または［WPA3］の場合は「*******」、セキュリティが［None］の場合は空欄となります。 **ご注意** ● 入力可能文字数は以下です。 – ［WPA2］の場合：8文字以上63文字以下 – ［WPA3］の場合：8文字以上128文字以下 – ［None］の場合：0文字 また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字、小文字)・数字・記号(- . @ _ ( ) ! " # $ % & ' * + , / : ; < = > ? [\ ] ^ ` { | } ~)
	［DHCP］	–	DHCPのオン/オフを設定する。
	［IP Address］	–	［DHCP］を［Off］に設定している場合に、本機のIPアドレスを設定する。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	［Subnet Mask］	–	［DHCP］を［Off］に設定している場合に、本機のサブネットマスクを設定する。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
	[Gateway]	–	[DHCP]を[Off]に設定している場合に、本機のデフォルトゲートウェイを設定する。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[DNS Auto]	–	[DHCP]を[On]に設定している場合に、DNS自動取得のオン/オフを設定する。
	[Primary DNS Server]	–	[DNS Auto]を[Off]に設定している場合に、本機のプライマリー DNSサーバーを設定する。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[Secondary DNS Server]	–	[DNS Auto]を[Off]に設定している場合に、本機のセカンダリー DNSサーバーを設定する。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[IP Address]	–	–	本機のIPアドレスを表示する。
[Subnet Mask]	–	–	本機のサブネットマスクを表示する。
[MAC Address]	–	–	本機の無線LANインターフェースのMACアドレスを表示する。
[AP Mode Type]	[Type1 (Standard)] / [Type2]	[Type1 (Standard)]	APモード時の外部機器との接続タイプを設定する。接続の互換性を高めるための設定ですが、通常は[Type1 (Standard)]に設定することをお勧めします。 **ご注意** ● 正常に接続されている場合に設定を変更すると、外部機器との接続に影響が出る場合があります。

[Network] – [Wired LAN]

有線LANに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	有線LANをオン/オフする。 **ご注意** ● 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Camera Remote Control］	［Enable］/［Disable］	［Disable］	本機と有線LANで接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。
［Detail Settings］	–	–	有線LANの詳細設定を行う。
	［DHCP］	–	DHCPのオン/オフを設定する。
	［IP Address］	–	［DHCP］を［Off］に設定している場合に、本機のIPアドレスを設定する。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	［Subnet Mask］	–	［DHCP］を［Off］に設定している場合に、本機のサブネットマスクを設定する。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	［Gateway］	–	［DHCP］を［Off］に設定している場合に、本機のデフォルトゲートウェイを設定する。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	［DNS Auto］	–	［DHCP］を［On］に設定している場合に、DNS自動取得のオン/オフを設定する。
	［Primary DNS Server］	–	［DNS Auto］を［Off］に設定している場合に、本機のプライマリーDNSサーバーを設定する。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	［Secondary DNS Server］	–	［DNS Auto］を［Off］に設定している場合に、本機のセカンダリーDNSサーバーを設定する。 **ご注意** ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
［IP Address］	–	–	本機のIPアドレスを表示する。
［Subnet Mask］	–	–	本機のサブネットマスクを表示する。
［MAC Address］	–	–	本機のMACアドレスを表示する。

［Network］ – ［USB Tethering］

USBテザリングに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	本機のUSBテザリング機能を有効/無効にする。
［Camera Remote Control］	［Enable］/［Disable］	［Disable］	モバイル機器のアプリケーション「Monitor&Control」や「Creators' App for Enterprise」など、USBテザリング経由でのリモートコントロールの有効/無効を設定する。
［IP Address］	–	–	本機のIPアドレスを表示する。
［Subnet Mask］	–	–	本機のサブネットマスクを表示する。

［Network］–［Bluetooth］

Bluetoothに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	Bluetooth機能をオン/オフする。
［Pairing］	［Execute］/［Cancel］	–	本機とBluetooth機器をペアリングする。 ［Execute］：実行する。
［Manage Paired Device］	–	–	ペアリングしたBluetooth機器を表示/削除する。
［Device Address］	–	–	本機のBluetoothアドレスを表示する。

［Network］–［File Transfer］

ファイルの転送に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Auto Upload］	［On］/［Off］	［Off］	オリジナルクリップの自動転送をオン/オフする。 **ご注意** ● ［Project］–［Simul Rec］–［Setting］を［On］に設定している場合は、カードスロットBのメモリーカードに記録されるクリップは、自動転送の対象にはなりません。
［Auto Upload (Proxy)］	［On］/［Off］/［Chunk］	［Off］	［On］：プロキシクリップの自動転送を有効にする。 ［Off］：プロキシクリップの自動転送を無効にする。 ［Chunk］：プロキシクリップを分割記録して記録終了まで待たずに自動で転送する。 **ご注意** ● ［Project］–［Simul Rec］–［Setting］を［On］に設定している場合は、カードスロットBのメモリーカードに記録されるクリップは、自動転送の対象にはなりません。また、［Chunk］はグレーアウトされ選択できません。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Default Upload Server］	–	–	ファイルの転送先サーバーを選択する。ここで選択したサーバーは、オリジナルクリップやプロキシクリップの自動転送先、およびサムネイル画面からのクリップ転送先のサーバーになる。 ［Server Settings1］～［Server Settings16］で設定した［Display Name］の設定を表示する。
［Clear Completed Jobs］	［Execute］/［Cancel］	–	転送完了済みのジョブをジョブリストから消去する。 ［Execute］：実行する。
［Clear All Jobs］	［Execute］/［Cancel］	–	すべての転送ジョブをジョブリストから消去する。 ［Execute］：実行する。
［View Job List］	–	–	転送ジョブの一覧を表示する。
［Server Settings1］	［Display Name］	–	転送先設定の表示名を設定する。
	［Service］–［FTP］	［FTP］	サーバーの種類を表示する。
	［Host Name］	–	転送先サーバーのホスト名を設定する。
	［Port］（1～65535）	21	転送先サーバーのポート番号を設定する。
	［User Name］	–	転送先サーバー接続の認証用ユーザー名を設定する。
	［Password］	–	転送先サーバー接続の認証パスワードを設定する。
	［Passive Mode］–［On］/［Off (Active Mode)］	［Off (Active Mode)］	パッシブモードをオン/オフする。
	［Destination Directory］	–	転送先のディレクトリー名を設定する。
	［Using Secure Protocol］–［On］/［Off］	［Off］	セキュアなFTP転送（FTPES）を行う［On］または行わない［Off］を設定する。
	［Root Certificate］–［Load］/［Clear］/［None］	［None］	セキュアなFTP転送のためのルート証明書の読み込み、削除を設定する。 **ご注意** ● 証明書はメモリーカードのルートディレクトリに書き込んでください。ファイル名は以下に設定してください。 certification.pem（PEM形式） 読み込める証明書サイズは1証明書辺り最大1MBです。
	［Root Certificate Status］–［Loaded］/［No Certificate］	［No Certificate］	セキュアなFTP転送のためのルート証明書の読み込み状態を表示する。
	［Reset］–［Execute］/［Cancel］	–	［Server Settings1］の設定を初期値に戻す。 ［Execute］：実行する。
［Server Settings2］～［Server Settings16］	［Server Settings1］と同じ	–	–

［Network］–［Stream］

ストリーミングに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	ストリーミングをオン/オフする。
［Destination Select］	–	–	ストリーミングの接続先を選択する。 ［RTMP/RTMPS 1］～［RTMP/RTMPS 8］、［SRT-Caller 1］～［SRT-Caller 8］で設定した［Display Name］を表示する。
［RTMP/RTMPS 1］	–	–	RTMP/RTMPSストリーミングの接続設定をする。
	［Display Name］	–	［Destination Select］の表示名を入力する。
	［Codec］	［H.264/AVC］	ストリーミングする映像のコーデックを表示する。
	［Resolution］– 3840×2160P / 1920×1080P / 1280×720P	1920×1080P	ストリーミングする映像の解像度を設定する。
	［Bit Rate］	［9Mbps］	ストリーミングする映像のビットレートを設定する。
	［Destination URL］	–	接続するサーバーのURLを設定する。
	［Stream Key］	–	ストリーミングで使用するストリームキーを設定する。
	［RTMPS Certificate］– ［Load］/［Clear］/ ［None］	［None］	既定証明書の読み込みや消去を行う。 **ご注意** ● 証明書はメモリーカードのルートディレクトリに書き込んでください。ファイル名は以下に設定してください。 RTMPS_certification.pem（PEM形式） 読み込める証明書サイズは1証明書辺り最大1MBです。
	［RTMPS Certificate Status］–［Loaded］/［Default］	［Default］	RTMPS接続用の証明書の読み込み状態を表示する。
	［Reset］–［Execute］/［Cancel］	–	設定を初期値に戻す。 ［Execute］：実行する。
［RTMP/RTMPS 2］～［RTMP/RTMPS 8］	［RTMP/RTMPS 1］と同じ	–	–
［RTMPS Default Certificates］	［Replace］– ［Execute］/［Cancel］	–	既定証明書をカードスロットBのメモリーカードから読み込む。 ［Execute］：実行する。
	［Reset］–［Execute］/［Cancel］	–	既定証明書群の設定を初期化する。 ［Execute］：実行する。
	［Status］	［Preinstall］	既定証明書群の状態を表示する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［SRT-Caller 1］	–	–	SRTストリーミングの接続設定をする。
	［Display Name］	–	［Destination Select］の表示名を入力する。
	［Codec］	［H.264/AVC］	ストリーミングする映像のコーデックを表示する。
	［Resolution］– 1920×1080P / 1280×720P	1920×1080P	ストリーミングする映像の解像度を設定する。
	［Bit Rate］	［9Mbps］	ストリーミングのビットレートを設定する。
	［Destination URL］	–	接続するサーバーのURLを設定する。
	［Port］（1 ～ 65535）	7001	ストリーミングの送信先のポートを設定する。
	［Latency］(20 ms ～ 8000 ms)	［120 ms］	ストリーミングの配信遅延時間を設定する。
	［TTL］(1 ～ 255)	［64 times］	ストリーミングのTTL値を設定する。
	［Encryption］– ［None］/［AES-128］/［AES-256］	［None］	ストリーミングの暗号化方式を設定する。
	［Passphrase］	–	ストリーミングの暗号化に使用するパスフレーズを設定する。
	［ARC］–［On］/［Off］	［On］	ストリーミング時のARCを有効にするか無効にするか設定する。
	［Reset］–［Execute］/［Cancel］	–	設定を初期値に戻す。 ［Execute］：実行する。
［SRT-Caller 2］～［SRT-Caller 8］	［SRT-Caller 1］と同じ	–	–

［Network］–［Network Reset］

ネットワークの設定をリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	内容
［Reset］	［Execute］/［Cancel］	ネットワークの設定をリセットする。 ［Execute］：実行する。

TP1002063945

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

［Maintenance］メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

［Maintenance］－［Language］

表示する言語を設定します。

メニュー項目	内容
［Select］	表示する言語を設定する。 ［Set］：確定する。

［Maintenance］－［ Accessibility］

画面拡大機能に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Enlarge Screen］	［Setting］－［Enable］/［Disable］	［Disable］	拡大表示をオン/オフする。
	［Magnification］－x1.5 / x2.0 / x2.5 / x3.0	－	拡大表示の拡大倍率を設定する。
	［Enlarge Screen Button］－［Assignable Button <1>］～［Assignable Button <11>］	［Assignable Button <11>］	拡大表示に使うボタンを設定する。

［Maintenance］－［Clock Set］

内蔵時計に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Time Zone］	［UTC −12:00］～［UTC +14:00］	－	UTCからの時差を30分単位で設定する。 **ご注意** ● モバイル機器から時刻情報を取得した結果、本機では選択できない時差に設定される場合があります。このとき「UTC *」が表示されます。詳しくは「自動的に時計を合わせる」をご覧ください。
［Date Mode］	［YYMMDD］/［MMDDYY］/［DDMMYY］	［YYMMDD］	年月日の表示方式を選択する。 ［YYMMDD］：年月日の順 ［MMDDYY］：月日年の順 ［DDMMYY］：日月年の順
［12h/24h］	［12h］/［24h］	［24h］	時刻の表示形式を選択する。 ［12h］：12時間表示 ［24h］：24時間表示
［Date］	－	－	現在の日付を設定する。 ［Set］：確定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Time］	–	–	現在の時刻を設定する。 ［Set］：確定する。
［Auto Date/Time Correction］	［On］/［Off］	［On］	自動時刻補正をオン/オフする。
［Auto Time Zone Correction］	［On］/［Off］	［On］	自動タイムゾーン補正をオン/オフする。

［Maintenance］–［All Reset］

工場出荷時の状態にリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	内容
［Reset］	［Execute］/［Cancel］	工場出荷時の状態にリセットする。 ［Execute］：実行する。 **ご注意** ・［Paint/Look］–［Base Look］–［Import from Media(B)］/［Import from Cloud(Private)］/［Import from Cloud(Share)］でインポートした3D LUTファイルは削除されません。インポートした3D LUTファイルをすべて削除する場合は、［Paint/Look］–［Base Look］–［Delete All］を実行してください。 ・［Paint/Look］–［Scene File］–［Store Internal Memory］で保存したSceneファイルは削除されません。
［Reset without Network］	［Execute］/［Cancel］	［Network］メニュー以下の設定を除いたメニュー設定値を工場出荷状態にリセットする。
［Reset to Factory Defaults］	［Execute］/［Cancel］	すべての設定やシーンファイル、ユーザーの基本ルックの値、ルート証明書（RTMPS、クラウド、FTP）、アクセスポイント情報、アクセス認証情報、FTPサーバー設定、クラウド接続情報、ネットワークストリーミング接続情報を削除し、工場出荷状態に戻す。

［Maintenance］–［Hours Meter］

積算時間を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Hours(System)］	–	–	積算使用時間（リセット不可）を表示する。
［Hours(Reset)］	–	–	積算使用時間（リセット可）を表示する。
［Reset］	［Execute］/［Cancel］	–	［Hours(Reset)］を0にリセットする。 ［Execute］：実行する。

［Maintenance］–［License Options］

ソフトウェアライセンスオプションに関する操作を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Install from Media(B)］	［Execute］/［Cancel］	–	ソフトウェアオプションのインストールを実行する。 ［Execute］：実行する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Uninstall License］	［All］－［Execute］/［Cancel］ ［Digital Signature (Proxy)］－［Execute］/［Cancel］	－	［All］：すべてのソフトウェアオプションのアンインストールを実行する。 ［Digital Signature (Proxy)］：電子署名（Proxy）ソフトウェアオプションのアンインストールを実行する。 ［Execute］：実行する。
［Digital Signature (Proxy)］	－	－	ソフトウェアオプションのインストール状態を表示する。
［Serial Number］	－	－	シリアルナンバーを表示する。

［Maintenance］－［Digital Signature］

電子署名に関する設定・操作を行います。
電子署名は、電子署名ライセンスを購入し有効化することにより使用できる機能です。詳しくは電子署名のヘルプガイドをご覧ください。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Setting］	［On］/［Off］	［Off］	電子署名機能をオン/オフする。
［Key Creation］	［Execute］/［Cancel］	－	電子署名用の秘密鍵および公開鍵を作成する。 ［Execute］：実行する。
［Key Clear］	［Execute］/［Cancel］	－	電子署名用の秘密鍵および公開鍵を消去する。 ［Execute］：実行する。
［Certificate for C2PA］	－	－	［Load］：C2PA規格に準拠した電子署名を付与するための証明書を読み込む。 ［Clear］：C2PA規格に準拠した電子署名を付与するための証明書を消去する。
［Cert. for C2PA Expiration］	－	－	C2PA用証明書の有効期限を表示する。
［Cert. for C2PA Issued To］	－	－	C2PA用証明書の発行先を表示する。
［Server D/T Auto Update］	［On］/［Off］	［Off］	真正性検証のための日時情報を日時サーバーから自動取得する機能をオン/オフする。
［Server D/T Manual Update］	［Execute］/［Cancel］	－	真正性検証のための日時情報を日時サーバーから手動で取得する。 ［Execute］：実行する。
［Time Zone］	－	－	UTCからの時差を30分単位で表示する。
［Server Date-time］	－	－	日時サーバーから取得した真正性検証のための時刻情報の日時情報を表示する。
［Last Server D/T Update］	－	－	日時サーバーから取得した真正性検証のための日時情報の最終更新日を表示する。
［Date-time Server Certificate］	－	－	［Load］：真正性検証のための日時情報を取得する日時サーバー証明書を読み込む。 ［Clear］：真正性検証のための日時情報を取得する日時サーバー証明書を消去する。

［Maintenance］－［Version］

バージョンを表示します。

バージョンアップ対象のファイルがあるとき、以下のメニュー項目の先頭に「●」が表示されます。
［Maintenance］
［Version］
［Version Up］

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
［Version Number］	Vx.xx	–	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
［Version Up］	［Execute］/［Cancel］	–	本機のソフトウェアをバージョンアップする。

TP1002063946

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

［Video Format］/［Quality］/［Bit Rate］の設定値

［Frequency］/［Codec］の設定によって、［Video Format］/［Quality］/［Bit Rate］メニューの設定範囲が異なります。

［Frequency］	［Codec］	［Video Format］	［Quality］		
			［High］	［Mid］	［Low］
59.94	XAVC-L	3840×2160P	150	150	150
		1920×1080P	50	35	35
		1920×1080i	50	35	25
		1280×720P	50	50	50
	XAVC-I	3840×2160P	600	600	600
		1920×1080P	222	222	222
		1920×1080i	111	111	111
		1280×720P	111	111	111
	MPEG-HD 422	1920×1080i	50	50	50
		1280×720P	50	50	50
50	XAVC-L	3840×2160P	150	150	150
		1920×1080P	50	35	35
		1920×1080i	50	35	25
		1280×720P	50	50	50
	XAVC-I	3840×2160P	500	500	500
		1920×1080P	223	223	223
		1920×1080i	112	112	112
		1280×720P	112	112	112
	MPEG-HD 422	1920×1080i	50	50	50
		1280×720P	50	50	50
29.97	XAVC-L	3840×2160P	100	100	100
		1920×1080P	50	35	35
	XAVC-I	3840×2160P	300	300	300
		1920×1080P	111	111	111
	MPEG-HD 422	1920×1080P	50	50	50

[Frequency]	[Codec]	[Video Format]	[Quality]		
			[High]	[Mid]	[Low]
25	XAVC-L	3840×2160P	100	100	100
		1920×1080P	50	35	35
	XAVC-I	3840×2160P	250	250	250
		1920×1080P	112	112	112
	MPEG-HD 422	1920×1080P	50	50	50
23.98	XAVC-L	3840×2160P	100	100	100
		1920×1080P	50	35	35
	XAVC-I	3840×2160P	240	240	240
		1920×1080P	89	89	89
	MPEG-HD 422	1920×1080P	50	50	50

TP1002063949

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について

画質に関する設定項目は、以下の撮影モードごとに現在の設定状態が保持されます。撮影モードを切り替えると、切り替え後の撮影モードが保持する設定状態が適用されます。

- ［Target Display］－［SDR］
- ［Target Display］－［HDR］

画質に関する各設定状態は撮影モードごとに以下のように保存されます。
✓：保存されます
x：保存されません

設定項目			撮影モード	
			［SDR］	［HDR］
［Shooting］メニュー	［Gain］		✓	
	［White］	［Preset White］	✓	
		上記以外	✓	
	［White Setting］		✓	
	［Offset White］		✓	
	［Noise Suppression］	［Setting］/［Level］	✓	✓
［Paint］メニュー	［Base Look］	［Select］	✓	✓
		［Input］ 1)	✓	
		［Output］ 1)	✓	
		［AE Level Offset］ 1)	✓	
	［Black］		✓	✓
	［Black Gamma］		✓	x
	［Knee］	［Auto Knee］	✓	x
		上記以外	✓	✓
	［Detail］		✓	✓
	［Matrix］		✓	✓
	［Multi Matrix］		✓	✓

1) 設定値は［Base Look］ごとに保持されており、各撮影モードには依存しません。

TP1002063950

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

設定内容をファイルに保存する

フルメニューの設定内容を、本機のカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存することができます。また、Allファイルをクラウドサービスに保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。
設定データは、次のように分類されて保存されます。

ユーザーファイル

カスタマイズした［User］メニューの設定項目と設定データを保存します。
メモリーカードに64個まで保存することができます。
このファイルを本機のメモリーに読み込むことにより、［User］メニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

Allファイル

全メニューの設定データを保存します。メモリーカードに64個まで保存することができます。「C3 Portal」（クラウドサービス）には、個人60個までと共通60個までの計120個まで保存することができます。

ご注意

- Allファイルに保存される内容について、詳細は下記をご覧ください。
  ファイルに保存される項目

Sceneファイル

ルックの設定データを保存します。詳しくは「ルックをほかのカメラと共有する」ほかをご覧ください。

メモリーカードに保存する

ユーザーファイル/Allファイルをメモリーカードに保存します。

1. **メモリーカードをカードスロットBに差し込む。**
2. **ユーザーファイルの場合は、フルメニューの［Project］－［User File］－［Save to Media(B)］で［Execute］を選択する。**
   Allファイルの場合は、フルメニューの［Project］－［All File］－［Save to Media(B)］で［Execute］を選択する。
   ファイルの保存先画面が表示されます。

3. **保存先画面の［No File］の行を選択する。**
   ［File ID］が記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
   保存する際に付けられる［File ID］はメニューで変更できます。

4. **確認画面の［Execute］を選択する。**

Allファイルをクラウドサービスに保存する

Allファイルをクラウドサービスに保存します。

1. **本機とスマートフォンアプリ「Creators' App for Enterprise」を接続する。**
   詳細は下記をご覧ください。
   「C3 Portal」や「Ci Media Cloud」へファイルを転送する

2. **フルメニューの［Project］－［All File］－［Save to Cloud(Private)］/［Save to Cloud(Share)］で［Execute］を選択する。**
   ファイルの保存先画面が表示されます。

3. **保存先画面の［No File］の行を選択する。**
   ［File ID］が記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
   保存する際に付けられる［File ID］はメニューで変更できます。

4. **確認画面の［Execute］を選択する。**

メモリーカードから読み込む

ユーザーファイル/Allファイルをメモリーカードから読み込みます。

1. **ファイルを保存したメモリーカードをカードスロットBに差し込む。**
2. **ユーザーファイルの場合は、フルメニューの［Project］–［User File］–［Load from Media(B)］で［Execute］を選択する。Allファイルの場合は、フルメニューの［Project］–［All File］–［Load from Media(B)］で［Execute］を選択する。**
   ファイルの一覧画面が表示されます。

3. **読み込むファイルを選択する。**
   確認画面が表示されます。

4. **［Execute］を選択する。**

ご注意

- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。
- フルメニューの［Project］–［All File］–［Load Network Data］を［Off］に設定している場合は、［Network］メニューの設定項目を除いたAllファイルを読み込みます。

Allファイルをクラウドサービスから読み込む

Allファイルをクラウドサービスから読み込みます。

1. **本機とスマートフォンアプリ「Creators' App for Enterprise」を接続する。**
   詳細は下記をご覧ください。
   「C3 Portal」や「Ci Media Cloud」へファイルを転送する

2. **フルメニューの［Project］–［All File］–［Load from Cloud(Private)］/［Load from Cloud(Share)］で［Execute］を選択する。**
   ファイルの一覧画面が表示されます。

3. **読み込むファイルを選択する。**
   確認画面が表示されます。

4. **確認画面の［Execute］を選択する。**

ご注意

- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。
- フルメニューの［Project］–［All File］–［Load Network Data］を［Off］に設定している場合は、［Network］メニューの設定項目を除いたAllファイルを読み込みます。

ファイルIDを変更するには

ユーザーファイル/AllファイルのファイルIDを変更します。

1. **ユーザーファイルの場合は、フルメニューの［Project］–［User File］–［File ID］を選択する。Allファイルの場合は、フルメニューの［Project］–［All File］–［File ID］を選択する。**
   ファイルIDの編集画面が表示されます。

2. **タッチ操作、またはマルチファンクションダイヤルやマルチセレクターで文字タイプや文字を選択し、入力する。**
   詳しくは「文字列を入力する」をご覧ください。

3. **文字の入力が終了したら、［Done］を選択する。**

関連項目

- ルックをほかのカメラと共有する
- 文字列を入力する

TP1002063972

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

外部モニター/レコーダーを接続するための準備をする

撮影/再生映像を外部モニターに表示させることができます。また、外部レコーダーを接続して、本機の出力信号を記録することもできます。
撮影/再生映像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。
外部モニターにLCDモニターと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターと接続する端子に応じて、［Monitoring］ステータス－［Info. Disp.］－［On］またはフルメニューの［Monitoring］－［Output Display］を［On］に設定してください。

ご注意

- 本機に外部モニターや記録装置などを接続する際には次のことにご注意ください。これらを守らないと、本機の内部回路に大電流が流れ、電気部品が破壊することがあります。

1. DCケーブルについて
   外部モニターや記録装置などに接続するDCケーブルは、GND線のインピーダンスが低いものを使用してください。

2. 電位差の確認について
   事前にすべての接続機器と本機に電位差がないことを確認してください。
   （1）外部モニターや記録装置などすべての接続機器と本機の接続がない状態にする。
   75Ω同軸ケーブルやHDMIケーブルなどは接続しない状態で確認してください。
   （2）すべての接続機器と本機のDCケーブルを接続し、各接続機器および本機の電源をオンにする。
   （3）本機と各接続機器との間に電位差がないことをテスターなどで確認する。
   もし電位差があった場合はいずれかのDCケーブルのGND線のインピーダンスが高いことが考えられます。GND線のインピーダンスが低いケーブルに交換するなどして電位差がなくなるようにしてください。

3. 接続と電源オンの順番について
   各ケーブル接続と電源オンは次の順番で行ってください。
   （1）本機と外部モニターや記録装置などの電源をすべてオフにする。
   （2）初めにすべての機器のDCケーブルを接続する。
   （3）75Ω同軸ケーブル、HDMIケーブルなどを接続する。
   （4）すべての接続機器と本機の電源をオンにする。

詳しくはソニーサービス窓口にご相談ください。

TP1002063952

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

SDI出力の外部機器と接続する

［Monitoring］ステータスで、出力のオン/オフや出力フォーマットを設定します。
接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、フルメニューの［Project］–［SDI/HDMI Rec Control］–［Setting］を［SDI/HDMI Remote I/F］/［Parallel Rec］に設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- ［SDI/HDMI Remote I/F］に設定した場合、メモリーカードが挿入されていないときは、RECトリガー信号のみ出力されます。

TP1002063953

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

HDMI出力の外部機器と接続する

［Monitoring］ステータスで、出力のオン/オフや出力フォーマットを設定します。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

HDMI信号出力時は、フルメニューの［TC/Media］－［HDMI TC Out］－［Setting］を［On］に設定して、以下のように設定すると、HDMI出力端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。
［Project］－［SDI/HDMI Rec Control］－［Setting］－［SDI/HDMI Remote I/F］/［Parallel Rec］

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- ［SDI/HDMI Remote I/F］に設定した場合、メモリーカードが挿入されていないときは、RECトリガー信号のみ出力されます。

TP1002063954

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）

本機のGENLOCK IN/REF OUT端子を介して、本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができます。

基準信号に同期させる

本機のREF/TC IN/OUTスイッチをIN側に設定し、GENLOCK IN/REF OUT端子に基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。
入力できる基準信号は、選択している記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。

記録フォーマットのシステム周波数	入力可能な基準信号
59.94P	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i 1280×720 59.94P
29.97P	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
23.98P	1920×1080 47.95i(23.98PsF) 1920×1080 23.98P
59.94i	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
50P	1920×1080 50i 720×576 50i 1280×720 50P
25P	1920×1080 50i 720×576 50i
50i	1920×1080 50i 720×576 50i

ご注意

- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード（［Free Run］や［Clock］）に設定してください。

1. **フルメニューの［TC/Media］–［Timecode］を次のように設定する。**
   ［Mode］：［Preset］
   ［Run］：［Free Run］

2. **［DURATION/TC/U-BIT］が割り当てられたアサイナブルボタンを押して、画面にタイムコードを表示させる。**
3. **REF/TC IN/OUTスイッチがIN側になっていることを確認し、GENLOCK IN/REF OUT端子とTC IN/OUT端子に、それぞれHDまたはSDのリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。**

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「EXT-LK」と表示されます。
ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。

- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続を外した場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

フルメニューの［TC/Media］–［Timecode］の設定を変更してください。
システム周波数を変更した場合や、特殊記録モード（スロー＆クイックモーションまたはインターバルレック）での記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

本機のタイムコードに他機のタイムコードを合わせる

本機のタイムコード設定を、タイムコード出力が更新されるモード（［Free Run］や［Clock］）に設定してください。

1. **フルメニューの［TC/Media］–［Timecode］で本機のタイムコードを設定する。**
2. **REF/TC IN/OUTスイッチがOUT側になっていることを確認し、TC IN/OUT端子とGENLOCK IN/REF OUT端子を、同期させたい機器のタイムコード入力端子、リファレンス信号入力端子に接続する。**

TP1002064539

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

モバイル機器やLANCリモコンを使う

モバイル機器のアプリケーション/LANCリモコンを使って本機をリモート操作できます。

「Monitor & Control」アプリケーション

本機とモバイル機器との接続方法や「Monitor & Control」アプリケーションの操作については、「Monitor & Control」アプリケーションのヘルプガイドをご覧ください。

LANCリモコン

LANCリモコン（別売のRM-30BPなど）は、LANC規格に準拠したリモートコントローラーです。
LANC通信により、フォーカス/アイリス/NDフィルター/ズーム/ホワイトバランス/シャッタースピード/ゲインなどの本機の機能をリモート操作できます。
LANCリモコンを本機のREMOTE端子に接続して使用します。
1台のLANCリモコンを複数のカメラに接続してリモート操作できます。また、デイジーチェーン接続が可能で、1台のカメラを2台のLANCリモコンから操作することもできます。

関連項目

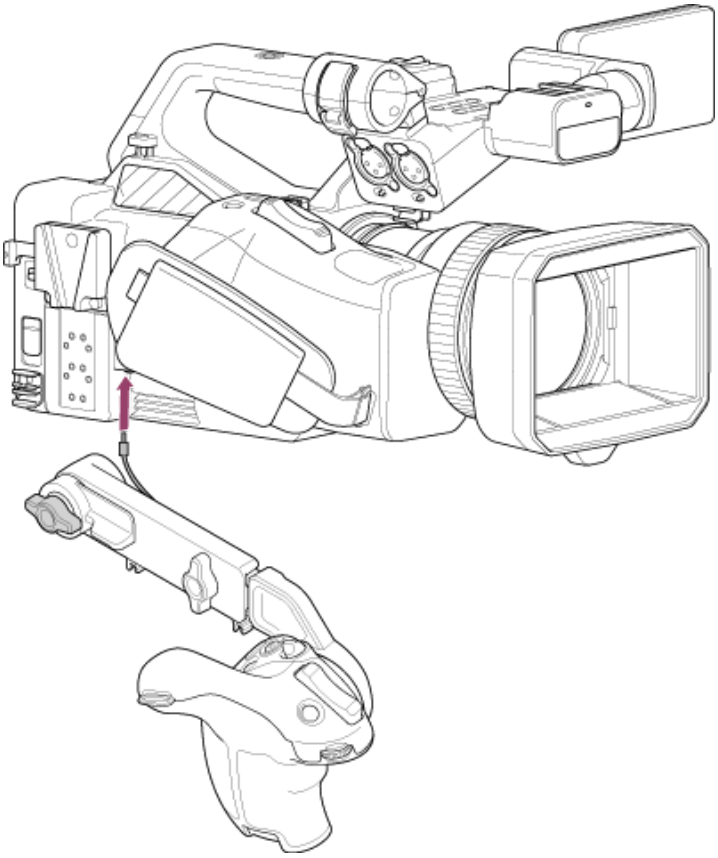
- 「Monitor & Control」と接続する

TP1002063956

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

グリップリモコンを使う

本機は、MPC-2610用の別売グリップリモコンGP-VR100を接続して使用することができます。



以下の操作部位は、本機の同名称の操作部位と同じ動作をします。

- ASSIGN（アサイナブル）4ボタン
- ASSIGN（アサイナブル）5ボタン
- ASSIGN（アサイナブル）6ボタン
- 録画START/STOPボタン
- マルチセレクター

アサイナブルダイヤルの機能は、フルメニューの［Project］－［Assignable Dial］－［Grip/Remote Dial］で設定してください。

ご注意

- グリップリモコンを本機に直接固定することはできません。市販のベースプレートなどをご利用ください。

TP1002064540

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

Bluetoothリモコンを使う

Bluetoothリモコン（別売）を使って本機をリモート操作できます。本機対応のBluetoothリモコンについては専用サポートサイトでご確認ください。
https://www.sony.jp/support/digitalcamera/connect/

本機をBluetoothリモコンとペアリングする

1. **フルメニューの［Network］－［Bluetooth］－［Setting］を［On］に設定する。**
2. **フルメニューの［Network］－［Pairing］で［Execute］を選択する。**
   ペアリング待機画面が表示されます。

3. **Bluetoothリモコンでペアリング操作を行う。**
   詳しい操作方法は、Bluetoothリモコンの取扱説明書をご覧ください。
   ペアリングが正常に完了すると、本機にペアリング完了画面が表示されます。

4. **［OK］を選択する。**
   Bluetoothリモコンで本機を操作できます。2回目以降は［Bluetooth］－［Setting］を［On］に設定するだけで、本機とBluetoothリモコンを接続できるようになります。

ヒント

- Bluetoothリモコンは、Bluetoothリモコンから本機を操作している間のみBluetooth接続されます。
- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
  - 本機が他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。
  - フルメニューの［Network］－［Network Reset］－［Reset］を実行する。

ご注意

- 本機を初期化するとペアリング情報も削除されます。Bluetoothリモコンを使用する場合は、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、本機とBluetoothリモコンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 無線LANの2.4GHz帯を使用してストリーミングなど大量の通信を行っている場合、Bluetoothリモコンの動作が不安定になることがあります。この場合は、有線LANの使用をご検討ください。
- Bluetooth接続を行う際は、信頼できるデバイスとのみペアリングしてください。身に覚えのないペアリング要求や不明なデバイスとの接続は避けてください。
- Bluetooth機能を使用しないときは、Bluetooth機能をオフにしてください。
- ペアリング済みのデバイスを定期的に確認し、不要なデバイスは削除してください。
- スマートフォンからカメラのペアリング情報を削除したときは、［Manage Paired Device］からスマートフォンのペアリング情報を削除してください。

接続中のBluetoothリモコンを確認する

NETWORKボタンを押して［Network］ステータス画面を表示すると、接続中のBluetooth機器を確認できます。

ペアリング済みのBluetoothリモコンを確認する

フルメニューの［Network］－［Bluetooth］－［Manage Paired Device］を選択すると、ペアリング済みのBluetoothリモコンが表示されます。

ペアリング済みのBluetoothリモコンを削除する

1. **フルメニューの［Network］－［Bluetooth］－［Manage Paired Device］を選択する。**
2. **削除するBluetoothリモコンを選択する。**
3. **［Execute］を選択する。**

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

コンピューターにUSBでカメラの映像を送る

コンピューターなどのUVC（USB Video Class）入力対応機器に、USBケーブルで本機を接続してカメラの映像を送ることができます。（USBストリーミング）

ご注意

- USB3.0（Super Speed）で接続してください。USB2.0で使用できるのは、システム周波数が29.97Hzまたは25Hzで［USB Stream］–［Format］が1280×720Pのときに限られます。

1. **本機の電源を入れる。**
2. **MENUボタンを押して［Monitoring］ステータスを開く。**
3. **［IP/USB］–［Signal］を［USB Stream］に設定する。**
   USBストリーミングがオンになります。
4. **USBケーブルで本機のデータ通信用USB-C端子とコンピューターなどのUVC入力対応機器を接続する。**
   撮影画面上部に「USB」が点滅します。
   以降はUVC入力対応機器での操作となります。本機がカメラとして認識されていることをご確認ください。本機が映像を送出している間は「USB」の表示が点灯します。

ヒント

- ［USB Tethering］と［USB Stream］の両方が［Off］のときに、本機とコンピューターなどをUSBケーブルで接続すると、有効にするUSB機能を選択する画面が表示されます。この場合は、ドロップダウンリストボックスで［USB Stream］を選択し、［Execute］を選択すると、USBストリーミングがオンになります。
- システム周波数が29.97または25のときに［USB Stream］–［Format］を選択できます。
- ［Network］ステータスの［USB］–［Setting］でUSBストリーミングのオン/オフを切り替えることもできます。
- フルメニューの［Monitoring］–［USB Stream］–［Setting］でUSBストリーミングのオン/オフを切り替えることもできます。
- フルメニューの［Monitoring］–［USB Stream］–［Format］でUSBストリーミングの解像度を設定できます。
- USBストリーミングのオーディオチャンネルは［CH1/CH2］に固定されています。

ご注意

- ［USB Stream］がオンの場合、以下の機能は設定できません。また、再生機能は使用できません。
  ［Project］–［Rec Format］–［Frequency］– 23.98
  ［Project］–［Base Setting］–［Target Display］–［HDR］
  ［Network］–［Wired LAN］–［Setting］–［On］
  ［Network］–［Wireless LAN］–［Setting］–［On］
  ［Network］–［Bluetooth］–［Setting］–［On］
  ［Network］–［USB Tethering］–［Setting］–［On］
  ［Network］–［Stream］–［Setting］–［On］
- ［USB Stream］をオンにすると、プロキシ記録やピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、スロー＆クイックモーション、4K & HD (Sub) 記録、クリップコンティニュアスレックなどの記録機能は［Off］になります。
- 録画中に［USB Stream］の［Setting］や［Format］を設定することはできません。録画を開始する前に設定してください。
- ［USB Stream］がオンでUSBストリーミングの解像度が3840x2160Pのとき、デジタルエクステンダー機能を使用すると拡大率は1.5倍になります。

TP1002063958

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

コンピューターでクリップを管理/編集する

カードリーダー（別売）や本機のマスストレージモードを使うと、コンピューターにクリップを取り込んで、コンピューター上でクリップを管理したり、ノンリニア編集システムを使ってクリップを編集したりすることができます。

カードリーダー（別売）を使う

コンピューターにCFexpress Type AカードリーダーまたはSDカードリーダーをUSBケーブルで接続すると、カードリーダーのスロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。なお、対応したコンピューターの場合、本機のマスストレージモードを使用するよりも高速に、クリップを取り込むことができます。

マスストレージモードを使う

本機とコンピューターを接続してマスストレージモードを使うと、本機のカードスロットA/Bに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

1. **データ通信用USB-C端子とコンピューターをUSBケーブルで接続する。**
2. **本機の電源をオンにする。**
   ［USB Tethering］と［USB Stream］の両方が［Off］の場合は、有効にするUSB機能を選択する画面が表示されます。ドロップダウンリストボックスで［Mass Storage (MSC)］を選択します。

ご注意

- ［Network］ステータス−［USB］−［Setting］を［USB Tethering］または［USB Stream］に設定している場合は、マスストレージモードを使うことができません。［Setting］を［Off］に設定してください。
- メモリーカードの初期化や修復などのメッセージが表示されている間は、USB接続の確認メッセージは表示されません。初期化や修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続の確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

3. **マルチファンクションダイヤルを回して［Execute］を選ぶ。**
4. **Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。**
   Macの場合、デスクトップに「NO NAME」または「Untitled」フォルダー（フォルダー名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

ご注意

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
  - 電源をオフにする
  - 電源コードを抜く
  - メモリーカードを抜く
  - USBケーブルを抜く
- すべてのコンピューターについて、動作を保証するものではありません。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。
専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット

出力フォーマットの解像度は、［Project］ステータスの［Frequency/Scan］/［Video Format］、またはフルメニューの［Project］－［Rec Format］－［Frequency］/［Video Format］の設定によって制限されます。再生映像の解像度より大きな解像度が設定されている場合、映像は出力されません。
SDI/HDMI出力端子の出力フォーマットは以下のとおりです。

［Project］－［Rec Format］		［Monitoring］－［Output Format］	
［Frequency］	［Video Format］	［SDI］	［HDMI］
50/59.94Hz	3840×2160P	3840×2160P	3840×2160P
		3840×2160P	1920×1080P
		3840×2160P	1920×1080i
		1920×1080P Level A（初期設定値）	1920×1080P（初期設定値）
		1920×1080P Level A	1920×1080i
		1920×1080P Level B	1920×1080P
		1920×1080P Level B	1920×1080i
		1920×1080i	1920×1080i
	1920×1080P	1920×1080P Level A（初期設定値）	1920×1080P（初期設定値）
		1920×1080P Level A	1920×1080i
		1920×1080P Level B	1920×1080P
		1920×1080P Level B	1920×1080i
		1920×1080i	1920×1080i
		（出力停止）	720×480P[1) 3)]
			720×576P[2) 3)]
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i
	1280x720P	1280x720P	1280x720P
25/29.97Hz	3840×2160P	3840×2160P	3840×2160P
		3840×2160P	1920×1080P
		1920×1080P	1920×1080P
		1920×1080PsF（初期設定値）	1920×1080i（初期設定値）
	1920×1080P	1920×1080P	1920×1080P
		1920×1080PsF（初期設定値）	1920×1080i（初期設定値）

［Project］ – ［Rec Format］		［Monitoring］ – ［Output Format］	
［Frequency］	［Video Format］	［SDI］	［HDMI］
23.98Hz	3840×2160P	3840×2160P	3840×2160P
		3840×2160P	1920×1080P
		1920×1080P（初期設定値）	1920×1080P（初期設定値）
		1920×1080PsF	1920×1080P
	1920×1080P	1920×1080P（初期設定値）	1920×1080P（初期設定値）
		1920×1080PsF	1920×1080P

1) システム周波数が59.94の場合
2) システム周波数が50の場合
3) 画面表示の重畳はできません。

TP1002063960

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

トラブル時の対処

トラブルが発生したときは、以下の内容を確認して対処してください。

電源

症状	原因	対策
電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付けるか、USB充電器を使用してAC電源に接続する。USB充電器は、20V/5A対応品を使用してください。
	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する。
	非対応のUSB充電器を使用している。	USB充電器とケーブルそれぞれで20V/5A以上に対応したものを使用してください。 USB充電器に複数ポートがある場合には、ポートごとに仕様が異なることがあります。20V/5A以上のポートを使用してください。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する。
	複数ポートのUSB充電器を使用し、本機に接続したポート以外のポートを使用した。	USB充電器で本機を動作中に、他のポートに別の機器を接続すると、電源供給が止まる可能性があるため、別の機器を接続しないでください。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不充分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す。 フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

記録/再生

症状	原因	対策
録画START/STOPボタンを押しても記録が始まらない。	メモリーカードの容量がいっぱいになっている。	充分な空き容量のあるメモリーカードに交換する。
音声が記録できない。	AUDIO LEVELダイヤル（CH1/CH2/CH3/CH4）が最小の位置になっている。	AUDIO LEVELダイヤル（CH1/CH2/CH3/CH4）を調節する。
記録した音声がひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO LEVELダイヤル（CH1/CH2/CH3/CH4）を調節する。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	AUDIO LEVELダイヤル（CH1/CH2/CH3/CH4）を調節する。 外部マイク選択時は、フルメニューの［Audio］−［Audio Input］−［INPUT1 MIC Reference］/［INPUT2 MIC Reference］の設定値も調節する。
クリップを再生できない。	クリップが編集されている。	コンピューターでフォルダーやファイル名を変更したり、クリップを加工したりすると、再生できない場合があります。故障ではありません。
	クリップが他機で記録されている。	他機で記録したクリップは、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

外部機器

症状	対策
本機がコンピューターに認識されない。	USBテザリングをオフにしてから本機とコンピューターをつなぎなおす。
	コンピューターからUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
	コンピューターからUSBケーブルを抜き、コンピューターを再起動してから正しい手順でもう一度コンピューターと本機をつなぐ。
	本機からUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
クリップがコンピューターに取り込めない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
	クリップをコンピューターに取り込むにはアプリケーションソフトウェアのインストールが必要です。

無線LAN使用時

ご注意

- 本機と無線LANルーターまたはモバイル機器との間の障害物や電波状況、壁の材質など、周囲の環境によって通信可能距離が短くなったり、接続できなくなったりすることがあります。本機の場所を移動するなど、本機と無線ルーターまたはモバイル機器の距離を近づけて、接続/通信状態を確認してください。

症状	対策
モバイル機器から本機にアクセスできない	• 無線LANルーターの接続（IPアドレスなど）を確認してください。 • アクセスポイントのクライアント間の通信設定が無効になっている可能性があります。詳しくは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。
ログインできない	登録したユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。

併せて「「Monitor & Control」と接続する」「無線LANでインターネットに接続する」「ネットワークの接続状態を確認する」をご覧ください。

インターネット接続

症状	対策
ファイル転送が失敗する	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている可能性があります。 正しい値を入力してください。
ファイル転送ができない	電波状態が悪い可能性があります。 移動して再度試してください。
ネットワーク接続用機材を使用時に音声にノイズが記録される	ネットワーク接続用機材を本機に取り付けて使用する場合、機器が発する電波によって音声にノイズが記録される可能性があります。その際はネットワーク接続用機材を本機から離して使用してください。

併せて「無線LANでインターネットに接続する」「USBテザリングでインターネットに接続する」「有線LANでインターネットに接続する」「ネットワークの接続状態を確認する」をご覧ください。

LCDモニター

症状	原因	対策
LCDモニターが映らない	本機内部で断線、またはLCDモニターの故障が起こっている。	DISPLAYボタンを10秒間長押ししてください。 緊急処置として、HDMI出力の映像にメニューが表示されるように強制的に設定を変更します。
		NETWORKボタンを10秒間長押ししてください。 緊急処置として、USBテザリング経由で「Monitor & Control」と接続可能な状態に強制的に設定を変更します。設定変更が成功するとNETWORKランプが3回点滅します。 **ご注意** ● 撮影中かつ［USB Stream］がオンになっている場合は設定を変更できません。撮影を止めてからNETWORKボタンを10秒間長押ししてください。

併せて「「Monitor & Control」と接続する」をご覧ください。

関連項目

- 「Monitor & Control」と接続する
- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する
- ネットワークの接続状態を確認する

TP1002063962

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

エラー/警告表示

本機では警告/注意/動作確認などが必要な状況では、LCDモニターのメッセージ表示や記録/タリーランプの点滅、および警告音で対応します。
警告音は、ヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。
NETWORKボタン/ランプの点滅については、「ネットワークの接続状態を確認する」をご覧ください。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

エラー表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。画面に［ ● Rec］と表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メモリーカードに異常がないか確認してください。 これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 （電源スイッチを⏻（スタンバイ）にしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやUSB充電器も外してください。） 本機の状況によっては、エラー表示や警告音が出ない可能性があります。

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

警告表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
［Battery Near End］	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
［Battery End］	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 一旦操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
［Temperature High］	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 一旦電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
［Media Temperature High］	断続音	点滅	CFexpressカードの温度が上昇しました。 カードを交換するか、温度が下がるまでカードの使用を中止してください。
［Voltage Low］	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています（段階1）。供給電源を確認してください。
［Insufficient Voltage］	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます（段階2）。記録はできません。 他の電源に接続し直してください。
［Media Near Full］	断続音	点滅	メモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
［Media Full］	連続音	高速点滅	メモリーカードの残量がないため、記録、コピーはできません。 交換してください。
［Clips Near Full］	断続音	点滅	メモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
［Clips Full］	連続音	高速点滅	メモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。 これ以上記録やコピーはできません。交換してください。

警告表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
［Last Clip Recording］	断続音	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。 新しいメモリーカードをご用意ください。
［Media(A) Life Near End］ 1)	断続音	点滅	メモリーカードの寿命が僅かです。早めに交換してください。
［Media(A) Life End］ 1)	連続音	高速点滅	メモリーカードの寿命がきました。交換してください。
［Media(A) Near Full］ 1)	断続音	点滅	同時記録機能使用時
［Media(A) Full］ 1)	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
［Media(A) Clips Near Full］ 1)	断続音	点滅	同時記録機能使用時
［Media(A) Clips Full］ 1)	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
［Media(A) Last Clip Rec］ 1)	断続音	点滅	同時記録機能使用時
［Transfer Jobs Near Full］	—	—	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が少なくなっています。
［Transfer Jobs Full］	—	—	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が上限に達しました。ジョブを追加したい場合は、不要なジョブを削除してください。 2)

1) カードスロットBに入れたメモリーカードの場合は（B）
2) フルメニューの［Network］－［File Transfer］－［View Job List］からジョブを選んで削除することができます。または、Monitor & Controlのジョブリストからジョブを削除することができます。

注意/動作確認表示

画面中央部分に次のような注意/動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
［Battery Error］ ［Please Change Battery］	バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
［Backup Battery End］ ［Please Change］	バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を充電してください。
［Unknown Media(A)］ ［Please Change］ 1)	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
［Cannot Use Media(A)］ ［Unsupported File System］ 1)	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
［Media Error］ ［Media(A) Needs to be Restored］ 1)	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
［Media Error］ ［Media(A) Error］ ［Media(B) Error］	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。

表示内容	原因と対策
[Media Error] [Cannot Use Media(A)] 1)	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
[Media(A) Error] [Recording Halted] [Playback Halted] 1)	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
[Media(A) Life End] 1) [Change Media(A)] 1)	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録/再生できない可能性があります。 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
[The specified address is invalid.]	指定したアドレスが間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
[Cannot Use Specified Port Number]	指定したポート番号が間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
[Fan Stopped]	本体内のファンが停止しています。 高温下での使用を避け、電源を切ってソニーのサービス担当者に連絡してください。
[Failed]	[DHCP]を[On]に設定していてアドレスが割り当てられない場合、本エラーが出る可能性があります。 DHCPサーバーの設定を確認してください。
[Addition of auto upload job failed.]	転送ジョブの数が上限に達しています。 不要なジョブをクリアしてください。また、オリジナルファイルまたはプロキシファイルの自動転送先設定が間違っている可能性があります。正しく設定しているか確認してください。
[Not found.]	指定したSSIDのネットワーク（アクセスポイント）が見つかりません。 正しく設定しているか確認してください。
[Authentication Failed]	指定したSSIDのネットワーク（アクセスポイント）の接続認証に失敗しました。 パスワードなどを正しく設定しているか確認してください。
[An IP address conflict has occurred. Please check the network settings.]	無線LANまたは有線LANと、USBテザリングのネットワークアドレスが衝突しています。 アドレスを手動で変更するか、お使いのネットワークルーターの設定を変更してください。
[The IP address of the Wireless LAN Access Point Mode has been changed due to an IP address conflict.]	無線LANアクセスポイントモードまたは有線LANと、USBテザリングのネットワークアドレスが衝突したため、無線LANアクセスポイントモードのIPアドレスを変更しました。 新たなIPアドレスを確認してください。

1) カードスロットBに入れたメモリーカードの場合は（B）

関連項目

- ネットワークの接続状態を確認する

TP1002063963

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

ファイルに保存される項目

Allファイル/Sceneファイルに保存されるフルメニューの項目は以下のとおりです。
✓：ファイルに保存されます
×：ファイルに保存されません
―：ファイルに保存されません（一時的動作メニューまたは表示のみのメニュー項目）

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Shooting]	[Gain]	[Gain<L>]	✓	×
		[Gain<M>]	✓	×
		[Gain<H>]	✓	×
		[Gain<Turbo>]	✓	×
		[High Sensitivity Mode]	✓	×
		[Shockless Gain]	✓	×
	[ND Filter]	[Preset1]	✓	×
		[Preset2]	✓	×
		[Preset3]	✓	×
	[Shutter]	[Mode]	✓	×
		[Shutter Speed]	✓	×
		[Shutter Angle]	✓	×
		[ECS On/Off]	✓	×
		[ECS Frequency]	✓	×
	[Auto Exposure]	[Level]	✓	×
		[Mode]	✓	×
		[Speed]	✓	×
		[AGC]	✓	×
		[AGC Limit]	✓	×
		[AGC Point]	✓	×
		[Auto Shutter]	✓	×
		[A.SHT Limit]	✓	×
		[A.SHT Point]	✓	×
		[Clip High light]	✓	×
		[Detect Window]	✓	×
		[Detect Window Indication]	✓	×
		[Custom Width]	✓	×
		[Custom Height]	✓	×
		[Custom H Position]	✓	×
		[Custom V Position]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[White]	[Preset White]	✓	×
		[Color Temp <A>]	✓	×
		[Tint<A>]	✓	×
		[R Gain <A>]	✓	×
		[B Gain <A>]	✓	×
		[Color Temp <B>]	✓	×
		[Tint<B>]	✓	×
		[R Gain <B>]	✓	×
		[B Gain <B>]	✓	×
	[White Setting]	[Shockless White]	✓	×
		[ATW Speed]	✓	×
		[White Switch<B>]	✓	×
		[Filter White Memory]	✓	×
	[Offset White]	[Offset White <A>]	✓	×
		[Offset Color Temp<A>]	✓	×
		[Offset Tint<A>]	✓	×
		[Offset White <B>]	✓	×
		[Offset Color Temp<B>]	✓	×
		[Offset Tint<B>]	✓	×
		[Offset White<ATW>]	✓	×
		[Offset Color Temp<ATW>]	✓	×
		[Offset Tint<ATW>]	✓	×
	[Focus]	[AF Subj. Shift Sens.]	✓	×
		[Focus Area]	✓	×
		[Subject Recognition AF]	✓	×
		[Touch Function in MF]	✓	×
		[Multi Selector Function]	✓	×
		[Pointer Color]	✓	×
		[Pointer Border]	✓	×
	[S&Q Motion]	[Setting]	✓	×
		[Frame Rate]	✓	×
	[Soft Skin Effect]	[Setting]	✓	×
		[Level]	✓	×
	[Noise Suppression]	[Setting]	✓	×
		[Level]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Flicker Reduce]	[Mode]	✓	×
		[Frequency]	✓	×
	[Auto Black Balance]	[Auto Black Balance]	–	–

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Project]	[Base Setting]	[Target Display]	✓	×
	[Rec Format]	[Frequency]	✓	×
		[Codec]	✓	×
		[Video Format]	✓	×
		[Quality]	✓	×
		[Bit Rate]	—	—
	[HDR Setting]	[LCD Monitor SDR Preview]	✓	×
		[SDR Gain]	✓	×
	[Simul Rec]	[Setting]	✓	×
		[Rec Button Set]	✓	×
	[4K & HD (Sub) Rec]	[Setting]	✓	×
		[HD (Sub) Format]	✓	×
	[Proxy Rec]	[Setting]	✓	×
		[Proxy Format]	✓	×
		[Audio Channel]	✓	×
		[Chunk]	✓	×
	[Interval Rec]	[Setting]	×	×
		[Interval Time]	✓	×
		[Number of Frames]	✓	×
	[Picture Cache Rec]	[Setting]	✓	×
		[Cache Size]	✓	×
		[Cache Rec Time]	—	—
	[Clip Continuous Rec]	[Setting]	✓	×
		[Find Mode]	✓	×
	[SDI/HDMI Rec Control]	[Setting]	✓	×
	[Auto Framing]	[Setting]	x	×
		[Rec/Stream]	✓	×
		[HDMI]	✓	×
		[Tracking Start Mode]	✓	×
		[Crop Level]	✓	×
		[Tracking Speed]	✓	×
		[Production Effect]	✓	—

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Assignable Button]	<1>	✓	×
		<2>	✓	×
		<3>	✓	×
		<4>	✓	×
		<5>	✓	×
		<6>	✓	×
		<7>	✓	×
		<8>	✓	×
		<9>	✓	×
		<10>	✓	×
		<11>	✓	×
		[<PUSH AUTO>]	✓	×
	[Assignable Dial]	[Grip/Remote Dial]	✓	×
		[Grip Dial Direction]	✓	×
	[Multi Function Dial]	[Default Function]	✓	×
	[User File]	[Load from Media(B)]	—	—
		[Save to Media(B)]	—	—
		[File ID]	×	×
		[Load Customize Data]	✓	×
		[Load White Data]	✓	×
	[All File]	[Load from Media(B)]	—	—
		[Load from Cloud(Private)]	—	—
		[Load from Cloud(Share)]	—	—
		[Save to Media(B)]	—	—
		[Save to Cloud(Private)]	—	—
		[Save to Cloud(Share)]	—	—
		[File ID]	✓	×
		[Load Network Data]	×	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Paint/Look]	[Scene File]	[Recall Internal Memory]	—	—
		[Store Internal Memory]	—	—
		[Delete]	—	—
		[Preset Recall]	—	—
		[Load from Media(B)]	—	—
		[Save to Media(B)]	—	—
		[File Name]	—	—
	[Base Look]	[Select]	✓	✓
		[Delete]	—	—
		[Delete All]	—	—
		[Import from Media(B)]	—	—
		[Import from Cloud(Private)]	—	—
		[Import from Cloud(Share)]	—	—
		[Input]	✓	✓
		[Output]	✓	✓
		[AE Level Offset]	✓	✓
	[Reset Paint Settings]	[Reset without Base Look]	—	—
	[Black]	[Master Black]	✓	✓
		[R Black]	✓	✓
		[B Black]	✓	✓
	[Black Gamma]	[Setting]	✓	✓
		[Range]	✓	✓
		[Master Black Gamma]	✓	✓
	[Knee]	[Setting]	✓	✓
		[Auto Knee]	✓	✓
		[Point]	✓	✓
		[Slope]	✓	✓
	[Detail]	[Setting]	✓	✓
		[Level]	✓	✓
		[Manual Setting]	✓	✓
		[H/V Ratio]	✓	✓
		[B/W Balance]	✓	✓
		[Limit]	✓	✓
		[Crispening]	✓	✓
		[High Light Detail]	✓	✓

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Matrix]	[User Matrix]	✓	✓
		[User Matrix Level]	✓	✓
		[User Matrix Phase]	✓	✓
		[User Matrix R-G]	✓	✓
		[User Matrix R-B]	✓	✓
		[User Matrix G-R]	✓	✓
		[User Matrix G-B]	✓	✓
		[User Matrix B-R]	✓	✓
		[User Matrix B-G]	✓	✓
	[Multi Matrix]	[Setting]	✓	✓
		[Area Indication]	x	x
		[Reset]	—	—
		[Axis]	×	×
		[Hue]	✓	✓
		[Saturation]	✓	✓
[TC/Media]	[Timecode]	[Mode]	✓	×
		[Run]	✓	×
		[Setting]	×	×
		[Reset]	—	—
		[TC Format]	✓	×
	[TC Display]	[Display Select]	✓	×
	[Users Bit]	[Mode]	✓	×
		[Setting]	×	×
	[HDMI TC Out]	[Setting]	✓	×
	[Clip Name Format]	[Title Prefix]	✓	×
		[Number Set]	×	×
	[Update Media]	[Media(A)]	—	—
		[Media(B)]	—	—
	[Format Media]	[Media(A)]	—	—
		[Media(B)]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Monitoring]	[Output On/Off]	[SDI]	✓	×
		[HDMI]	✓	×
		[REF]	×	×
	[Output Format]	[SDI]	✓	×
		[HDMI]	✓	×
	[USB Stream]	[Setting]	✓	×
		[Format]	✓	×
		[Audio Channel]	—	—
	[Output Display]	[SDI]	✓	×
		[HDMI]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Display On/Off]	[Network Status]	✓	×
		[File Transfer Status]	✓	×
		[Stream Status]	✓	×
		[Rec/Play Status]	✓	×
		[Tally]	✓	×
		[Battery Remain]	✓	×
		[Focus Mode]	✓	×
		[Focus Position]	✓	×
		[Focus Macro]	✓	×
		[Focus Area Indicator]	✓	×
		[Subject Recognition Frame]	✓	×
		[Tracking AF Pointer]	✓	×
		[Lens Info]	✓	×
		[Rec Format]	✓	×
		[Frame Rate]	✓	×
		[Zoom Position]	✓	×
		[UWP RF Level]	✓	×
		[GPS]	✓	×
		[SteadyShot]	✓	×
		[Base Look/Rec Look]	✓	×
		[SDI/HDMI Rec Control]	✓	×
		[Monitoring Look]	✓	×
		[Proxy Status]	✓	×
		[Digital Signature]	✓	×
		[Media Status]	✓	×
		[Video Signal Monitor]	✓	×
		[Clip Name]	✓	×
		[White Balance]	✓	×
		[Scene File]	✓	×
		[Auto Exposure Mode]	✓	×
		[Auto Exposure Level]	✓	×
		[Timecode]	✓	×
		[ND Filter]	✓	×
		[Iris]	✓	×
		[Gain]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[Shutter]	✓	×
		[Level Gauge]	✓	×
		[Audio Level Meter]	✓	×
		[Video Level Warning]	✓	×
		[Clip Number]	✓	×
		[Notice Message]	✓	×
	[Marker]	[Setting]	✓	×
		[Color]	✓	×
		[Center Marker]	✓	×
		[Safety Zone]	✓	×
		[Safety Area]	✓	×
		[Aspect Marker]	✓	×
		[Aspect Mask]	✓	×
		[Aspect Safety Zone]	✓	×
		[Aspect Safety Area]	✓	×
		[Aspect Select]	✓	×
		[Custom Aspect Ratio]	✓	×
		[Guide Frame]	✓	×
		[100% Marker]	✓	×
		[User Box]	✓	×
		[User Box Width]	✓	×
		[User Box Height]	✓	×
		[User Box H Position]	✓	×
		[User Box V Position]	✓	×
	[LCD Monitor Setting]	[Brightness]	✓	×
		[Color Mode]	✓	×
	[Gamma Display Assist]	[Setting]	✓	×
	[Peaking]	[Setting]	✓	×
		[Peaking Level]	✓	×
		[Color]	✓	×
	[Zebra]	[Setting]	✓	×
		[Zebra1 Level]	✓	×
		[Zebra1 Aperture Level]	✓	×
		[Zebra2 Level]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Audio]	[Audio Input]	[CH1 Input Select]	✓	×
		[CH2 Input Select]	✓	×
		[CH3 Input Select]	✓	×
		[CH4 Input Select]	✓	×
		[INPUT1 MIC Reference]	✓	×
		[INPUT2 MIC Reference]	✓	×
		[Line Input Reference]	✓	×
		[Reference Level]	✓	×
		[CH1 Wind Filter]	✓	×
		[CH2 Wind Filter]	✓	×
		[CH3 Wind Filter]	✓	×
		[CH4 Wind Filter]	✓	×
		[Audio Input Level]	✓	×
		[Limiter Mode]	✓	×
		[CH1&2 AGC Mode]	✓	×
		[CH3&4 AGC Mode]	✓	×
		[AGC Spec]	✓	×
		[1kHz Tone on Color Bars]	✓	×
		[CH1 Level]	✓	×
		[CH2 Level]	✓	×
		[CH3 Level]	✓	×
		[CH4 Level]	✓	×
	[Audio Output]	[Monitor CH]	✓	×
		[Headphone Out]	✓	×
		[Alarm Level]	✓	×
		[HDMI Output CH]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Thumbnail]	[Display Clip Properties]		—	—
	[Set Clip Flag]	[Add OK]	—	—
		[Add NG]	—	—
		[Add KEEP]	—	—
		[Delete Clip Flag]	—	—
	[Lock/Unlock Clip]	[Select Clip]	—	—
		[Lock All Clips]	—	—
		[Unlock All Clips]	—	—
	[Delete Clip]	[Select Clip]	—	—
		[All Clips]	—	—
	[Copy Clip]	[Select Clip]	—	—
		[All Clips]	—	—
	[Copy Sub Clip]	[All Clips]	—	—
	[Transfer Clip]	[Select Clip]	—	—
		[All Clips]	—	—
	[Transfer Clip (Proxy)]	[Select Clip]	—	—
		[All Clips]	—	—
	[Filter Clips]	[OK]	—	—
		[NG]	—	—
		[KEEP]	—	—
		[None]	—	—
		[All]	—	—
	[Customize View]	[Thumbnail Caption]	✓	—

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Technical]	[Color Bars]	[Setting]	x	×
		[Type]	✓	×
	[ND Dial]	[CLEAR with Dial]	✓	×
	[Tally]	[Front Tally Lamp]	✓	×
		[Rear Tally Lamp]	✓	×
	[Touch Operation]	[Setting]	✓	×
	[Rec Review]	[Setting]	✓	×
	[Handle Zoom]	[Setting]	✓	×
		[High]	✓	×
		[Low]	✓	×
	[GPS]	[Location by Mobile App]	✓	×
	[Menu Settings]	[User Menu Only]	✓	×
		[Menu Page On/Off]	✓	×
		[User Menu with Lock]	x	×
	[Fan Control]	[Setting]	✓	×
	[Lens]	[Distortion Comp.]	✓	×
		[Auto FB Adjust]	—	—
		[Distance Display]	✓	×
		[Zoom Position Display]	✓	×
	[APR]	[APR]	—	—
	[Camera Battery Alarm]	[Low Battery]	✓	×
		[Battery Empty]	✓	×
	[Camera DC IN Alarm]	[DC Low Voltage1]	✓	×
		[DC Low Voltage2]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Network]	[Network Setup]	[Setup for Mobile App]	—	—
		[LAN Type Select]	✓	×
		[Show Authentication]	—	—
		[Edit Authentication]		
		[User Name]	×	×
		[Input Password]	×	×
		[Generate Password]	×	×
		[NETWORK Lamp]	✓	×
	[Wireless LAN]	[Setting]	✓	×
		[Channel]	—	—
		[Camera SSID & Password]	—	—
		[Regenerate Password]	—	—
		[Camera Remote Control]	—	—
		[Connected Network]	—	—
		[Scan Networks]	—	—
		[WPS]	—	—
		[Manual Register]		
		[SSID]	—	—
		[Security]	—	—
		[Password]	—	—
		[DHCP]	—	—
		[IP Address]	—	—
		[Subnet Mask]	—	—
		[Gateway]	—	—
		[DNS Auto]	—	—
		[Primary DNS Server]	—	—
		[Secondary DNS Server]	—	—
		[IP Address]	—	—
		[Subnet Mask]	—	—
		[MAC Address]	—	—
		[AP Mode Type]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Wired LAN]	[Setting]	✓	×
		[Camera Remote Control]	✓	×
		[Detail Settings]		
		[DHCP]	✓	×
		[IP Address]	✓	×
		[Subnet Mask]	✓	×
		[Gateway]	✓	×
		[DNS Auto]	✓	×
		[Primary DNS Server]	✓	×
		[Secondary DNS Server]	✓	×
		[IP Address]	—	—
		[Subnet Mask]	—	—
		[MAC Address]	—	—
	[USB Tethering]	[Setting]	✓	×
		[Camera Remote Control]	✓	×
		[IP Address]	—	—
		[Subnet Mask]	—	—
	[Bluetooth]	[Setting]	✓	×
		[Pairing]	—	—
		[Manage Paired Device]	×	×
		[Device Address]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[File Transfer]	[Auto Upload]	✓	×
		[Auto Upload (Proxy)]	✓	×
		[Default Upload Server]	✓	×
		[Clear Completed Jobs]	—	—
		[Clear All Jobs]	—	—
		[View Job List]	—	—
		[Server Settings1] ～ [Server Settings16]		
		[Display Name]	✓	×
		[Service]	✓	×
		[Host Name]	✓	×
		[Port]	✓	×
		[User Name]	×	×
		[Password]	×	×
		[Passive Mode]	✓	×
		[Destination Directory]	✓	×
		[Using Secure Protocol]	✓	×
		[Root Certificate]	—	—
		[Root Certificate Status]	—	—
		[Reset]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Stream]	[Setting]	×	×
		[Destination Select]	✓	×
		[RTMP/RTMPS 1] ～ [RTMP/RTMPS 8]		
		[Display Name]	✓	×
		[Codec]	—	—
		[Resolution]	✓	×
		[Bit Rate]	✓	×
		[Destination URL]	×	×
		[Stream Key]	×	×
		[RTMPS Certificate]	—	—
		[RTMPS Certificate Status]	—	—
		[Reset]	—	—
		[RTMPS Default Certificates]		
		[Replace]	—	—
		[Reset]	—	—
		[Status]	—	—
		[SRT-Caller 1] ～ [SRT-Caller 8]		
		[Display Name]	✓	×
		[Codec]	✓	×
		[Resolution]	✓	×
		[Bit Rate]	✓	×
		[Destination URL]	×	×
		[Port]	✓	×
		[Latency]	✓	×
		[TTL]	✓	×
		[Encryption]	×	×
		[Passphrase]	×	×
		[ARC]	✓	×
		[Reset]	—	—
	[Network Reset]	[Reset]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Maintenance]	[Language]	[Select]	✓	×
	[Accessibility]	[Enlarge Screen]		
		[Setting]	✓	×
		[Magnification]	✓	×
		[Enlarge Screen Button]	✓	×
	[Clock Set]	[Time Zone]	✓	×
		[Date Mode]	✓	×
		[12h/24h]	✓	×
		[Date]	×	×
		[Time]	×	×
		[Auto Date/Time Correction]	✓	×
		[Auto Time Zone Correction]	✓	×
	[All Reset]	[Reset]	—	—
		[Reset without Network]	—	—
		[Reset to Factory Defaults]	—	—
	[Hours Meter]	[Hours(System)]	—	—
		[Hours(Reset)]	—	—
		[Reset]	—	—
	[License Options]	[Install from Media(B)]	—	—
		[Uninstall License]	—	—
		[Digital Signature (Proxy)]	—	—
		[Serial Number]	—	—
	[Version]	[Version Number]	—	—
		[Version Up]	—	—

TP1002063964

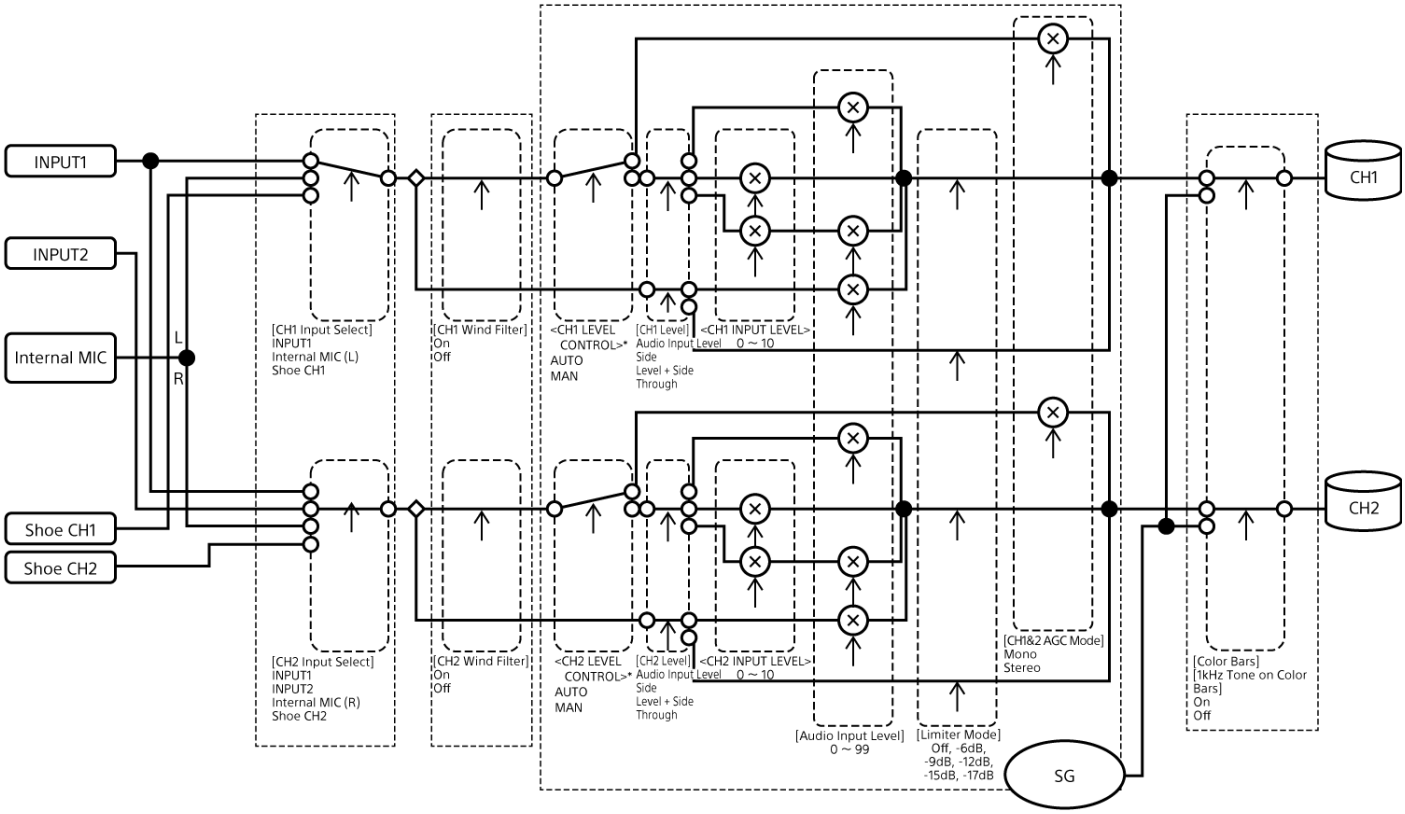
5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

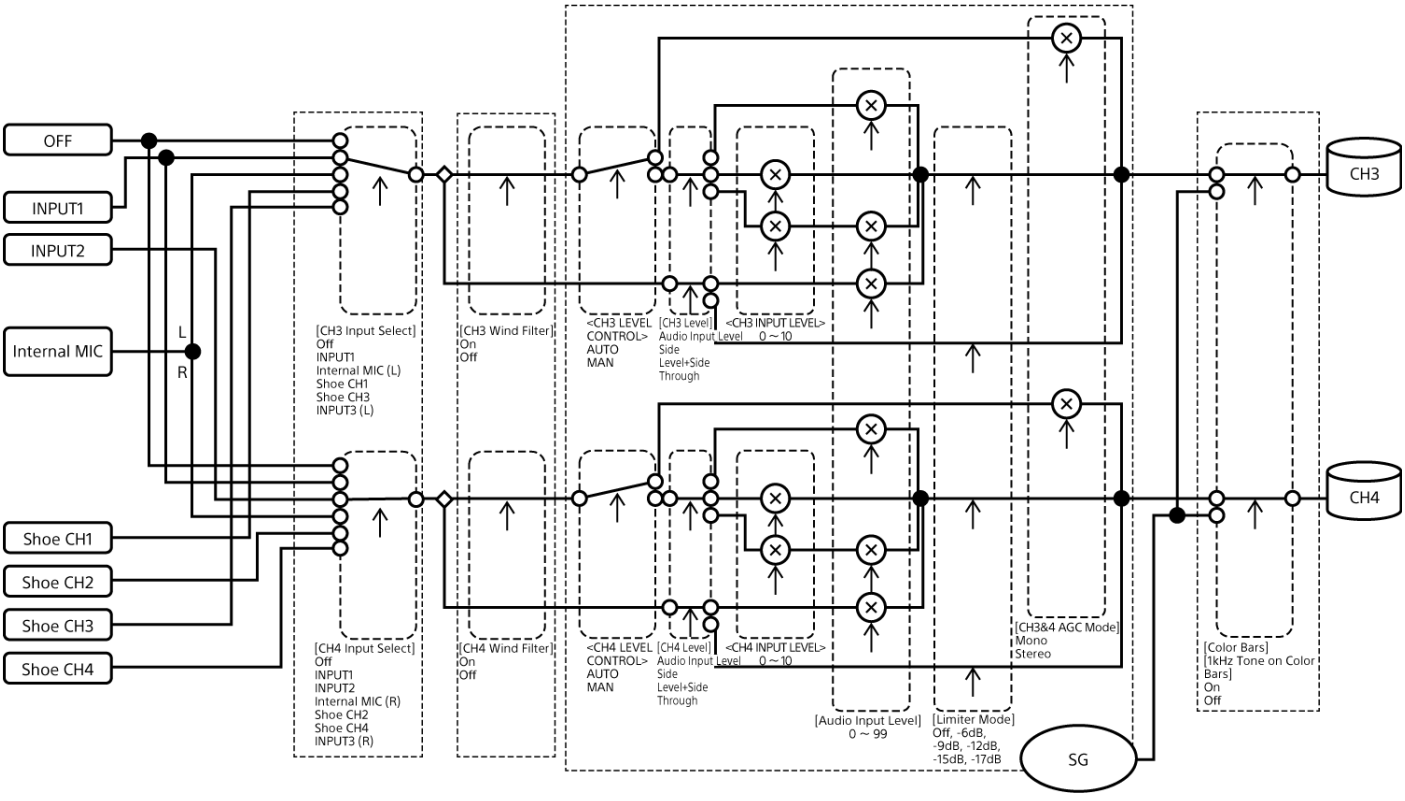
ブロックダイヤグラム

音声や［Audio］メニューに関連するブロックダイヤグラムです。

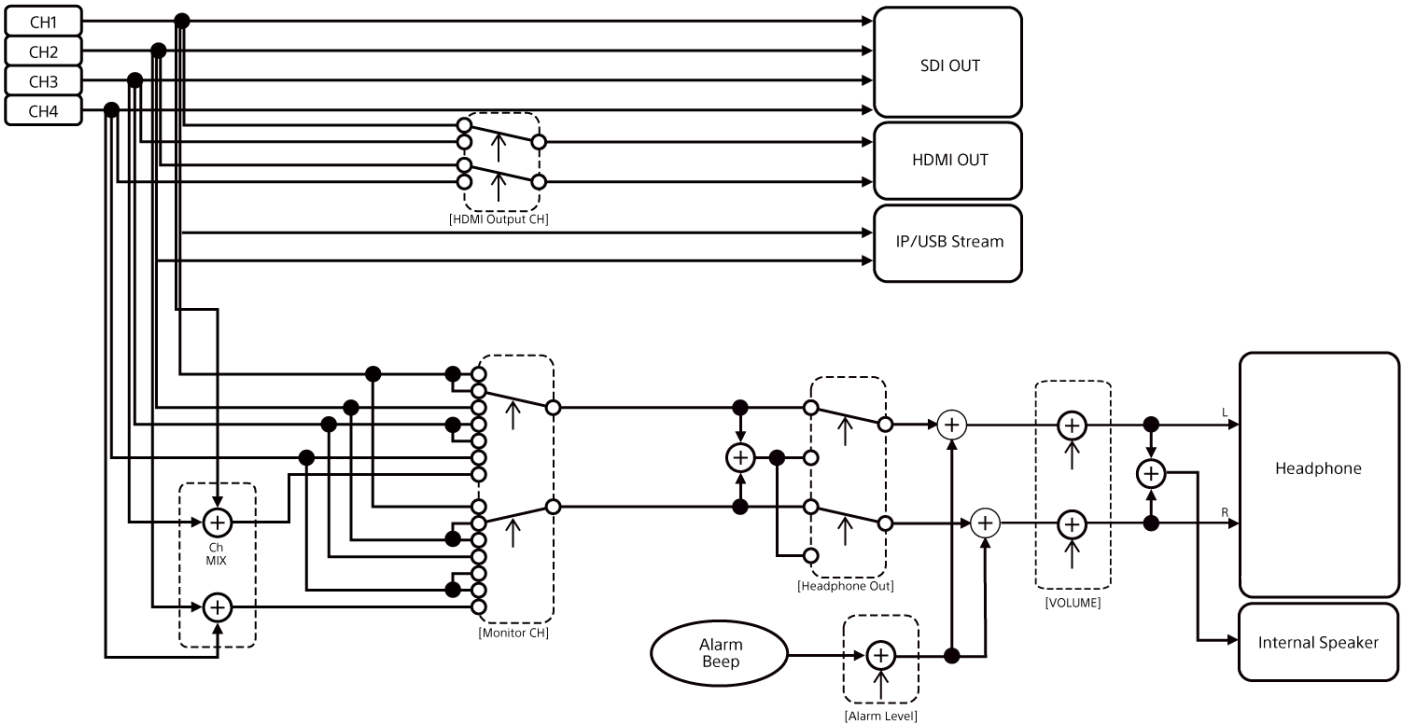
［Audio Input］（CH1&CH2）



［Audio Input］（CH3&CH4）



[Audio Output]



TP1002063965

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

ライセンスについて

MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：
(i) 消費者が個人的または他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。
(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的または他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。
これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。
https://oss.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。
ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。
本機とパソコンをマスストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

END USER LICENSE AGREEMENT

お客様による本製品の使用開始をもって、お客様がソフトウェア使用許諾契約書の内容にご同意いただけたものとさせていただきます。お客様と弊社との間のソフトウェ ア使用許諾契約書は、弊社ウェブサイト（https://rd1.sony.net/help/di/el23/h_zz/）でご覧いただけます。

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。
当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。
ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。
本機とパソコンをマスストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

TP1002063966

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げの店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

TP1002063967

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z300/PXW-Z380

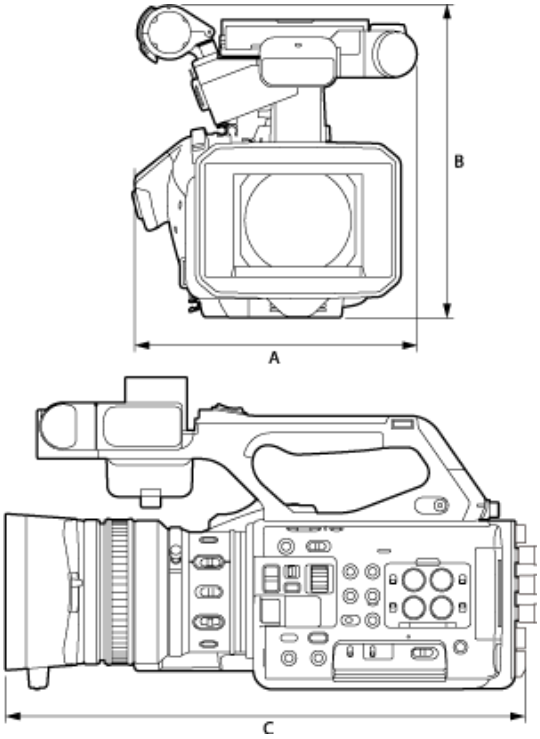
仕様

一般

質量

- 約2.60 kg（本体のみ）
  約2.99 kg（レンズフード、バッテリー（BP-U35）、LCDフード、メディアを含む）

外形寸法（幅×高さ×奥行き）（突起部含まず）
約182.5 mm（A）×201.9 mm（B）×333.9 mm（C）



電源電圧
DC 20.0 V（19.0 V～21.0 V）
消費電力

- 標準消費電力：約26 W（本体、XAVC Long、QFHD 59.94P、CFexpress Type Aメモリーカード記録時、LCDモニター点灯（デフォルト）、周辺接続機器なし）
  最大消費電力：約47 W（本体、XAVC Intra、QFHD 59.94P、CFexpress Type Aメモリーカード記録時（2枚同時記録）、LCDモニター点灯（最大）、周辺接続機器（SDI、HDMI、USB、無線機器）あり）

動作温度
0 ℃～40 ℃
保存温度
−20 ℃～+60 ℃
連続動作時間
約160分（BP-U70使用時、標準消費電力時）
記録フォーマット（ビデオ）

- XAVC Long
- XAVC Intra
- MPEG HD 422

記録フォーマット（オーディオ）
LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル

記録フレームレート

- XAVC Long
  3840×2160P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
  1920×1080P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
  1920×1080i/59.94i、50i
  1280×720P/59.94P、50P
- XAVC Intra
  3840×2160P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
  1920×1080P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
  1920×1080i/59.94i、50i
  1280×720P/59.94P、50P
- MPEG HD 422
  1920×1080P/29.97P、25P、23.98P
  1920×1080i/59.94i、50i
  1280×720P/59.94P、50P

記録/再生時間

- XAVC Long
  3840×2160P/59.94P
  約100分（CEA-G160T使用時）
  1920×1080P/59.94P
  約270分（CEA-G160T使用時）
- XAVC Intra
  3840×2160P/59.94P
  約25分（CEA-G160T使用時）
  1920×1080P/59.94P
  約75分（CEA-G160T使用時）
- MPEG HD 422
  1280×720P/59.94P
  約280分（CEA-G160T使用時）

ご注意

- 記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。また、記録/再生時間は、1クリップとして連続記録したときの時間です。記録するクリップ数によっては記載の時間より短くなる場合があります。

カメラ部

撮像素子
1/2型ExmorR 3CMOSセンサー
有効画素数
3840 (H) × 2160 (V)
分光系
F1.6プリズムシステム
内蔵NDフィルター
［Clear］：NDなし
1：1/4ND
2：1/16ND
3：1/64ND
リニア可変ND：1/4ND ～ 1/128ND
感度（2000ルクス、89.9%反射）
F12（標準、1920x1080/59.94Pモード）
F13（標準、1920x1080/50Pモード）
F12（標準、3840x2160/59.94P、高感度モード）
F13（標準、3840x2160/50P、高感度モード）
最低被写体照度
0.0013 lx（標準、1920x1080/59.94i）
（F1.9、+42 dB、高感度モード、64フレーム蓄積）
水平解像度
2000 TV本以上（3840x2160Pモード）
1000 TV本以上（1920x1080Pモード）
シャッタースピード
64F～1/8000秒
スロー&クイックモーション

- XAVC Long、XAVC Intra：
  2160P：1～60フレーム
  1080P：1～60、100、120フレーム
  720P：1～60フレーム

- MPEG HD 422：
  1080P：1～60フレーム
  720P：1～60フレーム

ホワイトバランス
プリセットモード（3200K）、メモリーAモード、メモリーBモード/ATWモード
ゲイン
−3 dB～+18 dB（1 dB単位）、42 dB（ターボゲインモード時）、［AGC］
基本ルック
［S-Cinetone］/［ITU709］/［709tone］/［HLG Live］/［HLG Mild］/［HLG Natural］/［S-Log3］

レンズ部

レンズマウント
固定式
光学ズーム比
17倍
焦点距離
5.6 mm～95.2 mm
（35 mm換算、30.3 mm～515 mm）
フォーカス
AF/MF/Full MF切り替え
フォーカス範囲
AF/MF/Full MF切り替え
800 mm～∞（マクロオフ）
50 mm～∞（マクロオン、ワイド端）
800 mm～∞（マクロオン、テレ端）
絞り
開放絞り（F値）F1.9～F16、クローズ（オート/マニュアル切り替え）
手ぶれ補正
シフトレンズ方式（オン/オフ切り替え）
フィルター径
Φ77 mm、ピッチ0.75 mm
マクロ
オン/オフ切り替え

オーディオ部

サンプリング周波数
48 kHz
量子化特性
24ビット
周波数特性
本体XLR入力MICモード時：20 Hz～20 kHz（±3 dB以内）
本体XLR入力LINEモード時：20 Hz～20 kHz（±3 dB以内）
ダイナミックレンジ
本体XLR入力MICモード時：80 dB（Reference Level −50 dB設定時、Typical）
本体XLR入力LINEモード時：90 dB（Reference Level +4 dB設定時、Typical）
ひずみ率
本体XLR入力MICモード時：0.08%以下（Reference Level −50 dB設定、入力レベル−40 dBu、1 kHz時）
本体XLR入力LINEモード時：0.08%以下（Reference Level +4 dB設定、入力レベル+14 dBu、1 kHz時）
内蔵スピーカー
モノラル
内蔵マイク
無指向性ステレオエレクトレットコンデンサーマイク

入出力部

入力
INPUT 1/2：XLR型、3ピン、凹
LINE / MIC / MIC+48V切り替え可能

MIC：Reference −30 dBu～−80 dBu
TC IN：BNC型
GENLOCK IN：BNC型
出力
SDI OUT：BNC型、12G-SDI、6G-SDI、3G-SDI（Level A/B）、HD-SDI
ヘッドホン（ステレオミニジャック）：−15 dBu（基準レベル出力、モニターボリューム最大、16 Ω負荷時）
HDMI：TypeA、19ピン
TC OUT：BNC型
REF OUT：BNC型（GENLOCK IN端子と切り替え）
その他
DC IN：USB Type-C端子、DC 19.0 V～21.0 V
マルチインターフェースシュー：専用21ピン
REMOTE：2.5φ3極ミニミニタイプ
USB-C：USB3.2 Gen1
グリップリモコン端子：3.5φ4極ステレオミニタイプ

表示部

LCDモニター
画面サイズ：対角8.8 cm（3.5型）
アスペクト比：16:9
画素数：1280（H）× 720（V）

メディアスロット部

CFexpress Type A/SDカードスロット（2）

有線LAN

RJ45型
1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T

無線LAN

対応規格
IEEE 802.11a*/b/g/n/ac*
使用周波数帯
2.4 GHz帯/5 GHz帯*
セキュリティ
WPA2-PSK (AES) / WPA3-SAE
接続方式
Wi-Fi Protected Setup™（WPS）/マニュアル
アクセス方式
インフラストラクチャーモード

*本機は、国や地域の通信規制に準拠して設計されています。購入した国・地域によっては、5GHz帯に対応していない場合があります。

Bluetooth

通信方式
Bluetooth標準規格 Ver.5.0
使用周波数帯域
2.4 GHz帯（2.4000 GHz～2.4835 GHz）

付属品

- LCDフード（1）
- レンズフード（1）
- Vシューアタッチメント（1）
- ご使用になる前に（1）
- 保証書（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- “XAVC”および XAVC はソニー株式会社の登録商標です。
- Apple、iPhoneおよびiPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- “Catalyst Browse”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- IOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- CFexpress Type Aロゴ、CFexpressはCompactFlash Associationの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- USB Type-C™およびUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

TP1002063968

5-071-525-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation